

プロセッサー

取扱説明書

第13版 2022年9月

はじめに

1 安全にご使用いただくために

2 システム構成

3 各部の名称と機能

4 システムの設置と初期設定

5 各機能の設定

6 システムの準備と点検

7 使用方法

8 画像の記録

9 保管とメンテナンス

10 トラブルシューティング

11 主な仕様

EP-6000

このたびは、弊社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、
不測の事故を回避するとともに、機器の性能を十分に発揮して、ご使用くださるようお願い致します。

医用電気機器の使用上の注意事項

本製品を使用する際は、以下の注意事項を守って正しく取り扱ってください。

● 「医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項」

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - (2) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (3) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - (4) 電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
 - (5) 電池電源の状態（放電状態、極性など）を確認すること。
 - (6) 保護接地を正しく接続すること。
3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - (1) 使用前点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
 - (2) 保護接地が完全に接続されていることを確認すること。
 - (3) すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。
 - (4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
 - (2) 機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - (1) 定められた手順により操作スイッチなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
 - (2) コード類のとりはずしに際してはコードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
 - (3) 保管場所については次の事項に注意すること。
 - i 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - ii 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む。）など安定状態に注意すること。
 - iii 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
 - (4) 附属品、コード、導子などは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
 - (5) 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 保守点検
 - (1) 機器及び部品は必ず定期点検を行なうこと。
 - (2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。
9. その他
 - (1) 取扱説明書に従い、正しい操作をすること。

この取扱説明書の構成

はじめに

本取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

第1章 安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために守っていただきたい警告・注意について説明しています。

第2章 システム構成

本製品の組み合わせて使用可能な機器などを説明しています。

第3章 各部の名称と機能

本製品の各部の名称を機能を説明しています。

第4章 システムの設置と初期設定

本製品のシステムの設置と初期設定を説明しています。

第5章 各機能の設定

本製品の各機能の設定を説明しています。

第6章 システムの準備と点検

本製品を使用する上で、必ず行っていただきたい点検と準備について説明しています。

第7章 使用方法

一般的な手順に従って、本製品の操作について説明しています。

第8章 画像の記録

本製品の画像の記録を説明しています。

第9章 保管とメンテナンス

本製品の保管とメンテナンスを説明しています。

第10章 トラブルシューティング

トラブルの解決方法について説明しています。

第11章 主な仕様

本製品の主な仕様などを説明しています。

目次

医用電気機器の使用上の注意事項	ii
この取扱説明書の構成	iii

はじめに	1
-------------	----------

取扱説明書について	1
取扱説明書の読み方	3
◆ 用語の説明	3
◆ 表記の説明	3

第1章 安全にご使用いただくために	1-1
--------------------------	------------

1.1 安全性	1-1
◆ 機器の分類	1-1
1.1.1 感染に関する注意	1-2
1.1.2 人体への直接危害	1-2
1.2 取り扱い上および一般的な注意事項について	1-3
1.2.1 使用目的	1-3
1.2.2 設置	1-3
1.2.3 臨床手技について	1-3
1.2.4 色調の違いについて	1-3
1.2.5 機能の喪失	1-4
1.2.6 機器の組み合わせ	1-4
1.2.7 機器の設置	1-5
1.2.8 機器の運搬	1-7
1.2.9 感電に対する注意	1-7
1.2.10 爆発に対する注意	1-8
1.2.11 異物・液体	1-8
1.2.12 高電圧	1-8
1.2.13 保守	1-8
1.2.14 準備と点検	1-9
1.2.15 先端部の温度	1-9
1.2.16 廃棄について	1-9
1.2.17 セキュリティ機能	1-9
1.2.18 取り扱い	1-10
1.2.19 等電位化	1-10
1.2.20 システムのバージョンについて	1-10
1.2.21 電磁波障害	1-11
1.2.22 システムソフトウェアを搭載した装置（EX-WS）との接続使用について	1-12
1.2.23 主な有害事象	1-12

第2章 システム構成	2-1
2.1 同梱品の確認	2-1
◆ 同梱品	2-1
2.2 組み合わせて使用可能な機器	2-2
2.3 標準システム構成	2-6
2.4 システムの拡張	2-7
第3章 各部の名称と機能	3-1
3.1 前面パネル	3-1
3.2 背面パネル	3-4
3.3 側面パネル	3-6
3.4 キーボード	3-7
3.5 ソケット保護キャップ	3-10
3.6 注意ラベル	3-10
3.7 定格銘板	3-10
3.8 表示マーク	3-11
3.9 観察画面のデータ表示について	3-12
3.10 FICE セットの表示について	3-21
3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて	3-23
第4章 システムの設置と初期設定	4-1
4.1 システムの設置	4-1
4.1.1 設置作業フロー図	4-4
4.1.2 カートへ設置（標準システム構成例）	4-5
4.1.3 WC-LINK ケーブルの接続	4-10
4.1.4 防塵フィルター（レーバー）取り付け	4-11
4.1.5 モニターの接続	4-12
4.1.6 キーボードの接続	4-13
4.1.7 システムを拡張するための設置	4-14
4.1.8 プリンターの接続（リモート式）	4-17
4.1.9 プリンターの接続（RS-232C 方式）	4-19
4.1.10 デジタルプリンターの接続	4-20
4.1.11 静止画記録装置の接続（RS-232C 方式）	4-21
4.1.12 動画記録装置の接続（リモート方式）	4-22
4.1.13 電源の接続	4-22
4.1.14 電源について	4-24
4.1.15 カート設置時の電源接続	4-26
4.1.16 電源コード手配に必要な基本情報	4-27
4.1.17 EW1 システムソフトウェアを搭載した装置（EX-WS）の接続	4-28

4.2 設置時のシステムの初期設定	4-29
4.2.1 設置時のシステム設定フロー図	4-29
4.2.2 設定の基本操作.....	4-30
4.2.3 切替設定タブ	4-31
4.2.4 表示タブ	4-33
4.2.5 基本設定タブ	4-35
4.2.6 光源タブ	4-37
4.2.7 スコープタブ	4-39
4.2.8 フットスイッチ (FS1) の設定	4-54
4.2.9 拡大時シャッタースピード切替の設定	4-57
4.2.10 ドクター名の設定.....	4-58
4.2.11 手技名の設定	4-64
4.2.12 連絡事項の設定.....	4-67
4.3 セキュリティ機能	4-71
4.3.1 セキュリティ管理の機能制限	4-72
4.3.2 セキュリティ機能 ログイン (パスワードの変更)	4-73
4.3.3 セキュリティ機能 ログオフ	4-75

第5章 各機能の設定

5-1

5.1 ユーザー設定画面の階層.....	5-1
5.2 患者情報登録・編集	5-8
5.2.1 患者情報の登録.....	5-8
5.2.2 患者情報の呼び出し	5-19
5.2.3 患者情報の修正.....	5-21
5.2.4 患者情報の削除.....	5-23
5.2.5 磁気カードの患者情報を登録	5-26
5.3 パネルボタン (画像処理機能) の設定	5-28
5.3.1 設定の基本操作.....	5-28
5.3.2 構造強調設定	5-30
5.3.3 FICE 設定.....	5-31
5.3.4 色彩強調設定	5-33
5.3.5 カラー調整	5-34
5.3.6 シャッタースピード	5-36
5.3.7 測光モード設定.....	5-37
5.3.8 特殊光観察プリセット設定	5-38
5.4 周辺機器の設定	5-40
5.4.1 設定の基本操作.....	5-40
5.4.2 画像メモリータブ	5-41
5.4.3 プリンタタブ	5-44
5.4.4 転送設定タブ	5-45

5.5 その他の設定	5-47
5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除	5-47
5.5.2 インデックス画像の表示	5-55
5.5.3 フリーズモードの設定	5-56
5.5.4 マルチズームモードの設定	5-58
5.5.5 ラップタイム表示	5-59
第6章 システムの準備と点検	6-1
6.1 機材の設置と接続	6-1
6.2 関連機器の準備	6-1
6.3 プロセッサーの動作確認	6-2
6.4 調整値の登録・呼び出し	6-7
6.5 患者情報の登録	6-8
6.6 患者情報の呼び出し	6-8
第7章 使用方法	7-1
7.1 機材の準備	7-2
7.2 内視鏡と機器の接続	7-4
7.3 内視鏡、関連機器の使用方法	7-7
7.4 機器の電源投入	7-8
7.5 送気ポンプの作動	7-8
7.6 ライトの点灯	7-9
7.7 ライトの消灯	7-10
7.8 光量の調節	7-10
7.9 光量制限	7-11
7.10 観察モードの切り替え	7-13
7.11 構造強調の切り替え	7-14
7.12 FICE の切り替え	7-15
7.13 色彩強調の切り替え	7-16
7.14 シャッタースピードの切り替え	7-16
7.15 測光モードの切り替え	7-18
7.16 電子ズームの操作	7-19
7.17 データ表示の操作	7-20
7.17.1 コメントの入力	7-20
7.17.2 タイマーのスタート / ストップ	7-21
7.17.3 ラップタイム機能	7-22
7.18 検査開始	7-23

7.19 検査終了	7-24
7.19.1 1回目の検査終了の場合	7-24
7.19.2 2回目以降の検査開始の場合	7-25
7.19.3 すべての検査終了の場合	7-26
7.20 EW1 システムソフトウェアの使用方法	7-27

第8章 画像の記録

	8-1
8.1 カラープリンターの制御方式	8-1
8.2 カラープリンター（リモート式）で画像をプリントするには	8-1
8.2.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-2
8.2.2 プリンターの設定	8-2
8.2.3 画像の取り込み	8-3
8.2.4 画像のプリント	8-5
8.3 カラープリンター（RS-232C 方式）で画像をプリントするには	8-6
8.3.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-7
8.3.2 プリンターの設定	8-7
8.3.3 画像の取り込み	8-7
8.3.4 画像のプリント	8-9
8.4 デジタルプリンターで画像をプリントするには	8-10
8.4.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-11
8.4.2 プリンターの設定	8-11
8.4.3 画像の取り込み	8-12
8.4.4 プリントモードの設定	8-13
8.5 静止画記録装置で画像を記録するには	8-14
8.5.1 画像取り込みスイッチの割り当て	8-14
8.5.2 静止画記録装置の設定	8-14
8.5.3 画像の取り込み	8-15
8.6 動画記録装置（動画記録装置のボタン）で動画記録するには	8-16
8.6.1 動画記録装置のボタンで動画記録をする	8-16
8.7 動画記録装置（スコープスイッチ）で動画記録するには	8-18
8.7.1 動画記録スイッチの割り当て	8-18
8.7.2 動画記録の開始	8-18
8.8 内部メモリーへ画像の取り込み	8-19
8.8.1 内部メモリーについて	8-19
8.8.2 画像取り込みスイッチの割り当て	8-20
8.8.3 内部メモリーへ画像の取り込み	8-20
8.9 外部メモリーへ画像のコピー	8-22
8.9.1 外部メモリーについて	8-22
8.9.2 外部メモリーへ画像のコピー	8-22
8.9.3 外部メモリーに記録された画像の確認	8-26

8.10 内部・外部メモリー内の画像を検索、プリントするには.....	8-28
8.10.1 内部・外部メモリー内の検索	8-28
8.10.2 検索した画像の転送.....	8-33
8.10.3 検索した画像の削除.....	8-34
8.10.4 検索した画像のプリント（デジタルプリンターのみ）	8-35

第9章 保管とメンテナンス

9-1

9.1 プロセッサー使用後のお手入れ	9-1
9.2 キーボードの清掃	9-2
9.2.1 キーボードの清掃.....	9-2
9.2.2 キーボードのカバーと交換	9-2
9.3 防塵フィルターの清掃	9-3
9.4 保管するには	9-4
9.4.1 プロセッサーの保管	9-4
9.4.2 送水タンクの保管.....	9-4
9.5 移動するには	9-5
9.6 送水タンクの洗浄と消毒（または滅菌）	9-7

第10章 トラブルシューティング

10-1

10.1 トラブルシューティング	10-1
10.2 エラーメッセージ	10-4

第11章 主な仕様

11-1

11.1 仕様	11-1
◆ 医用電気機器の分類.....	11-1
◆ 装着部	11-1
◆ EP-6000 本体諸元	11-1
◆ 使用環境	11-2
◆ 輸送、保管環境	11-2
◆ 有効期間・使用期限（耐用期間）	11-2
◆ 入出力端子	11-3
◆ ブロック図	11-4
11.2 電磁両立性（EMC）情報	11-5
11.3 本製品に使用されているソフトウェア	11-14
11.4 保証とアフターサービス	11-22
11.5 索引	11-23
11.6 製品のお問い合わせ窓口について	11-27

はじめに

本取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

取扱説明書について

この取扱説明書は、本製品の操作方法、各種設定、システムの設置方法など、本製品を使用するためには必要な事柄を記載しています。

本製品を初めてご使用になる方は、「取扱説明書」を必ずお読みいただいてから、実際の操作を行ってください。また、「取扱説明書」を読み終わった後も「添付文書」と共に製品の近くに保管してご利用ください。

内視鏡、各周辺機器およびカートの使用方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

超音波観測装置の接続方法、電気焼灼器の使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

組み合わせて使用できる医療機器プログラムの使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

周辺機器には以下のものがあります：

- 液晶モニター
- プリンター
- 動画記録装置
- 静止画記録装置
- パーソナルコンピューター
- 医療機器プログラム（EW10-EC グループソフトウェア、EW10-EG グループソフトウェア）

商標

この取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、富士フイルム株式会社および各社の商標または登録商標です。

他社商標

この取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2017-2022 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

本製品の取扱説明書は、大切に保管してください。

プロセッサー EP-6000 取扱説明書

⇒ 本製品の概要、操作方法と操作上の注意事項など、本製品を使用するために必要な内容を記載しています。

※ 本製品は、周辺機器と組み合わせて使用します。「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されている周辺機器の取扱説明書を参照してください。

注意

- ・「取扱説明書」の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・「取扱説明書」の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・弊社、または弊社の指定した業者以外による据付、移設、改造、保守および修理に起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で弊社の製品が受けた故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・弊社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造、保守、修理などに起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・「取扱説明書」に記載されている注意事項や操作方法を守らなかつた結果に基づく故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・「取扱説明書」に記載されている電源、設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・火災、地震、水害、落雷などの天災による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正され、排出事業者である医療機関が、自らの責任で産業廃棄物を処理することが義務づけられました。
- ・自ら処分できない場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託することが必要となります。廃棄の委託を行う際は、法律に基づく処置をお願いします。

取扱説明書の読み方

◆ 用語の説明

用語	説明
リプロセス	内視鏡および付属品をマニュアル洗浄した後に消毒や滅菌を行うことです。
本製品	プロセッサーのことです。
同梱品	本製品に同梱される部品や機器のことです。

◆ 表記の説明

この取扱説明書では、本文中で次の表記の規則を使っています。

表記	説明
警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。 回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある状況を説明します。
(1)、(2)、(3)、…	操作手順の連続する番号は、連続した操作を示します。
参考	注釈や補足を示します。
→	参照項目を示します。

はじめに

第1章 安全にご使用いただくために

1.1 安全性

本製品を使用する前に、以下の注意事項をよく読み、正しく取り扱ってください。

本製品を正しく使用しないと、傷害を受けたり物的損害を起こすことがありますので、必ずお守りください。

警告

- ・医療機器の使用・保守の管理責任は、使用者（病院・診療所）側にあります。また、医師および法的有資格者以外は、ご使用にならないでください。
- ・本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意してください。内視鏡手技を継続できない場合があります。予備の内視鏡がない場合は、開腹手術などの代替手段の準備をしてください。本製品は、内視鏡の手技について十分なトレーニングを受けた医療従事者がご使用になることを前提としています。この取扱説明書には、臨床手技と内視鏡の技術面に関する記載はありません。

注意

- ・機器を改造しないでください！
医療機器は品目ごとに製造販売の承認または認証が必要で、医療機器の「機能の変更」を行なう場合は承認または認証の一部変更申請が義務づけられており、無断改造は禁じられています。
分解、改造により、人体への傷害、機器の破損になる可能性があり、また機能の確保ができなくなります。

◆ 機器の分類

<医用電気機器の分類>

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 電撃に対する保護形式 | クラス I 機器（電源：保護接地付プラグ） |
| 2. 電撃に対する保護程度 | BF 形装着部 |
| 3. 防爆の程度 | 高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中での使用禁止 |

1.1.1 感染に関する注意

警告

- ・異物などが付着したキーボードのカバーは、交換してください。感染のおそれがあります。
- ・カートのスコープハンガーの高さを調整し、内視鏡の挿入部が床につかないようにしてください。感染のおそれがあります。

1.1.2 人体への直接危害

警告

- ・「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- ・本製品は EMC 規格に適合しておりますが本製品から放射される電波は、ペースメーカーなどの医療機器を誤動作させる可能性があります。能動型埋め込み機器使用者に適用する際は、循環器専門医、埋め込み機器製造元に相談して使用してください。本製品が適合している EMC 規格については、この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」を参照してください。

注意

- ・ライト点灯中は、内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。
- ・点灯中にライトを直視しないでください。内視鏡の照明光を直視しないでください。目の障害を起こすことがあります。
- ・光源からスコープコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5分）手を触れないでください。
- ・吸引圧は、40～53kPa に設定してください。吸引圧が高すぎると、内視鏡が吸着して、粘膜が損傷するおそれがあります。
- ・内視鏡接続時は、隙間を作らないよう奥までしっかりと差し込んでください。内視鏡接続部を覗き込まないでください。光源の光により目の障害を起こすことがあります。
- ・明るさレベルが高いと内視鏡の先端部および先端部付近の表面温度が 41℃を超えることがあります。先端部を同一部位に長時間接触させないでください。熱傷するおそれがあります。

1.2 取り扱い上および一般的な注意事項について

本製品を取り扱う際は、以下の注意事項を厳守してください。また、各章にも注意事項が記載されていますので、併せてご注意ください。

1.2.1 使用目的

本製品は、当社の医用内視鏡、モニター、記録装置、各種周辺機器と組み合わせて、医師の管理下で医療施設において観察、診断、経内視鏡的治療および画像記録を行うことを目的としています。

警告

- ・この目的以外には、使用しないでください。
- ・すべての観察部位を、画像強調観察だけでなく、通常観察を含め総合的に観察、診断すること。正しい観察、診断ができないおそれがあります。画像強調観察で得られる情報は参考情報であり、診断の妥当性を保証するものではありません。

1.2.2 設置

警告

- ・本システムは、サービスマンが設置を行う構造となっています。本システムの設置は、必ず弊社指定のサービスマンに依頼してください。

1.2.3 臨床手技について

警告

- ・本製品は、内視鏡の手技について十分な研修を受けられた方がご使用になることを前提としております。この取扱説明書では、臨床手技には立ち入っておりません。臨床手技については、諸先生方のご専門の立場から判断していただくようお願いいたします。

1.2.4 色調の違いについて

警告

- ・FICE または BLI、BLI-bright、LCI をお使いになる場合は、通常の観察画像と FICE 画像または BLI、BLI-bright、LCI 画像との色調および明るさの違いを十分に把握した上で使用してください。診断の際は通常の観察画像でもご確認ください。

1.2.5 機能の喪失

注意

- ・検査中または処置中に内視鏡画像の異常（消える、暗くなる、明るくなる、変色するなど）があった場合は撮像部が損傷している可能性があります。エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。そのまま使用を続けると、内視鏡先端部が発熱し、火傷や傷害の原因になります。
- ・FullHDに対応していないモニターを接続時に、出力解像度設定を「FullHD」に設定すると、映像が正常に表示されなくなります。その場合は [Ctrl]、[Alt]、[S] キーを同時に押してください。設定が「SXGA」に切り替わりブザーが鳴ります。ブザー音を確認したら、プロセッサーを再起動してください。ブザーが鳴らない場合は押すキーに間違いかないか再度確認してください。
※プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。
※内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

1.2.6 機器の組み合わせ

警告

- ・本製品は、周辺機器と組み合わせて使用します。感電事故を防止するために、「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない周辺機器は、使用しないでください。

注意

- ・動作時の使用環境について、本製品を含め、組み合わせて使用する機器すべての動作環境を満たす環境で使用してください。

1.2.7 機器の設置

警告

- ・機器を設置する場合は、感電事故や機器の落下を防止するため、次の注意事項をお守りください。
<感電事故の防止>
 - ・「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載の機器を、「4.1 システムの設置」に基き接続・設置してからお使いください。
 - ・本製品の電源プラグは、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに差し込む。
 - ・電気焼灼器の電源は、カートに接続してはならない。
 - ・本製品の電源は、床に置いた電源コードに接続してはならない。
 - ・2台目のカートの電源を1台目のカートに接続してはならない。
 - ・追加のマルチタップまたは延長コードをカートに接続しない。
 - ・カートのマルチタップには、システムを構成する機器の中で、カートに搭載する機器以外の電源は接続しない。
 - ・周辺機器を組み合わせて使用する場合は、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに接続してください。絶縁トランスを介さないマルチタップに接続した場合、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
 - ・カートのマルチタップに接続する全ての機器の動作電圧、周波数が使用するカートの定格内である事を確認してください。また絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計および絶縁トランスを介したマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計それぞれが、カートの許容電流容量以内である事を確認してください。感電、機器の故障の原因になります。
 - ・使用するカートに搭載する絶縁トランスおよびマルチタップは、IEC 60601-1 のシステム要求適合品としてください。感電のおそれがあります。
 - ・ネットワークを使用する場合、本製品に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

警告

<機器の落下の防止>

- ・周辺機器を重ねて載せない。
- ・機器の足が、ストッパーの内側に収まるように載せる。
- ・機器の足が、カートの可動棚のストッパーの内側に収まるように載せる。
- ・使用するカートに搭載されるモニターアームおよびモニターは、以下の状態で使用しないでください。安定性が無くなり転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
 1. 本製品を搭載していない。
 2. モニターを正面以外に向ける。
 3. モニターアームを後ろ方向に伸ばす。
- ・カートは搭載する機器すべての重量の合計以上の積載荷重のものを使用してください。転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- ・使用するカートの各棚の積載荷重は、搭載する機器の重量に対して余裕をもったものとしてください。搭載機器の落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- ・本システムは、サービスマンが設置を行う構造となっております。本システムの設置は必ず弊社指定のサービスマンに依頼してください。サービスマン以外が設置した場合、感電や機器の転倒により、骨折などのけがをするおそれがあります。

<雷による誤作動の防止>

- ・病院、診療所の構造設備に適合した電源に接続してください。

注意

- ・使用する電源コードの最大許容電流に従って医療システムを構成します。
- ・カートに搭載されているマルチタップは本システムに使用する機器にのみ使用してください。他の機器に使用した場合、電流容量が増加し、機器が正常に動作しないおそれがあります。
- ・機器の移動や設置は2人以上で行ってください。けがをするおそれがあります
- ・カートに搭載されるモニターの位置を調整する場合は、モニターが意図した位置で固定されるようにアームが調整されている事を確認してください。アームの調整が不完全な状態でモニターの位置を調整すると、意図した位置でモニターがとまらず、以下の事象を引き起こすおそれがあります。
 1. アームの隙間にはされ、指を傷つける。
 2. モニターがカートおよび機器に接触し、機器を壊す。
- ・モニターはカートに固定して使用してください。落下のおそれがあります。
- ・カートは水平な場所に設置してください。転倒や破損の原因となります。
- ・電気コネクターソケットに600システムスコープまたは500システムスコープを挿入した状態で、700/6000システムスコープをスコープコネクタに装着しないでください。
- ・電源コード、接続したスコープに引っかかりのない位置に機材を設置してください。装置の転倒、落下、画面の消失、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- ・本機と周辺機器の接続は、入力端子と出力端子を間違いなく接続すること。間違った接続を行なうと、機器故障の原因となる場合があります。
- ・本機の左側面と背面に換気口があります。ふさがないでください。

1.2.8 機器の運搬

警告

- ・プロセッサーの重量は、運搬の際に物理的な傷害を引き起こすおそれがあります。運搬するときは、二人で行ってください。
- ・使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- ・カートを段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるように対角方向へ動かしてください（必要なら持ち上げながら動かしてください）。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください（段差の乗り越えは3人以上で行います）。カートが転倒したり、積載機器が落下してけがをするおそれがあります。積載機器が落下した場合、機器が故障するおそれがあります。

注意

- ・カートの移動は2人以上で行ってください。カートが転倒してけがをするおそれがあります。
- ・モニターの向きを正面にして移動させてください。転倒してけがをするおそれがあります。
- ・移動させる際は搭載機器を押さないでください。機器が落下して故障するおそれがあります。
- ・移動は送水タンクを取り外して行ってください。水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。
- ・移動は内視鏡を取り外して行ってください。内視鏡を壊すおそれがあります。

1.2.9 感電に対する注意

警告

- ・定格の電圧でお使いください。それ以外の電源は、火災、感電、故障の原因となる場合があります。
- ・電源プラグは、保護接地付コンセントに直接接続してください。組み合わせて使用する周辺機器は、該当する安全規格（IEC、ISO、JIS、電気用品安全法）に適合しているものを使用してください。正しく使用しないと、感電事故を起こすおそれがあります。
- ・システムを構成する機器の端子と患者を同時に触らないでください。感電するおそれがあります。
- ・組み合わせて使用する周辺機器の電源をカートの絶縁トランスを介さないで接続した場合、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。

1.2.10 爆発に対する注意

警告

- ・高酸素濃度環境、可燃性ガス霧団気中で使用しないでください。火災や爆発を起こすおそれがあります。

1.2.11 異物・液体

警告

- ・内部に異物や水、薬品等が入ると火災・感電の原因となる場合があります。万一内部に液体が入った場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
- ・給電部に内視鏡以外の金属は近づけないでください。発熱することがあります。
- ・スコープコネクタ部に異物がないことを確認して接続してください。給電部に異物が挟まると機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。また、異物が発熱して危険です。異物を挟んでしまった場合は、直接手では異物を触らず、内視鏡を引き抜いてから指定された方法で清掃を行ってください。
→「9.1 プロセッサー使用後のお手入れ」
- ・受信窓、通信窓に異物、汚れがないことを確認して接続してください。受信窓、通信窓に異物、汚れがある場合は、機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- ・スコープコネクターは受電部を含めて十分に乾燥した状態で本製品に接続してください。また、受電部に水分や異物（金属片、薬液残渣、水あか、皮脂の汚れ、ほこり、ガーゼの纖維など）がないことを確認してから接続してください。ボール受けが濡れていれば異物が付着したまま接続すると、機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。

1.2.12 高電圧

注意

- ・機器の内部には、電圧の高い部分があります。サービスマン以外の方は、内部に触れないでください。

1.2.13 保守

注意

- ・長時間使用していると機器の傷みが進むため、6ヶ月に一度弊社指定のサービスマンによる点検を受けてください。また、患者に使用中に少しでも機器に異常を感じた場合は、内視鏡の取扱説明書にしたがって内視鏡を患者から慎重に引き抜いてください。その後、ただちに機器の使用を禁止し点検を受けてください。
- ・機器の分解・改造は絶対に行わないでください。点検については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
- ・検査中または処置中に、本製品の保守や修理を行なわないでください。
- ・システムを構成する機器の保守、点検、清掃については、それぞれの取扱説明書にしたがってください。

1.2.14 準備と点検

注意

- ・本製品が故障するなど不測の事態に備えて、使用前に本製品の予備を用意してください。内視鏡手技を継続できない場合があります。
- ・不測の事故を回避し、機器の性能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書の手順に従って、使用前の点検を行ってください。
- ・特に映像の異常は、診断を行う上で誤診をまねくおそれがあります。点検の結果、異常があったものは使用しないでください。

1.2.15 先端部の温度

注意

- ・長時間、内視鏡の先端より大光量で照明光を射出していると、先端部の温度が41℃を超える場合があります。内視鏡をカートのハンガーに掛けておく場合は、ライトを消灯してください。

1.2.16 廃棄について

注意

- ・本製品は、二酸化マンガン・リチウム電池を使用しております。機器を廃棄する場合には、法規に定められた手順に従ってください。詳細については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

1.2.17 セキュリティ機能

注意

- ・ログインすると、電源を切るまで、すべての情報にアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。
- ・パスワードを忘れてログインできなくなった場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

1.2.18 取り扱い

注意

- ・本製品の分解や改造はしないでください。クラス I を超える放射強度になる場合があります。
- ・指定された方法で清掃を行ってください。指定外の清掃を行った場合、機器が故障するおそれがあります。
→「9.1 プロセッサー使用後のお手入れ」
- ・流水洗浄や浸漬消毒をしないでください。消毒、殺菌、滅菌は行わないでください。故障の原因となります。
- ・接点には直接手を触れないでください。接点をアルコール以外の液体で拭かないでください。腐食、故障の原因となります。
- ・給電部に内視鏡以外の金属は近づけないでください。発熱することがあります
- ・感染および静電気防止のため、内視鏡に触れるときは、保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服、帽子、靴用カバーなど）を着用してください。
- ・本製品を含む機器に触れるときは、保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服、帽子、靴用カバーなど）を着用してください。

1.2.19 等電位化

- ・本システムは、等電位化端子を備えています。病院、診療所で等電位設置を求められた場合に使用してください。

1.2.20 システムのバージョンについて

- ・本製品の制御は、ソフトウェアで行われています。このため、操作方法はソフトウェアを含むシステムのバージョンによって異なります。この取扱説明書では、System : Ver.1.000～1.099、EX-CAD : V1.0～1.99、740/SU : V1.0～1.99、710 : V1.0～1.99 の操作について説明します。システムバージョンは、[Shift]キーを押しながら[コメント入力]キーを押したときに表示される画面の「System」と「EX-CAD」「740/SU」「710」の項目で確認できます。

1.2.21 電磁波障害

- ・本製品は、電磁波を発生、使用、および放射することがあります。本製品を使用する環境で電磁波による問題が起こらないように、以下の注意事項をよく読み、本製品や周辺にある他の機器類を正しく取り扱ってください。

この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」に従って、設置して使用してください。

警告

- ・本製品を他の機器に近づけて使用したり、積み重ねて使用しないでください。本製品を他の機器に近づけて使用したり、積み重ねて使用する場合は、本製品および他の機器が正常に動作することを確認してください。動作異常の原因となるおそれがあります。
- ・携帯形および移動形のRF通信機器を本製品のあらゆる部分から30cm以内に近づけて使用しないでください。動作異常の原因となるおそれがあります。
- ・この取扱説明書に記載されているケーブルを使用してください。この取扱説明書に記載されていないケーブルを使用すると、本製品の電磁干渉の増加、または電磁イミュニティの低下を生じるおそれがあります。

注意

- ・本製品は、指定の環境下で指定された方法で使用してください。意図しない画像（回転または反転した観察画像、観察画面以外の画面など）が表示されてしまうおそれがあります。
- ・本製品は試験の結果、IEC 60601-1-2^{*1}に規定されている医療機器に関する制限事項に適合することが確認されています。これらの制限事項は、病院や診療所などの専門の医療施設での一般的な設置の際に、有害な電磁干渉に対する適切な保護を提供するように設定されています。しかしながら、本製品は、取扱説明書に従って設置し使用された場合においても、周辺にある他の機器に有害な電磁干渉を起す可能性があります。また、特定の設置状況において電磁干渉が生じないことを保証するものではありません。したがって、本製品が他の機器に有害な電磁干渉を起すことが判明した場合、これは本製品の電源のオン・オフを切り替えることで確認できますが、電磁干渉を是正するために以下の措置の1つ以上を実施することを推奨します。
 - ・干渉を受けている機器の向きを変えるか、位置を変えます。
 - ・機器間の間隔を拡げます。
 - ・製造販売業者または販売業者に相談します。

電磁波の干渉により、本装置に接続したモニター上にノイズが現れる場合があります。その場合は、電磁波を発生している機器の電源を切るか、遠ざけてください。

^{*1} この製品のシリアル番号の左端の英数字が4以上またはJからZのいずれかの場合、IEC 60601-1-2 : 2014 の要件に適合しています。シリアル番号が上記以外の場合、この製品はIEC 60601-1-2 : 2007 の要件に適合しています。

- ・本製品を強力な電磁波を発生する装置（MRI等）の近くで使用しないでください。動作異常の原因となるおそれがあります。
- ・本製品を電気焼灼器と組合わせて使用する場合は、電気焼灼器と高周波処置具の取扱説明書に記載されている指示に従ってください。

1.2.22 システムソフトウェアを搭載した装置（EX-WS）との接続使用について

注意

- EP-6000 に EX-WS を接続して使用するとき、モニターは、EX-WS 以外に必ず EP-6000 と接続してください。
- EX-WS に接続したモニターの画像には、EW1 システムソフトウェアを経由した画像とわかる表示がされます。表示の詳細については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- EX-WS の設定画面を表示しているときは、EP-6000 に接続されているモニターに「EX-WS のメニュー表示中です」と表示します。

1.2.23 主な有害事象

この製品の使用中に次の有害事象が発生する可能性があります：

心肺停止、感染、感電、誤診、開腹手術への移行、損傷、熱傷、眼損傷、炎症、組織損傷、骨折、検査中断、時間延長、検査中止、腹部膨満、挫傷、不快感

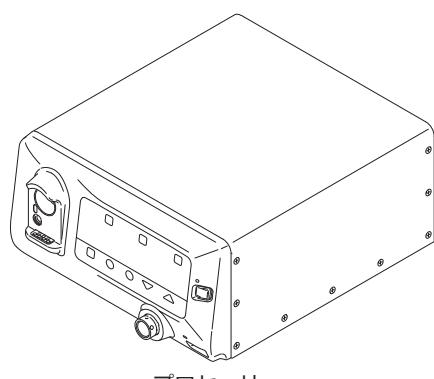
第2章 システム構成

2.1 同梱品の確認

次の図を参照し、同梱品がそろっているかどうかを確認してください。また、同梱品に破損がないことを点検してください。万一、同梱品の不足や破損があった場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

◆ 同梱品

参考 () 内は数量



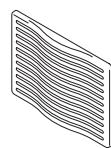
プロセッサー
EP-6000 (1)



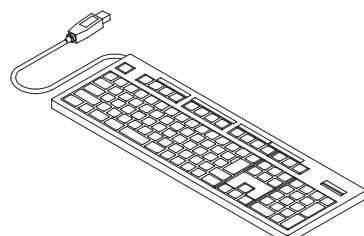
ソケット保護キャップ
CC-203 (1)



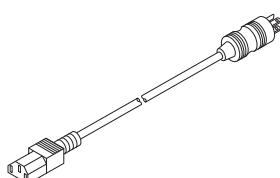
LAN コネクタガード (1)



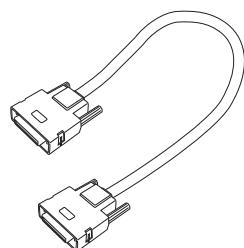
ルーバー (1)
防塵フィルター (1)



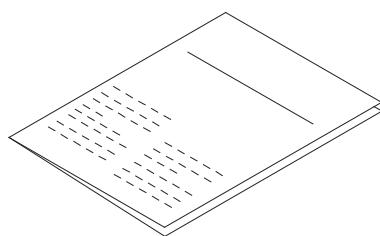
データキーボード
DK-6000 (1)



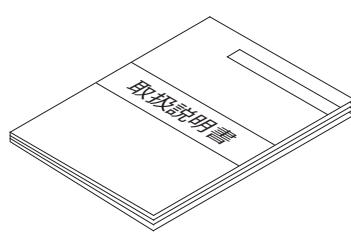
電源コード (1)



WC-LINK ケーブル (1)



添付文書 (1)



取扱説明書 (1)

2.2 組み合わせて使用可能な機器

本製品と組み合わせて使用可能な機器の例を以下の表に示します。

※ 炭酸ガス送気装置や送水装置など、この取扱説明書に記載されていない機器の詳細については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

表 2.1 標準システムを構成する機器

種類	機種名	
プロセッサー	EP-6000	
データキーボード	DK-6000	
内視鏡 ^{※1}	600 システムスコープ 500 システムスコープ ^{※2}	700 システムスコープ 6000 システムスコープ
送水タンク	WT-4	WT-603
液晶モニター ^{※4}	CL-22 ^{※3} 、CL-24 ^{※3} 、CCL220/AR ^{※3} 、CCL244/AR ^{※3} 、EX2621-FJ	

※ 1 使用できる画像強調機能（特殊光観察モード：BLI・BLI-bright・LCI、FICE）は内視鏡の機種ごとにことなります。

- 「7.10 観察モードの切り替え」
- 「7.12 FICE の切り替え」

※ 2 590 シリーズスコープ、EG-530UT2、EG-530UT、EG-530UR2、EG-530UR、ED-530XT8、EG-530NP、EG-530N、EG-530N2、EG-530NH、EC-530XP、EI-530B、EG-530UL2 を除く。

※ 3 CL-22：モデル名 CL22220-FFCL22

CL-24：モデル名 CL24244-FFCL24

CCL220/AR：モデル名

CL22220-W1WD0J、CL22220-W1WD0E、CL22220-W1WD0U、CL22220-W1WD0C

CCL244/AR：モデル名

CL24244-W1WD0J、CL24244-W1WD0E、CL24244-W1WD0U、CL24244-W1WD0C

※ 4 周辺機器

表 2.2 システム構成を拡張する場合に標準システムと一緒に使用可能な機器

種類	機種名
超音波観測装置	SU-1、SP-900、SU-9000
プリンター ^{※3}	UP-25MD ^{※1} (SONY 製)、UP-55MD (SONY 製)、 UP-D25MD (SONY 製)、CP900D-F (三菱電機製)
動画記録装置 ^{※1※3}	HVO-3300MT ^{※2} (SONY 製)、HVO-1000MD ^{※2} (SONY 製)、 HVO-550MD (SONY 製)、 EJ-RA02N (Panasonic 製)、
静止画記録装置 ^{※3}	MV-3CH (ティアック製)
パソコン用コンピューター ^{※3}	EX-WS ^{※4} 、EX-1 (EIZO 製)

※ 1 本製品の RS-232C 端子、デジタルプリンター端子と接続して使用することはできません。

※ 2 RGB IN 端子に本製品の RGB TV 端子出力信号を入力して記録はできません。

※ 3 周辺機器

※ 4 表 2.3 のソフトウェアを搭載した PC

表 2.3 システム構成を拡張する場合に標準システムと一緒に使用可能な医療機器プログラム

EW1 システムソフトウェア ^{※1}	
内視鏡検査支援プログラム	EW10-EC グループソフトウェア
	EW10-EG グループソフトウェア

※ 1 EW 1 システムソフトウェアを使用するには設定が必要です。設定はサービスマンが行います。

表 2.4 システムを構成するのに使用できるカートの仕様

※ 表中の「標準システム」「拡張システム」については、本書「2.3 標準システム構成」および「2.4 システムの拡張」を参照してください。

※ 電気用品安全法に適合したもの（PSE マークの表示があるもの）を使用すること。

サイズ (W × D × H)	595 × 585 × 300 (mm) 以上 ^{※1}
総許容容量 (総耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> カートに搭載する機器全ての重量の合計以上であること。 <ul style="list-style-type: none"> - 35kg 以上 (標準システム) - 65kg 以上 (拡張システム 1) - 50kg 以上 (拡張システム 2)
モニターのホルダ、 アームの総耐荷重 (モニターアームの 耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> カートに搭載するモニターの重量以上であること ^{※2} <ul style="list-style-type: none"> - 8.5kg 以上 (EX2621-FJ 使用時) - 7.5kg 以上 (CL24244 使用時)
棚の許容容量 (棚の耐荷重)	<ul style="list-style-type: none"> 搭載する機器の重量の合計以上であること ^{※3} <ul style="list-style-type: none"> - 15kg 以上 (標準システム、拡張システム 2 の EP-6000 搭載棚) - 28kg 以上 (拡張システム 1 の EP-6000、SU-1 を同じ棚に搭載時) - 13kg 以上 (拡張システム 1 の SU-1 を別の棚に搭載時)
棚の構造	<ul style="list-style-type: none"> 機器の落下防止のためのストッパーを設けてあること
キャスター	<ul style="list-style-type: none"> すべてのキャスターにブレーキ機能またはロック機構を有している ^{※4} Φ 130mm 相当、あるいはそれ以上の物 ^{※4}
電源	<ul style="list-style-type: none"> カートに搭載する全ての機器の使用電圧、周波数範囲内であること カートに搭載する機器（絶縁トランジスを介さないで電源に接続する機器および絶縁トランジスを介して電源に接続する機器それぞれ）の電力の合計より出力電流容量が大きいこと ^{※5} 過電流保護装置を搭載していること
絶縁トランジス (分離変圧器)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な絶縁性能（耐電圧性能）を有している物 ^{※6} 接地漏れ電流：正常状態で 180μA 以下 ^{※7} 許容出力電流容量（絶縁トランジスおよびその出力のマルチタップ）^{※5} <ul style="list-style-type: none"> - 1.2A 以上 (標準システム) - 3.5A 以上 (拡張システム 1、2) 過渡電流容量 ^{※5} <ul style="list-style-type: none"> - 10A 以上 (※ 6ms) (標準システム) - 55A 以上 (※ 2ms) (拡張システム 1) - 67A 以上 (※ 2ms) (拡張システム 2) <p>※：ピーク電流から $0.368 \times$ ピーク電流までの時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力経路に過電流保護機能を有している物

マルチタップ	<ul style="list-style-type: none"> ・許容出力電流容量（絶縁トランスを介さないマルチタップ）※⁵ <ul style="list-style-type: none"> - 2.0A 以上（標準システム、拡張システム 2） - 3.5A 以上（拡張システム 1） ・口数 ※⁸ <ul style="list-style-type: none"> - 絶縁トランスを介す口数：4 以上 - 絶縁トランスを介さない口数：2 ・許容電力あるいは許容電流を表示している物 ・クラス I 構造品（保護接地付き）※⁶ ・カートの電源プラグの保護接地ピンと搭載機器の保護接地部分間のインピーダンスが 200m Ω未満となる構造の物 ・工具を使わないとコネクタにアクセスができない構造のもの
機器間の配線	<ul style="list-style-type: none"> ・機械的な損傷がない状態で配線できる物

※ 1 4.1 項参照

※ 2 EX2621-FJ 使用時（AC アダプターの重量は考慮しない）

※ 3 他の棚に関しても、搭載機器の重量以上である事

※ 4 斜面、床の凹凸に十分注意して移動を行う事

設置時は必ずロック、ブレーキをかける事

機器設置についての警告、注意、方法：1.2.7、4.1 項参照

機器の運搬についての警告、方法：1.2.8、9.5 項参照

※ 5 電源入力 100V ~ 60Hz 時の測定値

※ 6 絶縁トランスおよびマルチタップは JIS T 0601-1 (IEC/EN 60601-1) システム要求適合品を使用する事

※ 7 最大構成時における絶縁トランスの接地漏れ電流の許容参考値

組み合わせ機器について：1.2.6、2.2、4.1 項参照

感電に対する注意：1.2.7、1.2.9、4.1 項参照

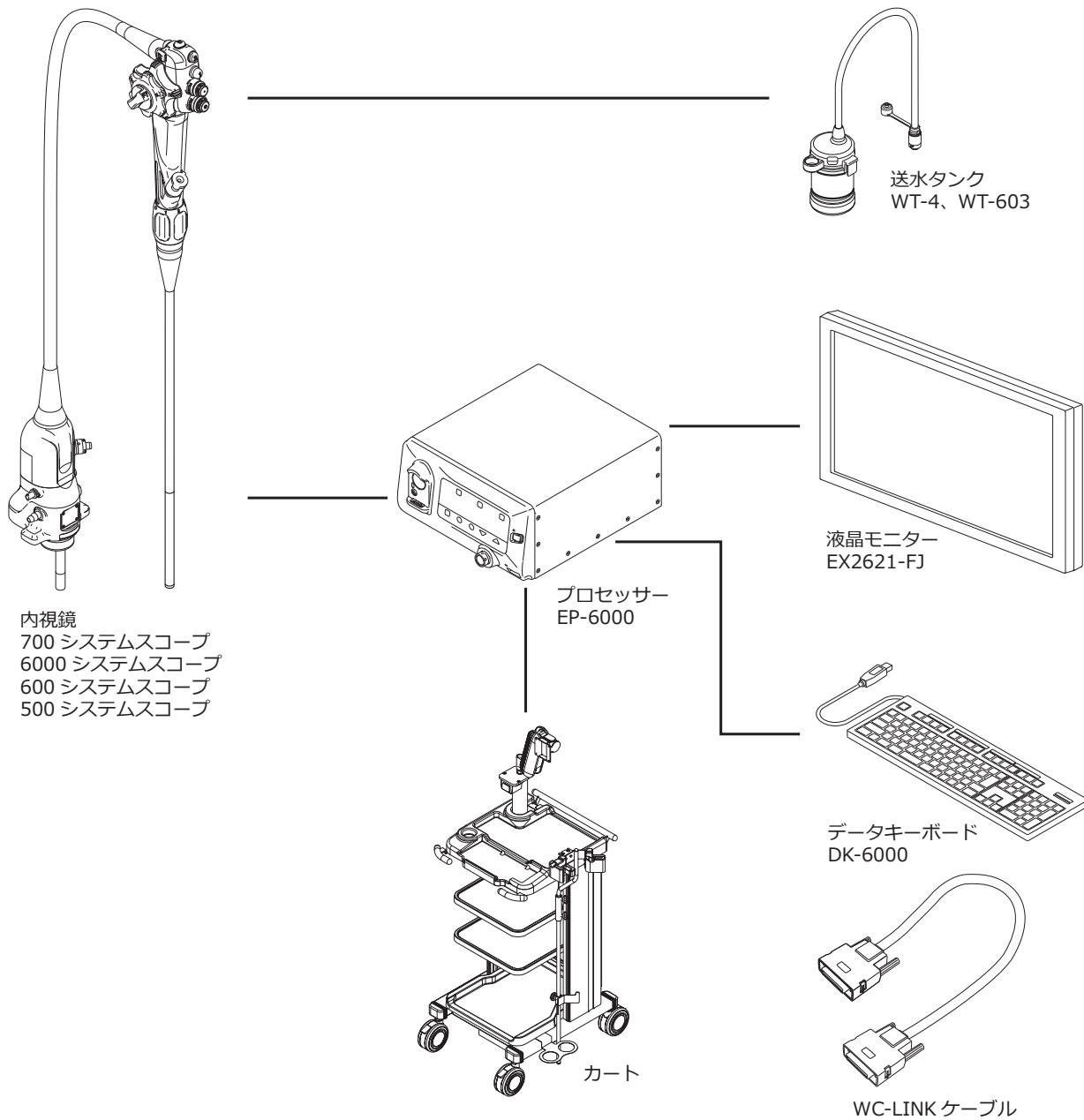
※ 8 拡張システム 1 の場合、絶縁トランスを介さないマルチタップの口数は 2 個。拡張システム 1 および拡張システム 2 の場合、絶縁トランスを介すマルチタップの口数が 4 個以上必要

参考

- ・システムを構成する機器の保守、点検、清掃に関しては、それぞれの取扱説明書に従ってください。
- ・システムを構成する全ての機器が適用できる環境にて、使用、保管、輸送してください。
- ・システムを構成する機器の保証期間に関しては、それぞれの取扱説明書に従ってください。

2.3 標準システム構成

標準システム構成は、通常の内視鏡検査に必要な最小限のシステム構成です。
モニター上の観察（診断）、生検が行えます。



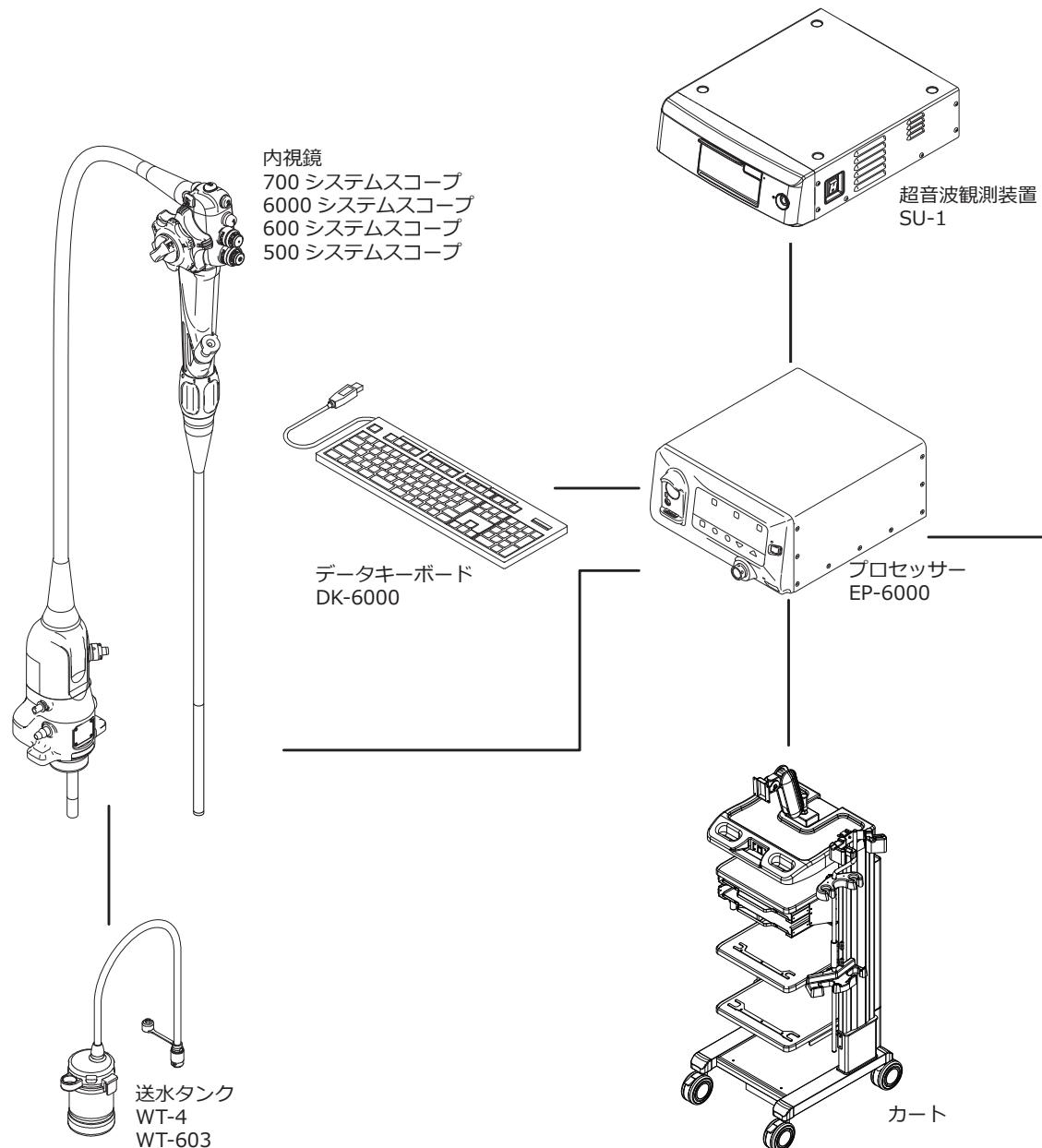
2.4 システムの拡張

本システムは、標準システム構成に各種機器を接続してシステムを拡張することができます。システムの拡張により、次のようなことが可能になります。

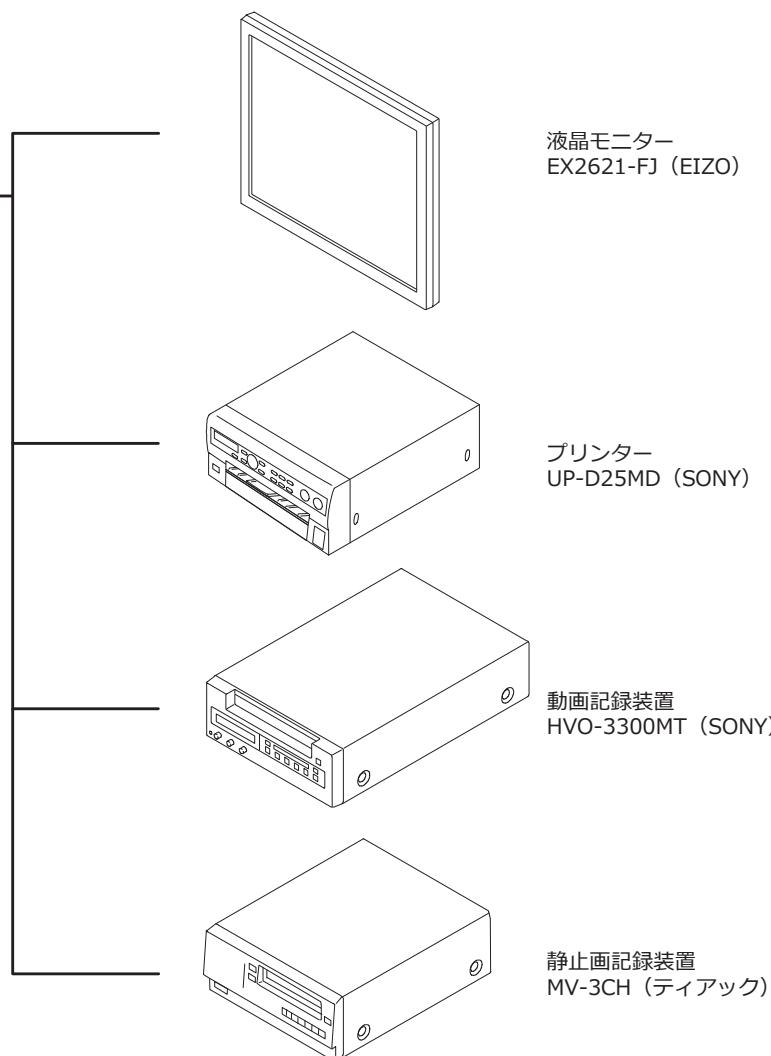
- ・経内視鏡治療
- ・超音波検査
- ・動画像の録画
- ・静止画像のプリント
- ・静止画像の記録

拡張システムの構成例を下記に示します。

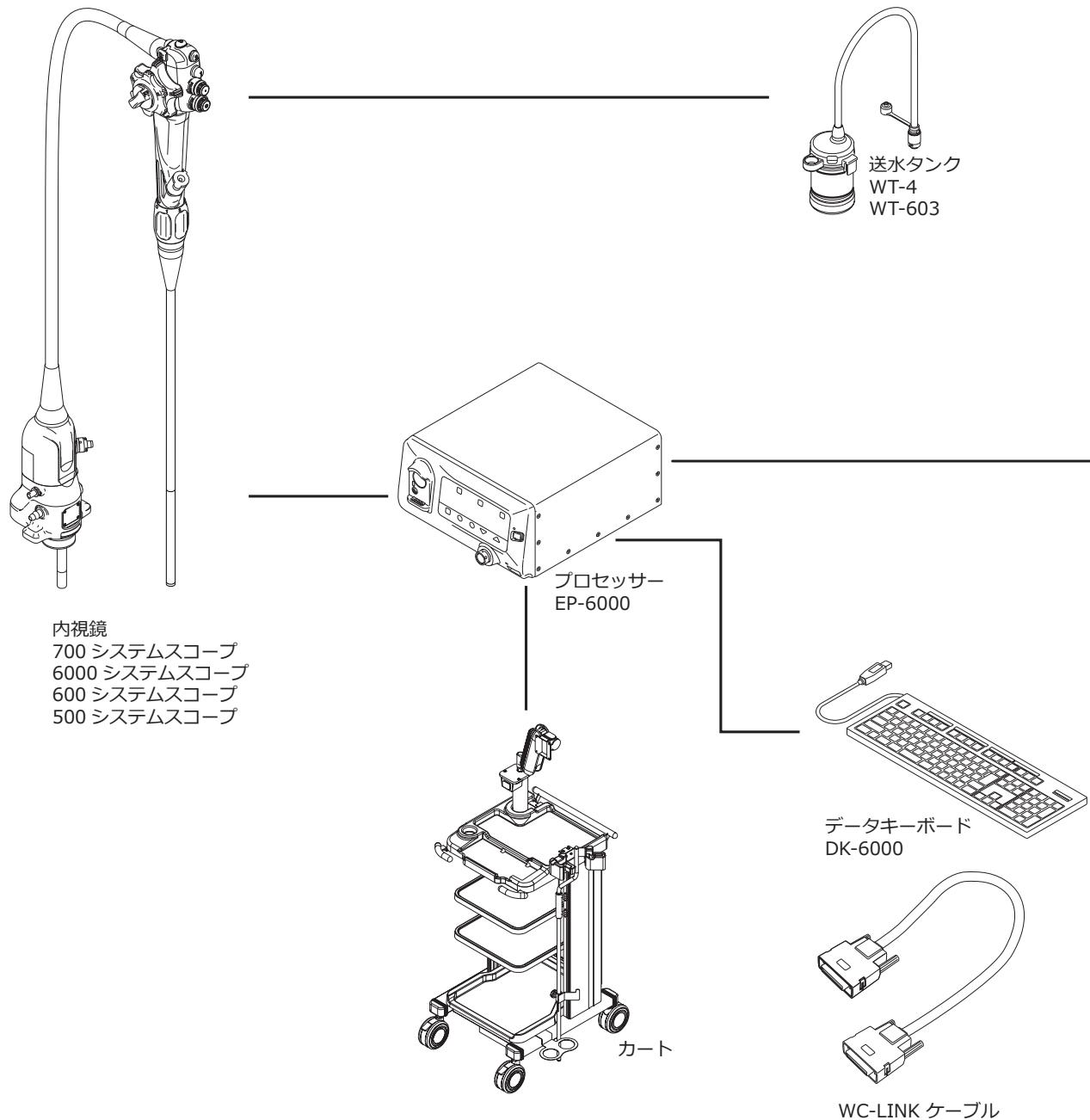
拡張システム 1



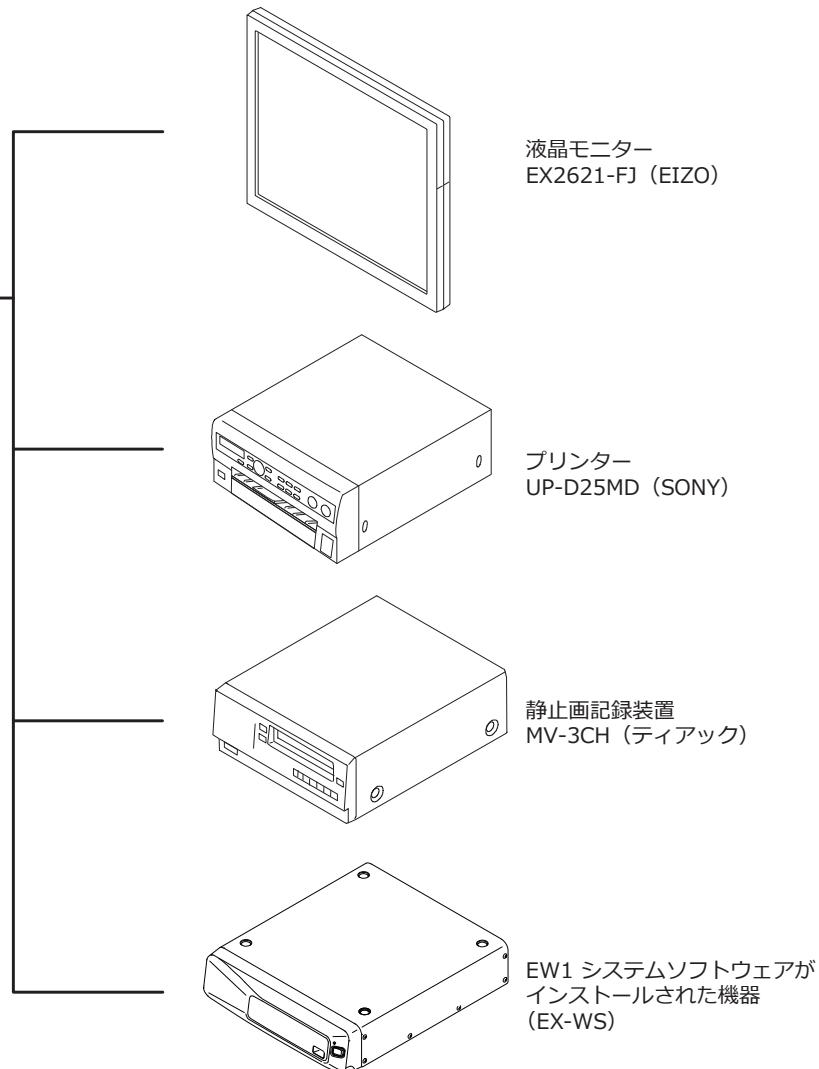
参考 ここに記載されている周辺機器以外の接続については、お買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。



拡張システム 2

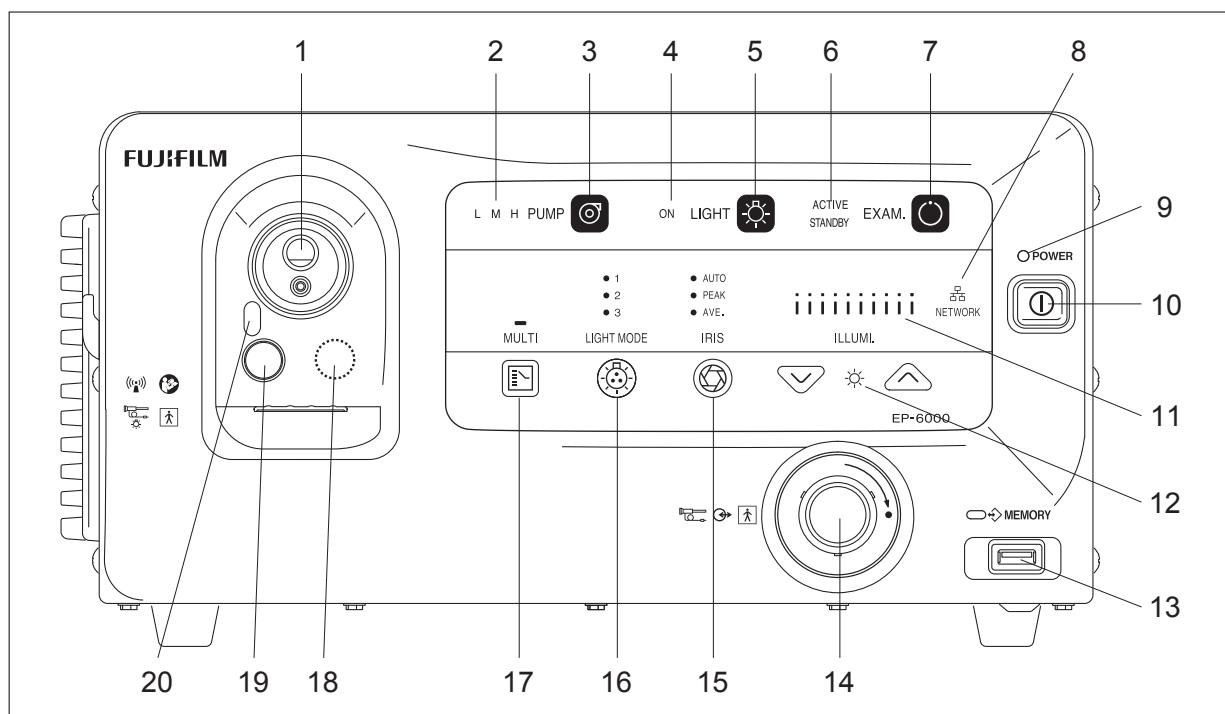


参考 ここに記載されている周辺機器以外の接続については、お買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

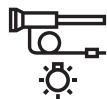


第3章 各部の名称と機能

3.1 前面パネル



1. スコープコネクターソケット



内視鏡のスコープコネクターまたは LG コネクターを接続します。

2. 送気表示灯

L M H

送気ポンプの「H (強)」、「M (中)」、「L (弱)」を表示します。

3. 送気ボタン



送気量を「H」、「M」、「L」、OFF に切り替えるボタンです。

4. ライト点灯

ON

ライトが入のときに点灯します。

5. ライトボタン



ライトを入／切するボタンです。(ライトは検査開始直前に点灯してください。)

入：青色に点灯

切：オレンジ色に点灯

参考 すぐに検査を行わない場合は、いったん消灯してください。

6. 検査表示灯

ACTIVE 接続したスコープの状態を表示します。

STANDBY 内視鏡電源・入：青色の「ACTIVE」が点灯

内視鏡電源・切：検査ボタンを約2秒間押し続けてください。

「STANDBY」がオレンジ色に点滅している間は内視鏡を取り外さないでください。

「STANDBY」がオレンジ色に連続点灯すれば内視鏡を取り外せます。

参考 内視鏡の電源を切る時は、検査ボタンを約2秒間、押し続けてください。「STANDBY」がオレンジ色に点滅している間は、連続点灯するまで内視鏡を取り外さないでください。

7. 検査ボタン



EXAM. 内視鏡の電源を入／切するボタンです。

8. ネットワークアクセスランプ



ネットワークの接続状態を表示します。

- 接続時：緑色に点灯
- 通信時：オレンジ色で点滅
- エラー時：オレンジ色に点灯

9. 電源表示灯



POWER 電源が入のときに点灯します。

10. 電源ボタン



電源を入／切するボタンです。

11. インジケーター

||||| ライト点灯時に、照明光量を表示します。

ILLUMI.

明るさ調整ボタンを押した時に、基準となる明るさレベルを表示します。

12. 明るさ調節ボタン



自動調光レベルを調整するボタンです。

13. メモリースロット／メモリーアクセスランプ

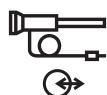


外部メモリーを接続します。



→「5.4.2 画像メモリータブ」

→「8.9 外部メモリーへ画像のコピー」

14. 電気コネクターソケット

600 システムスコープまたは 500 システムスコープの電気コネクターを接続します。

15. 測光モードボタン

測光モードの「AUTO」と「PEAK」と「AVE.」を切り替えます。

→ 「7.15 測光モードの切り替え」

**16. 照明モードボタン**

観察モードを「1」、「2」、「3」、切に切り替えます。

→ 「7.10 観察モードの切り替え」

**17. マルチボタン**

ボタンに各機能を割り当てることができます。

初期設定：光量制限

→ 「4.2.3 切替設定タブ」

→ 「7.9 光量制限」

18. 給電部

内視鏡へ電力を供給します。

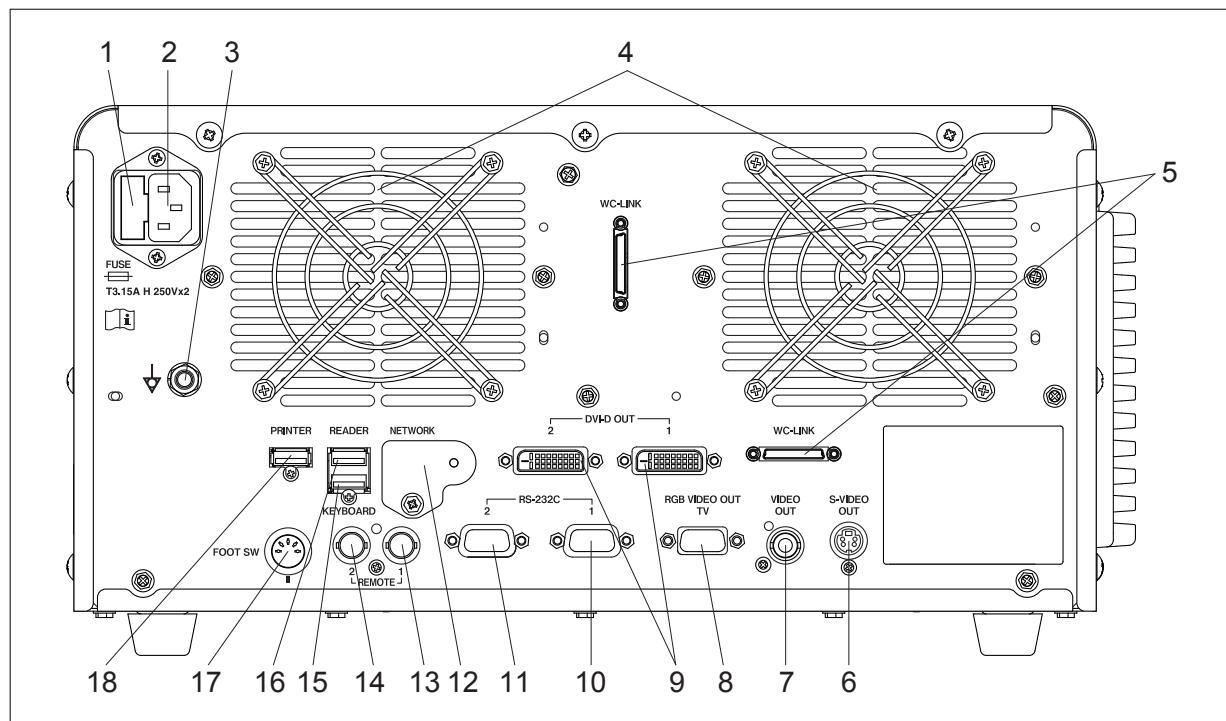
19. 受信窓

内視鏡からのデータを受信します。

20. 通信窓 (LED)

内視鏡と情報を通信します。

3.2 背面パネル



1. ヒューズホルダー

FUSE T3.15AH 250V のヒューズが 2 本入っています。



2. 電源接続部

付属の電源コードを接続します。

3. 等電位化端子



等電位プラグを接続します。

必要に応じて、安全の為に本製品と接続する周辺機器にある等電位化端子と接続し、本製品と周辺機器の電位を合わせます。

4. 通気口

内部を冷却するための通気口です。

5. WC-LINK ケーブル端子

WC-LINK ケーブルで接続するための端子です。

6. S ビデオ端子

映像信号を Y (輝度) 信号と C (色) 信号に分離して出力します。

7. ビデオ端子

コンポジットビデオ信号を出力します。

8. RGB TV 端子

R、G、B、SYNC の映像信号を出力します。

9. DVI-D 端子

液晶モニターとモニターケーブルで接続するための端子です。デジタル画像信号を出力します。

10. RS-232C 端子 1

RS-232C 接続の周辺機器との間で通信を行うために接続します。

11. RS-232C 端子 2

RS-232C 接続の周辺機器との間で通信を行うために接続します。

12. ネットワーク端子

ネットワークに接続します。

参考 この端子を使用する場合は、金属の蓋を取り外し、LAN コネクターガードに付け替えてください。

13. リモート端子 1

周辺機器を制御するトリガー信号を出力します。スコープスイッチまたはフットスイッチでトリガー、録画機能を使用したときに信号を出力します。

14. リモート端子 2

周辺機器を制御するトリガー信号を出力します。スコープスイッチまたはフットスイッチでトリガー、録画機能を使用したときに信号を出力します。

15. キーボード端子

データキーボード DK-6000 を接続します。

16. リーダー端子

リーダーを接続します。

17. フットスイッチ端子

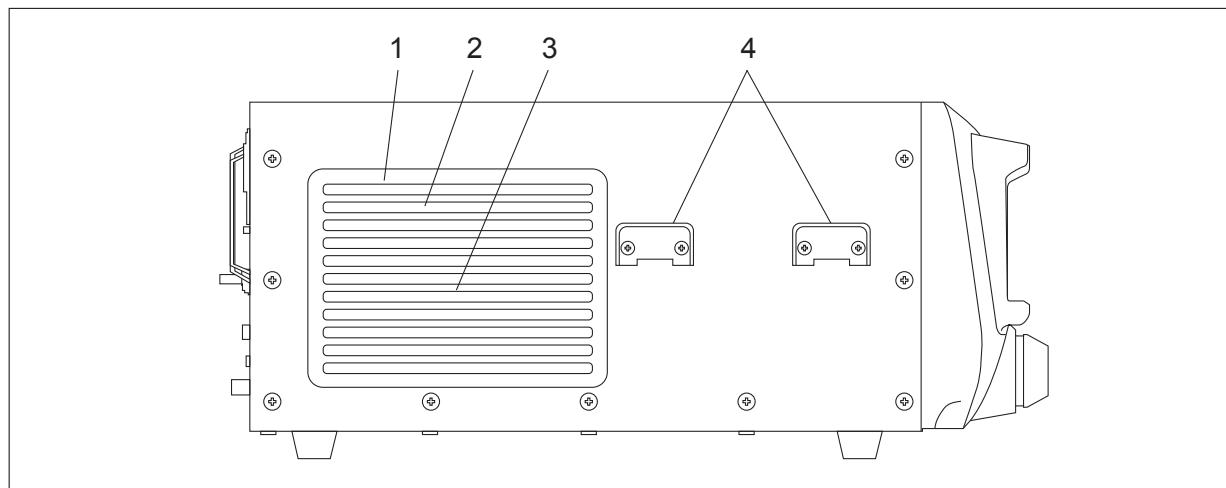
フットスイッチ FS1 を接続します。

18. デジタルプリンター端子

デジタルプリンターに接続します。

3.3 側面パネル

<左側面>



1. ルーバー

防塵フィルターがセットされています。

2. 防塵フィルター

内部へホコリの侵入を防ぐフィルターです。

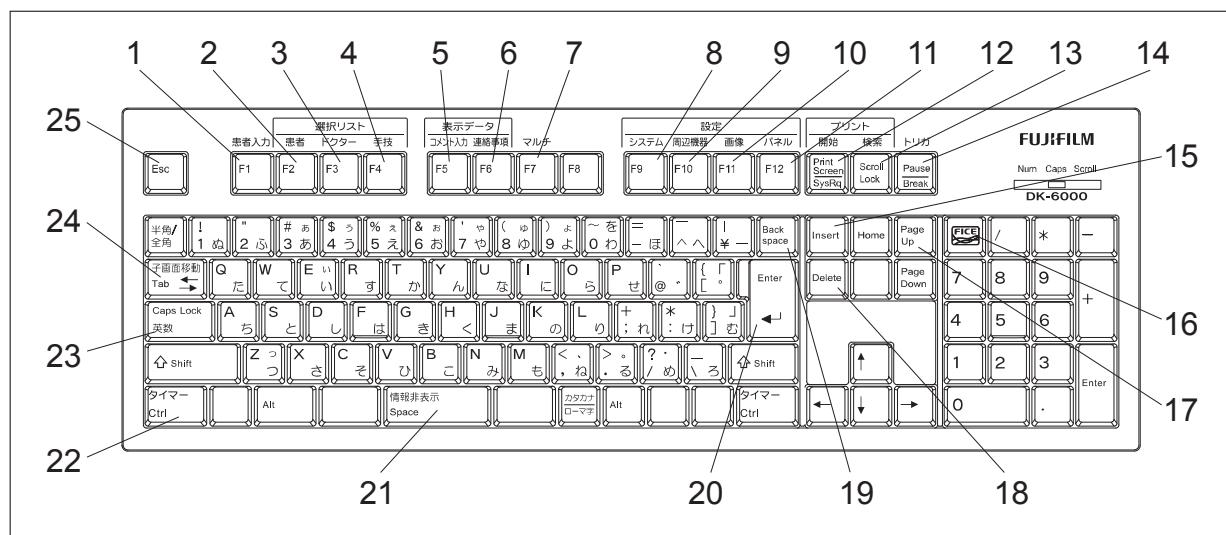
3. 通気口

通気口です。100mm 以上あけてください。

4. 送水タンクフック

このフックに送水タンクを取り付けます。

3.4 キーボード



<データ制御キー>

1. [患者入力] キー

患者情報入力画面を表示します。

2. [患者] キー

患者リスト画面を表示します。

3. [ドクター] キー

ドクターリスト画面を表示します。

4. [手技] キー

手技リスト画面を表示します。

5. [コメント入力] キー

観察画面上でコメントを入力できる状態にします。

6. [連絡事項] キー

連絡事項リスト画面を表示します。

7. [マルチ] キー

機能を割り当てるることができます。

→「4.2.3 切替設定タブ」

<周辺機器制御キー>

8. [システム] キー

システム設定画面を表示します。

9. [周辺機器] キー

本製品と組み合わせて使用する周辺機器の選択・設定を行います。

10. [画像] キー

画像設定ページ画面を表示します。

11. [パネル] キー

本製品の前面パネルに割り当てられた機能の初期設定を行います。

12. [開始] キー

プリントプレビュー表示されている、データのプリントを開始します。

13. [検索] キー

本体に保存されている画像を検索、プレビューすることができます。

14. [トリガ] キー

通常観察画面に静止画像が表示されているときにこのキーを押すと、画像が取り込まれます。

参考 画像が静止していないときにキーを押しても、画像は取り込まれません。

<その他のキー>

15. [Insert] キー

カーソル部分の文字またはデータを編集します。

- (1) 患者データのリストが表示されているとき：選択している患者データの編集画面を表示します。
- (2) ドクター名のリストが表示されているとき：選択しているドクター名の編集をします。
- (3) 手技名のリストが表示されているとき：選択している手技名の編集をします。

16. [FICE] キー

FICE を入／切します。

17. [PageUp] キー

観察画面が表示され、FICE が「入」のときにこのキーを押すと、観察画面に現在の FICE セットを表示します。

→「3.10 FICE セットの表示について」

18. [Delete] キー

カーソル部分の文字またはデータを削除します。

- (1) 患者データのリストが表示されているとき：選択している患者データを削除します。
- (2) ドクター名のリストが表示されているとき：選択しているドクター名を削除します。
- (3) 手技名のリストが表示されているとき：選択している手技名を削除します。

19. [BackSpace] キー

文字カーソルの前の文字を削除します。

20. [Enter] キー

文字またはデータ入力後にこのキーを押すと、入力データを確定します。

また、観察画面にメッセージが表示されているときにこのキーを押すとメッセージを消去します。

サムネイル表示画面が表示されているときにこのキーを押すと、カーソル位置の画像を拡大表示します。

21. [情報非表示 Space] キー

観察画面が表示されているときにこのキーを押すと、観察画面のデータの表示／非表示が切り替わります。また、プリントプレビュー表示の画面で、プリントする画像を選択します。

参考

- ・「データ表示切替設定」が「無効」に設定されている場合は表示／非表示を切り替えることができません。（「データ表示切替設定」はサービスマンが設定します。）
- ・本製品の取扱説明書では [Space] キーと表記しています。

22. [タイマー Ctrl] キー

観察画面上のタイマーをスタート／ストップします。

参考

- 本製品の取扱説明書では [Ctrl] キーと表記しています。

23. [Caps Lock 英数] キー

このキーを押すたびに大文字と小文字が切り替わります。

カナ入力のときにこのキーを押すと、カナをローマ字入力します。

24. [子画面移動 Tab] キー

出力解像度が「SXGA」設定で、マスクタイプが「タイプ 1」に設定されて観察画面に子画面が表示されているときにこのキーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

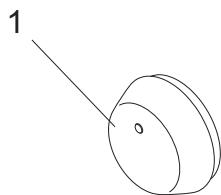
参考

- 本製品の取扱説明書では [Tab] キーと表記しています。

25. [Esc] キー

データ入力時にこのキーを押すと、一つ前の状態または観察画面に戻ります。

3.5 ソケット保護キャップ

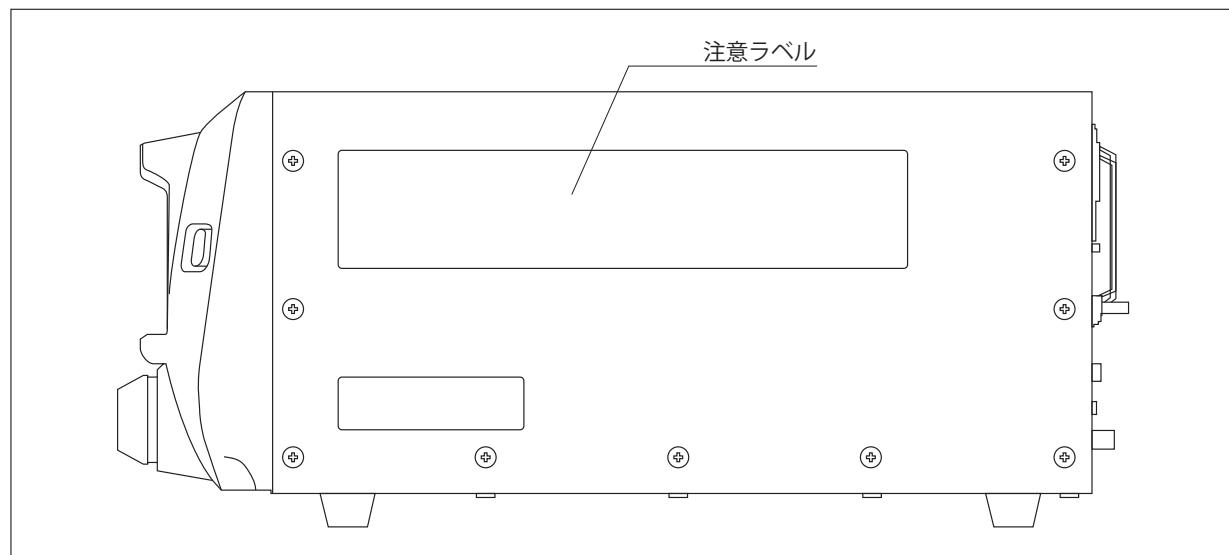


1. 電気コネクターソケット用ソケット保護キャップ

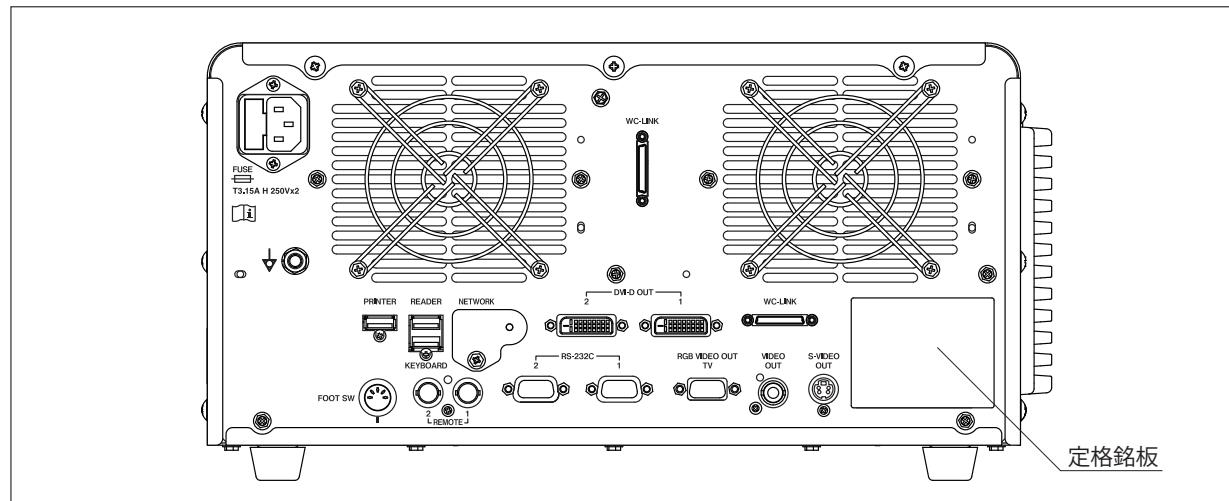
600 システムスコープまたは 500 システムスコープを接続していないときに装着します。

参考 700/6000 システムスコープを使用する場合は、常に保護キャップを装着してください。

3.6 注意ラベル



3.7 定格銘板



3.8 表示マーク

記号	意味
	製造番号
	製造年
	使用説明書を参照
	BF 形装着部
	交流
	ヒューズ
	等電位化端子
	取扱説明書参照
	RF 電磁エネルギー
	スコープコネクター ソケット
	電気コネクターソケット

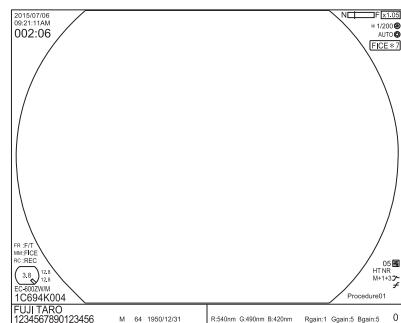
3.9 観察画面のデータ表示について

マスクタイプを変更すると、画面の表示が変わります。

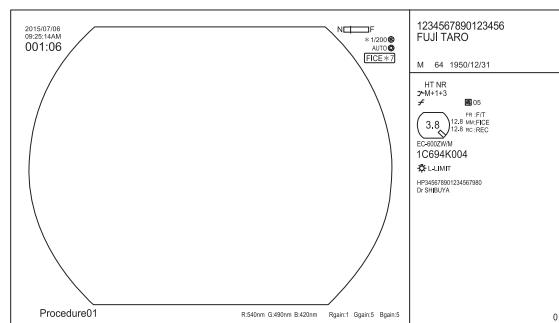
通常光観察モード（「通常モード」）と、3種類の特殊光観察モードが使用できます。特殊光観察モードには「BLI」、「BLI-bright」および「LCI」があります。画面には、それぞれ「BLI」「BLI-brt」「LCI」と表示されます。

＜観察画面の種類 マスクタイプ：タイプ1＞

・SXGAモード

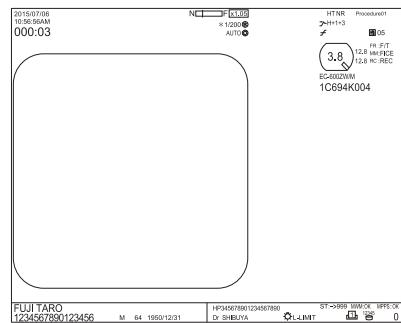


・FullHDモード

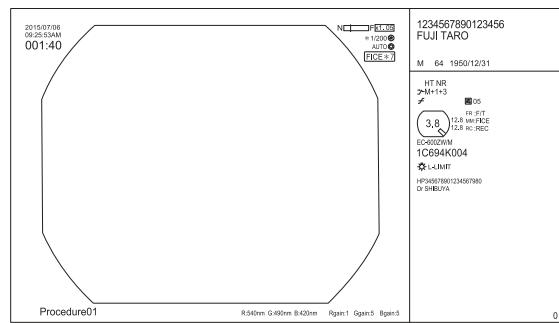


＜観察画面の種類 マスクタイプ：タイプ2＞

・SXGAモード

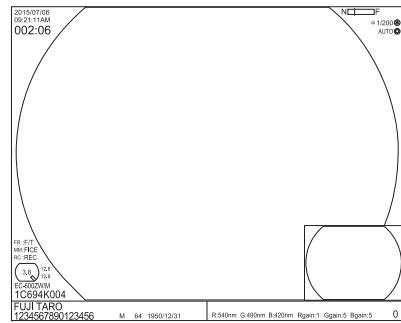


・FullHDモード

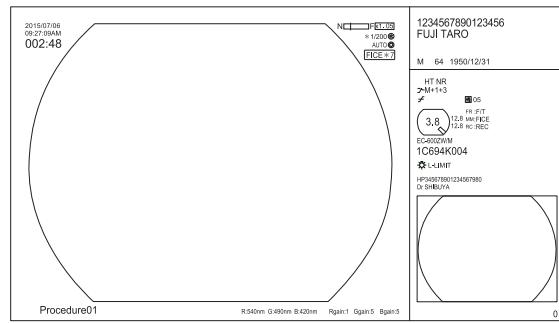


フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGAモード、マスクタイプ：タイプ1では、[Tab]キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

・SXGAモード

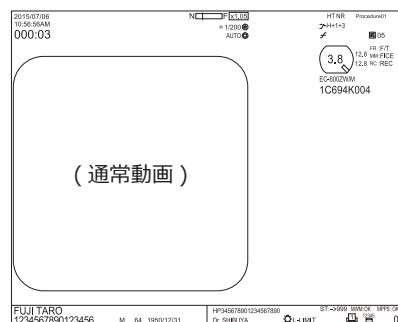


・FullHDモード

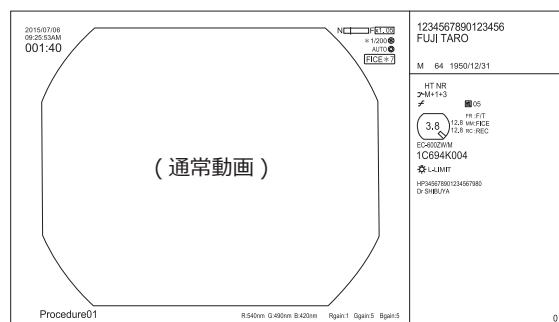


<観察画面の種類 マスクタイプ：タイプ2>

・SXGAモード

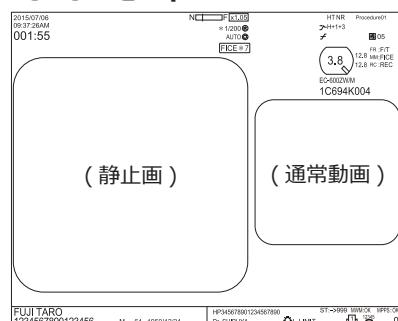


・FullHDモード

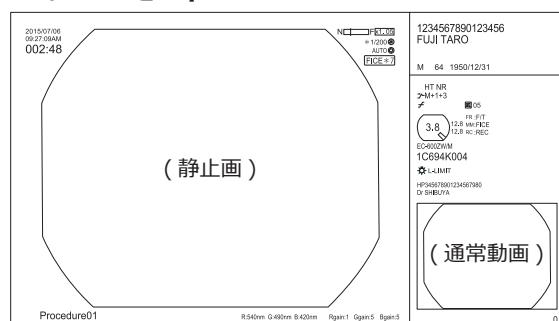


通常動画表示時

・SXGAモード



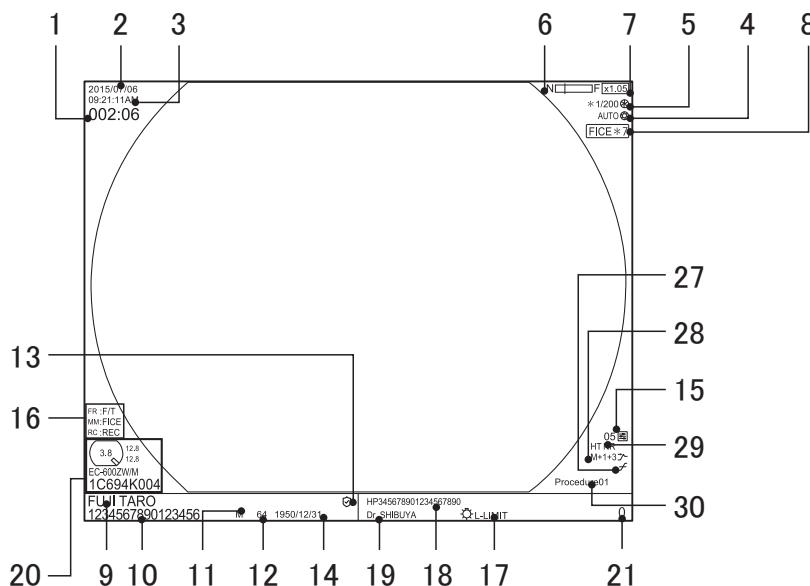
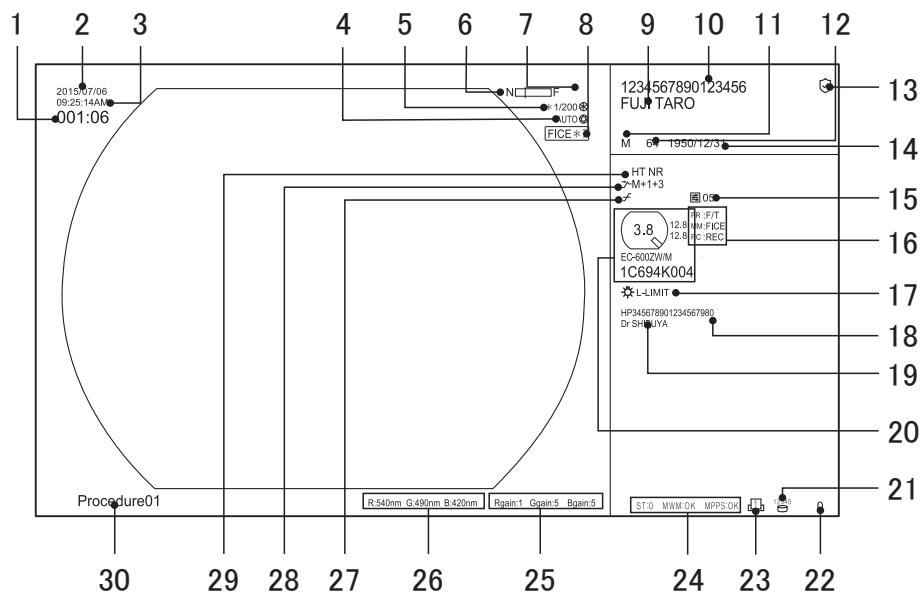
・FullHDモード



フリーズを割り当てたスコープスイッチを押すと、親画面に静止画を、子画面に通常動画を表示します。

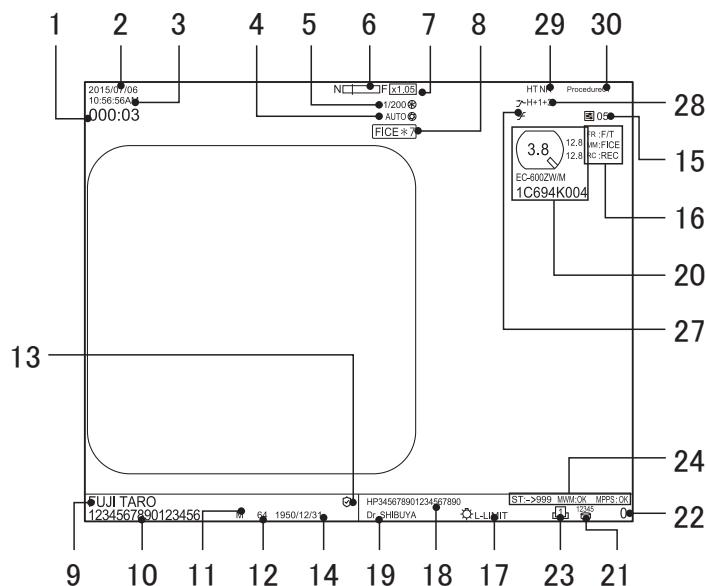
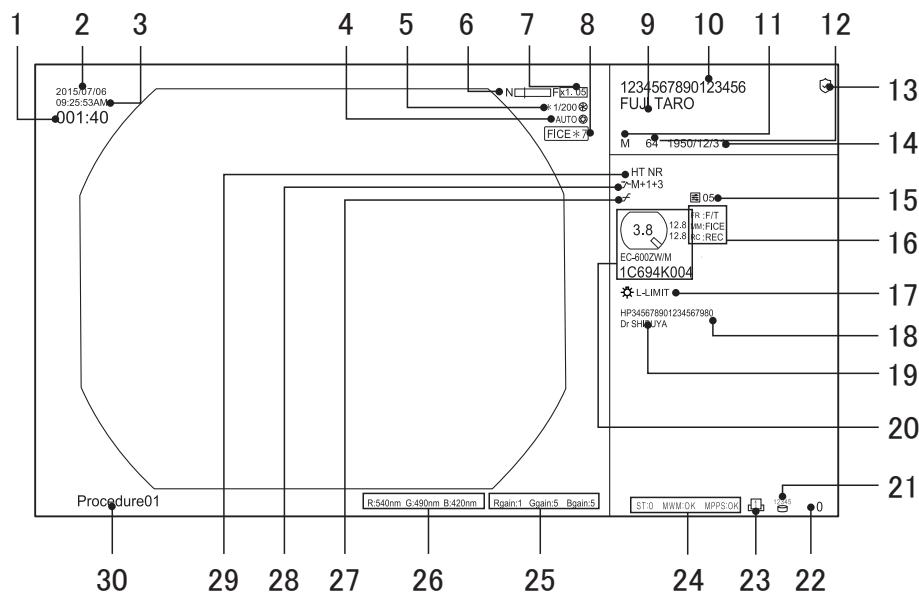
<観察画面情報表示領域（マスクタイプ：タイプ1の場合）>

表示されるデータは、設定によって異なります。設定は、サービスマンが行います。



<観察画面情報表示領域（マスクタイプ：タイプ2の場合）>

表示されるデータは、設定によって異なります。設定は、サービスマンが行います。



1. タイマー
2. 日付
3. 時刻
4. 測光モード
→「7.15 測光モードの切り替え」

5. シャッタースピード

→「7.14 シャッタースピードの切り替え」

6. フォーカスメーター

光学ズームスコープ接続時に表示されます。

7. 電子ズーム拡大率

x1.00 ~ x2.00、またはx1.00 ~ x1.75 の0.05ステップです。

参考 一部の530シリーズスコープの倍率は、X1.00 ~ X1.95の範囲です。

8. 特殊光観察モード、分光画像処理機能

特殊光観察モードでは「BLI」、「BLI-bright」および「LCI」。分光画像処理機能では「FICE」と表示されます。

9. 患者名

10. 患者IDまたは検査番号

患者IDと検査番号のどちらを表示するかはサービスマンが設定します。

11. 性別

12. 年齢

13. ログイン

装置へログインすると表示されます。

→「4.3 セキュリティ機能」

14. 生年月日

15. 画像設定ページ

16. スイッチ設定

スコープスイッチに割り当てられている機能を表示します。

→「4.2.7 スコープタブ <スコープスイッチに割り当てられる機能>」

17. 光量制限

光量制限の状態を表示します

前面パネルのマルチボタンを押して光量制限機能を入にすると、モニター画面に「L-LIMIT」が表示されます。

→「7.9 光量制限」

18. 病院名

19. 医師名

20. スコープ情報

スコープタイプまたはスコープシリアル、鉗子口最小径、先端部外径、軟性部外径が表示されます。

接続する内視鏡によっては情報が表示されない場合もあります。

→「3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて」

21. メモリー記録枚数

内部メモリーにアクセス中は表示が点滅します。点滅中は電源を切らないでください。

22. 撮影枚数カウンター

23. プリンター状態

プリンターの設定を下記のように表示します。(デジタルプリンターのみ)

プリンター使用時 : 

メモリー状況 :  ~ 

未使用 : 表示ナシ

24. DICOM サーバー接続状態

DICOM サーバーとの接続状態を表示します。

S : (ストレージ) 画像の保存状況

M : ワークリストの接続状況

P : MPPS (検査の進捗状況)

25. R,G,B ゲインレベル

26. R,G,B 表示成分

27. 色彩強調

→「7.13 色彩強調の切り替え」

28. 構造強調

→「7.11 構造強調の切り替え」

29. ハイパートーンとノイズリダクション

ハイパートーン (HT) と、ノイズリダクション (NR) の設定によって、次の文字色で表示されます。(()) 内は設定値

非表示 (設定なし)、白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

設定はサービスマンが行います。

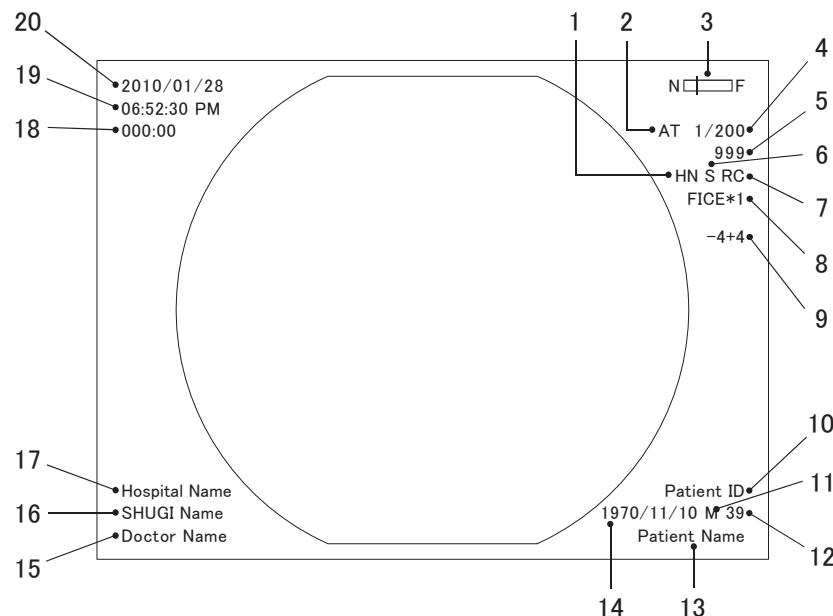
30. 手技またはコメント

<ビデオ出力画面の表示>

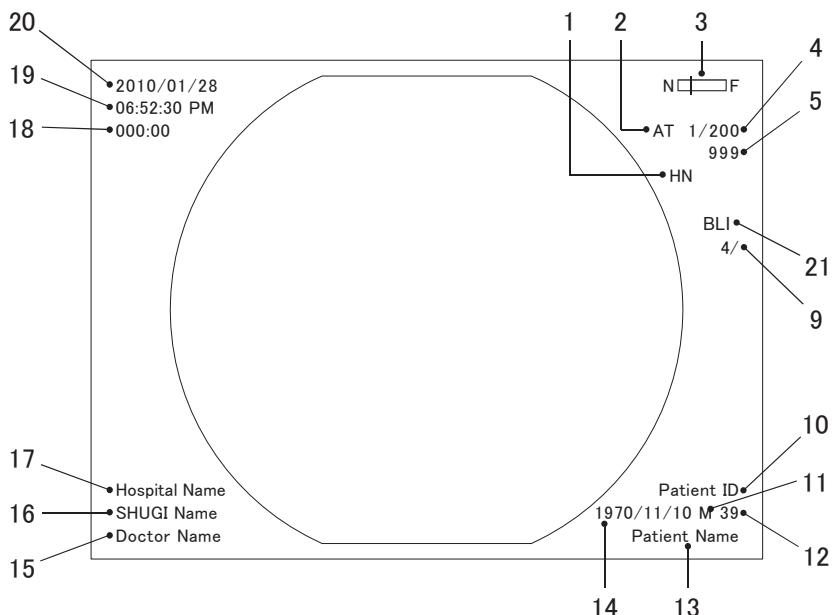
参考

- NTSC/PAL に設定された RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターの画面は、主観察画面としては使用しないでください。
- 使用するモニターによっては、画面の周辺が表示されない場合があります。そのときはモニターの設定を「アンダースキャン」にしてご使用ください。

通常モードの場合：



BLI、BLI-bright または LCI の場合：



1. ハイパートーンとノイズリダクション

ハイパートーン (HT) と、ノイズリダクション (NR) の設定によって、次の文字色で表示されます。(()) 内は設定値

非表示 (設定なし)、白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
設定はサービスマンが行います。

2. 測光モード

→ 「7.15 測光モードの切り替え」

3. フォーカスメーター

光学ズームスコープ接続時に表示されます。

4. シャッタースピード

→ 「7.14 シャッタースピードの切り替え」

5. 撮影枚数カウンター

6. 構造強調

→ 「7.11 構造強調の切り替え」

7. 色彩強調

→ 「7.13 色彩強調の切り替え」

8. FICE

分光画像処理機能 (FICE)

参考 BLI、BLI-bright または LCI では FICE は使用できません。

→ 「7.12 FICE の切り替え」

9. 輪郭強調

→ 「7.11 構造強調の切り替え」

10. 患者 ID または検査番号

11. 性別

12. 年齢

13. 患者名

14. 生年月日

15. 医師名

16. 手技またはコメント

17. 病院名

18. タイマー

19. 時刻

20. 日付

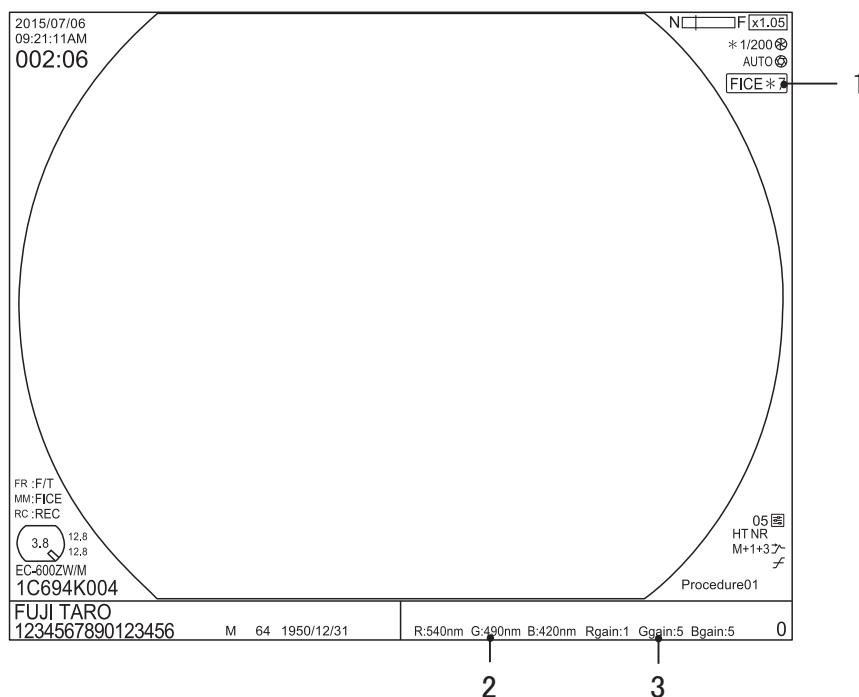
21. 特殊光観察モード

「BLI」、「BLI-bright」および「LCI」と表示されます。

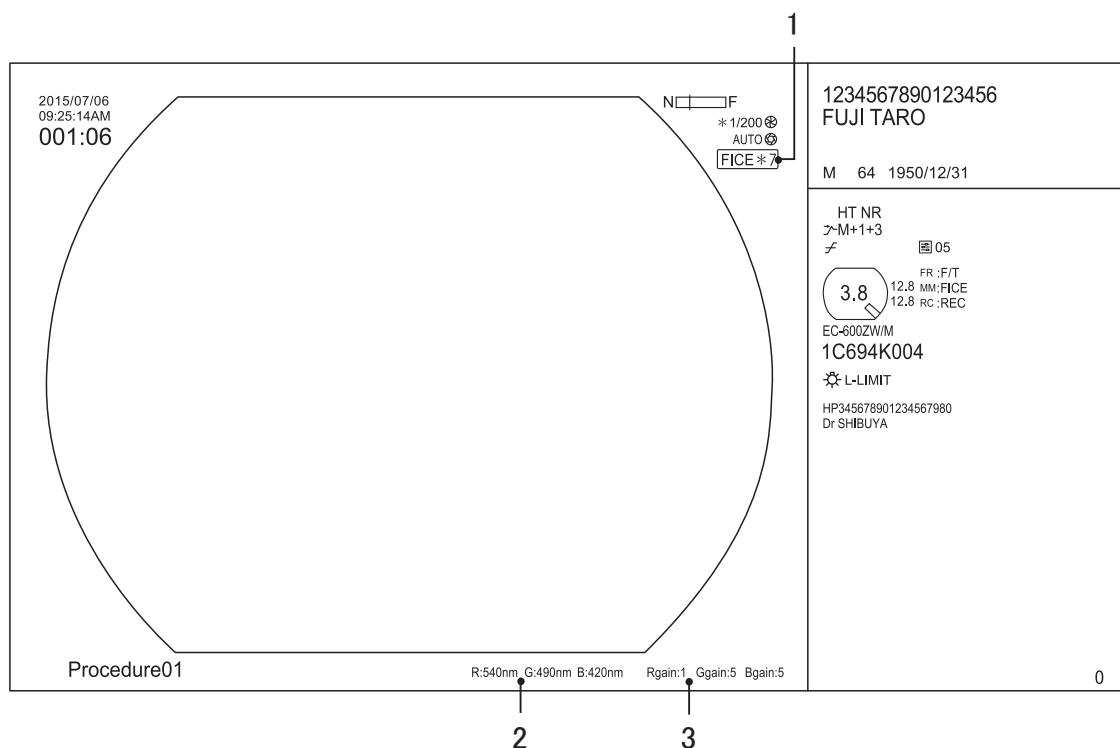
3.10 FICE セットの表示について

FICE を「入」にした状態で [PageUp] キーを押すと、FICE セットを表示します。
再度 [PageUp] キーを押すと FICE セットの表示は消えます。

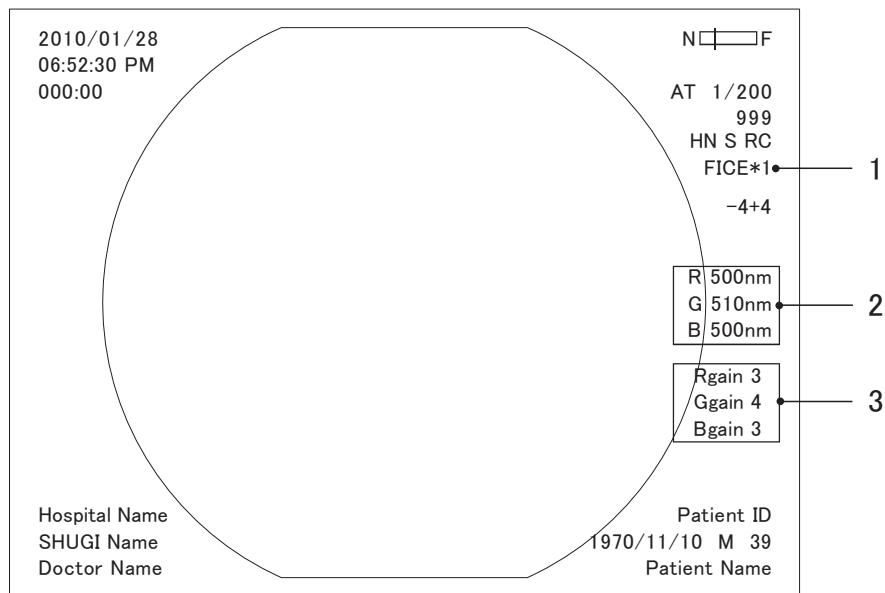
・SXGA モードの場合



・FullHD モードの場合



- ・ NTSC/PAL に設定された RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターの場合



1. FICE セット

R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長 (R,G,B)、および各ゲインレベルの設定値 (R gain,G gain,B gain) を 1 つの FICE セットと呼びます。

2. R,G,B 表示成分

R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめる波長を、400 ~ 695nm の範囲で 5nm ごとに設定できます。

→ 「5.3.3 FICE 設定」

3. R,G,B ゲインレベル

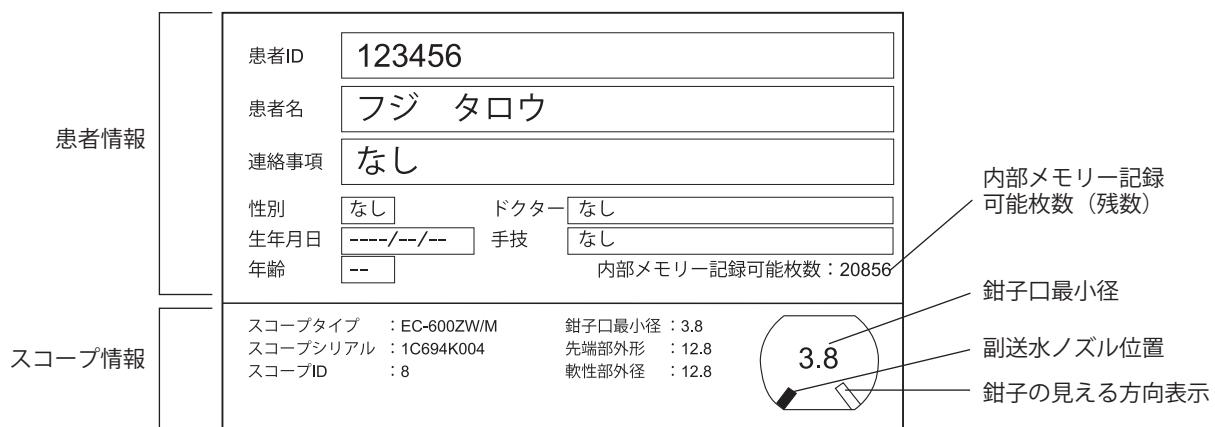
R,G,B 表示成分の強度を調整し、表示色を変更することができます。

R,G,B それぞれのゲインレベルを 1 ~ 5 の 5 段階で変更できます。値が大きいほどそれぞれの色調を強く表示することができます。

→ 「5.3.3 FICE 設定」

3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて

患者情報を新規で登録したとき、患者情報を呼び出して切り替えたときに「患者情報・スコープ情報確認ダイアログ」が表示されます。



「患者情報」のエリアには、患者情報入力画面で登録した患者情報が表示されます。

→ 「5.2 患者情報登録・編集」

「スコープ情報」のエリアは、接続している内視鏡が 600 システムスコープまたは 500 システムスコープの場合は、生産時期によっては鉗子口最小径、先端部外径、軟性部外径が表示されない内視鏡が一部あります。

副送水ノズル位置は、一部の 700/6000 システムスコープのみ表示します。

第4章 システムの設置と初期設定

4.1 システムの設置

警告

- ・本製品の電源プラグは、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに差し込んでお使いください。
- ・「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- ・組み合わせて使用する周辺機器の電源をカートの絶縁トランスを介さないで接続した場合、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- ・ネットワークを使用する場合、機器に接続している LAN ケーブルとネットワークシステムの間に IEC60601-1 に適合した分離装置を挿入してください。接続されるネットワークシステムからの漏れ電流や接地間に生じる電位差により、外装漏れ電流が増加し、患者および術者が機器に接触したとき、感電したり、傷つけたりするおそれがあります。
- ・本製品は EMC 規格に適合しておりますが本製品から放射される電波は、ペースメーカーなどの医療機器を誤動作させる可能性があります。能動型埋め込み機器使用者に適用する際は、循環器専門医、埋め込み機器製造元に相談して使用してください。本製品が適合している EMC 規格については、この取扱説明書の「11.2 電磁両立性（EMC）情報」を参照してください。
- ・電源プラグは、保護接地付コンセントに直接接続してください。
- ・高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中で使用しないでください。火災や爆発を起こすおそれがあります。
- ・システムを構成する機器の端子と患者を同時に触らないでください。感電するおそれがあります。
- ・カートのマルチタップに接続する全ての機器の動作電圧、周波数が使用するカートの定格内である事を確認してください。また絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計および絶縁トランスを介したマルチタップに接続されている機器の電流容量の合計それが、カートの許容電流容量以内である事を確認してください。感電、機器の故障の原因になります。
- ・使用するカートに搭載する絶縁トランスおよびマルチタップは、IEC 60601-1 のシステム要求適合品としてください。感電のおそれがあります。

警告

- ・ 使用するカートに搭載されるモニターアームおよびモニターは、以下の状態で使用しないでください。安定性が無くなり転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
 1. 本製品を搭載していない。
 2. モニターを正面以外に向ける。
 3. モニターアームを後ろ方向に伸ばす。
- ・ カートは搭載する機器すべての重量の合計以上の積載荷重のものを使用してください。転倒によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- ・ 使用するカートの各棚の積載荷重は、搭載する機器の重量に対して余裕をもったものとしてください。搭載機器の落下によるけがや機器の破損のおそれがあります。
- ・ カートのスコープハンガーの高さを調整し、内視鏡の挿入部が床につかないようにしてください。感染のおそれがあります。

注意

- ・ 使用する電源コードの最大許容電流に従って医療システムを構成します。
- ・ カートに搭載されているマルチタップは本システムに使用する機器にのみ使用してください。他の機器に使用した場合、電流容量が増加し、機器が正常に動作しないおそれがあります。
- ・ 定格の電圧でお使いください。それ以外の電源は、火災、感電、故障の原因となる場合があります。
- ・ 機器の移動や設置は2人以上で行ってください。けがをするおそれがあります
- ・ カートに搭載されるモニターの位置を調整する場合は、モニターが意図した位置で固定されるようにアームが調整されている事を確認してください。アームの調整が不完全な状態でモニターの位置を調整すると、意図した位置でモニターがとまらず、以下の事象を引き起こすおそれがあります。
 1. アームの隙間にはまれ、指を傷つける。
 2. モニターがカートおよび機器に接触し、機器を壊す。
- ・ モニターはカートに固定して使用してください。落下のおそれがあります。
- ・ カートは水平な場所に設置してください。転倒や破損の原因となります。
- ・ 電源コード、接続したスコープに引っかかりのない位置に機材を設置してください。装置の転倒、落下、画面の消失、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
- ・ 本機と周辺機器の接続は、入力端子と出力端子を間違いなく接続すること。間違った接続を行なうと、機器故障の原因となる場合があります。
- ・ 本機の左側面と背面に換気口があります。ふさがないでください。

参考

- ・カートの可動棚の位置は、お使いのシステムに合わせて調整してください。
- ・プロセッサーと液晶モニターを接続する DVI ケーブルは、液晶モニターに付属しているケーブルか、もしくは DVI の規格上、長さ 5 m 以内のケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、正常な画像を表示できないおそれがあります。
- ・通気口を塞がないでください。機器が過熱します。
- ・システムを拡張するための機器を設置する際は、プロセッサーを再起動してください。
- ・内視鏡の電気コネクターにぶつかったり、強い衝撃を与えたりしないでください。光源に接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LG コネクターが周囲の物とぶつかったり、強い衝撃を受けたりすることのないように、プロセッサーを設置してください。電動ベッド等の操作時には、光源に接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LG コネクターに電動ベッド等が衝突しないように注意してください。内視鏡およびプロセッサーが破損するおそれがあります。

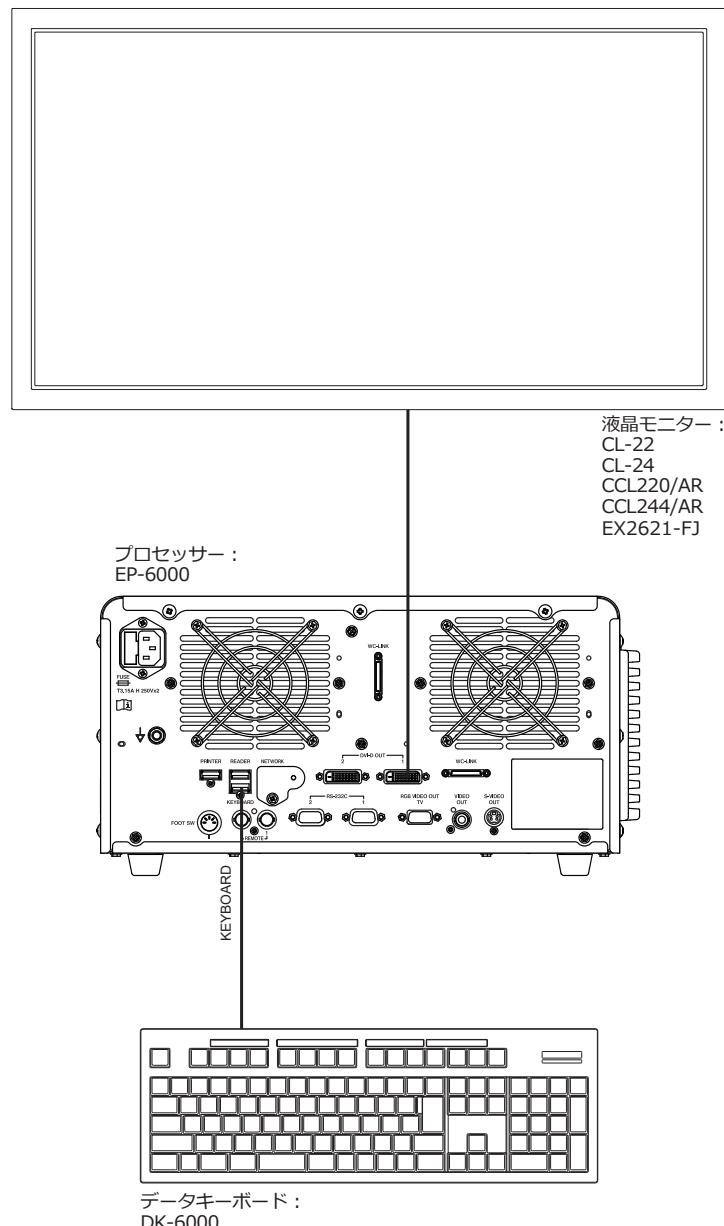
4.1.1 設置作業フロー図

本製品を設置する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

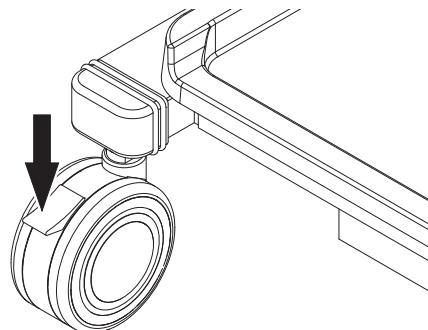
- 1** 本製品をカートに設置する →「4.1.2 カートへ設置（標準システム構成例）」
↓
- 2** WC-LINK ケーブルを接続する →「4.1.3 WC-LINK ケーブルの接続」
↓
- 3** 本製品に防塵フィルターを取り付ける →「4.1.4 防塵フィルター（ルーバー）取り付け」
↓
- 4** 本製品と液晶モニターを接続する →「4.1.5 モニターの接続」
↓
- 5** 本製品とキーボードを接続する →「4.1.6 キーボードの接続」
↓
- 6** 必要に応じて、その他の機器を接続する →「4.1.7 システムを拡張するための設置」
→「4.1.8 プリンターの接続（リモート式）」
→「4.1.9 プリンターの接続（RS-232C 方式）」
→「4.1.10 デジタルプリンターの接続」
→「4.1.11 静止画記録装置の接続（RS-232C
方式）」
→「4.1.12 動画記録装置の接続（リモート方式）」
→「4.1.17 EW1 システムソフトウェアを搭載し
た装置（EX-WS）の接続」
↓
- 7** 機器を電源に接続する →「4.1.13 電源の接続」

4.1.2 カートへ設置（標準システム構成例）

＜標準システム接続＞

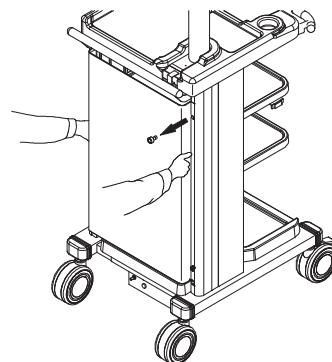


(1) カートのキャスターをロックします。

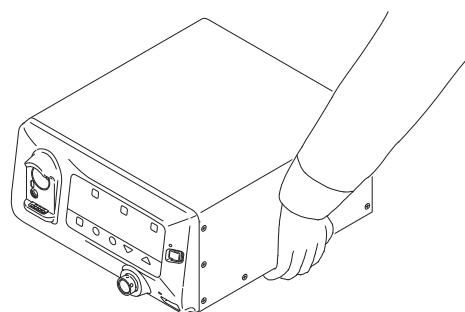


(2) 2つのネジを外し、背面カバーを外します。

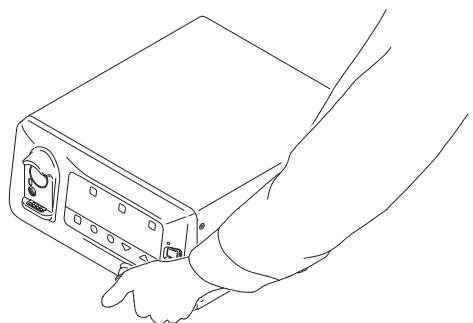
参考 全ての設置が終わったらカートの背面カバーを元のように取り付けます。



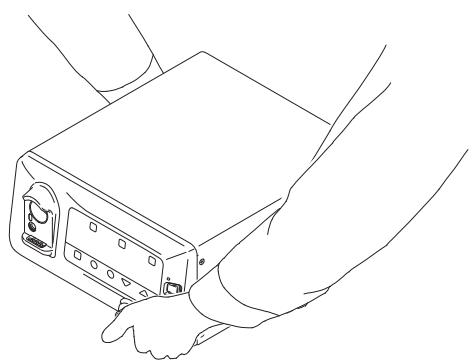
(3) 本製品の底面に手を掛け、片側を持ち上げます。



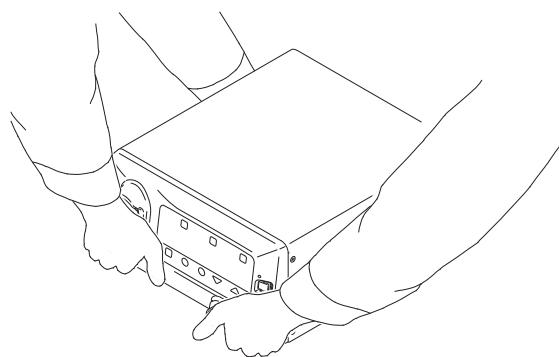
(4) 底面が持ち上がったら、前面パネルの下に手を入れて支えます。



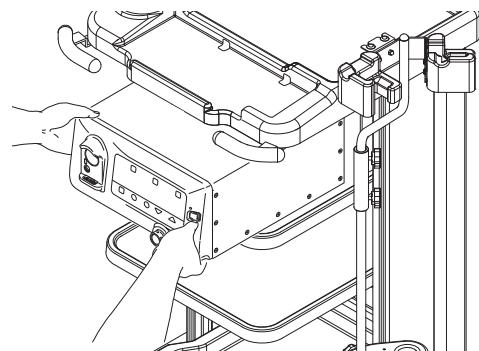
(5) 同様に反対側の底面に手をかけて持ち上げます。



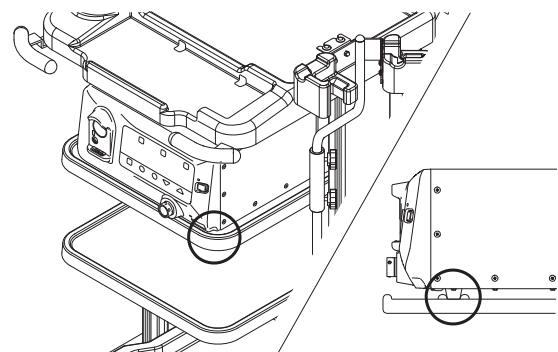
(6) 二人で両側からしっかりと支えます。



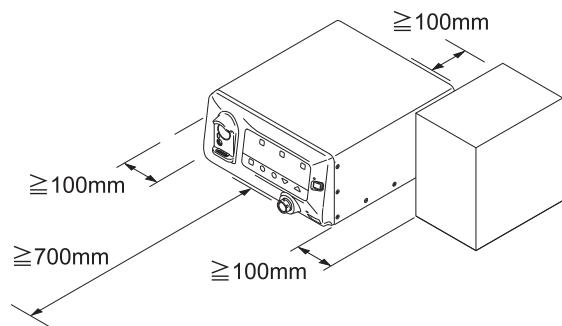
(7) 本製品をカートの棚に置きます。



参考 落下防止のため、本製品の足が棚のストッパーの内側に収まるように載せます。



- (8) 本製品の側面および背面と壁の間を 100mm 以上、前面と壁の間を 700mm 以上離して設置します。



※内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

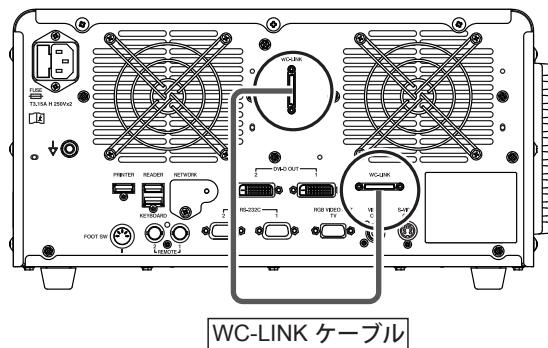
参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.1.3 WC-LINK ケーブルの接続

WC-LINK 端子に WC-LINK ケーブルを接続します。

プロセッサー：
EP-6000



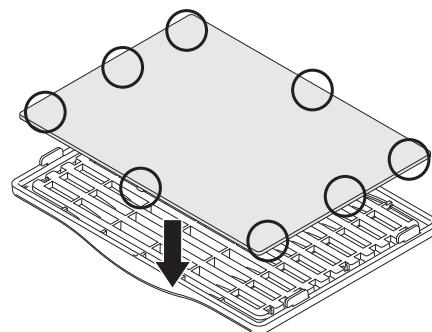
参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.1.4 防塵フィルター（ルーバー）取り付け

(1) ルーバーに防塵フィルターを取り付けます。防塵フィルターの中央の突起部をルーバーに合わせます。

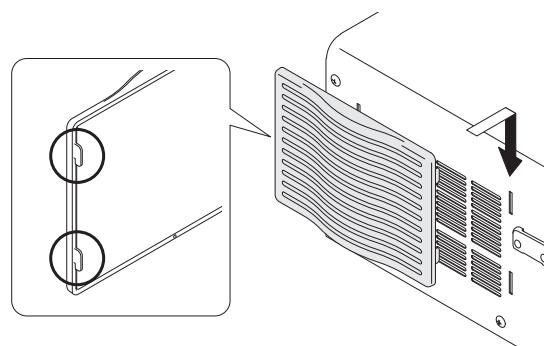
ルーバーの突起部に防塵フィルターを合わせて、防塵フィルターの中央の突起部をルーバーに押し込み取り付けます。



(2) 本製品にルーバーを取り付けます。

ルーバーのツメを上から下に押し下げるよう取り付けてください。

ルーバーが奥まで取り付けられてれていることを確認します。奥まで取り付けられていない場合は、故障の原因となります。



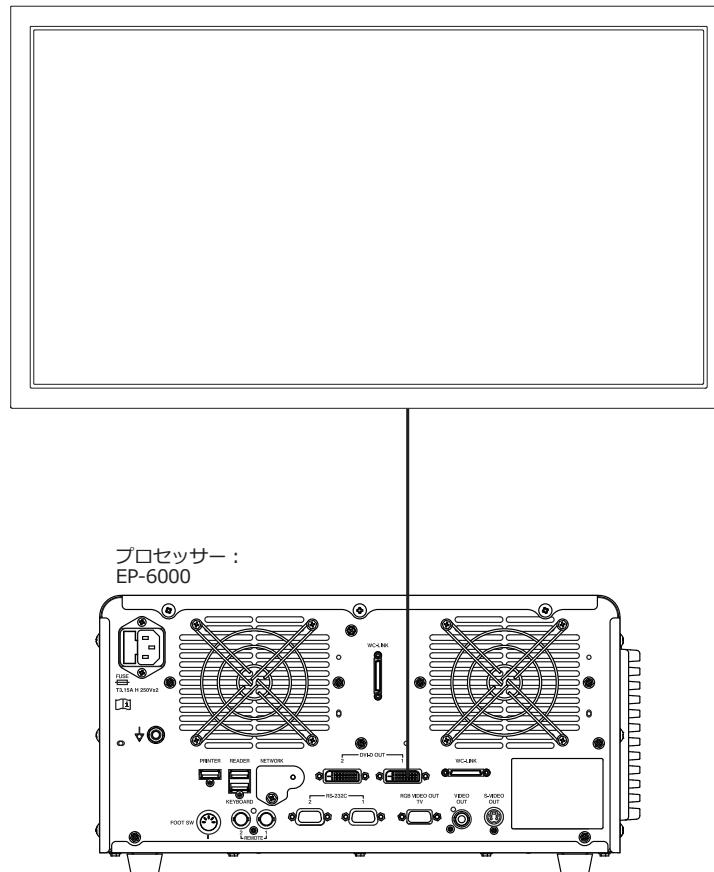
4.1.5 モニターの接続

本製品のDVI-D端子と液晶モニターの入力端子を液晶モニターに付属のケーブルで接続します。

参考 カートのモニター取り付けアームに設置する方法は、カートの取扱説明書を参照してください。

液晶モニター：

CL-22
CL-24
CCL220/AR
CCL244/AR
EX2621-FJ



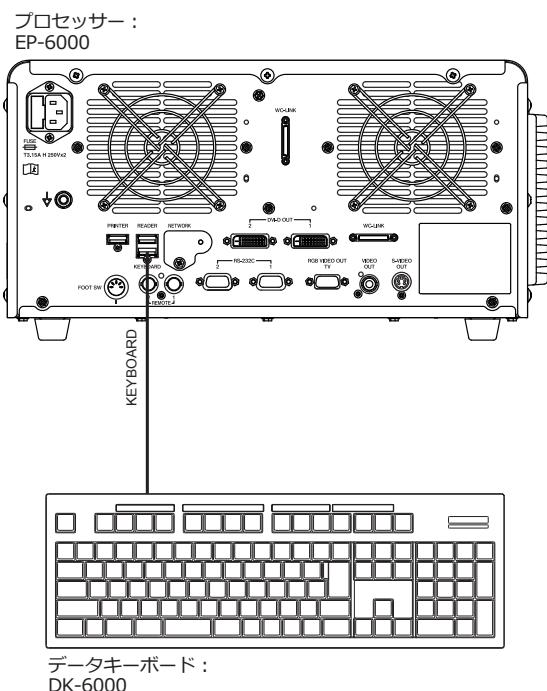
参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.1.6 キーボードの接続

本製品のキーボード端子にデータキーボードのケーブルを接続します。

参考 カートのキーボードトレイに設置する方法は、カートの取扱説明書を参照してください。

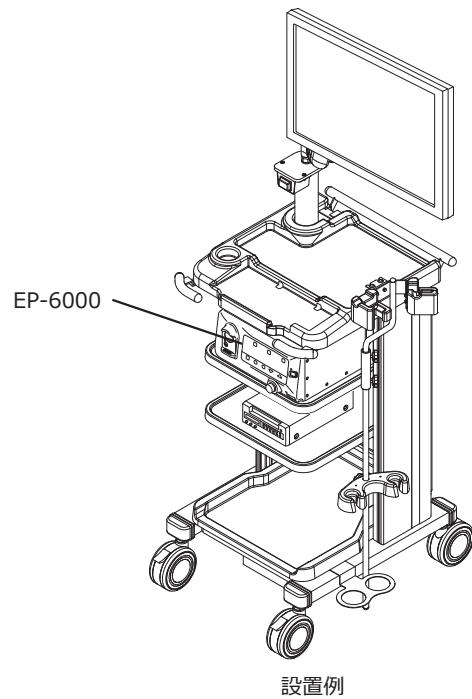


参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.1.7 システムを拡張するための設置

標準システムに周辺機器を追加すると、システムを拡張することができます。プリンター、動画記録装置を搭載した例を下図に示します。



警告

- ・機器を設置する場合は、感電事故や機器の落下を防止するため、次の注意事項をお守りください。

<感電事故の防止>

- ・本製品の電源プラグは、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに直接差し込む。
- ・電気焼灼器の電源は、カートに接続してはならない。
- ・本製品の電源は、床に置いた電源コードに接続してはならない。
- ・2台目のカートの電源を1台目のカートに接続してはならない。
- ・追加のマルチタップまたは延長コードをカートに接続しない。
- ・カートのマルチタップには、システムを構成する機器の中で、カートに搭載する機器以外の電源は接続しない。

<機器の落下の防止>

- ・周辺機器を重ねて載せない。
- ・機器の足が、ストッパーの内側に収まるように載せる。
- ・機器の足が、カートの可動棚のストッパーの内側に収まるように載せる。

<雷による誤作動の防止>

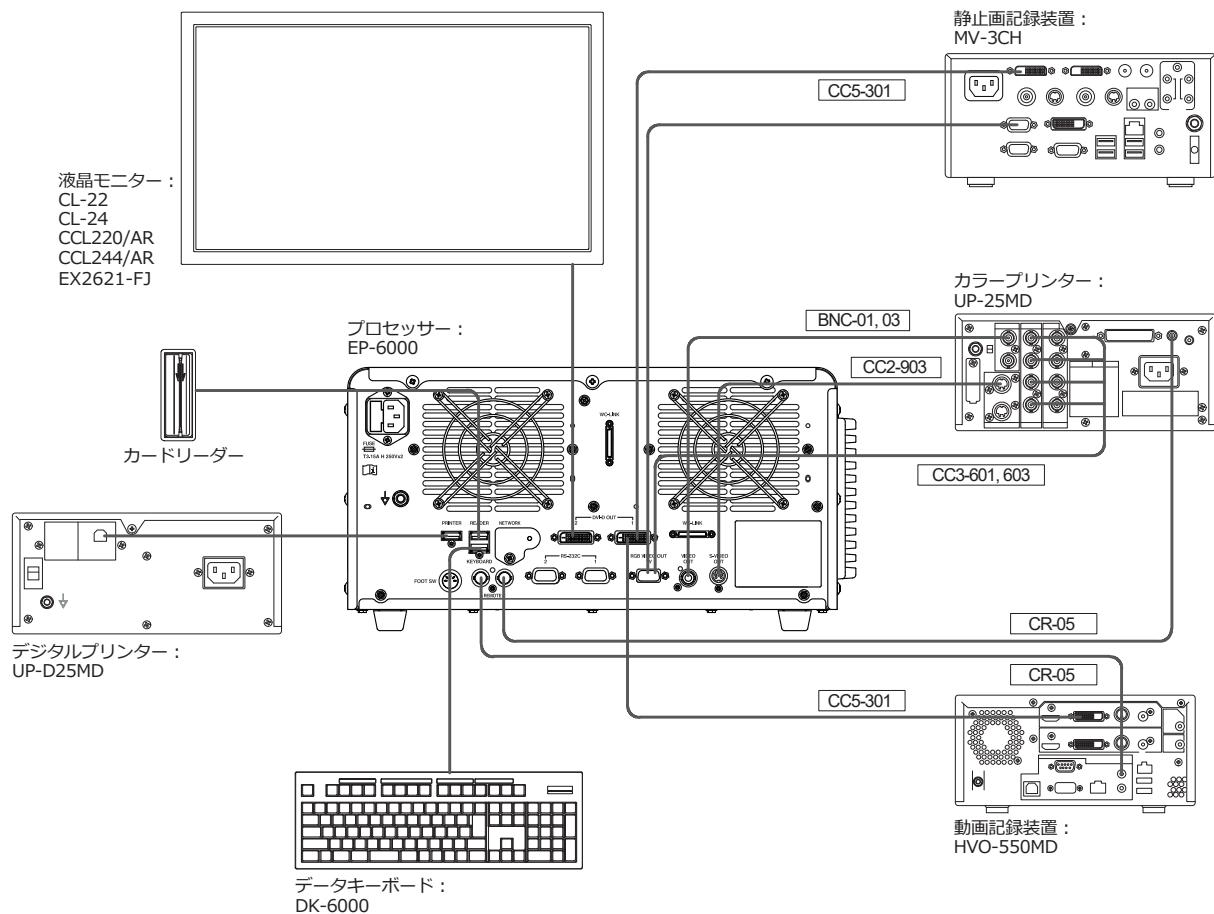
- ・病院、診療所の構造設備に適合した電源に接続してください。

注意

- ・本機と周辺機器の接続は、入力端子と出力端子を間違いなく接続すること。間違った接続を行なうと、機器故障の原因となる場合があります。
- ・本機の左側面と背面に換気口があります。ふさがないでください。

システムを拡張するための機器を設置する際は、各機器の取扱説明書に記載されている内容をお守りください。

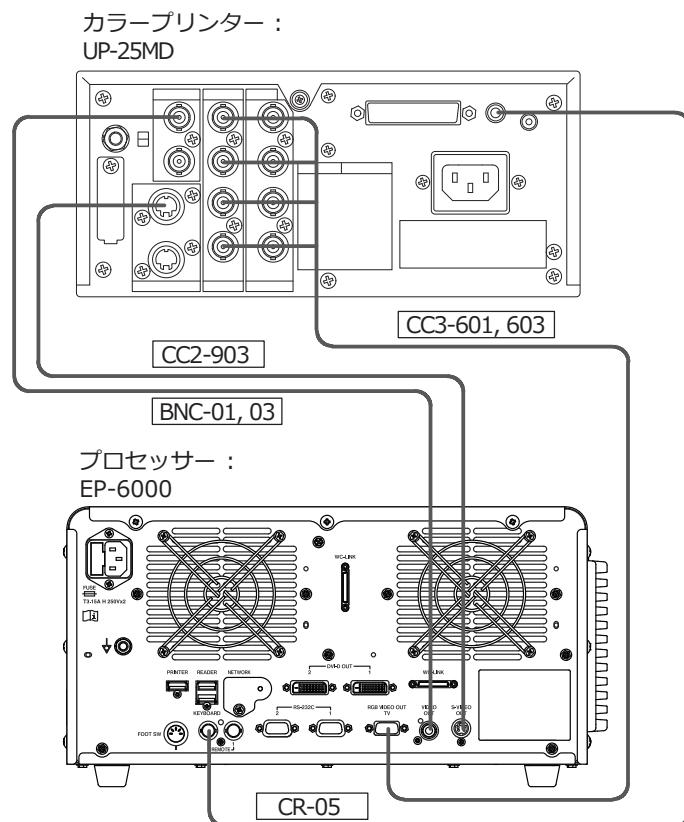
<拡張したシステムの接続例>



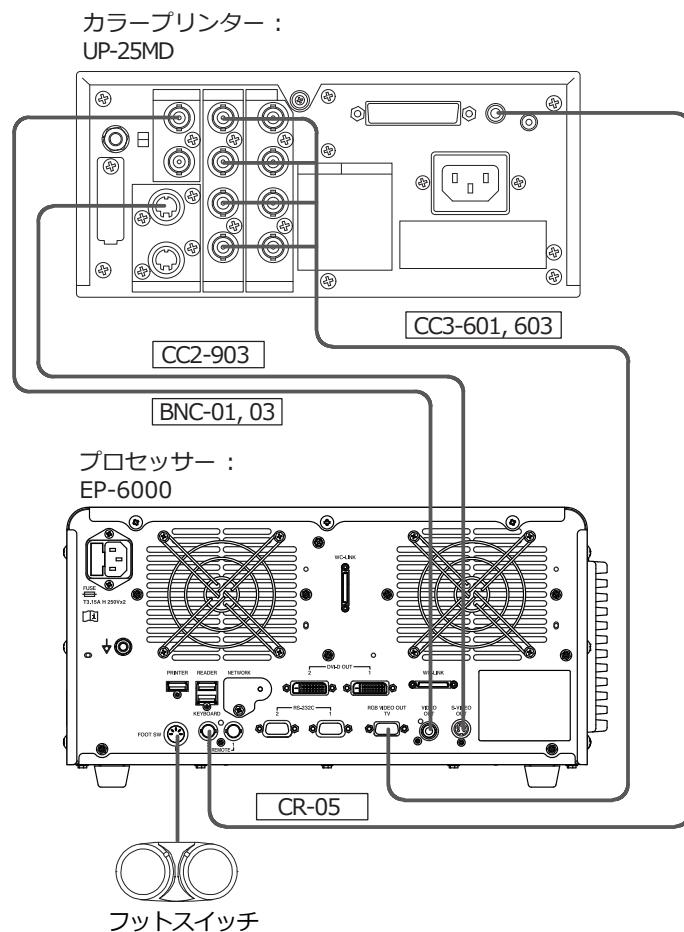
4.1.8 プリンターの接続（リモート式）

参考 プロセッサーの出力画像をプリンターを経由してモニターに表示すると、画像が揺れたり、消えたりすることがあります。主観察画面として使用するモニターは、プロセッサーと直接接続してください。

<接続例 1> 内視鏡のスイッチで画像を取り込む場合



<接続例 2> フットスイッチで画像を取り込む場合



※ 内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

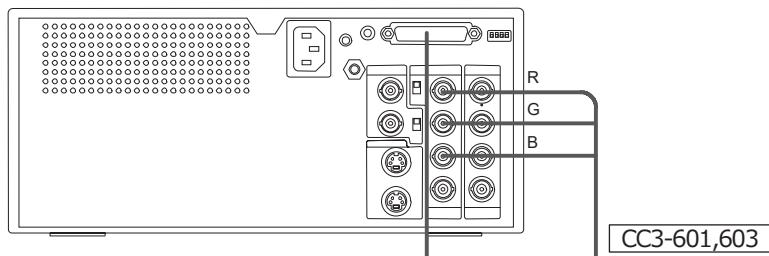
4.1.9 プリンターの接続 (RS-232C 方式)

参考

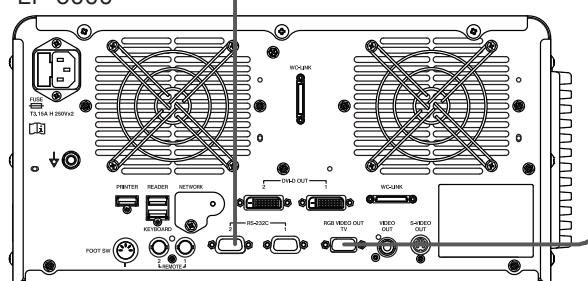
- ・プロセッサーのボーレートを確認するには、周辺機器設定画面で選択されている周辺機器を確認してください。プロセッサーのボーレートは、選択している周辺機器に応じて自動的に設定されます。
- ・プロセッサーから RS-232C 接続の周辺機器を制御する場合、ボーレートが合っていないと周辺機器が正常に動作しません。周辺機器の通信速度をプロセッサーのボーレートと合わせてください。
- ・周辺機器側のボーレートの設定は、それぞれの周辺機器の取扱説明書を参照してください。
- ・プロセッサーの出力画像をプリンターを経由してモニターに表示すると、画像が揺れたり、消えたりすることがあります。主観察画面として使用するモニターは、プロセッサーと直接接続してください。

<接続例>

カラープリンター：
UP-55MD



プロセッサー：
EP-6000



※内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考

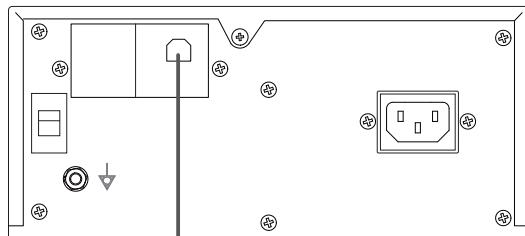
すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

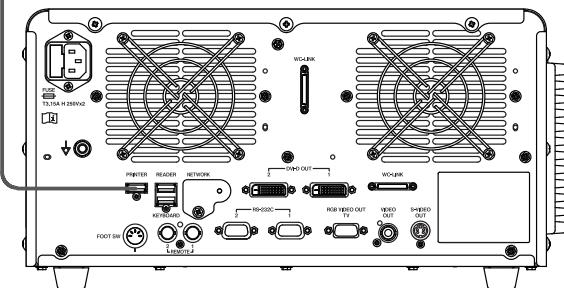
4.1.10 デジタルプリンターの接続

<接続例>

デジタルプリンター：
UP-D25MD



プロセッサー：
EP-6000



※内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考 • すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

- プリント時は「L サイズ」の用紙を使用してください。「S サイズ」の用紙を使用すると、正常にプリントできません。

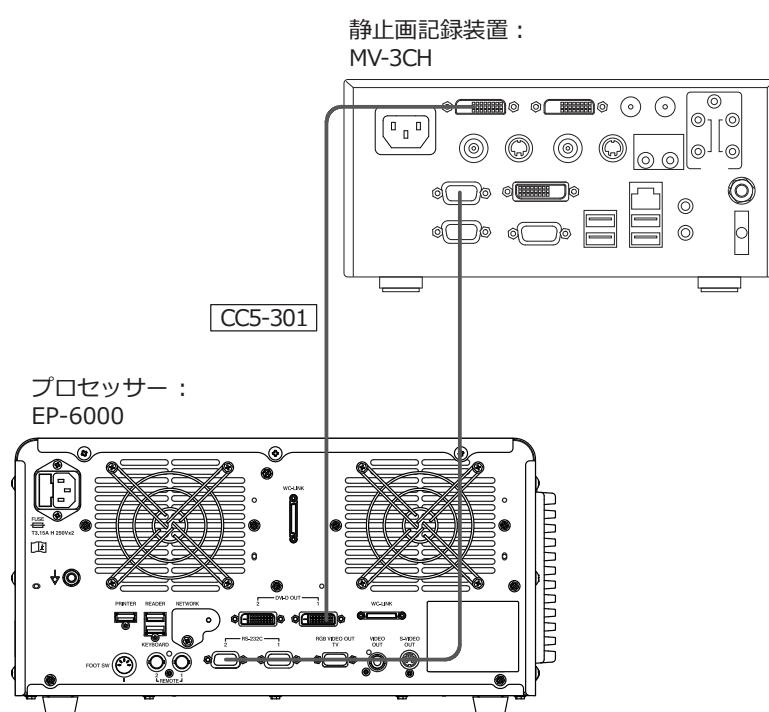
4.1.11 静止画記録装置の接続（RS-232C 方式）

参考 プロセッサーのボーレートを確認するには、周辺機器設定画面で選択されている周辺機器を確認してください。プロセッサーのボーレートは、選択している周辺機器に応じて自動的に設定されます。

プロセッサーから RS-232C 接続の周辺機器を制御する場合、ボーレートが合っていないと周辺機器が正常に動作しません。周辺機器の通信速度をプロセッサーのボーレートと合わせてください。

周辺機器側のボーレートの設定は、それぞれの周辺機器の取扱説明書を参照してください。

＜接続例＞

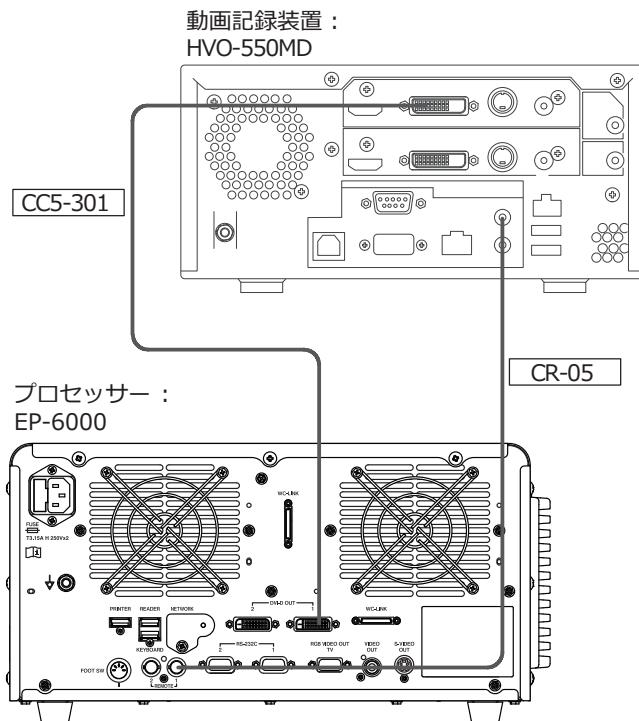


※内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.1.12 動画記録装置の接続（リモート方式）



※内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

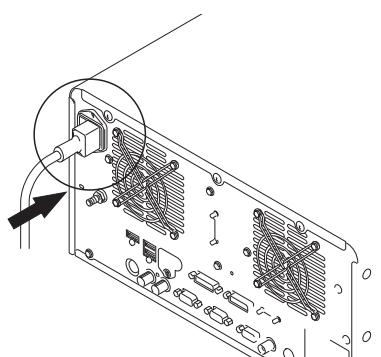
4.1.13 電源の接続

(1) 本製品の電源接続部に、同梱されている電源コードを押し込んで確実に接続します。

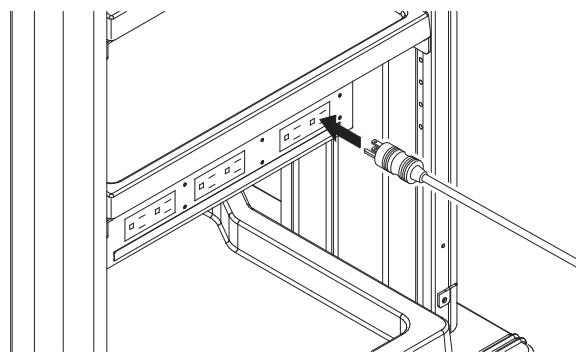
参考 ・プロセッサーに同梱されている電源コード以外は使用しないでください。

→ 「4.1.16 電源コード手配に必要な基本情報」

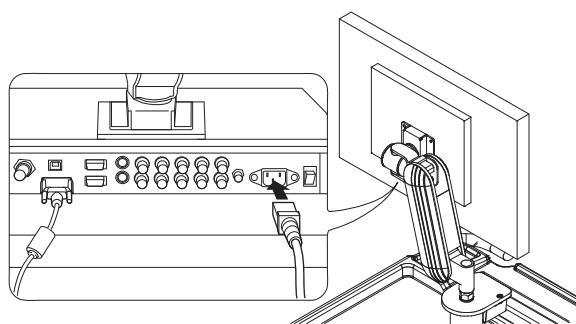
- すでに電源コードを接続している場合にも、もう一度電源コードを押し込んで確認し、確実に接続してください。



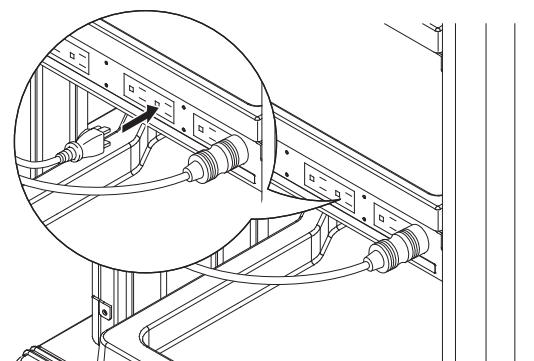
- (2) 本製品の電源プラグを、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに直接差し込みます。



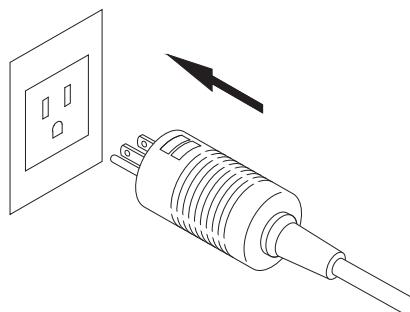
- (3) 液晶モニターの電源端子に、液晶モニターに付属の電源コードを接続します。



- (4) 液晶モニターの電源プラグを、カートの絶縁トランスを介すマルチタップに差し込みます。



(5) カートの電源プラグを保護接地付コンセントに直接差し込みます。



4.1.14 電源について

本システムは、IEC 60601-1^{*1}に従って設置する必要があります。そのため、本システムを設置する際は下記の内容に従ってください。

＜組み合わせて使用可能な機器の電源接続＞

組み合わせて使用可能な機器には、電源の接続方法により、下記の4種類があります。

- (1) 標準システムを構成する医用機器 (IEC 60601-1^{*1}に適合している医用機器)
この機器を表4.1に示します。
- (2) 本システムが搭載されたカートと別の電源から電源を供給することで、使用可能な医用機器。(IEC 60601-1^{*1}に適合している機器)
この機器を表4.2に示します。
- (3) 標準システムに追加する事で拡張システムとして使用できる医用機器 (IEC 60601-1^{*1}に適合している医用機器)
この機器を表4.3に示します。
- (4) 本システムが搭載されたカートの絶縁トランスから電源を供給する事で使用可能な周辺機器 (IEC 60601-1^{*1}またはIEC ×××××^{*2}に適合している機器)。
この機器例を表4.4に示します。

カートに搭載された上記(1)、(2)、(3)、(4)の組み合わせが患者環境内で使用できるシステムになります。

この4種類以外の機器は、安全性を確保できないおそれがあるため、組み合わせて使用しないでください。

上記機器のいずれかの組み合わせにおいて、全ての構成がIEC 60601-1^{*1}のMEシステムの要件に適合しなければなりません。

- 参考**
- ・電気安全の観点に基づいた組み合わせです。それぞれの機器の性能は、各メーカーの仕様によります。
 - ・電源コードは、同梱されているものをお使いください。

*1 国内ではJIS T0601-1となります。

*2 IEC、ISO、JIS、電気用品安全法が該当。

表 4.1 標準システムを構成する医用機器

種類	機種名
プロセッサー	EP-6000
データキーボード	DK-6000
内視鏡	700 システムスコープ 6000 システムスコープ 600 システムスコープ 500 システムスコープ

表 4.2 別電源から電源を供給することで本システムと一緒に使用可能な医用機器

種類	機種名
電気焼灼器*	-

* 組合せ可能な電気焼灼器は、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

表 4.3 拡張システムとして組み合わせて使用できる医用機器

種類	機種名
超音波観測装置*	SU-1、SP-900、SU-9000

* SU-1 または SU-9000 の電源は、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップに接続してください。SP-900 の電源は、カートの絶縁トランスを介さないマルチタップあるいは絶縁トランスを介すマルチタップのどちらにも接続できます。

表 4.4 本システムが搭載されたカートの絶縁トランスから電源を供給することで使用可能な周辺機器

種類	機種名
液晶モニター	CL-22 (FUJIFILM 製)、CL-24 (FUJIFILM 製)、CCL220/AR (JVCケンウッド製)、CCL244/AR (JVCケンウッド製)、EX2621-FJ (EIZO 製)
プリンター	UP-25MD (SONY 製)、UP-55MD (SONY 製)、UP-D25MD (SONY 製)、CP900D-F (三菱電機製)
動画記録装置	HVO-3300MT (SONY 製)、HVO-1000MD (SONY 製)、HVO-550MD (SONY 製)、EJ-RA02N (Panasonic 製)
静止画記録装置	MV-3CH (ティアック製)
パーソナルコンピューター	EX-WS ^{※1} 、EX-1 (EIZO 製)

* 1 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」の表 2.3 に記載されたソフトウェアを搭載した PC

4.1.15 カート設置時の電源接続

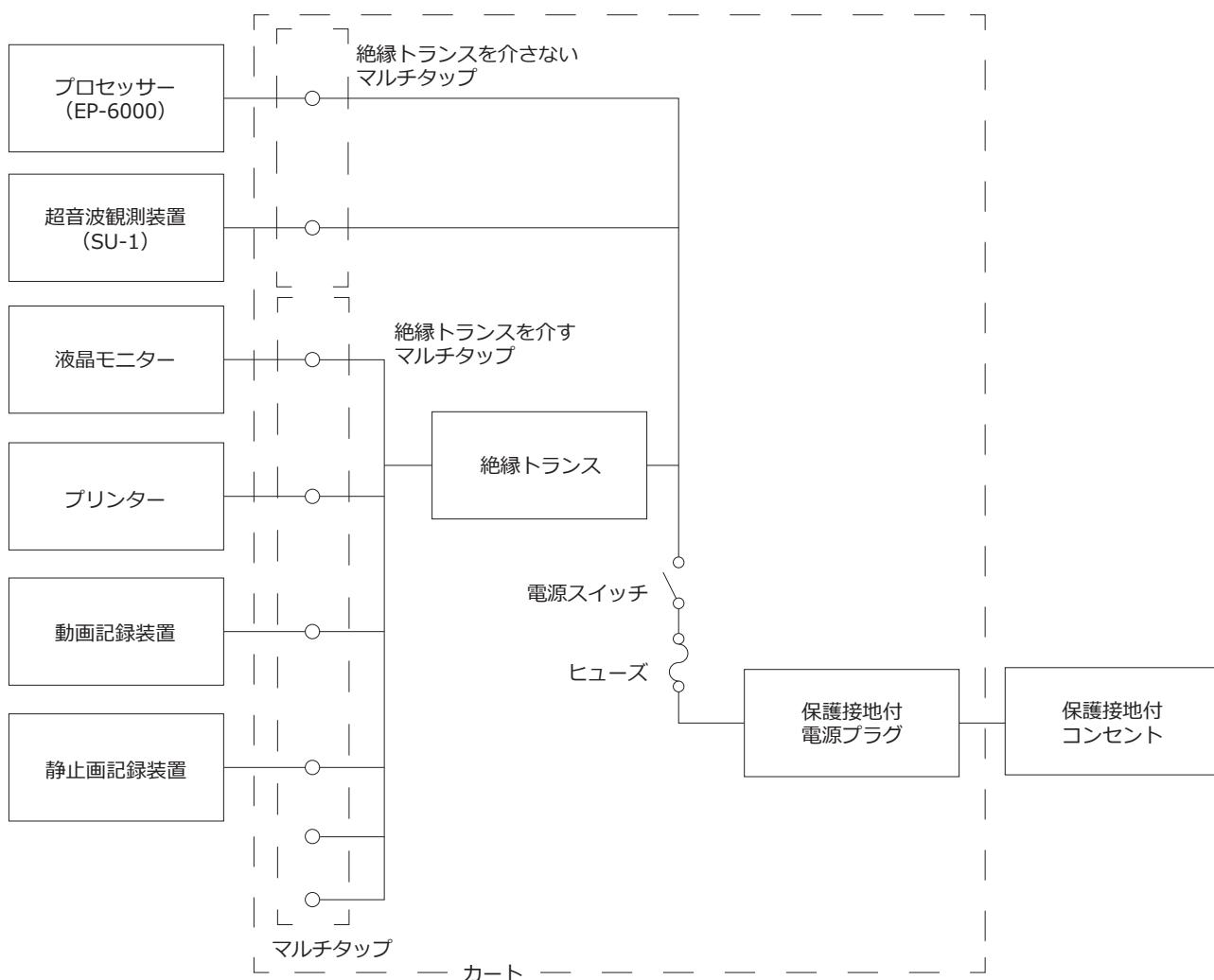
カートには絶縁トランスを介さないマルチタップと絶縁トランスを介すマルチタップがあります。

各機器の電源は、下図の例のように接続してください。このときカートのメインスイッチを切るか、電源プラグを外してください。

カートの電源プラグは、保護接地付医用コンセントに接続してください。

「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器は、接続しないでください。

絶縁トランスを介さないマルチタップに接続されている機器の電流の合計および絶縁トランスを介すマルチタップに接続されている機器の電流の合計それぞれが、カートの出力電流容量以内である事を確認してください。



4.1.16 電源コード手配に必要な基本情報

装置コネクター	IEC 60320-1 C13
ケーブル断面積	1.0mm ² 以上、3線（200V入力） 16AWG 以上、3線（USA）
入力電圧 *	100V 以上 120V 以下の地域：125VAC 以上 120V を超え 240V 以下の地域：250VAC 以上
定格電流	USA：13A 以上 その他地域：6A 以上
ケーブル長	3m 以下
電源プラグ	各国の法規制に従った3ピンプラグ

* 日本国内に出荷されている本製品について、同梱されている電源ケーブルは、100V 以上 120V 以下の場合のみ適用が可能です。

4.1.17 EW1 システムソフトウェアを搭載した装置 (EX-WS) の接続

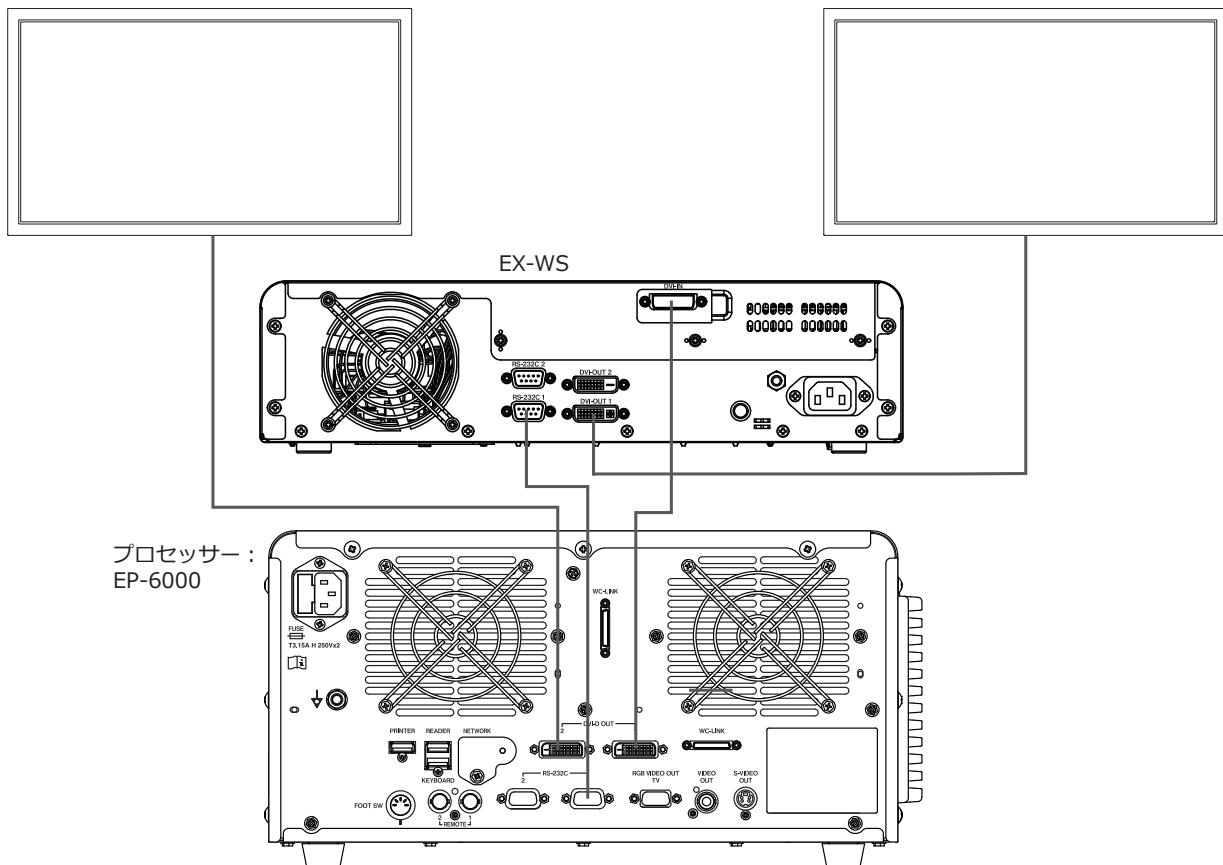
注意

- モニターは、EX-WS 以外に、必ず EP-6000 と接続してください。

液晶モニター :

CL-22
CL-24
CCL220/AR
CCL244/AR
EX2621-FJ

液晶モニター



※ EX-WS の接続の詳細は、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

※ 内視鏡検査に必要な機器を組み合わせて接続し、ご使用ください。

参考 すべての機器を接続してから電源コードを接続します。

→ 「4.1.13 電源の接続」

4.2 設置時のシステムの初期設定

この章では、システムの初期設定の操作について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

4.2.1 設置時のシステム設定フロー図

設置時に設定する項目の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

参考 • システム設定の基本操作に従って、設定を行ってください。

→「4.2.2 設定の基本操作」

- ・日付、時刻は工場出荷時に設定済みですので、必要に応じて設定してください。
- ・フロー以外のシステム設定項目は、必要に応じて設定してください。

1 システム設定の「切替設定」の項目を設定 →「4.2.3 切替設定タブ」
する

- ・表示する情報のマスクタイプの選択
- ・マルチボタンの機能割り当て
- ・マルチキーの機能割り当て

2 ↓ システム設定の「表示」の項目を設定する →「4.2.4 表示タブ」

- ・表示する情報の検査情報の選択
- ・Spaceキーの機能割り当て

3 ↓ システム設定の「基本設定」の項目を設定 →「4.2.5 基本設定タブ」
する

- ・日時設定
- ・モニターの出力解像度
- ・スピーカー音量

4 ↓ システム設定の「スコープ」の項目を設定 →「4.2.7 スコープタブ」
する

- ・スコープスイッチの機能割り当て

5 ↓ 必要に応じて、その他の機能を設定する
• フットスイッチの機能割り当て^{※1}
• シャッタースピード切替^{※1}
• ドクター名をドクターリストに登録する
• 手技名を手技リストに登録する
• 連絡事項を連絡事項リストに登録する

→「4.2.8 フットスイッチ(FS1)の設定」

→「4.2.9 拡大時シャッタースピード切替の設定」

→「4.2.10 ドクター名の設定」

→「4.2.11 手技名の設定」

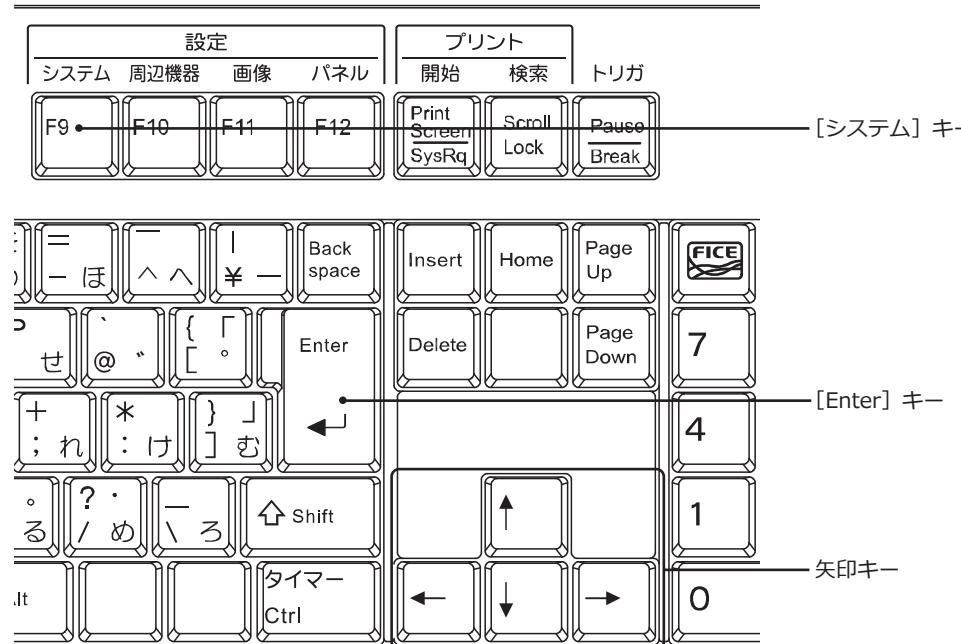
→「4.2.12 連絡事項の設定」

※ 1 サービスマンのみ設定可能です。

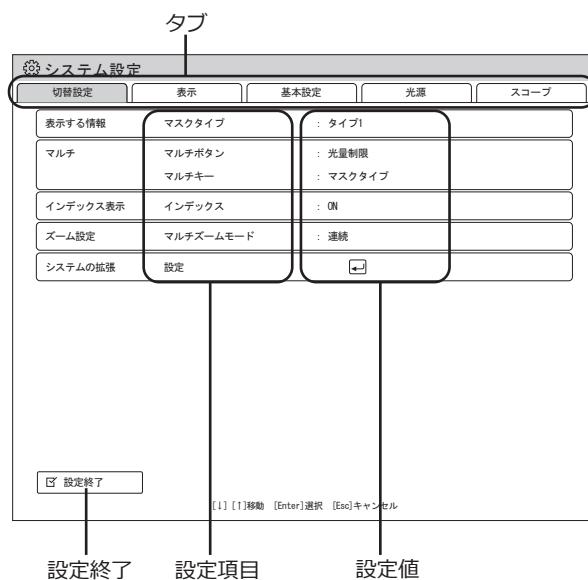
4.2.2 設定の基本操作

(1) キーボードの【システム】キーを押します。システム設定の画面が表示されます。

- 参考**
- ・その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。
 - ・観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。



(2) 設定の画面では、[↑]、[↓] キーで項目を選択できます。



(3) タブを選択して [←]、[→] キーでカテゴリーの切り替えができます。

- 参考**
- リストにページがある場合は、ページの切り替えができます。

(4) 設定項目を選んで [Enter] キーで設定値を変更、もしくはキーボードで直接入力できるようになります。

- 参考**
- ・設定値は [↑] 、 [↓] キーで項目を選択できます。
 - ・右端に「♪」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。
 - ・メニュー画面の下に「[Insert] 編集」と表示されている場合は、[Insert] キーを押すとキーボードで直接入力できるようになります。

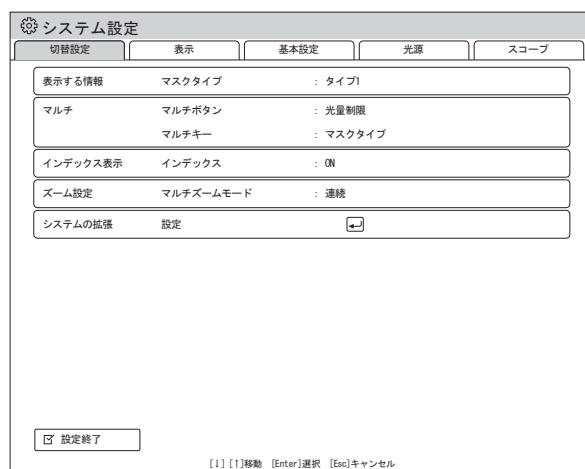
(5) 設定値を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

- 参考** キーボードで直接入力する場合、必要項目の入力が終わると自動的に次の項目に移動する場合があります。

(6) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

- 参考** 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。

4.2.3 切替設定タブ



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
表示する情報	マスクタイプ	タイプ1	画面表示のタイプを設定します。
		タイプ2	

【備考】
観察モードが BLI、BLI-bright または LCI の場合は「タイプ2」に設定しても、子画面に動画は表示されません。
→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
マルチ	マルチボタン	光量制限	本製品の前面パネルにある「マルチ」ボタンに割り当てる機能を設定します。設定終了後、「マルチ」ボタンを押し、選択した機能が動作するか確認してください。「光量制限」「検査時光量制限」が有効の場合、設定値は「光量制限」固定となります。
		構造強調	
		色彩強調	
		シャッタースピード	
		FICE	
		リセット	
		タイマー	
		ラップタイム	
		マスクタイプ	
		マルチズームモード	
マルチキー	マルチキー	診断支援モード	キーボードにある「マルチ (F7)」キーに割り当てる機能を設定します。設定終了後、「マルチ (F7)」キーを押し、選択した機能が動作するか確認してください。
		動画録画 (EX-WS)	
		リセット	
		ラップタイム	
		マスクタイプ	
		マルチズームモード	

【備考】

- ・光量制限 → 「4.2.6 光源タブ」 → 「7.9 光量制限」
- ・構造強調 「5.3.2 構造強調設定」 → 「7.11 構造強調の切り替え」
- ・色彩強調 → 「5.3.4 色彩強調設定」 → 「7.13 色彩強調の切り替え」
- ・シャッタースピード → 「5.3.6 シャッタースピード」 → 「7.14 シャッタースピードの切り替え」
- ・FICE → 「5.3.3 FICE 設定」 → 「7.12 FICE の切り替え」
- ・リセット
撮影枚数カウンターを 0 にリセットします。また、観察画面が表示されているときにこのボタンを約 2 秒間押し続けると、カラー調整値を工場出荷時の値にリセットします。
- ・タイマー → 「7.17.2 タイマーのスタート / ストップ」
- ・ラップタイム → 「5.5.5 ラップタイム表示」
- ・マスクタイプ
ボタンを押すたびにマスクタイプを切替えます。
タイプ 1 → タイプ 2 → タイプ 1 へ戻る
→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」
- ・マルチズームモード
ボタンを押すたびにマルチズームモードを切替えます。
連続 → 2 ステップ → 3 ステップ → 5 ステップ → 連続へ戻る
→ 「5.5.4 マルチズームモードの設定」
- ・診断支援モード
EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。
診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- ・動画録画 (EX-WS)
EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。
動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
インデックス表 示	インデックス	ON	ON にすると、直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を4枚表示します。
		OFF	
【備考】 表示モードが FullHD モードの場合のみ表示できます。 → 「5.5.2 インデックス画像の表示」			
ズーム設定	マルチズーム モード	連続	光学ズーム機能を持つスコープを組み合わせて使用するときのズーム操作を設定できます。
		5ステップ	
		3ステップ	
		2ステップ	
【備考】 サービスマンの設定が必要です。マルチズームモードに対応していない内視鏡の場合は、設定に関係なく連続モードで動作します。 → 「5.5.4 マルチズームモードの設定」			
システムの拡張	設定		使用できません。

参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「4.2.2 設定の基本操作」

4.2.4 表示タブ

注意

- EW1 システムソフトウェアを搭載した装置 (EX-WS) の設定画面を表示しているときは、EP-6000 に接続されているモニターに「EX-WS のメニュー表示中です」と表示します。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
表示する情報	検査情報	患者 ID	選択した検査情報を観察画面に表示します。
		検査番号	
	検査開始画面	ON	検査開始時に、患者情報・スコープ情報確認ダイアログが表示されます。 → 「3.11 患者情報・スコープ情報確認ダイアログについて」
		OFF	

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明		
【備考】					
患者情報・スコープ情報確認ダイアログは、検査開始以外も表示される場合がありますが、OFF にすると、常に表示されません。					
Space キー	画面表示切替	患者情報 OFF	[Space] キーを押すたびに、観察画面に表示／非表示が切り替わるデータを設定します。		
		観察モードのみ			
		患者 ID のみ			
		日時のみ			
		表示なし			
【備考】					
「患者情報 OFF」を選択すると、患者情報、日時、時刻が非表示になります。「観察モードのみ」を選択すると、フォーカスメーター、電子ズーム拡大率、特殊光観察モード、分光画像処理機能が表示されます。「患者 ID のみ」を選択すると、患者 ID が表示されます。「日時のみ」を選択すると、日時、時刻が表示されます。「表示なし」を選択しても、ラップタイムは表示されます。					
ラップタイム設定	ラップタイム	ON	観察画面でラップタイムを表示できます。		
		OFF			
【備考】					
画面設定が FullHD 時のみ、ラップタイムを表示できます。 ・ラップタイム → 「5.5.5 ラップタイム表示」					
病院施設名称	病院施設名称	キーボードで直接入力	病院名を入力します。		
スコープ情報	優先スコープ情報	スコープ SW	出力解像度設定が SXGA、マスクタイプがタイプ 1 に設定されている場合のスコープ情報を、スコープ先端とスコープ SW をどちらを優先して表示させるかを設定できます。		
		スコープ先端			
【備考】					
スコープ先端を選択すると、スコープ SW の 4、5 は表示されません。 → 「3.9 観察画面のデータ表示について」					
EX-WS	設定		EW1 システムソフトウェアを搭載した装置(EX-WS)に接続されているモニターに、EX-WS の設定画面を表示します。設定画面を閉じるには、[ESC] キーを押します。		
システムの拡張	設定		使用できません。		

参考

- ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。
→ 「4.2.2 設定の基本操作」
- ・EX-WS の設定画面の操作については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照ください。

4.2.5 基本設定タブ

注意

- FullHDに対応していないモニターを接続時に、出力解像度設定を「FullHD」に設定すると、映像が正常に表示されなくなります。その場合は[Ctrl]、[Alt]、[S]キーを同時に押してください。設定が「SXGA」に切り替わりブザーが鳴ります。ブザー音を確認したら、プロセッサーを再起動してください。ブザーが鳴らない場合は押すキーに間違いかないか再度確認してください。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
日時設定	年月日設定 ^{※1}	キーボードで直接入力	年月日を入力します。西暦で入力してください。
	日付表示形式	Y/M/D	西暦年 / 月 / 日
		D/M/Y	日 / 月 / 西暦年
		M.D.Y	月名の略称 . 日 . 西暦年
	時間設定 ^{※1}	キーボードで直接入力	時間を入力します。[Enter]キーを押した時点から時刻が進みます。
	時間表示形式	24 時間	時間の表示形式を変更します。
		12 時間	
タイムゾーン ^{※2}	+ 14 時間	標準時間 (GMT) からの増減方向を選択し、増減値を選択します。	
	- 12 時間		

【備考】

※ 1 日付、時刻は工場出荷時に設定済みですので、必要に応じて設定してください。

※ 2 グリニッジ標準時間からの時差を設定します。使用する地域に応じて変更してください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明		
出力解像度設定	出力解像度	SXGA	モニターの出力解像度を変更します。		
		FullHD			
【備考】					
<ul style="list-style-type: none"> ・設定終了後、本製品を再起動してください。 ・検査中、および検査前に行わず、検査まで十分時間がある場合に行ってください。 ・本機対応の Full HD ワイドモニターの場合、Full HD 表示が可能です。お使いのモニターが Full HD 出力に対応しているかどうか、および設定の切り替え方法の詳細はサービスマンにお問い合わせください。 ・FullHD に対応していないモニターを接続時に、出力解像度設定を「FullHD」に設定すると、映像が正常に表示されなくなります。その場合は [Ctrl]、[Alt]、[S] キーを同時に押してください。設定が「SXGA」に切り換わりブザーが鳴ります。ブザー音を確認したら、本製品を再起動してください。ブザーが鳴らない場合は押すキーに間違いがないか再度確認してください。 					
音量設定	音量	大	スピーカーの音量を設定します。		
		中			
		小			
		OFF			
	スコープズーム	ON	スコープスイッチに光学ズームを割り当てて、スイッチを押すと音が鳴ります。		
		OFF			
【備考】					
「音量」設定時、確認音が出ます。OFF は確認音が出ません。					
タイマー設定	タイマー	タイマー開始／停止	[タイマー] キーで開始／停止を行います。		
		検査開始時スタート	検査開始と同時にタイマーがスタートします。		
【備考】					
・タイマー → 「7.17.2 タイマーのスタート / ストップ」					
セキュリティ管理	設定		セキュリティの設定をします。 → 「4.3 セキュリティ機能」		

参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「4.2.2 設定の基本操作」

4.2.6 光源タブ



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ポンプ設定	ポンプレベル	強 (H) 中 (M) 弱 (L) OFF	検査開始時の送気ポンプの強さを設定できます。
	ポンプ OFF 設定 (分)	0 ~ 60 (分)	
光量制限	検査開始時 Upper GI 01	無効 (500、 6400 他) 有効 (500、 6400 他)	スコープ名が EG で始まる以下の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。 500 システム、6400 シリーズ、740 シリーズ 有効にした場合は、「マルチボタン」の割り当てが「光量制限」になります。
	検査開始時 Upper GI 02	無効 (600、 6600 他) 有効 (600、 6600 他)	スコープ名が EG で始まる以下の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。 600 システム、6600 シリーズ、760 シリーズ 有効にした場合は、「マルチボタン」の割り当てが「光量制限」になります。
	検査開始時 Lower GI	有効 無効	スコープ名が EC で始まる内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。 有効にした場合は、「マルチボタン」の割り当てが「光量制限」になります。
	検査開始時 その他	有効 無効	その他の内視鏡を使用した検査開始時の光量制限機能を設定できます。 有効にした場合は、「マルチボタン」の割り当てが「光量制限」になります。
	制限時最大光量	Level 1 (初期値) Level 2 Level 3	光量制限機能入の時の光量を設定できます。 Level1 より光量を下げたいときには Level2、さらに下げたいときには Level3 と設定します。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
光量制限	拡張設定	有効	有効にした場合は、前面パネルのマルチボタンを押して光量制限機能を入にすると、その操作に連動してシャッタースピードが1/60固定になり、下記「拡張設定」の「明るさ基準値」、「ハイパートーン」、「明るさ補助」の設定値が適用されます。
		無効	
拡張設定	明るさ基準値	-4 ~ 0	上記「光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定した明るさレベルが観察時の明るさの基準値として適用されます。 光源装置の明るさ調節機能と同一の機能です。
		ハイパートーン	上記「光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定したハイパートーンが適用されます。
	明るさ基準値	OFF	
		弱	
		中	
		強	
			上記「光量制限」の「拡張設定」を有効にした場合、光量制限機能を入にすると、本項目で設定した明るさ補助が適用されます。
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> ・マルチボタン → 「4.2.3 切替設定タブ」 ・光量制限 → 「7.9 光量制限」 			

4.2.7 スコープタブ

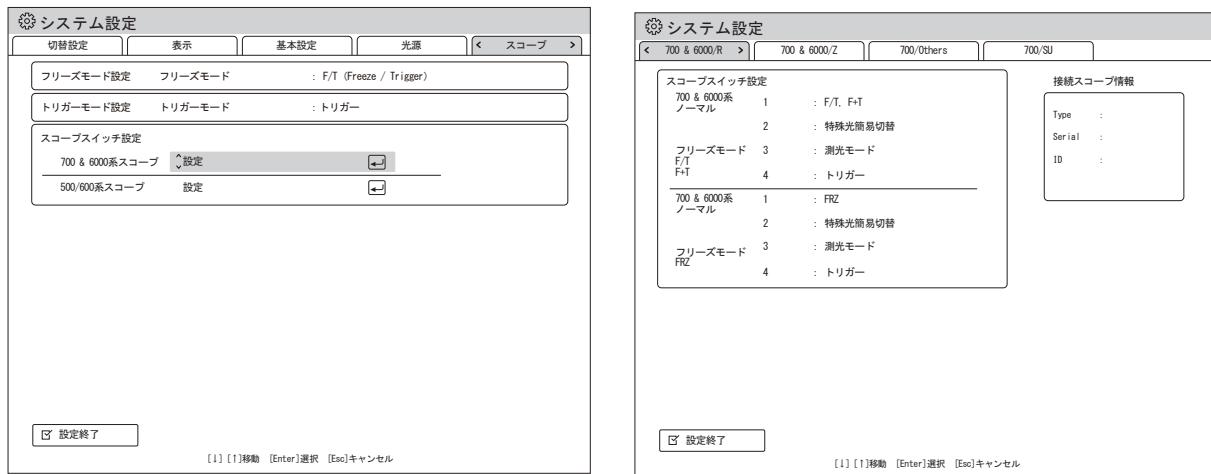


表 1

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明		
フリーズモード 設定	フリーズモード	F/T (Freeze/Trigger)	スコープのスイッチに割り当てられるフリーズモードを変更します。		
		F+T (Freeze+Trigger)			
		FRZ (Freeze)			
【備考】					
ドクターリストの登録がない場合に有効です。設定を変更すると、他のスコープスイッチの割り当ても、スコープスイッチ設定に合わせて入れ替わります。					
トリガーモード 設定	トリガーモード	トリガー	700 & 6000 システムスコープのスイッチに割り当てられるトリガーモードを変更します。		
		シングルトリガー			
		シングルトリガー (P)			
【備考】					
<ul style="list-style-type: none"> シングルトリガー 内視鏡の「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押しても、カラープリンター、デジタルプリンター、静止画記録装置、動画記録装置の制御はできません。 					
<ul style="list-style-type: none"> シングルトリガー (P) 内視鏡の「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押すと、カラープリンター、デジタルプリンター、静止画記録装置で画像を取り込むこと、動画記録装置で動画記録の開始ができます。 					
スコープ スイッチ設定	700 & 6000 系 スコープ	設定	表2のサブメニュー画面が表示されます。		
	500/600 系 スコープ	設定			
【備考】					
<ul style="list-style-type: none"> スコープを接続した時に、各スコープスイッチを押して動作を確認し、正しく機能が割り当てられているか確認します。 					
<ul style="list-style-type: none"> 再設定をした場合、それが別号機や別機種のスコープであっても元の設定が上書きされます。 					

表2

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
700 & 6000 系 ノーマル フリーズモード F/T F+T	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「F/T」「F+T」から設定できます。 →「・700 & 6000 システム（4スイッチ）スコープの場合」
	2		
	3		
	4		
700 & 6000 系 ノーマル フリーズモード FRZ	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「FRZ」のみ設定できます。 必ず、「トリガー」「シングルトリガー」「レコード」の割り当てが必要です。 →「・700 & 6000 システム（4スイッチ）スコープの場合」
	2		
	3		
	4		
700 & 6000 系 ズーム フリーズモード F/T F+T	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「F/T」「F+T」から設定できます。 →「・700 & 6000 システム（5スイッチ）スコープの場合（1）」
	2		
	3		
	4		
	5		
	FR+OM (RC)	設定なし トリガー レコード	
700 & 6000 系 ズーム フリーズモード FRZ	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「FRZ」のみ設定できます。 必ず、「トリガー」「シングルトリガー」「レコード」の割り当てが必要です。 →「・700 & 6000 システム（5スイッチ）スコープの場合（1）」
	2		
	3		
	4		
	5		
	FR+OM (RC)	設定なし トリガー シングルトリガー レコード	
700 系 Others フリーズモード F/T F+T	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「F/T」「F+T」から設定できます。 →「・700 システム（5スイッチ）スコープの場合（2）」
	2		
	3		
	4		
	5		
700 系 Others フリーズモード FRZ	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「FRZ」のみ設定できます。 必ず、「トリガー」「シングルトリガー」「レコード」の割り当てが必要です。 →「・700 システム（5スイッチ）スコープの場合（2）」
	2		
	3		
	4		
	5		

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
700 系 超音波 フリーズモード F/T F+T	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「F/T」「F+T」から設定できます。 →「・700 システム超音波スコープ（5スイッチ）の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		
700 系 超音波 フリーズモード FRZ	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	フリーズモード「FRZ」のみ設定できます。 必ず、「トリガー」「シングルトリガー」「レコード」の割り当てが必要です。 →「・700 システム超音波スコープ（5スイッチ）の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		
500 系ノーマル 600 系ノーマル	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・ノーマルスコープの場合」
	MM		
	RC		
500 系ノーマル 600 系ノーマル	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・ノーマルスコープ（4スイッチ）の場合」
	2		
	3		
	4		
600 系光学ズーム SP SW 有	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・光学ズームスコープの場合」
	MM		
	SP		
	FR+OM (RC)		
500 系超音波	FR	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・超音波スコープの場合」
	MM		
	RC		
500 系超音波	1	→「<スコープスイッチに割り当てられる機能>」	→「・超音波スコープ（5スイッチ）の場合」
	2		
	3		
	4		
	5		

参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→「4.2.2 設定の基本操作」

<スコープスイッチに割り当てる機能>

本製品と共に使用する内視鏡のスコープスイッチに割り当てる機能は次の表の通りです。
設定はサービスマンが行います。

機能名称	機能概要
F/T (フリーズ / トリガ)	スイッチを押すと、「フリーズタイム」で設定した時間だけ、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像が表示されます。画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 ※ 静止している間にスイッチを押さないと、静止が解除され、画像は取り込まれません。 ※ フリーズタイムの設定はサービスマンが行います。
F+T (フリーズ + トリガ)	スイッチを押すと、「フリーズタイム」で設定した時間だけ、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示してから、自動的に画像が取り込まれ、静止が解除されます。画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像の取り込みは行わず静止を解除します。 ※ フリーズタイムの設定はサービスマンが行います。
FRZ (フリーズ)	スイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示します。画像が静止している間にもう一度スイッチを押すと、画像の取り込みは行わず静止を解除します。画像を取り込む場合は「トリガー」「シングルトリガー」に設定したスイッチを押してください。 ※ フリーズ機能が割り当たされたスイッチを押した後に、レコード機能が割り当たされたスイッチを押しても、フリーズ状態は解除されません。
トリガー	通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 ※ 画像が静止していないときにスイッチを押しても、画像は取り込まれません。
シングルトリガー	・ 通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 ・ 動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示し、静止画像を取り込みます。画像が取り込まれると、静止は解除されます。
レコード	・ 動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示し、静止画像を取り込みます。画像が取り込まれると、静止は解除されます。 ・ F/T、F+T でフリーズした場合に、このスイッチを押すと画像が取り込まれ静止が解除されます。FRZ でフリーズした場合に、このスイッチを押すと画像が取り込まれ静止は解除されません。
測光モード	測光モード「AUTO/PEAK/AVE」を切り替えます。
シャッタースピード	シャッタースピード設定画面で設定されたシャッタースピード（標準 / 高速）を切り替えます。 →「5.3.6 シャッタースピード」

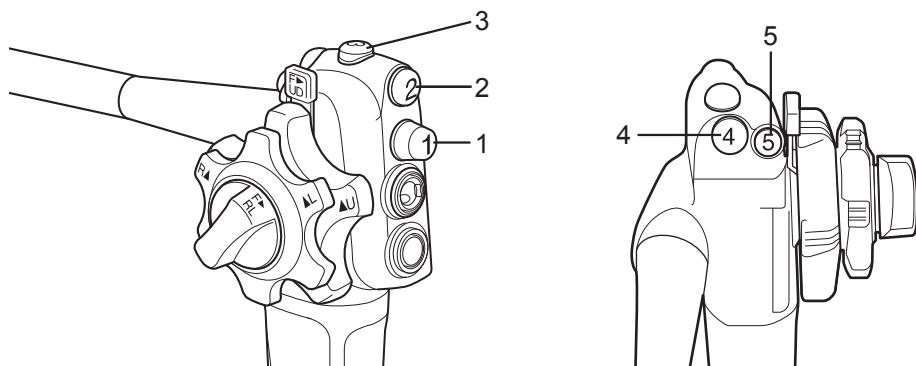
機能名称	機能概要
特殊光簡易切替	特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードを切り替えます。 →「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除 Scope 共通 特殊光簡易切替設定」
構造強調	構造強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.2 構造強調設定」
FICE	FICE の入 / 切を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」に FICE セット番号を割り当てている場合は、FICE 「切」時にこのスイッチを押すと「FICE 入および “割り当て 1” の FICE セット番号呼び出し → “割り当て 2” 呼び出し → “割り当て 3” 呼び出し → FICE 切」と機能を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」はサービスマンが行います。 →「5.3.3 FICE 設定」
色彩強調	色彩強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.4 色彩強調設定」
ディスプレイ	観察画面情報表示領域の表示 / 非表示を切り替えます。 ※「データ表示切替設定」が「無効」に設定されている場合は表示 / 非表示を切り替えることができません。
電子ズーム	このスイッチを押すと、「電子ズーム機能の拡大率」で設定された拡大率の表示に切り替わります。もう一度スイッチを押すと、元の表示(拡大率 : × 1.0)に戻ります。「電子ズーム機能の拡大率」はサービスマンが行います。
光学ズーム：拡大	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率が切り替わります。このスイッチは拡大専用になります。
光学ズーム：縮小	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率が切り替わります。このスイッチは縮小専用になります。
光学ズーム： サイクル	「マルチズームモード」の設定が「2 ステップ」「3 ステップ」「5 ステップ」の場合にこのスイッチを押すと、拡大率が 1 ステップずつ増加します。各設定における最大の拡大率に達した状態でこのスイッチを押すと、標準の拡大率に戻ります。 ※「5 ステップ」に設定していても、「電子連動拡大」機能は動作しません。
SU フリーズ	超音波観測装置にフリーズ要求を行います。フリーズ要求は、連帯装置設定で「SU-1/SU-9000」を選択した場合のみ有効です。 ※超音波スコープ以外には割り当てられません。
SU ストア	超音波観測装置にストア要求を行います。 ストア要求は、連帯装置設定で「SU-1/SU-9000」を選択した場合のみ有効です。 ※超音波スコープ以外には割り当てられません。
タイマー	タイマーをスタート / ストップします。 →「7.17.2 タイマーのスタート / ストップ」
ラップタイム	観察画面に表示されるラップタイムのスタート / ストップ / リセットします。 →「7.17.3 ラップタイム機能」

機能名称	機能概要
診断支援モード	EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。 診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
動画録画 (EX-WS)	EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。 動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
設定なし	スイッチに機能を割り当てません。

<スコープスイッチの設定>

各スコープスイッチには、次の表の機能を割り当てることができます。

・700 & 6000 システム（5スイッチ）スコープの場合（1）



機能	1	2	3	4	5	FR+OM (RC)
F/T (フリーズ / トリガー)	○	○	○	○	○	-
F+T (フリーズ + トリガー)	○	○	○	○	○	-
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○	-
トリガー ^{*1}	○	○	○	○	○	○
シングルトリガー ^{*1 *2}	○	○	○	○	○	○
レコード ^{*1}	○	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○	-
シャッタースピード	○	○	○	○	○	-
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○	-
構造強調	○	○	○	○	○	-
FICE	○	○	○	○	○	-
色彩強調	○	○	○	○	○	-
ディスプレイ	○	○	○	○	○	-
電子ズーム	○	○	○	○	○	-
光学ズーム：拡大 ^{*1}	○	○	○	○	○	-
光学ズーム：縮小 ^{*1}	○	○	○	○	○	-
光学ズーム：サイクル	○	○	○	○	○	-
タイマー	○	○	○	○	○	-
ラップタイム	○	○	○	○	○	-
診断支援モード	○	○	○	○	○	-
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○	○	-
設定なし	○	○	○	○	○	-

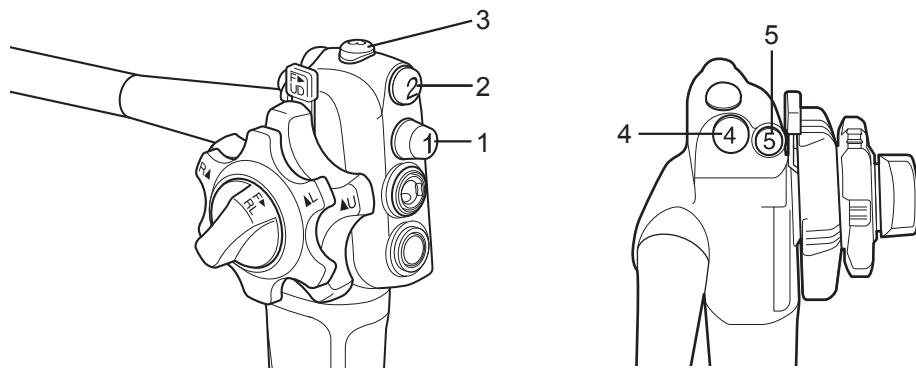
○ : 割り当て可能な機能

*1 「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」と「光学ズーム」の2つの機能を同時に割り当てるすることができます。

*2 「フリーズ設定」で「FRZ」を設定した場合のみ、機能を割り当てることができます。

*3 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・700 システム(5スイッチ)スコープの場合(2)



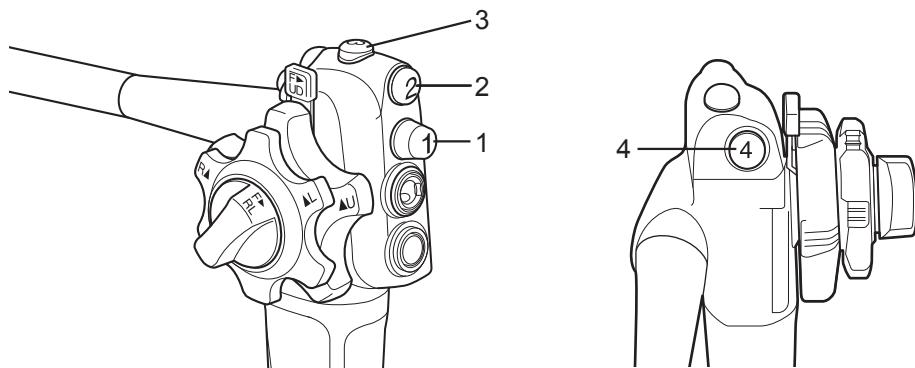
機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ / トリガー)	○	○	○	○	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー ^{※1}	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

※ 1 「フリーズ設定」で「FRZ」を設定した場合のみ、機能を割り当てるできます。

※ 「フリーズ/トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・700 & 6000 システム（4スイッチ）スコープの場合



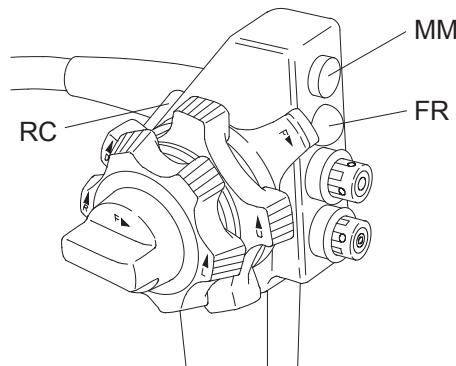
機能	1	2	3	4
F/T (フリーズ / トリガー)	○	○	○	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○
シングルトリガー ^{※1}	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○
診断支援モード	○	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

※ 1 「フリーズ設定」で「FRZ」を設定した場合のみ、機能を割り当てるできます。

※ 「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「フリーズ」と「トリガー」、「シングルトリガー」「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

・ノーマルスコープの場合



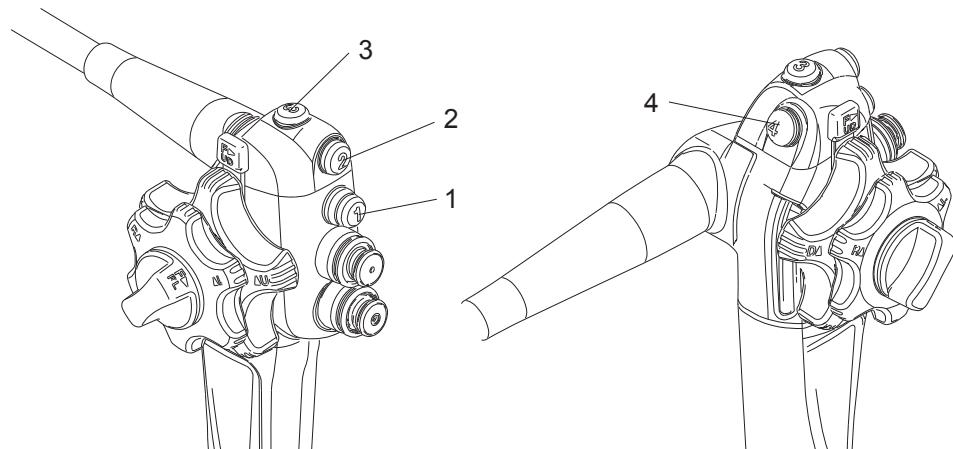
機能	FR	MM	RC
F/T (フリーズ / トリガー)	○	-	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	-	○
FRZ (フリーズ)	○	-	○
トリガー	○	○	○
レコード	-	○	○
測光モード	-	○	○
シャッタースピード	-	○	○
特殊光簡易切替	-	○	○
構造強調	-	○	○
FICE	-	○	○
色彩強調	-	○	○
ディスプレイ	-	○	○
電子ズーム	-	○	○
タイマー	-	○	○
ラップタイム	-	○	○
動画録画 (EX-WS)	-	○	○
設定なし	-	○	○

○ : 割り当て可能な機能

※ MM のスコープスイッチがない内視鏡では、観察画面のスイッチ設定表示に、割り当てた機能が表示されますが、動作いたしません。

※ ドクターリストのフリーズモードで「フリーズ」を設定しているときに、トリガーもしくはレコードの機能が RC スイッチに割り当てられていない場合、自動的に RC スイッチにトリガーの機能が割り当てられます。

・ノーマルスコープ（4スイッチ）の場合

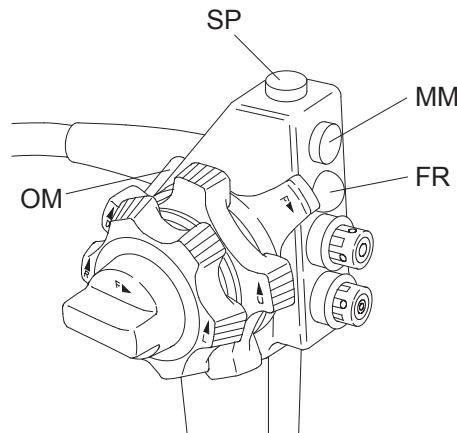


機能	1	2	3	4
F/T (フリーズ / トリガー)	○	-	-	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	-	-	○
FRZ (フリーズ)	○	-	-	○
トリガー	○	○	○	○
レコード	-	○	○	○
測光モード	-	○	○	○
シャッタースピード	-	○	○	○
特殊光簡易切替	-	○	○	○
構造強調	-	○	○	○
FICE	-	○	○	○
色彩強調	-	○	○	○
ディスプレイ	-	○	○	○
電子ズーム	-	○	○	○
タイマー	-	○	○	○
ラップタイム	-	○	○	○
動画録画 (EX-WS)	-	○	○	○
設定なし	-	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

※ ドクターリストのフリーズモードで「フリーズ」を設定しているときに、トリガーもしくはレコードの機能が4スイッチに割り当てられていない場合、自動的に4スイッチにトリガーの機能が割り当てられます。

・光学ズームスコープの場合



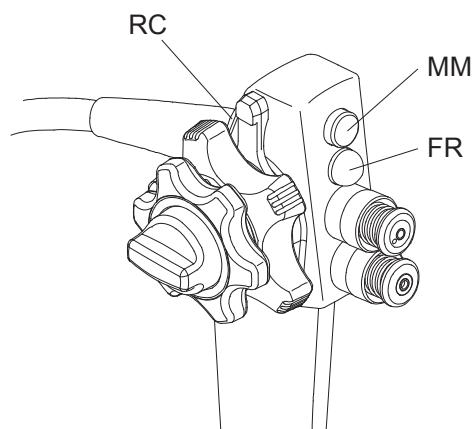
※ SP スイッチのない内視鏡は、SP スイッチの機能を選択できません。

機能	FR	MM	SP	OM	FR+OM
F/T (フリーズ / トリガー)	○	-	-	-	-
F+T (フリーズ + トリガー)	○	-	-	-	-
FRZ (フリーズ)	○	-	-	-	-
トリガー	-	○	○	-	○
レコード	-	○	○	-	○
測光モード	-	○	○	-	-
シャッタースピード	-	○	○	-	-
特殊光簡易切替	-	○	○	-	-
構造強調	-	○	○	-	-
FICE	-	○	○	-	-
色彩強調	-	○	○	-	-
ディスプレイ	-	○	○	-	-
電子ズーム	-	○	○	-	-
光学ズーム	-	-	-	○ (専用)	-
タイマー	-	○	○	-	-
ラップタイム	-	○	○	-	-
動画録画 (EX-WS)	-	○	○	-	-
設定なし	-	○	○	-	-

○ : 割り当て可能な機能

※ ドクターリストのフリーズモードで「フリーズ」を設定しているときに、トリガーもしくはレコードの機能が FR+OM に割り当てられていない場合、自動的に FR+OM にトリガーの機能が割り当てられます。

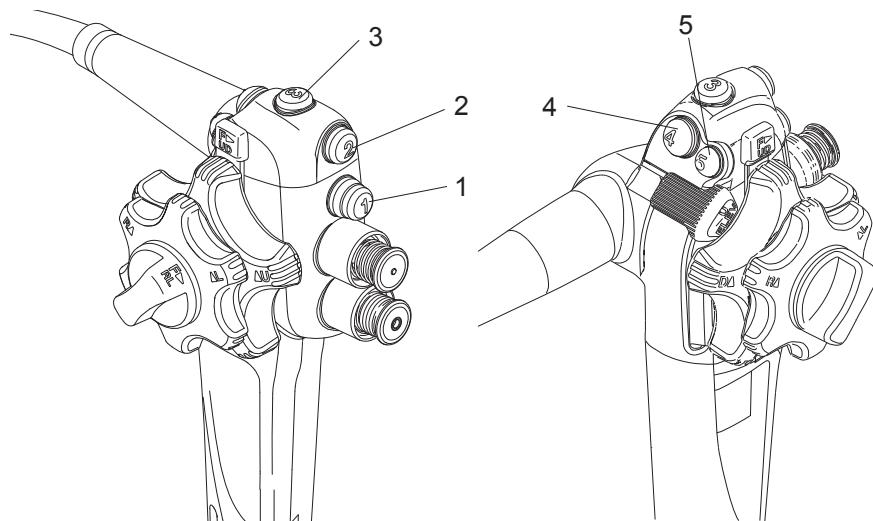
・超音波スコープの場合



機能	FR	MM	RC
F/T (フリーズ / トリガー)	○	-	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	-	○
FRZ (フリーズ)	○	-	○
トリガー	○	○	○
レコード	-	○	○
測光モード	-	○	○
シャッタースピード	-	○	○
構造強調	-	○	○
FICE	-	○	○
色彩強調	-	○	○
ディスプレイ	-	○	○
電子ズーム	-	○	○
SU フリーズ	-	○	○
SU ストア	-	○	○
タイマー	-	○	○
ラップタイム	-	○	○
設定なし	-	○	○

○ : 割り当て可能な機能

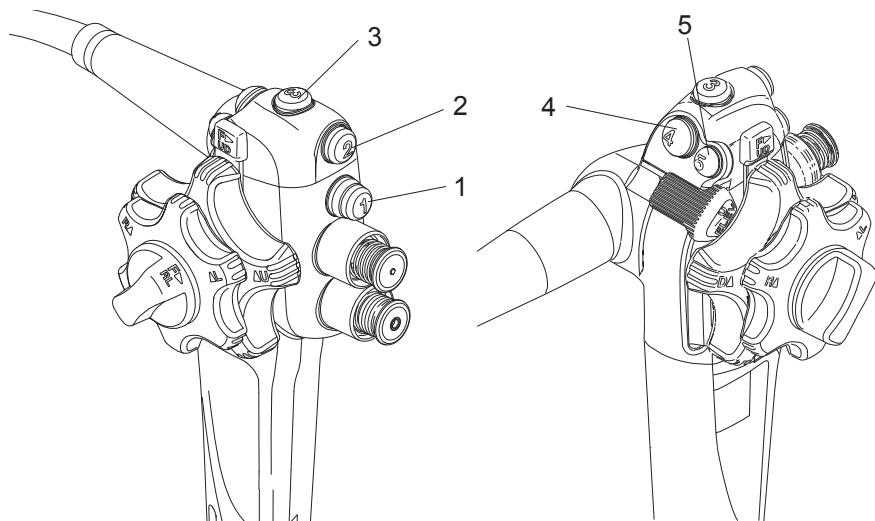
・超音波スコープ（5スイッチ）の場合



機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ / トリガー)	○	-	-	○	-
F+T (フリーズ + トリガー)	○	-	-	○	-
FRZ (フリーズ)	○	-	-	○	-
トリガー	○	○	○	○	○
レコード	-	○	○	○	○
測光モード	-	○	○	○	○
シャッタースピード	-	○	○	○	○
構造強調	-	○	○	○	○
FICE	-	○	○	○	○
色彩強調	-	○	○	○	○
ディスプレイ	-	○	○	○	○
電子ズーム	-	○	○	○	○
SU フリーズ	-	○	○	○	○
SU ストア	-	○	○	○	○
タイマー	-	○	○	○	○
ラップタイム	-	○	○	○	○
設定なし	-	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

・700システム超音波スコープ（5スイッチ）の場合



機能	1	2	3	4	5
F/T (フリーズ / トリガー)	○	○	○	○	○
F+T (フリーズ + トリガー)	○	○	○	○	○
FRZ (フリーズ)	○	○	○	○	○
トリガー	○	○	○	○	○
シングルトリガー ^{※1}	○	○	○	○	○
レコード	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○
シャッタースピード	○	○	○	○	○
特殊光簡易切替	○	○	○	○	○
構造強調	○	○	○	○	○
FICE	○	○	○	○	○
色彩強調	○	○	○	○	○
ディスプレイ	○	○	○	○	○
電子ズーム	○	○	○	○	○
SU フリーズ	○	○	○	○	○
SU ストア	○	○	○	○	○
タイマー	○	○	○	○	○
ラップタイム	○	○	○	○	○
設定なし	○	○	○	○	○

○ : 割り当て可能な機能

※ 1 「フリーズ設定」で「FRZ」を設定した場合のみ、機能を割り当てるできます。

4.2.8 フットスイッチ (FS1) の設定

<フットスイッチ (FS1) に割り当てられる機能>

本製品に接続される内視鏡のフットスイッチに割り当てられる機能は次の表の通りです。設定はサービスマンが行います。変更する場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

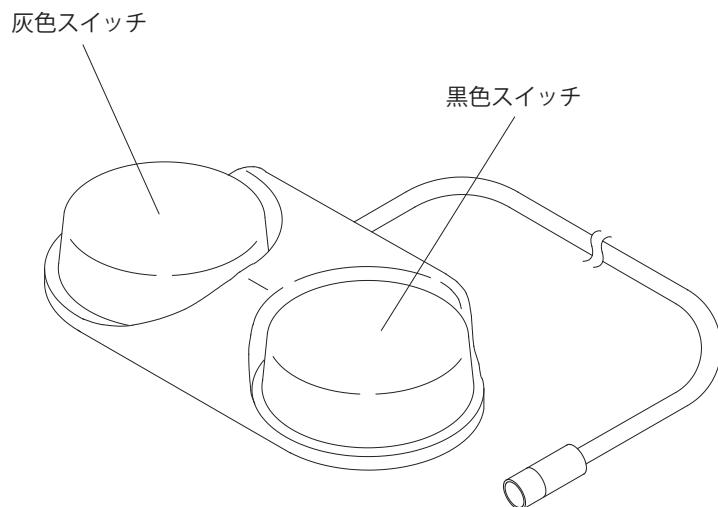
機能名称	機能概要
F/T, F+T, FRZ	スイッチを押すと、スコープスイッチのフリーズスイッチに割り当てた機能と同じ機能が動作します。 →「4.2.7 スコープタブ」
トリガー	通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 ※ 画像が静止していないときにスイッチを押しても、画像は取り込まれません。
レコード	通常観察画面に静止画像が表示されている時、このスイッチを押すと、画像が取り込まれ、静止が解除されます。 ※ 動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、通常観察画面に静止画像、子画面に動画像を表示し、静止画像を取り込みます。画像が取り込まれると、静止は解除されます。
測光モード	測光モード (AUTO/PEAK/AVE) を切り替えます。
シャッタースピード	シャッタースピード設定画面で設定されたシャッタースピード（標準 / 高速）を切り替えます。 →「5.3.6 シャッタースピード」
構造強調	構造強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.2 構造強調設定」
FICE	FICE の入 / 切を切り替えます。「FICE 簡易切替設定」に FICE セット番号を割り当てている場合は、FICE 「切」 時にこのスイッチを押すと「FICE 入および“割り当て 1” の FICE セット番号呼び出し → “割り当て 2” 呼び出し → “割り当て 3” 呼び出し → FICE 切」と機能を切り替えます。 →「5.3.3 FICE 設定」
色彩強調	色彩強調の入 / 切を切り替えます。 →「5.3.4 色彩強調設定」
ディスプレイ	観察画面情報表示領域の表示 / 非表示を切り替えます。 ※ 「データ表示切替設定」が「無効」に設定されている場合は表示 / 非表示を切り替えることができません。
電子ズーム：拡大	電子ズームの拡大率が切り替わります。倍率は、X1.00 ~ X2.00 の範囲で 0.05 ステップで切り替わります。このスイッチは拡大専用になります。
電子ズーム：縮小	電子ズームの拡大率が切り替わります。倍率は、X1.00 ~ X2.00 の範囲で 0.05 ステップで切り替わります。このスイッチは縮小専用になります。
光学ズーム：拡大	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率が切り替わります。このスイッチは拡大専用になります。

機能名称	機能概要
光学ズーム：縮小	光学ズームスコープを接続しているときに光学ズームの拡大率が切り替わります。このスイッチは縮小専用になります。
PinP 子画面表示位置切替	フリーズ機能により通常観察画面に静止画像、子画面に動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。
子画面消去／表示	フリーズ機能により通常観察画面に静止画像、子画面に動画像が表示されている時、このスイッチを押すと、子画面の表示が消去されます。もう一度スイッチを押すと子画面の表示が再表示されます。
特殊光簡易切替	特殊光簡易切替設定で設定した順に観察モードを切り替えます。 →「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除 Scope 共通 特殊光簡易切替設定」
診断支援モード	EW1 システムソフトウェアの診断支援モードの切り替え設定を行います。 診断支援モードが使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
動画録画 (EX-WS)	EW1 システムソフトウェアの動画録画の入／切の切り替え設定を行います。 動画録画が使用できるスコープおよび詳細仕様については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
設定なし	スイッチに機能を割り当てません。

※ 1 : 一部の 530 シリーズスコープの倍率は、X1.00 ~ X1.95 の範囲です。

<フットスイッチ (FS1) の設定>

フットスイッチの各スイッチには、設定によって次の表の機能を割り当てることができます。



機能	灰色	黒色
F/T, F+T, FRZ	○	○
トリガー	○	○
レコード	○	○
測光モード	○	○
シャッタースピード	○	○
構造強調	○	○
FICE	○	○
色彩強調	○	○
ディスプレイ	○	○
電子ズーム：拡大	○	○
電子ズーム：縮小	○	○
光学ズーム：拡大	○	○
光学ズーム：縮小	○	○
PinP 子画面表示位置切替	○	○
子画面消去／表示	○	○
特殊光簡易切替	○	○
診断支援モード	○	○
動画録画 (EX-WS)	○	○
設定なし	○	○

4.2.9 拡大時シャッタースピード切替の設定

光学ズームスコープを接続している場合、光学ズーム時にシャッタースピードを自動的に切り替えることができます。

切り替え方式は次の表の通りです。切り替え方式（自動／自動2／手動）の設定およびOM最大値の設定は、設置時にサービスマンが行います。

自動	光学ズームが最大のとき、シャッタースピードが自動的に光学ズームのシャッタースピードの設定値に変わります。
自動2	通常の観察時（光学ズームをかけていないとき）、シャッタースピードは標準のシャッタースピードの設定値にて動作します。光学ズーム位置が光学ズーム設定の「Far位置」にきた時、シャッタースピードは光学ズームのシャッタースピードの設定値にて動作します。 光学ズーム位置が光学ズーム設定の「Near位置」にきた時、シャッタースピードはOM最大値のシャッタースピードの設定値にて動作します。
手動	光学ズーム時、シャッタースピードは自動的に切り替わりません。「シャッタースピード」を割り当てられたボタンを押すことによって切り替わります。

※ 切り替え方式が自動／自動2で、光学ズームスコープを接続している場合、光学ズームが最大の状態でさらに拡大スイッチを押すと、電子ズームに自動的に切り替わります。

4.2.10 ドクター名の設定

ドクターリストにドクター名を登録する方法と、削除する方法について説明します。

ドクターリストに登録したドクター名は、患者情報の登録の際に選択できます。

患者情報の登録については、「5.2.1 患者情報の登録」を参照してください。

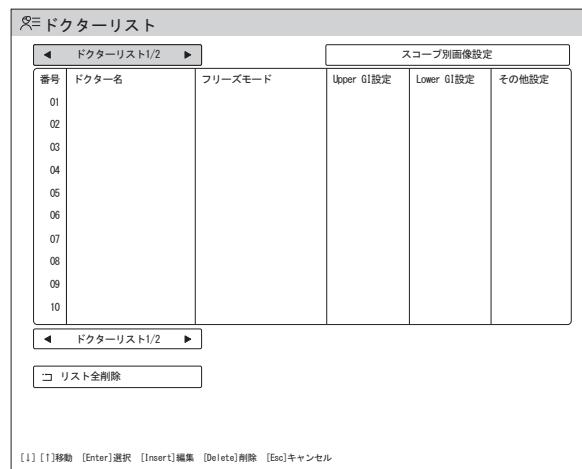
<ドクター名の登録>

ドクター名は 20 名まで登録できます。

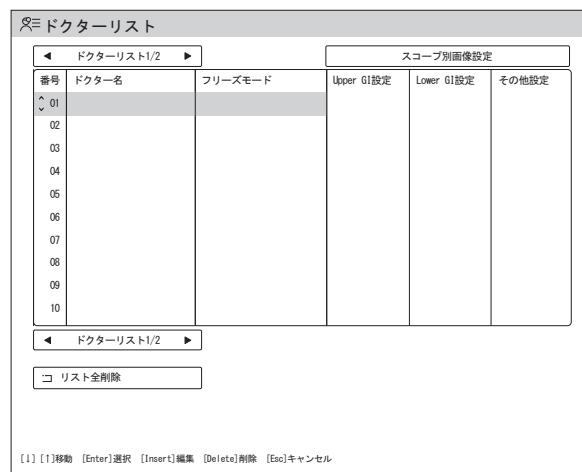
- (1) [ドクター] キーを押します。

ドクターリスト画面が表示されます。

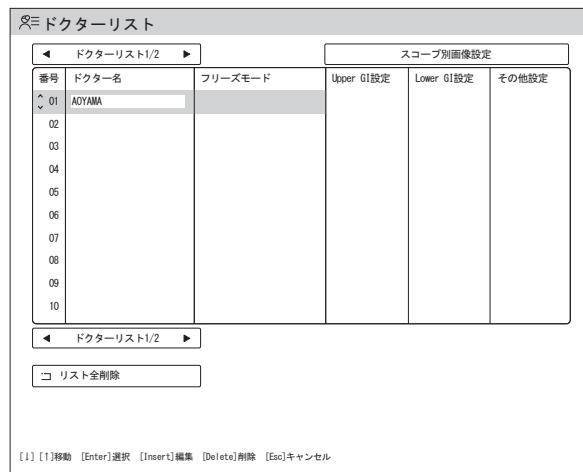
リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。



- (2) ドクター名を登録する番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。
ドクター名を入力できる状態になります。



(3) ドクター名を 20 文字以内で入力します。

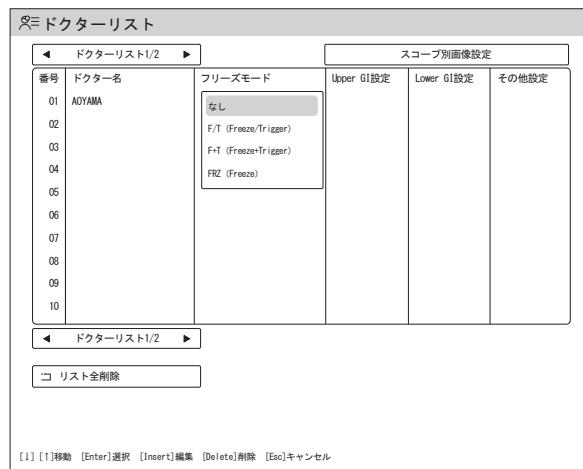


(4) ドクター名の入力が終わったら、[Enter] キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、「なし」またはフリーズモードに設定する機能を選択します。

参考

- ・フリーズモードで設定した機能はドクター固有の設定として、サービスマンによる設定よりも優先されます。
- ・フリーズモードで「フリーズ」を設定している場合
超音波スコープを除く、600 システムスコープまたは 500 システムスコープを接続したときに、トリガーもしくはレコードの機能が RC スイッチまたは 4 スイッチに割り当てられていない場合、自動的に RC スイッチまたは 4 スイッチに、トリガーの機能が割り当てられます。
- ・700/6000 システムスコープは、「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「トリガー」「シングルトリガー」、「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

→ 「4.2.7 スコープタブ」



- (5) 続いてスコープ別画像設定を選びます。接続されている内視鏡の観察部位に合わせて、検査開始時に画像設定を読み込む機能です。ポップアップメニューが表示されるので、「*起動時設定」または設定済みの「画像設定ページ名」を選択します。

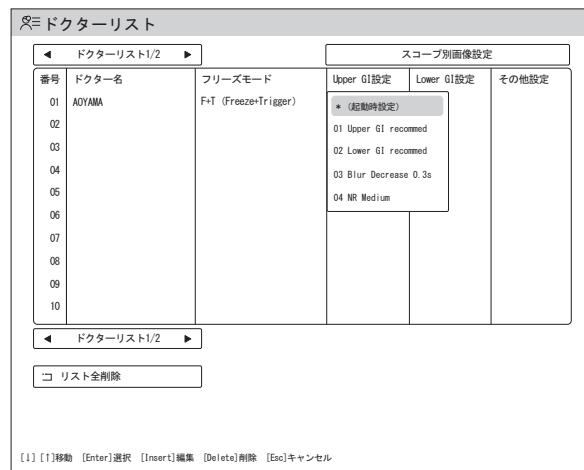
Upper GI 設定 (Upper GI) : スコープ名が EG で始まる内視鏡

Lower GI 設定 (Lower GI) : スコープ名が EC で始まる内視鏡

その他設定 (Others): その他の内視鏡

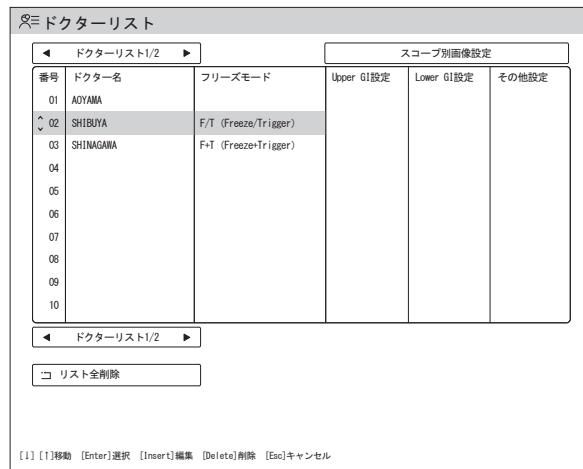
→ 「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除」

参考 ・スコープ別画像設定で選べる項目は、画像設定ページで登録した画像設定ページ名です。



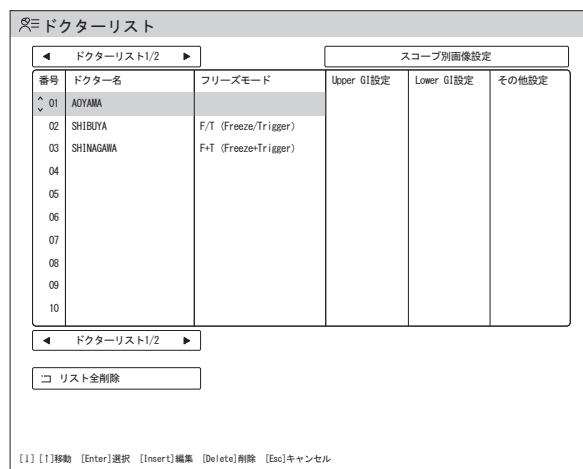
- (6) 複数のドクター名を登録する場合は、手順 (2) ~ (5) を繰り返します。

- (7) 入力が終了したらドクター名を選択して、[Enter]キーを押します。
選択しているドクターの設定を呼び出して、観察画面に戻ります。
ドクターの設定を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc]キーを押します。

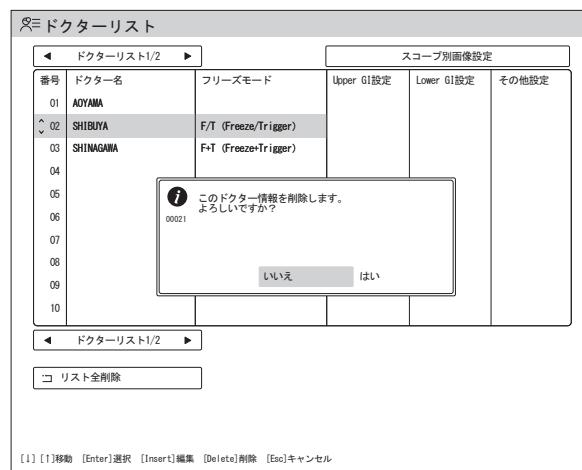


<ドクター名の削除>

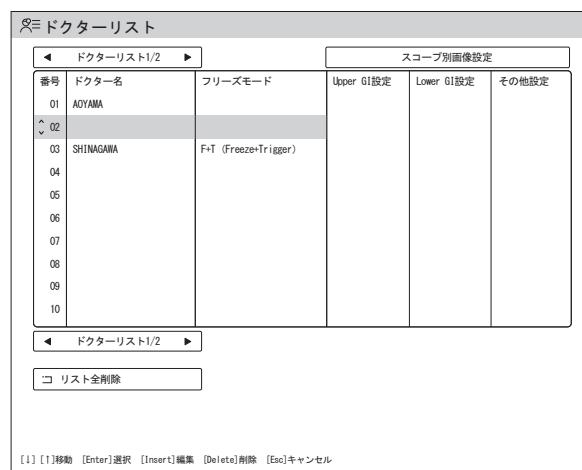
- (1) [ドクター]キーを押します。
ドクターリスト画面が表示されます。
リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2(2/2)」にカーソルを合わせ[←]、
[→]、キーを押します。



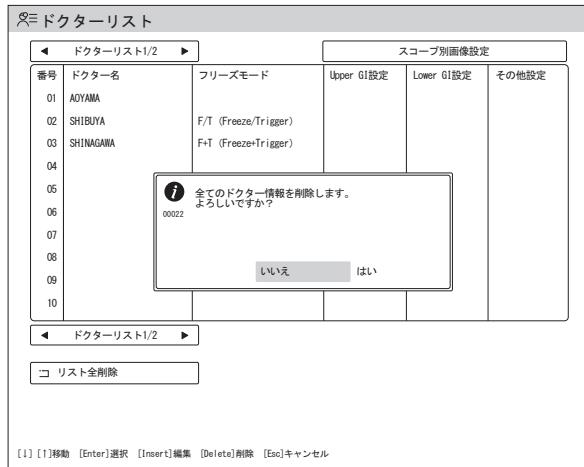
- (2) 削除するドクター名の番号にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。
 「このドクター情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。



- (3) 「はい」を選択するとドクター名が削除されます。
 削除されたリストはブランクで表示されます。



参考 すべてのドクター名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。「全てのドクター情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。



(4) [Enter] キーを押します。

選択しているドクター名を呼び出して観察画面に戻ります。

ドクター名を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc] キーを押します。

4.2.11 手技名の設定

手技リストに手技名を登録する方法と、削除する方法について説明します。

手技リストに登録した手技名は、患者情報の登録の際に選択できます。

患者情報の登録については、「5.2.1 患者情報の登録」を参照してください。

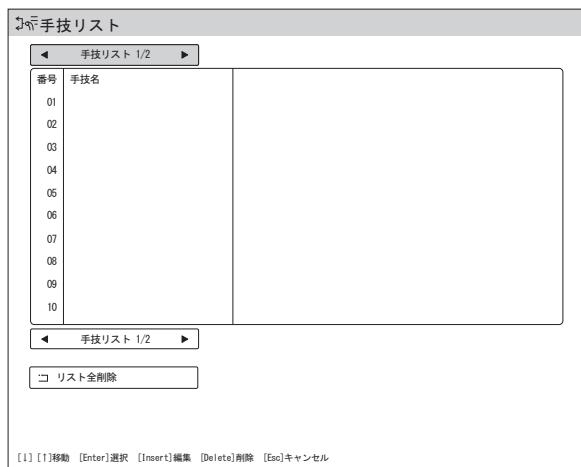
<手技名の登録>

手技名は 20 種類まで登録できます。

- (1) [手技] キーを押します。

手技リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。



- (2) 手技名を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。

手技名を入力できる状態になります。

参考 [Enter] キーを押すと、選択している手技名を呼び出して観察画面に戻ります。手技名が登録されていない場合は何も起こりません。



- (3) 手技名を16文字以内で入力し、[Enter]キーを押します。



- (4) 複数の手技名を登録する場合は、手順(2)～(3)を繰り返します。

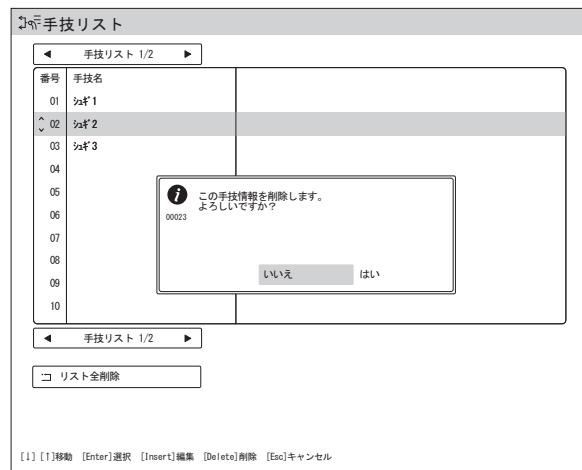
- (5) 入力が終了したら手技名を選択して、[Enter]キーを押します。
選択している手技名を呼び出して、観察画面に戻ります。
手技名を呼び出さずに観察画面に戻るには、[Esc]キーを押します。

<手技名の削除>

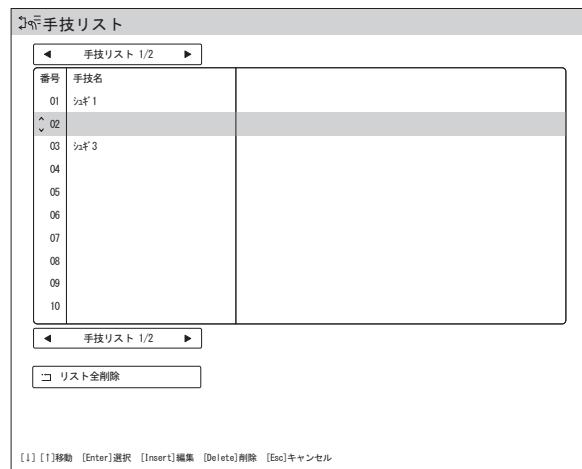
- (1) [手技]キーを押します。
手技リスト画面が表示されます。
リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→]キーを押します。



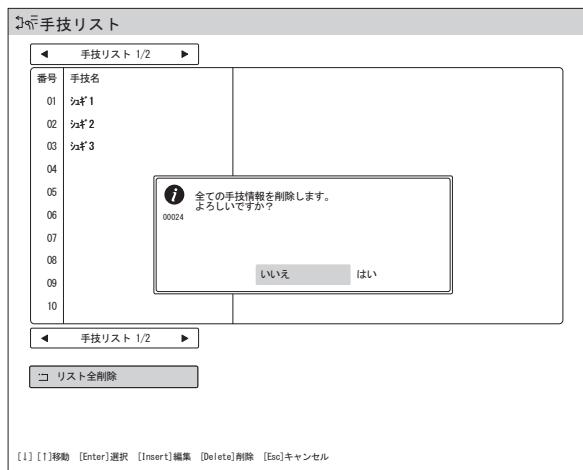
- (2) 削除する手技名の番号にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。
「この手技情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。



- (3) 「はい」を選択すると手技名が削除されます。
削除されたリストはブランクで表示されます。



参考 すべての手技名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。



- (4) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

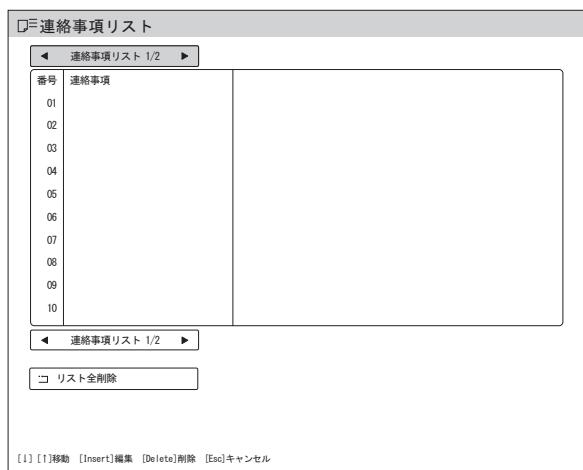
4.2.12 連絡事項の設定

患者情報に反映させる連絡事項を登録しておくことができます。

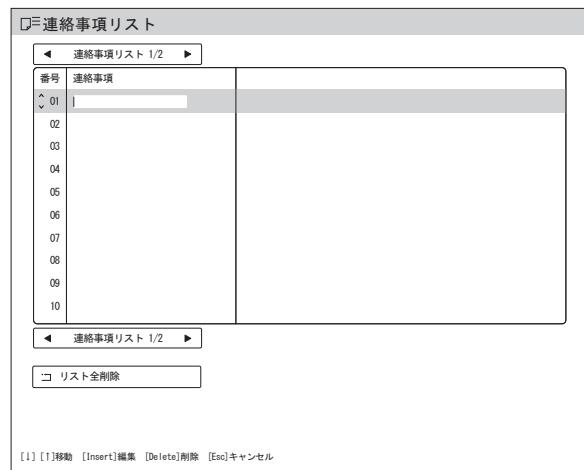
<連絡事項の登録>

連絡事項は 20 種類まで登録できます。

- (1) [連絡事項] キーを押します。
連絡事項リスト画面が表示されます。
リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。



- (2) 連絡事項を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。
連絡事項を入力できる状態になります。



- (3) 連絡事項を 20 文字以内で入力し、[Enter] キーを押します。



- (4) 複数の連絡事項を登録する場合は、手順 (2) ~ (3) を繰り返します。

- (5) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

<連絡事項の削除>

- (1) [連絡事項] キーを押します。

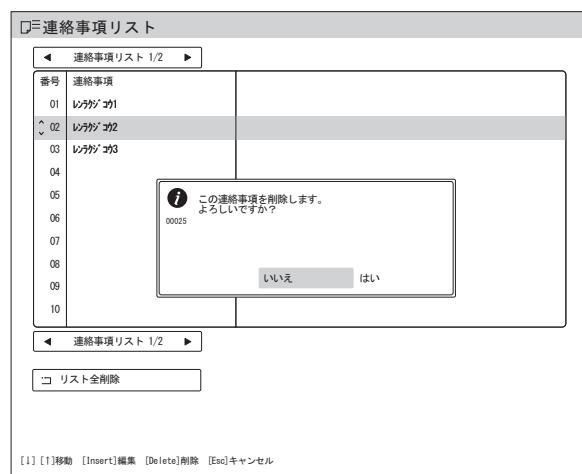
連絡事項リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。

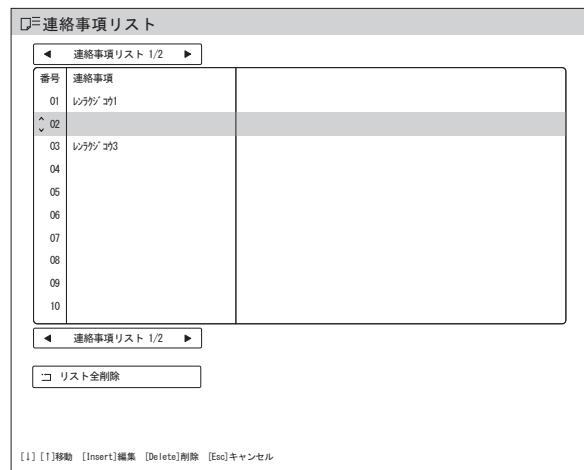


- (2) 削除する連絡事項の番号にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。

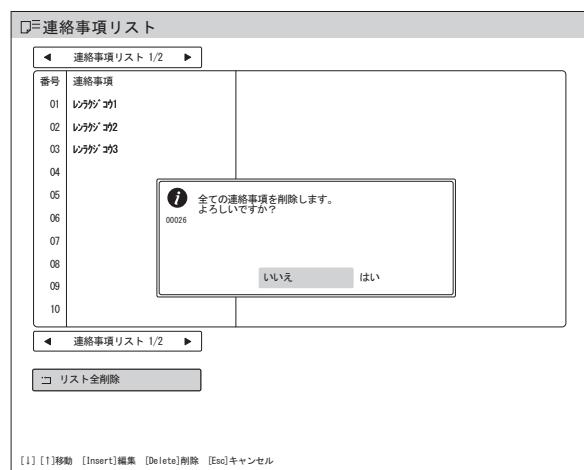
「この連絡事項を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。



- (3) 「はい」を選択すると連絡事項が削除されます。
削除されたリストはブランクで表示されます。



参考 すべての連絡事項を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。



- (4) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

4.3 セキュリティ機能

注意

- ・ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ず、ログオフするか電源を切ってください。
- ・パスワードを忘れてログインできなくなった場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

患者の個人情報やシステムの設定情報にアクセスする際に、ログイン認証画面を表示してパスワードの入力を要求することにより、第三者への情報の漏洩を防ぐことができます。

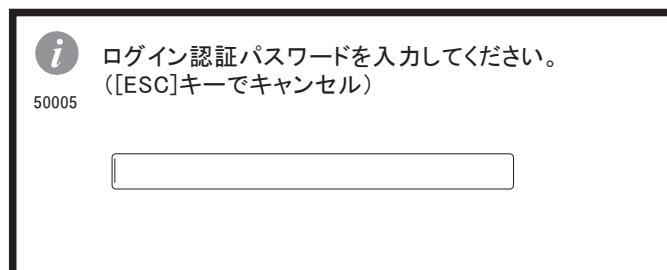
パスワードは、“ユーザー”と、“管理者”的2種類設定できます。管理者が、セキュリティ機能を設定します。

→「4.3.1 セキュリティ管理の機能制限」

初期パスワードは、ユーザーが「user」、管理者が「user1」です。初めて本製品にログインしたときに、パスワードを変更してください。

→「4.3.2 セキュリティ機能 ログイン（パスワードの変更）」

参考 ・変更したパスワードは忘れないように注意してください。個人情報を保護するためにも、パスワードの定期的な変更をおすすめします。

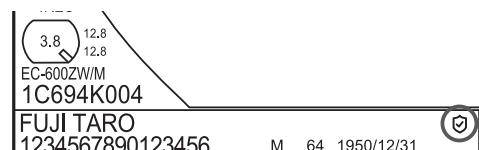


ログインすると、観察画面にログイン状態を示すアイコンが表示されます。

→「3.9 観察画面のデータ表示について」



FullHD 表示



SXGA 表示

4.3.1 セキュリティ管理の機能制限

“管理者”のみ設定を変更できます。

ログイン認証画面が表示された場合、管理者パスワードでログインしてください。

キーボードの【システム】キーを押します。システム設定の画面が表示されますので、基本設定タブからセキュリティ管理を選んで[Enter]キーを押します。機能制限タブに切り替えます。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
アクセス設定	Search	ON	[開始]キー、[検索]キーで設定する項目と、<当日の検査データを簡易的にコピーする方法>のセキュリティ機能の有効(ON)、または無効(OFF)を選択します。
		OFF	
	Patient Info	ON	[患者]キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効(ON)、または無効(OFF)を選択します。
		OFF	
	User Info 1	ON	[ドクター]キー、[システム]キー、[周辺機器]キー、[画像]キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効(ON)、または無効(OFF)を選択します。
		OFF	
	User Info 2	ON	[手技]キー、[連絡事項]キーで設定する項目のセキュリティ機能の有効(ON)、または無効(OFF)を選択します。
		OFF	

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→「4.2.2 設定の基本操作」

4.3.2 セキュリティ機能 ログイン（パスワードの変更）

注意

- ・パスワードを忘れてログインできなくなった場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

キーボードの【システム】キーを押します。システム設定の画面が表示されますので、基本設定タブからセキュリティ管理を選んで【Enter】キーを押します。セキュリティ設定タブに切り替えます。

ユーザーのパスワードでログインしたときは“ユーザーパスワード”のみ変更できます。管理者のパスワードでログインしたときは“ユーザーパスワード”と“管理者パスワード”を変更できます。

初期パスワードは、ユーザーが「user」、管理者が「user1」です。



設定カテゴリー	設定項目	説明
ユーザーログイン 設定	ユーザーパスワード	パスワードは、5文字以上、最大15文字までの英数字および記号を使用できます。
	ユーザーパスワード (確認)	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード (確認)	“ユーザーパスワード”と“ユーザーパスワード(確認)”に入力後、【Enter】キーを押すとパスワードが変更されます。
管理者ログイン 設定	管理者パスワード	パスワードは、5文字以上、最大15文字までの英数字および記号を使用できます。
	管理者パスワード (確認)	変更したパスワードを再度入力します。
	パスワード (確認)	“管理者パスワード”と“管理者パスワード(確認)”に入力後、【Enter】キーを押すとパスワードが変更されます。
ログイン	実行	ログインを選んで【Enter】キーを押すと、セキュリティ機能にログインできます。ログインするとセキュリティ機能が有効になるとともに、ユーザーパスワードまたは管理者パスワードを変更できます。

設定カテゴリー	設定項目	説明
ログオフ	実行	→「4.3.3 セキュリティ機能 ログオフ」

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

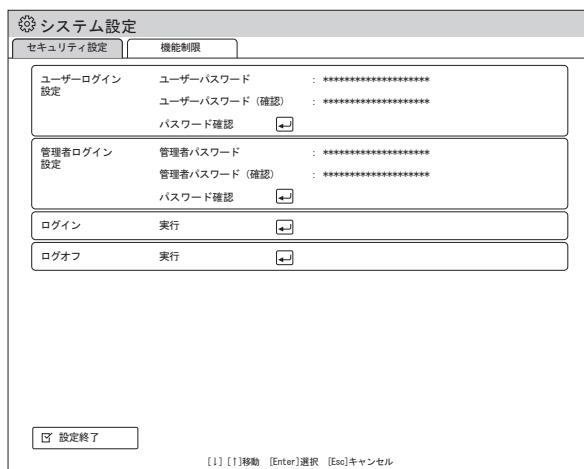
→「4.2.2 設定の基本操作」

4.3.3 セキュリティ機能 ログオフ

注意

- ログインすると、電源を切るまで、すべての情報へアクセスが可能になります。システムから離れる時には、必ずログオフするか電源を切ってください。

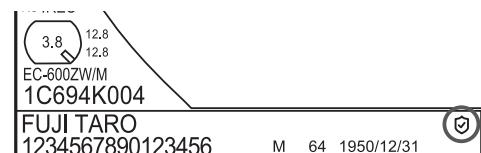
キーボードの【システム】キーを押します。システム設定の画面が表示されますので、基本設定タブからセキュリティ管理を選んで【Enter】キーを押します。セキュリティ設定タブに切り替えます。



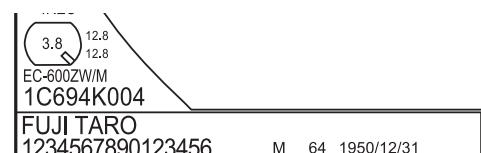
ログオフを選んで【Enter】キーを押します。ログオフ実行後、「設定終了」を選んで【Enter】キーを押します。観察画面からログインの表示が消えていることを確認してください。



FullHD 表示



SXGA 表示



参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「4.2.2 設定の基本操作」

第5章 各機能の設定

5.1 ユーザー設定画面の階層

参考

- ・設定画面は、DVI-D 端子に接続しているモニターに表示されます。
- ・設定画面を表示中、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターには、「メニュー表示中です」のメッセージが表示されます

ファンクションキーを押すと、そのキーに割り当てられている設定画面が表示されます。各キーと設定画面の階層は、次の構成になっています。

< [患者入力] キー >

患者情報入力画面（患者番号自動入力）

This screenshot shows the 'Patient Information Input' screen. At the top, it says '患者番号 01'. Below that is a form with fields for '検査番号' (Check Number), '患者ID' (Patient ID), '患者名' (Patient Name), '性別' (Gender) with options 'なし' (None), 'M(男性)' (Male), and 'F(女性)' (Female), '生年月日' (Birth Date), '年齢' (Age), '医師名' (Doctor's Name), '手技' (Procedure), and '連絡事項' (Contact Items). At the bottom are several buttons: 'この患者で検査する' (Perform test on this patient), '登録終了' (Registration completed), '次の患者情報を入力する' (Input information for the next patient), and '内容クリア' (Clear content).

< [患者] キー >

患者リスト画面

This screenshot shows the 'Patient List' screen. It displays a table with columns for '番号' (Number), '患者名' (Patient Name), and '患者ID' (Patient ID). The first row is selected, showing '01' and '久我'. To the right of the table is a detailed view of the selected patient: '検査番号' (Check Number) 20150214, '患者ID' (Patient ID) 123456, '患者名' (Patient Name) 久我, '性別' (Gender) 男, '生年月日' (Birth Date) 1960/07/07, '年齢' (Age) 54, '医師名' (Doctor's Name) SHIBUYA, '手技' (Procedure) 小児科, and '連絡事項' (Contact Items) 123456789. At the bottom are buttons for '患者リスト全削除' (Delete all patient list) and 'リスト全削除' (Delete all list).

This screenshot shows the 'Patient Information Input' screen. At the top, it says '患者番号 01'. Below that is a form with fields for '検査番号' (Check Number), '患者ID' (Patient ID), '患者名' (Patient Name), '性別' (Gender) with options 'なし' (None), 'M(男性)' (Male), and 'F(女性)' (Female), '生年月日' (Birth Date), '年齢' (Age), '医師名' (Doctor's Name), '手技' (Procedure), and '連絡事項' (Contact Items). At the bottom are buttons for '登録終了' (Registration completed) and '内容クリア' (Clear content).

< [ドクター] キー>

ドクターリスト画面

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2		スコープ別画像設定		
番号	ドクター名	フリーズモード	Upper GI設定	Lower GI設定
01	Aoyama	F/T (Freeze/Trigger)		
02	Shibuya	F+T (Freeze+Trigger)		
03	Shinagawa			
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

リスト全削除

[I] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

< [手技] キー>

手技リスト画面

手技リスト

手技リスト 1/2	
番号	手技名
01	ショット1
02	ショット2
03	ショット3
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	

リスト全削除

[I] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

< [コメント入力] キー>

設定画面は表示されません。

(観察画面上でコメントを入力できる状態にします。)

< [連絡事項] キー>

連絡事項リスト画面

連絡事項リスト

連絡事項リスト 1/2	
番号	連絡事項
01	レントゲン写真1
02	レントゲン写真2
03	レントゲン写真3
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	

リスト全削除

[I] [↑] 移動 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

< [システム] キー >

システム設定画面

システム設定

切替設定	表示	基本設定	光源	スコープ
表示する情報	マスクタイプ	タイプ1		
マルチ	マルチボタン	光量制限		
	マルチキー	マスクタイプ		
インデックス表示	インデックス	ON		
ズーム設定	マルチズームモード	連続		
システムの拡張	設定	[設定]		

設定終了

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

システム設定

切替設定	表示	基本設定	光源	スコープ
表示する情報	検査情報	患者ID		
	検査開始画面	ON		
Spaceキー	画面表示切替	患者情報OFF		
	ラップタイム設定	ラップタイム	OFF	
病院施設名称	病院施設名称			
スコープ情報	優先スコープ情報	スコープ3D		
EX-WS	設定	[設定]		
システムの拡張	設定	[設定]		

設定終了

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

システム設定

切替設定	表示	基本設定	光源	スコープ
日時設定	年月日設定	2015 / 01 / 01		
	日付表示形式	Y/M/D		
時間設定	00 : 00 : 00			
	時間表示形式	12時間		
タイムゾーン	:	GMT + 9 時間		
出力解像度設定	出力解像度	SIGA		
音量設定	音量	中		
	スコープズームS/N音	ON		
タイマー設定	タイマー	タイマー開始/停止		
セキュリティ管理	設定	[設定]		

設定終了

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

システム設定

切替設定	表示	基本設定	光源	スコープ
ポンプ設定	ポンプレベル	強		
	ポンプOFF設定(分)	5		
光量制限	検査開始時 Upper GI 01	無効 (500, 6400 他)		
	検査開始時 Upper GI 02	無効 (600, 6600 他)		
	検査開始時 Lower GI	無効		
	検査開始時 その他	無効		
	制限時最大光量	: Level 1 (初期値)		
拡張設定	拡張設定	有効		
	明るさ基準値	[スライダー] -2		
	ハイバートーン	強		
	明るさ補助	強		

設定終了

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

システム設定

切替設定	表示	基本設定	光源	< スコープ >
フリーズモード設定	フリーズモード	F/T (Freeze / Trigger)		
トリガーモード設定	トリガーモード	トリガー		
スコープスイッチ設定	700 & 6000系スコープ	[設定] [設定]		
	500/600系スコープ	[設定]		

設定終了

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

< [周辺機器] キー >

画像メモリー

◎ 周辺機器設定

内部メモリー	圧縮率 : 1/10 (JPEG) 記録可能枚数警告メッセージ : ON 画面表示 : OFF 情報1 : 情報2 : 内部メモリー使用率 : 2% 使用 325MB空き 転送済バックアップ画像の一括削除 : <input checked="" type="checkbox"/> コピー済み画像の一括削除 : <input checked="" type="checkbox"/> 内部メモリー初期化 : <input checked="" type="checkbox"/>
外部メモリー	画像データ自動コピー : OFF 使用 : 圧縮率 : 外部メモリー使用率 : 10% 使用 340MB空き 外部メモリー初期化 : <input checked="" type="checkbox"/>

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

ネットワーク

◎ 周辺機器設定

画像メモリー	ネットワーク < プリント > 記憶装置 転送設定
--------	---------------------------

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

プリンタ

◎ 周辺機器設定

プリント設定	使用 : 使用しない プリント枚数 : 1 マルチプリント : 4in1
--------	--

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

記憶装置

◎ 周辺機器設定

画像メモリー	ネットワーク < プリント > 記憶装置 < 転送設定 >
--------	-------------------------------

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

転送設定

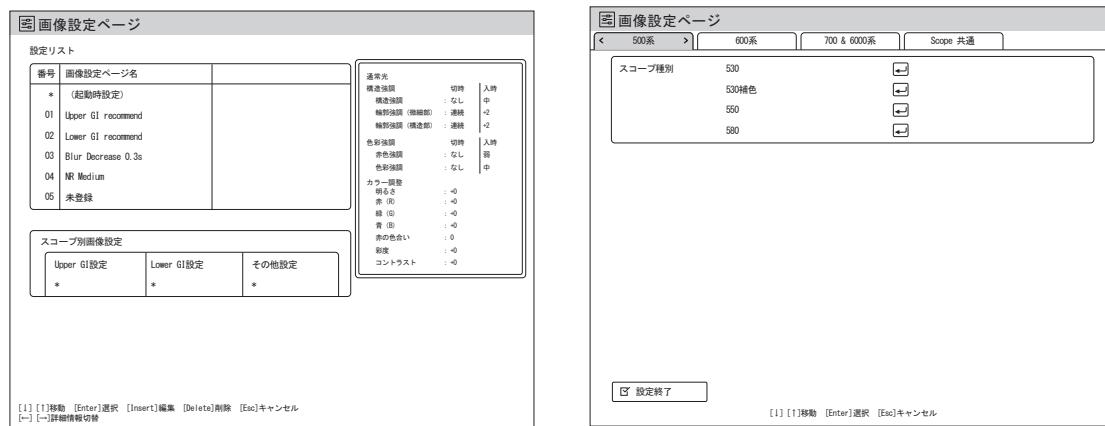
◎ 周辺機器設定

ネットワーク設定	使用 : 使用しない 圧縮率 : 1/20 (JPEG)
内部メモリー保存設定	内部メモリーにバックアップ : OFF 内部メモリーにバックアップする場合、内部メモリーの設定は無効になります。 転送済バックアップ削除 : 使用しない 未転送バックアップ送信 : 使用しない

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

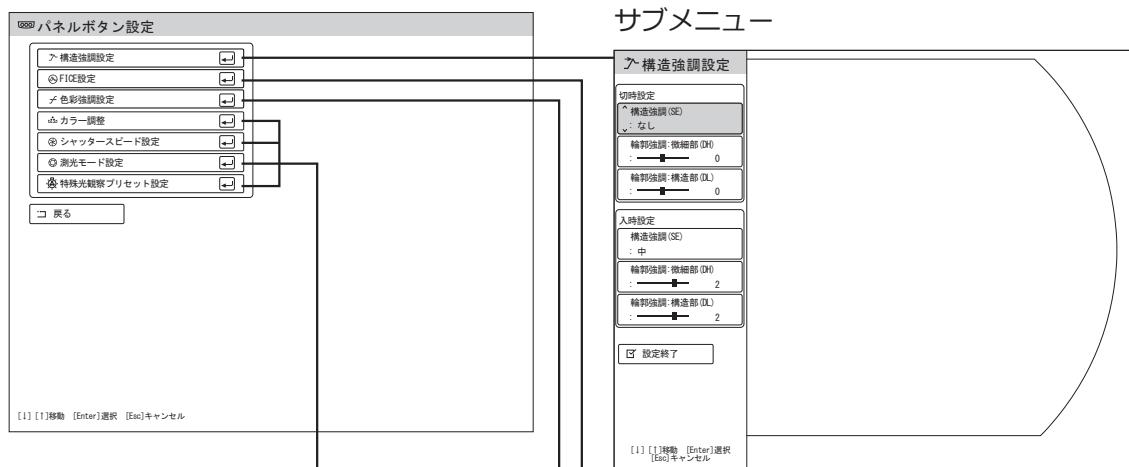
< [画像] キー >

画像設定ページ画面



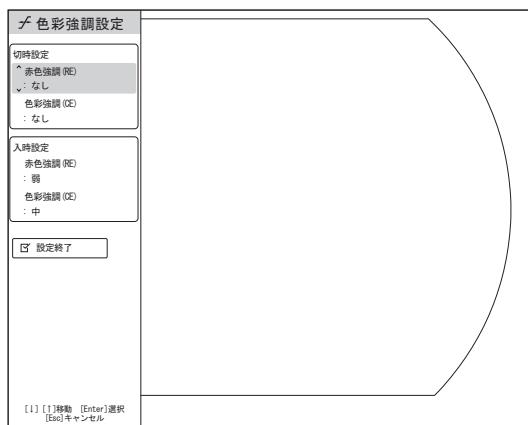
< [パネル] キー >

パネルボタン設定画面

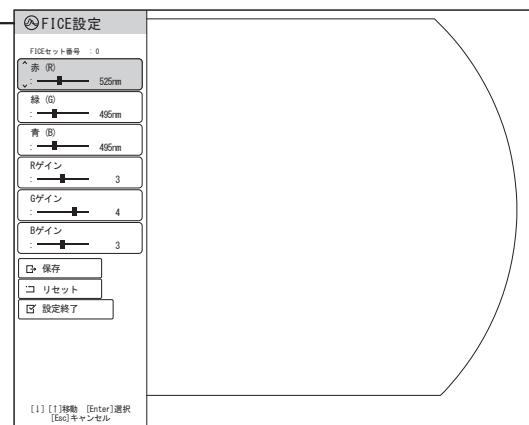


この4つのサブメニューは
次ページに表示しています。

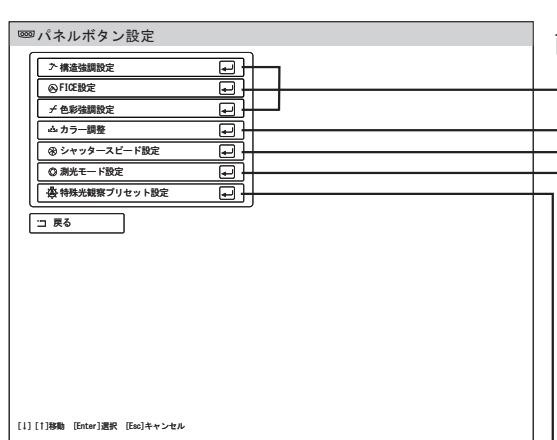
サブメニュー



サブメニュー

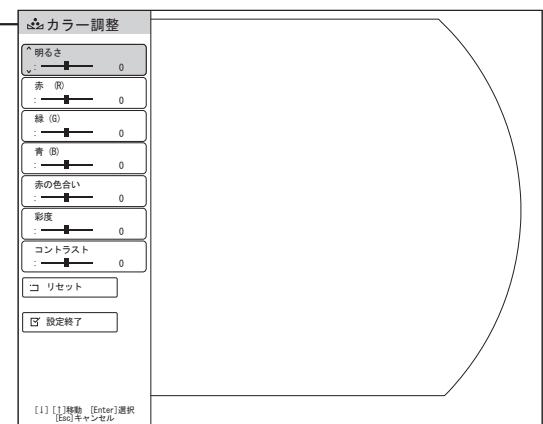


パネルボタン設定画面

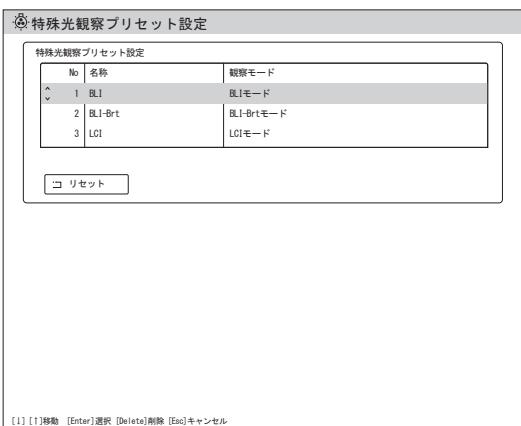


この3つのサブメニューは
前ページに表示しています。

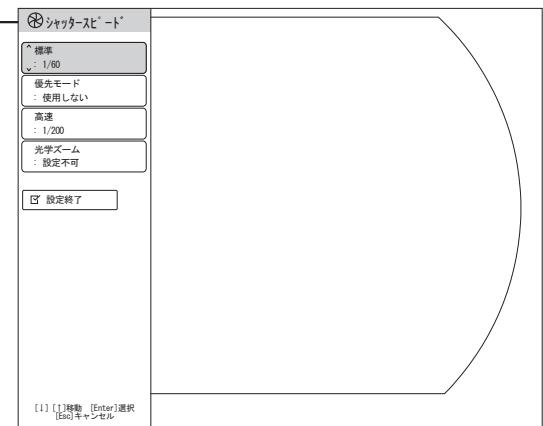
サブメニュー



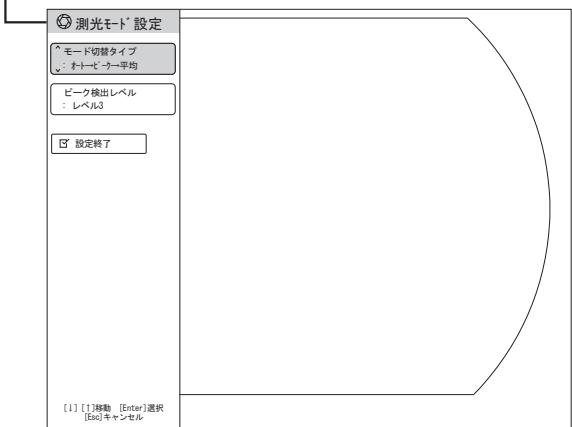
サブメニュー



サブメニュー



サブメニュー



< [検索] キー>

検索画面（条件入力）ネットワーク使用時

検索

条件設定

検査番号 or 患者ID	:	/
検査日付	:	/ /
内部メモリー画像	:	含める
外部メモリー画像	:	含める
FTP未転送バックアップ画像	:	含める
FTP転送済みバックアップ画像	:	含める

[I] [T]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

検索画面（リスト）

検索

検索条件 : NA NA

検索結果 1/1

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2014/11/27			
02	2014/11/27			
03	2014/11/27			

検索結果 1/1 [A]全てコピー [C]コピー

[I] [T]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル [N]転送 [D]削除

5.2 患者情報登録・編集

この章では、患者情報の登録・編集の操作について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

5.2.1 患者情報の登録

患者情報の登録方法について説明します。

患者情報入力画面は、「患者番号自動入力」と「患者番号固定入力」の2つのモードから選択できます。設定は、サービスマンが行います。

「患者番号自動入力」を選択した場合、患者情報は45名まで患者リストに登録できます。

「患者番号固定入力」を選択した場合、患者情報は検査ごとに入力します。

【患者入力】キーで患者情報を入力する場合、患者番号は「01」に固定され、患者情報を登録するたびに新しい患者情報を上書きします。

<患者番号自動入力>

(1) 【患者入力】キーを押します。

患者情報入力画面が表示されます。

患者情報は「患者番号 01」から始まります

- (2) 「検査番号」にカーソルを合わせます。
文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、[Enter] キーを押します。
検査番号は 16 文字以内で入力します。

参考 登録しない項目は、[Enter] キーを押さずにカーソルを次の項目に移動します。

患者情報入力
患者番号 01

検査番号	: 20150214
患者ID	:
患者名	:
性別	: なし M(男性) F(女性)
生年月日	: / /
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する
□ 登録終了
➡ 次の患者情報を入力する
□ 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (3) 「患者 ID」にカーソルを合わせます。
患者 ID を入力し、[Enter] キーを押します。
患者 ID は 16 文字以内で入力します。

参考 周辺機器によっては、受け付け可能な患者 ID の文字数が 16 文字未満の場合があります。各周辺機器の受け付け可能な文字数を確認してから入力してください。

患者情報入力
患者番号 01

検査番号	: 20150214
患者ID	: 123456
患者名	:
性別	: なし M(男性) F(女性)
生年月日	: / /
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する
□ 登録終了
➡ 次の患者情報を入力する
□ 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (4) 「患者名」にカーソルを合わせます。
患者名を入力し、[Enter] キーを押します。
患者名は 20 文字以内で入力します。

□ 患者情報入力

患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	アリス・カワ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	/ /
年齢	:	
医師名	:	
手技	:	
連絡事項	:	

この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (5) 「性別」にカーソルを合わせます。
[←]、[→] キーで、性別を「なし」、「M（男性）」、「F（女性）」から選択します。

□ 患者情報入力

患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	アリス・カワ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	/ /
年齢	:	
医師名	:	
手技	:	
連絡事項	:	

この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

(6) 「生年月日」にカーソルを合わせます。生年月日を入力します。

参考 西暦または和暦で入力してください（例：昭和47年→S47）。

The screenshot shows the 'Patient Information Input' screen with the following details:

- Patient ID: 01
- Check-in Number: 20150214
- Patient ID: 123456
- Patient Name: ブラ. カカ
- Gender: なし (M(男性) F(女性))
- Birth Date: 1960 / 07 / | (cursor)
- Age: | (auto-calculated age)
- Doctor's Name: |
- Procedure: |
- Contact Details: |
- Action Buttons:
 - [この患者で検査する]
 - [登録終了] (Selected)
 - [次の患者情報を入力する]
 - [内容クリア]

Bottom status bar: [↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

(7) 「生年月日」を入力すると「年齢」に患者の年齢が自動計算で表示されます。
「年齢」にカーソルを合わせると、数字入力で年齢を修正できます。

参考 再度カーソルを「生年月日」に合わせると、年齢を自動計算した値に戻します。

The screenshot shows the 'Patient Information Input' screen with the following details:

- Patient ID: 01
- Check-in Number: 20150214
- Patient ID: 123456
- Patient Name: ブラ. カカ
- Gender: なし (M(男性) F(女性))
- Birth Date: 1960 / 07 / 07
- Age: 54 (auto-calculated age)
- Doctor's Name: |
- Procedure: |
- Contact Details: |
- Action Buttons:
 - [この患者で検査する]
 - [登録終了]
 - [次の患者情報を入力する]
 - [内容クリア]

Bottom status bar: [↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (8) 「医師名」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
ドクターリストに登録されているドクター名がポップアップメニューで表示されます。

→ 「4.2.10 ドクター名の設定」

「なし」または「ドクター名」を選択します。



- (9) ドクター名が見つからない場合や直接入力する場合は、「医師名」にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。
文字入力が可能となるのでドクター名を直接入力し、[Enter] キーを押します。
「ドクターリスト自動検索」が ON に設定されている場合、入力したドクター名に一致するものがドクターリストに登録されているか自動検索を行います。
一致するものがある場合はドクターリストに登録された設定を使用します。
一致するものがない場合は「該当するドクターが登録されていません」の確認メッセージが表示されます。

- 参考**
- ・「ドクターリスト自動検索」は、大文字／小文字を区別します。
 - ・ここで入力したドクター名は、ドクターリストに登録されません。

→ 「4.2.10 ドクター名の設定」

□ 患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20150214
患者ID	: 123456
患者名	: ブノ カカ
性別	: なし M(男性) F(女性)
生年月日	: 1960 / 07 / 07
年齢	: 54
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: なし

この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (10) 「手技」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
手技リストに登録されている手技名がポップアップメニューで表示されます。

→ 「4.2.11 手技名の設定」

「なし」または「手技名」を選択します。

手技名を直接入力する場合は、手技名にカーソルを合わせ、[Insert] キーを押します。

文字入力が可能となるので手技名を直接入力し、[Enter] キーを押します。

入力した手技名に一致するものが手技リストに登録されているか自動検索を行います。

一致するものがある場合は手技リストに登録された手技名を使用します。

一致するものがない場合は「該当する手技が登録されていません」の確認メッセージが表示されます。

参考 ここで入力した手技名は、手技リストに登録されません。

→ 「4.2.11 手技名の設定」

□ 患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20150214
患者ID	: 123456
患者名	: ブノ カカ
性別	: なし M(男性) F(女性)
生年月日	: 1960 / 07 / 07
年齢	: 54
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: なし

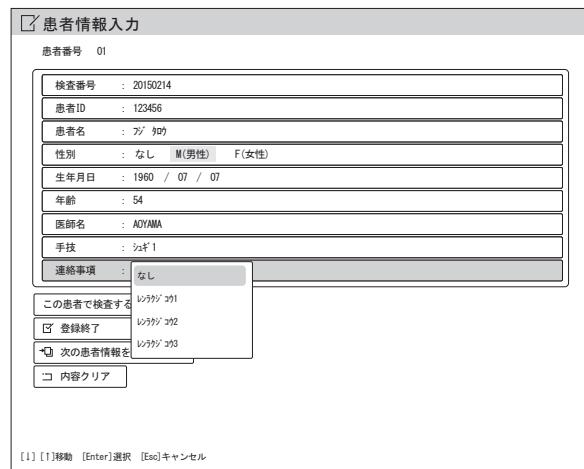
この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (11) 「連絡事項」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
連絡事項リストに登録されている連絡事項がポップアップメニューで表示されます。

→ 「4.2.12 連絡事項の設定」

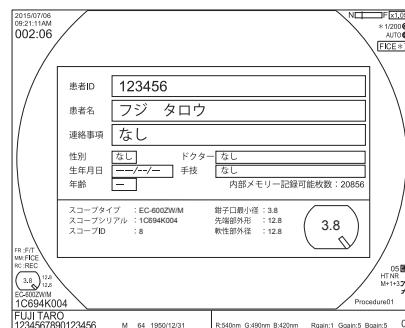
「なし」または「連絡事項」を選択します。



- (12) 手順 (1) ~ (11) の操作で、1人分の患者情報の登録が完了します。
登録した患者情報でそのまま検査を行うには「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。



呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考 この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーまたはネットワークの FTP サーバーに保存されます。

- 「5.4.2 画像メモリータブ」
- 「5.4.4 転送設定タブ」

(13) 続けて複数の患者情報を登録する場合は「次の患者情報を入力する」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

次の患者情報「患者番号 02」を登録できる状態になります。

患者情報入力	
患者番号 01	
検査番号	: 20150214
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M(男性) F(女性)
生年月日	: 1960 / 07 / 07
年齢	: 54
医師名	: AOYAMA
手技	: フラギル
連絡事項	: レラケン コリ
<input type="checkbox"/> この患者で検査する	
<input checked="" type="checkbox"/> 登録終了	
<input type="checkbox"/> 次の患者情報を入力する	
<input type="checkbox"/> 内容クリア	

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

(14) 手順(2)～(11)を繰り返して、患者情報を入力します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	ゾウ カカ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	1960 / 07 / 1
年齢	:	
医師名	:	
手技	:	
連絡事項	:	

この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

(15) すべての患者情報を入力したら、「登録終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

観察画面に戻ります。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	ゾウ カカ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	1960 / 07 / 07
年齢	:	54
医師名	:	AOYAMA
手技	:	ムギ1
連絡事項	:	レガクコ1

この患者で検査する
 登録終了
 次の患者情報を入力する
 内容クリア

[↓] [↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

<患者番号固定入力>

- (1) [患者入力] キーを押します。
 患者情報入力画面が表示されます。
 患者情報は「患者番号 01」固定です。



The screenshot shows the 'Patient Information Input' screen with the following details:

- Patient ID: 01
- Content Clear button: Content Cleared
- Search Number: 20150214
- Patient ID: 123456
- Patient Name: ブルカカ
- Gender: なし (M(男性) F(女性))
- Birth Date: 1980 / 07 / 07
- Age: 54
- Doctor Name: AOYAMA
- Procedure: ハギ1
- Contact Method: レラクゼン

Buttons at the bottom: この患者で検査する, [I] [T] 移動, [Enter]選択, [Esc]キャンセル.

- (2) すでに患者情報が入力されている場合など、入力されている内容をすべて消去したい場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
 「患者情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると表示している患者情報のすべての内容を消去します。



The screenshot shows the 'Patient Information Input' screen with the following details:

- Patient ID: 01
- Content Clear button: Content Cleared
- Search Number: 20150214
- Patient ID: 123456
- Patient Name: ブルカカ
- Gender: なし (M(男性) F(女性))
- Birth Date: 1980 / 07 / 07
- Age: 54
- Doctor Name: AOYAMA
- Procedure: ハギ1
- Contact Method: レラクゼン

A confirmation dialog box is displayed in the center:

患者情報をクリアします。
よろしいですか?

いいえ はい

Buttons at the bottom: この患者で検査する, [I] [T] 移動, [Enter]選択, [Esc]キャンセル.

(3) 「検査番号」にカーソルを合わせます。

文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、[Enter] キーを押します。

検査番号は 16 文字以内で入力します。

参考 登録しない項目は、[Enter] キーを押さずに、[↑]、[↓] キーでカーソルを次の項目に移動します。

検査番号	:	
患者ID	:	
患者名	:	
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	/ /
年齢	:	
医師名	:	
手技	:	
連絡事項	:	

この患者で検査する

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

(4) 「<患者番号自動入力>」の(3)～(11)の手順に従って、患者情報の項目を入力していきます。

(5) 全ての患者情報を登録し終わったら「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

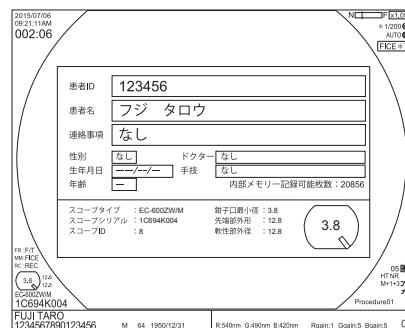
参考 システム設定画面の「表示する情報」を「患者ID」に設定している場合、患者情報入力画面を開いた直後は、「患者ID」が選択されています。「検査番号」を入力する場合には、[↑]、[↓] キーを使って「検査番号」を入力してください。

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	アヤナミ カズオ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	1960 / 07 / 07
年齢	:	54
医師名	:	AOYAMA
手技	:	内科
連絡事項	:	レラケジコ

この患者で検査する

[↓] [↑] 移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考 この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーまたはネットワークの FTP サーバーに保存されます。

- 「5.4.2 画像メモリータブ」
- 「5.4.4 転送設定タブ」

5.2.2 患者情報の呼び出し

患者情報の呼び出し方法について説明します。

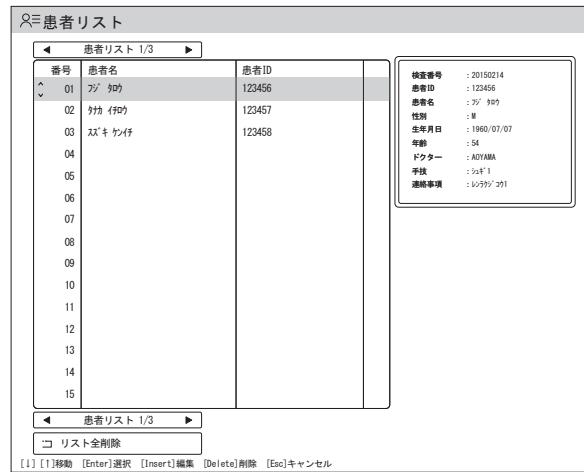
- (1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。

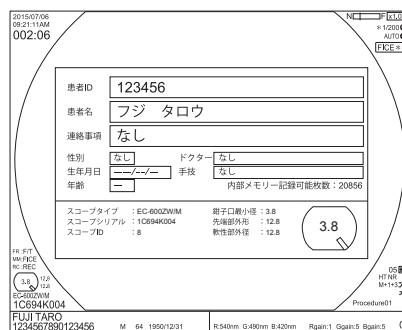
リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。



(2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。



[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考 この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーまたはネットワークのFTPサーバーに保存されます。

- 「5.4.2 画像メモリータブ」
- 「5.4.4 転送設定タブ」

5.2.3 患者情報の修正

患者情報の修正方法について説明します。

- (1) [患者] キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (～3/3)」にカーソルを合わせ、
[←]、[→] キーを押します。

参考 一度検査終了をした患者情報は、検査済みを示すマーク (☑) が、患者番号の前に表示されます。

→ 「7.19 検査終了」

The screenshot shows the 'Patient List' screen. On the left is a list of patients from 01 to 15. Patient 01 (患者名: フジ カ妙, 患者ID: 123456) is selected and highlighted in gray. To the right of the list is a detailed view of this patient's information:

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	フジ カ妙
性別	:	M
生年月日	:	1960/07/07
年齢	:	54
ドクター	:	AOYAMA
手技	:	レラクゼン
連絡事項	:	レラクゼン

At the bottom of the screen are navigation buttons: [I] [T] 移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル.

- (2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。
[Insert] キーを押すと、患者情報入力画面が表示されます。

参考 [Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

This screenshot is identical to the one above, showing the 'Patient List' screen with patient 01 selected. The detailed view on the right shows the same information for patient 01:

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	フジ カ妙
性別	:	M
生年月日	:	1960/07/07
年齢	:	54
ドクター	:	AOYAMA
手技	:	レラクゼン
連絡事項	:	レラクゼン

- (3) 患者情報入力画面上で、患者情報を修正します。
患者情報の修正方法については、患者情報の登録方法を参照してください。

→ 「5.2.1 患者情報の登録」

□ 患者情報入力
患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	ゾウ カカ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	1960 / 07 / 07
年齢	:	54
医師名	:	なし
手技	:	AOYAMA
連絡事項	:	SHIBUYA SHINAGAWA

[□ 登録終了] [□ 内容クリア]

〔↓〕〔↑〕移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- 参考**
- ・入力したすべての内容を消去する場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。「患者情報をクリアします。よろしいですか？」の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると修正中の患者情報のすべての内容を消去します。
 - ・患者情報を削除する場合は「患者情報の削除」を行ってください。

→ 「5.2.4 患者情報の削除」

- (4) 患者情報の修正が終わったら、「登録終了」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。
患者リスト画面に戻ります。

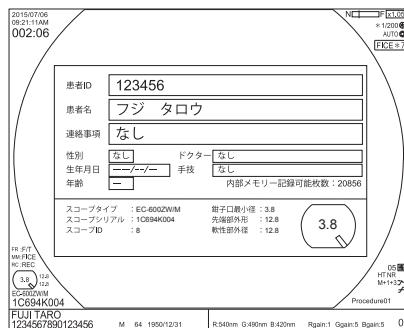
□ 患者情報入力
患者番号 01

検査番号	:	20150214
患者ID	:	123456
患者名	:	ゾウ カカ
性別	:	なし M(男性) F(女性)
生年月日	:	1960 / 07 / 07
年齢	:	54
医師名	:	SHIBUYA
手技	:	レラカジコ
連絡事項	:	レラカジコ

[□ 登録終了] [□ 内容クリア]

〔↓〕〔↑〕移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (5) 患者リスト画面で [Enter] キーを押します。
修正した患者情報を反映して、観察画面に戻ります。
呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログは [Enter] キーを押すと消去されます。



参考 この画面を保存するには、フリーズスイッチを押します。これにより、画面の画像データが内部メモリーまたはネットワークのFTPサーバーに保存されます。

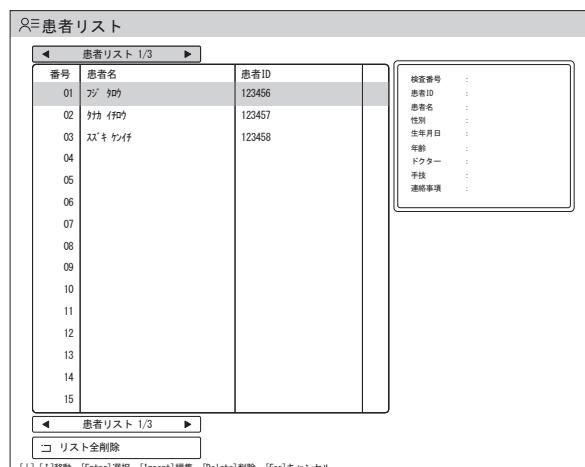
- 「5.4.2 画像メモリータブ」
- 「5.4.4 転送設定タブ」

5.2.4 患者情報の削除

患者情報の修正方法について説明します。

参考 患者情報の削除を実行すると、データの復帰はできません。

- (1) [患者] キーを押します。
患者リスト画面が表示されます。
リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ [,] キーを押します。



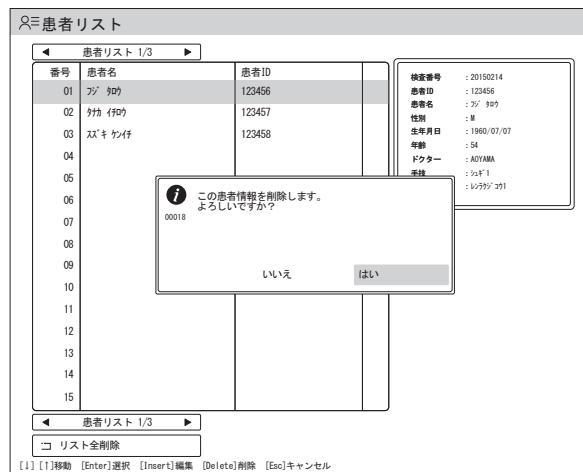
(2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

参考 [Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。



(3) 削除する患者情報にカーソルを合わせ、[Delete] キーを押します。

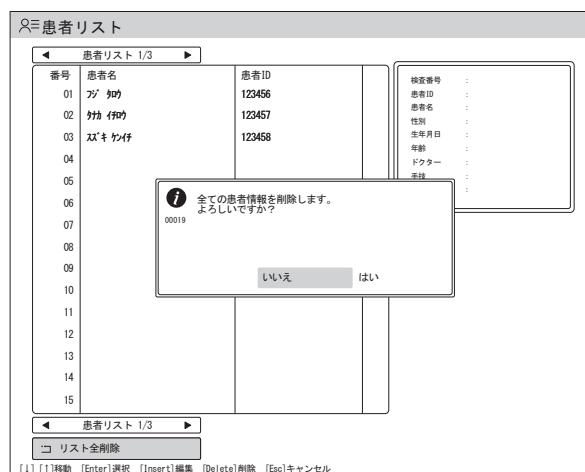
「この患者情報を削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。



「はい」を選択すると患者情報が削除されます。削除されたリストはブランクで表示されます。「いいえ」を選択すると、(1) の画面に戻ります。



参考 すべての患者情報を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。



(4) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。

5.2.5 磁気カードの患者情報を登録

磁気カードリーダーに磁気カードを通すと、磁気カードに書き込まれている患者情報が本製品に読み込まれます。

表示されている画面の状態によって、磁気カードを読み込んだときの対応が異なります。

参考 プロセッサーの背面パネルのリーダー接続端子にカードリーダーのコネクターを差し込んでから、プロセッサーの電源を入れてください。(キーボード、カードリーダーが正常に動作しないおそれがあります。)

<観察画面を表示して読み込んだ場合>

観察画面が表示されている状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードから読み込んだ患者情報を患者リストの45番に登録します。

また、観察画面の患者情報を、読み込んだ患者情報に切り替えます。

参考 患者情報は必ず患者リストの45番に登録されます。45番に患者情報がすでに登録されている場合、患者情報が上書きされます。

<患者情報入力画面を表示して読み込んだ場合>

[患者入力] キーを押して、患者情報入力画面を表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力されます。

その後の操作は「5.2.1 患者情報の登録」の手順に従ってください。

参考 入力された患者情報は、「この患者で検査する」「登録終了」「次の患者情報を入力する」のボタンのいずれかを選択しないと登録されません。

□ 患者情報入力	
患者番号 01	
検査番号 :	
患者ID :	
患者名 :	
性別 :	なし M(男性) F(女性)
生年月日 :	/ /
年齢 :	
医師名 :	
手技 :	
連絡事項 :	
<input type="checkbox"/> この患者で検査する	
<input type="checkbox"/> 登録終了	
<input type="checkbox"/> 次の患者情報を入力する	
<input type="checkbox"/> 内容クリア	

[↑] [↓] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

<患者リストを表示して読み込んだ場合>

[患者] キーを押して患者リストを表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、カーソルを合わせている番号のリストに、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力、登録されます。

参考 すでに入力されているリストの番号にカーソルを合わせた場合、またはリストから患者情報入力画面を開いた場合は、患者情報が上書きされます。

The screenshot shows a software interface for managing patient lists. On the left, a main window displays a table of patient records from 01 to 15. The first record (01) is selected, and its details are shown in a larger, overlaid box on the right. The details include:

検査番号	: 20150214
患者ID	: 123456
患者名	: タヨウ タヨウ
性別	: M
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 54
ドクター	: AOTAMA
手扱	: ハンド1
連絡事項	: レンタゴン

At the bottom of the main window, there are navigation buttons for the patient list and a button for deleting the entire list.

5.3 パネルボタン（画像処理機能）の設定

この章ではパネルボタン（画像処理機能）の設定方法について説明します。

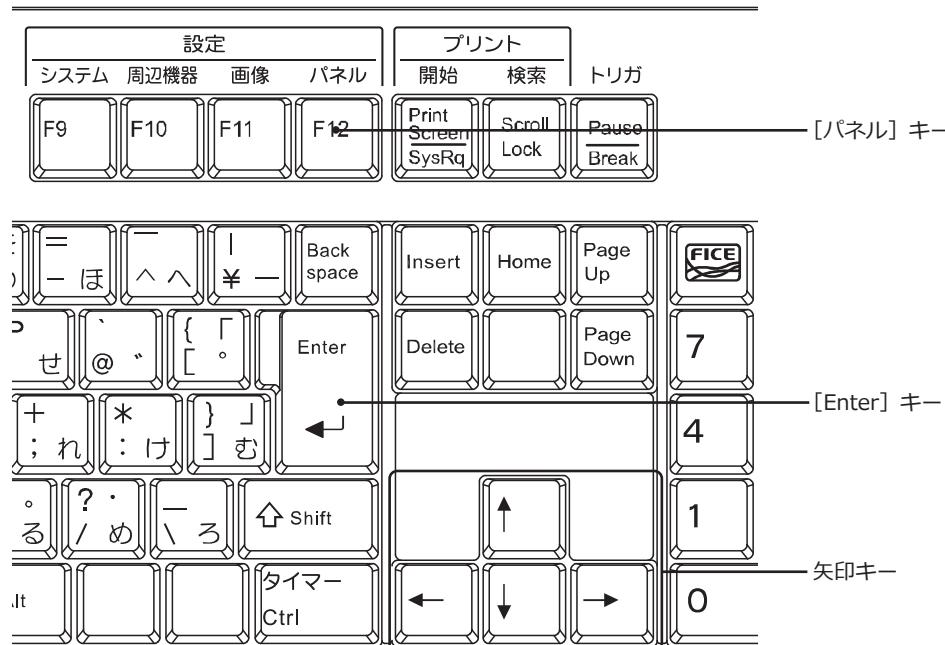
参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

5.3.1 設定の基本操作

- (1) キーボードの [パネル] キーを押します。パネルボタン設定の画面が表示されます。

参考

- ・その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。
- ・観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

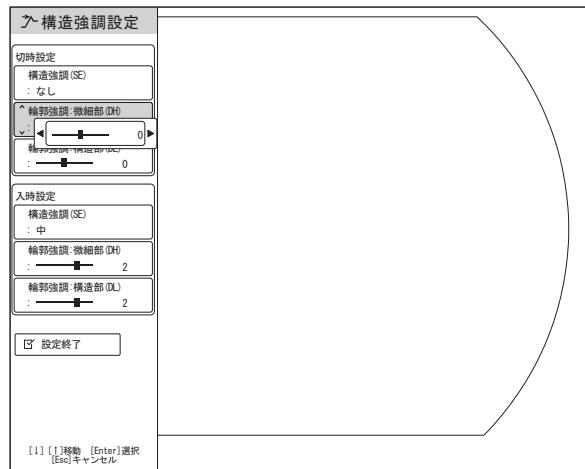


- (2) 設定の画面では、[↑]、[↓] キーで項目を選択できます。右端に「♪」が表示されている項目は、[Enter] キーでサブメニュー画面に切り替わります。



(3) [↑]、[↓] キーで項目を選択し、[Enter] キーで設定値を変更できるようになります。

- 参考**
- ・[Enter] キーを押さずに、[←]、[→] キーで設定を変更できる場合もあります。
 - ・右端に「♪」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。



(4) [↑]、[↓]、[←]、[→] キーで設定を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

- 参考** [Enter] キーを押さずに、[↑]、[↓] キーで設定項目を移動できる場合もあります。

(5) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

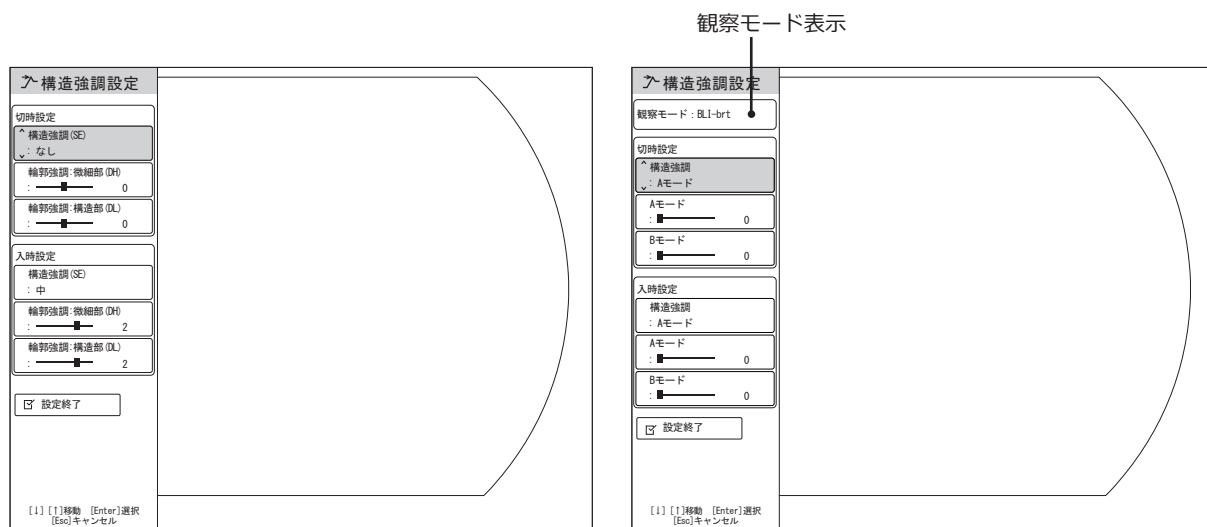
- 参考**
- ・設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。
 - ・[Esc] キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。
 - ・測光モードは、(1) ~ (2) の手順の代わりに前面パネルのボタンを約 2 秒間押し続けても、設定画面を表示することができます。

5.3.2 構造強調設定

構造強調の設定方法について説明します。

被写体の細かい構造等をよりはっきりと観察したいときに、被写体の輪郭を強調し、はっきりとした画像にすることができます。

輪郭を強調するレベルを強くするに従って、画像全体のノイズが目立つようになります。画像を確認しながら設定してください。



<通常モードの場合>

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定	構造強調 (SE)	なし	構造強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、構造強調をかけません。
入時設定		弱	
		中	
		強	
	輪郭強調： 微細部 (DH)	-4 ~ +4	細部のシャープネスを調整できます。 -4は輪郭強調をかけません。
	輪郭強調： 構造部 (DL)	-4 ~ +4	画像全体のシャープネスを調整できます。 -4は輪郭強調をかけません。
【備考】			
<ul style="list-style-type: none"> 「構造強調」機能を「切」にしているとき、「構造強調」機能を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。 輪郭を強調するレベルを強くするに従って、画像全体のノイズが目立つようになります。画像を確認しながら設定してください。 			

< BLI、BLI-bright または LCI の場合>

特殊光観察モードの色彩強調を設定する場合は、予め観察モードを「BLI」、「BLI-bright」または「LCI」モードに設定する必要があります。

参考 構造強調の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。BLI モード時に構造強調設定画面を呼び出すと BLI モード時の構造強調、BLI-bright モード時に構造強調設定画面を呼び出すと BLI-bright モード時の構造強調、LCI モード時に構造強調設定画面を呼び出すと LCI モード時の構造強調を設定します。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定 入時設定	構造強調	A モード	使用する構造強調のモードを選びます。
		B モード	
	A モード	0 ~ 8	0 は構造強調を掛けません。
		B モード	0 は構造強調を掛けません。

【備考】

- ・「構造強調」機能を「切」にしているとき、「構造強調」機能を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。
- ・輪郭を強調するレベルを強くするに従って、画像全体のノイズが目立つようになります。
画像を確認しながら設定してください。

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

・使用方法

→ 「7.11 構造強調の切り替え」

5.3.3 FICE 設定

FICE の設定方法について説明します。

FICE とは、分光画像処理機能のひとつです。

通常の内視鏡画像から、特定の波長成分によって得られる画像（分光画像）を画像処理によって抽出し、R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめて、擬似カラー表示することができます。

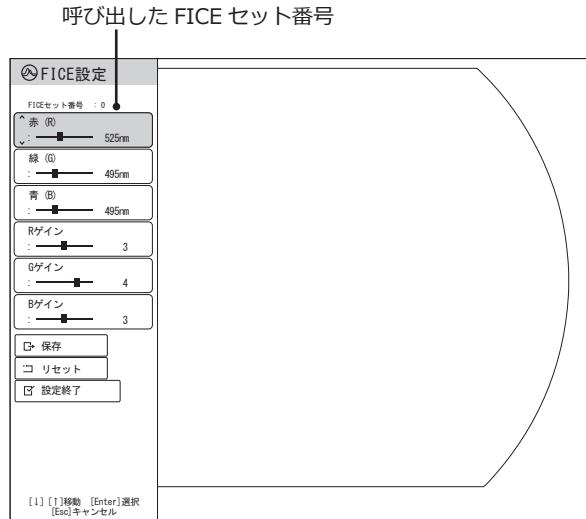
観察したい被写体の構造や領域を選択的に色調強調し、構造や領域の視認性を向上させることができます。

< FICE セットの呼び出し>

FICE セットは 10 セット記憶できます。設定値の変更をしたい FICE セット番号をあらかじめ呼び出します。

キー ボードの[FICE]キーを押します。設定値を変更をしたい FICE セット番号 0 ~ 9 をキー ボードのテンキーから入力します。パネルボタン設定から、FICE 設定を選択してください。

参考 BLI、BLI-bright および LCI では FICE は使用できません。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
FICE セット番号 0 ~ 9	赤 (R)	400nm ~ 695nm	5nm 刻みで設定できます。波長を変更するとき、RGB 全てを同じ波長に設定することはできません
	緑 (G)	400nm ~ 695nm	
	青 (B)	400nm ~ 695nm	
	R ゲイン	1 ~ 5	色調を画面で確認しながら、ゲインレベルを設定します。ゲインレベルを高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。
	G ゲイン	1 ~ 5	
	B ゲイン	1 ~ 5	
	保存		設定を保存します。
	リセット		呼び出している FICE セット番号の設定値を工場出荷時の状態に戻します。

【備考】

- ・650nm 以上の波長を設定した場合、該当波長成分を強調する効果が、FICE 画像に反映されにくいことがあります。
- ・ハレーションとは、強い光の当たった部分の周りが白くぼやける現象を言います。

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

・使用方法

→ 「7.12 FICE の切り替え」

< FICE 設定値の確認 >

使用している FICE セット番号と、設定値を確認することが出来ます。

→ 「3.10 FICE セットの表示について」

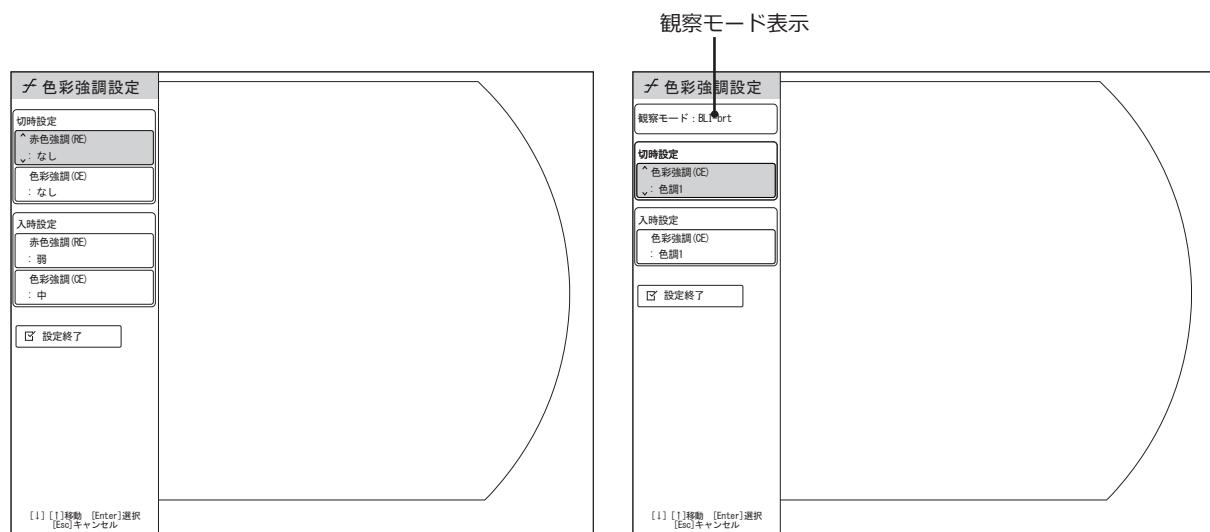
5.3.4 色彩強調設定

色彩強調の設定方法について説明します。

色彩強調は、被写体のわずかな色調の変化をよりはっきりと観察したいときに、被写体の色調の変化をより強調することができます。色調の鮮やかさの度合いを強めて表示します。

また赤色強調は、粘膜と血管のような微妙な色調の違いを強調することができます。

参考 FICEが「入」のときは、色彩強調機能設定はできません。



<通常モードの場合>

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定 入時設定	赤色強調 (RE)	なし	赤色強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、赤色強調をかけません。
		弱	
		中	
		強	
	色彩強調 (CE)	なし	色彩強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、色彩強調をかけません。
		弱	
		中	
		強	

【備考】
「色彩強調」機能を「切」にしているとき、「色彩強調」機能を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。

< BLI、BLI-bright または LCI の場合>

特殊光観察モードの色彩強調を設定する場合は、予め観察モードを「BLI」、「BLI-bright」または「LCI」モードに設定する必要があります。

参考 色彩強調の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。BLI モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと BLI モード時の色彩強調、BLI-bright モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと BLI-bright モード時の色彩強調、LCI モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと LCI モード時の色彩強調を設定します。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
切時設定 入時設定	色彩強調 (CE)	なし	色彩強調をかける強さを選択します。「なし」を選択した場合は、色彩強調をかけません。「なし」は BLI-bright モード時のみ選択できます。
		色調 1	
		色調 2	
		色調 3	

【備考】
「色彩強調」機能を「切」にしているとき、「色彩強調」機能を「入」にしているとき、それぞれ設定できます。

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

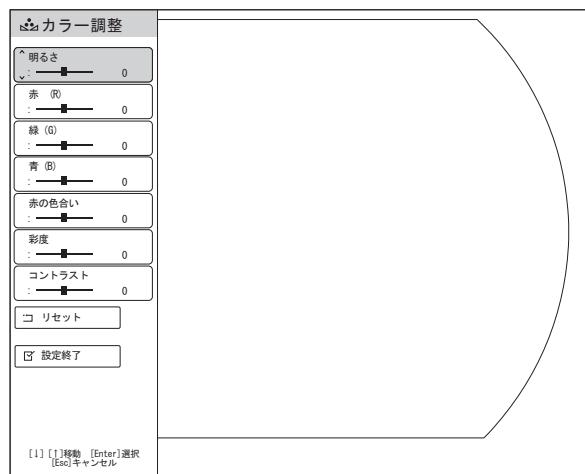
→ 「5.3.1 設定の基本操作」

・使用方法

→ 「7.13 色彩強調の切り替え」

5.3.5 カラー調整

カラー調整の設定方法について説明します。



特殊光観察モードのカラー調整を設定する場合は、予め観察モードを「BLI」、「BLI-bright」モードに設定する必要があります。ただし、FICE が「入」の場合、または LCI モードの場合は、カラー調整の設定はできません。

参考

カラー調整の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。BLI モード時にカラー調整の設定を行うと BLI モード時のカラー調整、BLI-bright モード時にカラー調整の設定を行うと BLI-bright モード時のカラー調整を設定します。

設定項目	設定値	説明
明るさ	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど明るくなります。工場出荷時の設定値は0です。「明るさ」を高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。
赤 (R)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「赤」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
緑 (G)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「緑」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
青 (B)	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど画像の色調における「青」の成分割合が高くなります。工場出荷時の設定値は0です。
赤の色合い	M4 ~ Y4	設定値は9段階です。Mの数値が増えると画像は赤っぽくなり、Yの数値が増えると画像は黄色っぽくなります。工場出荷時の設定値は0です。観察モードが BLI または BLI-bright の場合、「赤の色合い」は変更できません。
彩度	-4 ~ +4	設定値は9段階です。数値が高いほど彩度の高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。
コントラスト	-1 ~ +1	設定値は3段階です。数値が高いほどコントラストの高い画像になります。工場出荷時の設定値は0です。
リセット		設定値を工場出荷時の状態に戻します。
【備考】 「リセット」は接続しているシステムスコープのカラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。		

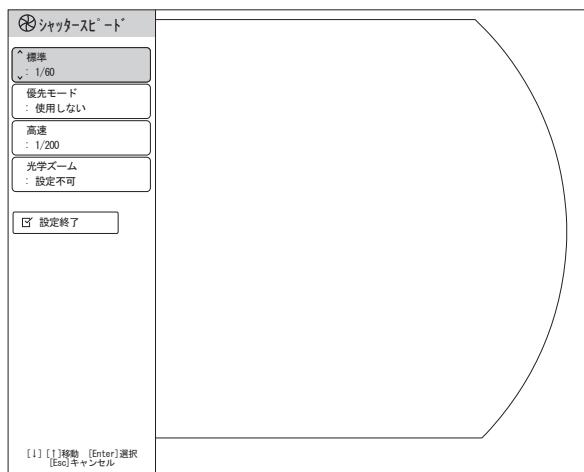
参考

・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

5.3.6 シャッタースピード

シャッタースピードの設定方法について説明します。



設定項目	設定値	説明
標準	1/60 1/100 1/200	電源投入時の標準シャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
優先モード	使用しない 使用する(速度 1) 使用する(速度 2) 使用する(速度 3)	優先モードは以下の条件にあてはまる場合にシャッタースピードを自動調整します。 ・シャッタースピードの設定が「標準」のとき ・シャッタースピードの設定が「高速」で、「1/100」に設定されているとき
【備考】		
優先モード機能が有効になっている場合、観察画面のシャッタースピードが「＊1/200 ⊕」のように表示されます。		
高速	1/100 1/200 1/400 1/600 1/800	シャッタースピードの設定を「高速」にしたときのシャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
【備考】		
光学ズーム対応の内視鏡を接続している場合「高速」の設定は不可となります。		
光学ズーム	1/100 1/200 1/400 1/600 1/800	光学ズーム対応の内視鏡を接続し、シャッタースピードの設定を「高速」にしたときのシャッタースピードを選択します。設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
【備考】		
光学ズームではない内視鏡を接続している場合「光学ズーム」の設定は不可となります。		

参考

- ・優先モード機能は、内視鏡システムスコープのバージョンが以下のバージョンである必要があります。

スコープの種類	対応バージョン
530 シリーズ	Ver.2.03 以降
550 シリーズ	Ver.1.01 以降
580 シリーズ	全ての Ver.
600 システム	全ての Ver.
700/6000 システム	全ての Ver.

- ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

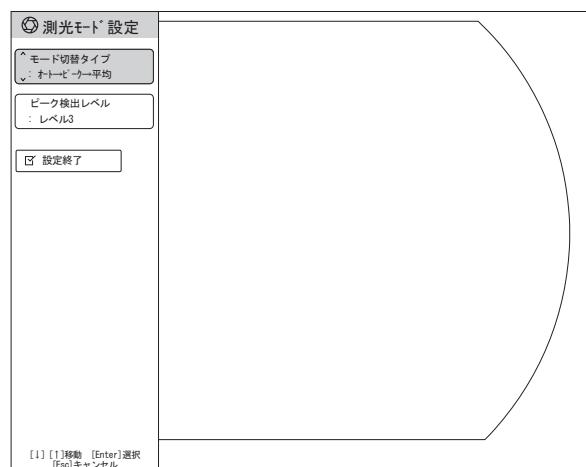
→ 「5.3.1 設定の基本操作」

- ・使用方法

→ 「7.14 シャッタースピードの切り替え」

5.3.7 測光モード設定

測光モードの設定方法について説明します。



設定項目	設定値	説明
モード切替 タイプ	オート(AUTO) → ピーク(Peak) → 平均(AVE.) オート (AUTO) → ピーク (PEAK) ピーク (PEAK) → 平均 (AVE.) 平均 (AVE.) → オート (AUTO)	前面パネルの測光モードボタンを押し たときに、切り替わるモードの順番を 選びます。
ピーク検出 レベル	レベル1～5	ピーク検出レベルは、ハレーションを どの程度軽減させるかの設定です。
【備考】		
・ハレーションとは、強い光の当たった部分の周りが白くぼやける現象を言います。		

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

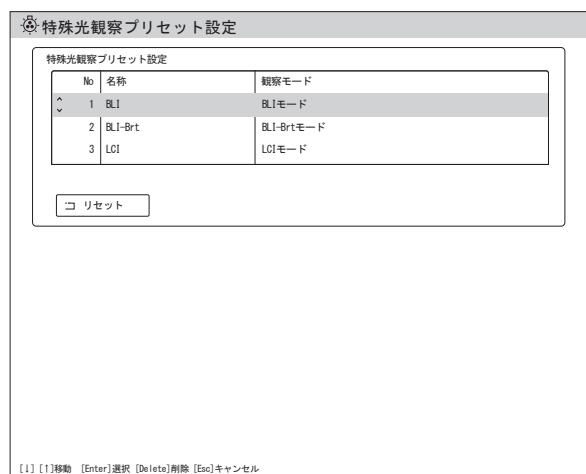
・使用方法

→ 「7.15 測光モードの切り替え」

5.3.8 特殊光観察プリセット設定

特殊光観察プリセットの設定方法について説明します。

照明モードボタン、スコープスイッチ、またはフットスイッチで切り替わる観察モードを割り当てます。



参考 特殊光観察プリセットの設定は、照明モードボタンを約2秒間押し続けても、設定画面を表示することができます。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
特殊光観察 プリセット番号 1～3	名称	直接入力	プリセット番号を選択し、[Enter]キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「登録」で[Enter]キーを押すと、名称を入力できるようになります。 ※名称は7文字以内で入力します。同じ名称、または空欄を登録することはできません。
	観察モード	BLI モード BLI-brt モード LCI モード	照明モードボタンを押したときに、切り替わる特殊光のモードを選びます。
	リセット		リセットを選択し、[Enter]キーを押すと、確認メッセージが表示されます。 「はい」を選択すると、すべての特殊光観察プリセットを工場出荷時の設定に戻します。 ※特殊光観察モードで検査中にリセットを行った場合は一旦通常モードに切り替わります。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
削除			削除する番号を選択し、[Delete] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。 「はい」を選択すると、選択したプリセット番号を未登録状態にします。 ※ 特殊光観察モードで検査中に削除を行った場合は一旦通常モードに切り替わります。

参考 ・メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.3.1 設定の基本操作」

・使用方法

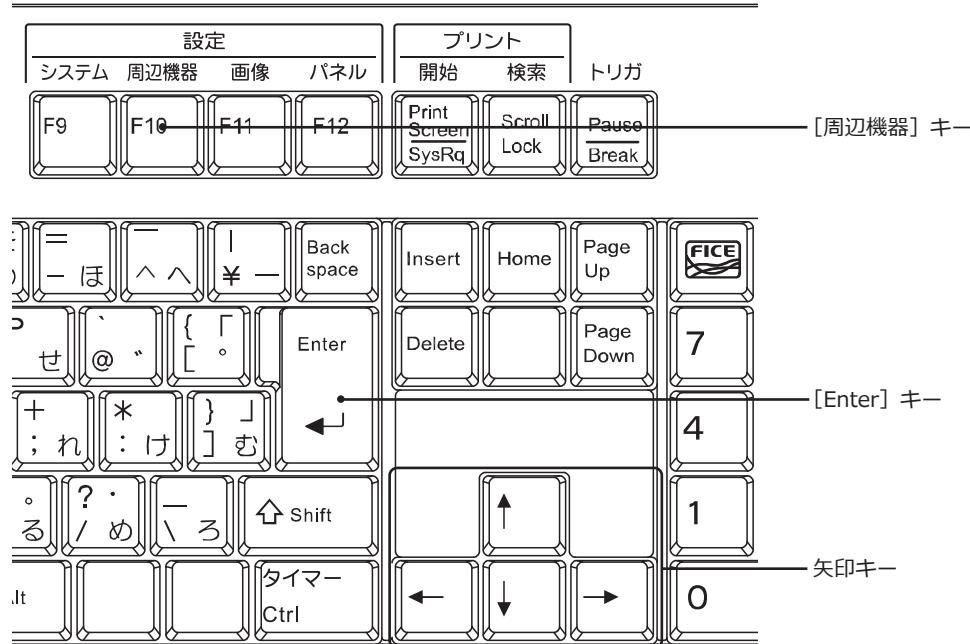
→ 「7.10 観察モードの切り替え」

5.4 周辺機器の設定

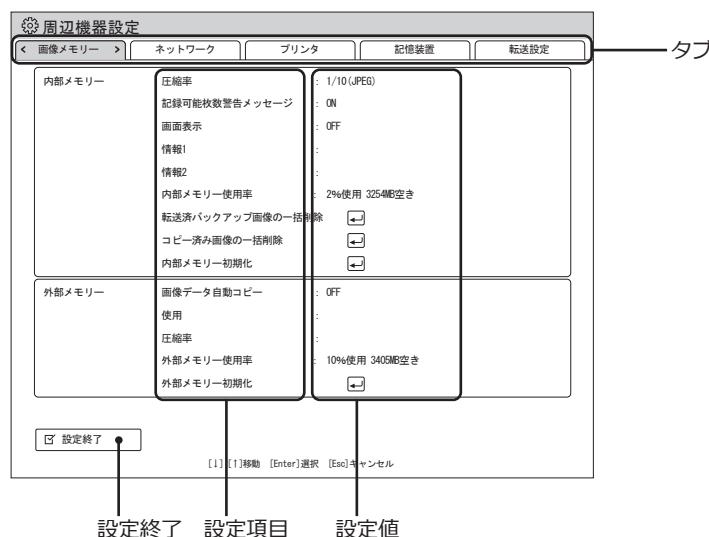
5.4.1 設定の基本操作

(1) キーボードの【周辺機器】キーを押します。周辺機器設定の画面が表示されます。

- 参考**
- ・その他の設定キーを押した場合も、基本操作は同じです。
 - ・観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。



(2) 設定の画面では、[↑]、[↓] キーで項目を選択できます。



(3) タブを選択して [←]、[→] キーでカテゴリーの切り替えができます。

- 参考** リストにページがある場合は、ページの切り替えができます。

- (4) 設定項目を選んで [Enter] キーで設定値を変更、もしくはキーボードで直接入力できるようになります。

- 参考**
- ・設定値は [↑] 、 [↓] キーで項目を選択できます。
 - ・右端に「♪」が表示されている項目は、サブメニュー画面に切り替わります。
 - ・メニュー画面の下に「[Insert] 編集」と表示されている場合は、[Insert] キーを押すとキーボードで直接入力できるようになります。

- (5) 設定値を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。

- 参考** キーボードで直接入力する場合、必要項目の入力が終わると自動的に次の項目に移動する場合があります。

- (6) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

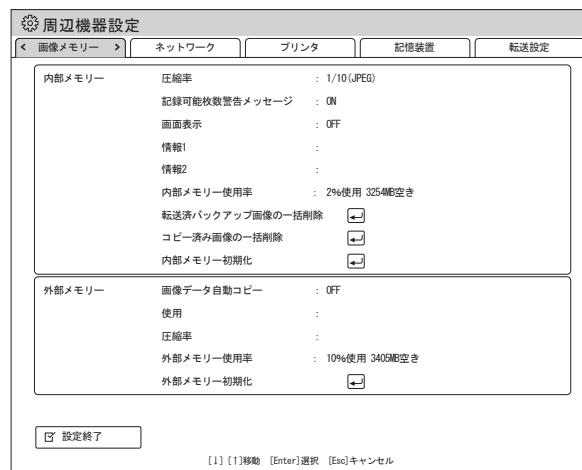
- 参考** 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。

5.4.2 画像メモリータブ

本製品は、本体に画像記録および検査画像のネットワーク転送時のバックアップのための内部メモリーを備えています。内部メモリーの画像は外部メモリーへコピーが可能です。ここでは内部メモリーおよび外部メモリーを使用するための設定方法、初期化や画像の削除方法について説明します。

記録画像数や、記録画像の利用については「第8章 画像の記録」を参照してください。

→ 「第8章 画像の記録」



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
内蔵メモリー	圧縮率	1/1 (TIFF) 1/5 (JPEG) 1/10 (JPEG) 1/20 (JPEG)	保存する画像データの圧縮率を選択します。
	記録可能枚数 警告メッセージ	ON OFF	ON : 内部メモリーに保存できる枚数が20枚になったとき、観察画面にメッセージを表示します。 OFF : メッセージを表示しません。
	画面表示	ON OFF	ON : 観察画面に内部メモリー記録可能枚数を表示します。 OFF : 観察画面に内部メモリー記録可能枚数を表示しません。
	情報 1	Enter キーを押して入力します。	ユーザーメモを入力できます。
	情報 2	Enter キーを押して入力します。	ユーザーメモを入力できます。
	内部メモリー 使用率		内部メモリーの使用率と空き容量を表示します。
	転送済バック アップ画像の一括削除	Enter キーを押して実行ウ ィンドウを表示します。	内部メモリーに保存されている検査ごとの画像データのうち、FTP サーバーにすべて転送済みとなっている検査の画像データを一括して削除します。画像データの削除は1検査単位で行います。未転送の画像データがある検査のデータは削除しません。 転送設定のネットワーク設定を「使用する」に設定しているときに有効です。
	コピー済み画 像の一括削除	Enter キーを押して実行ウ ィンドウを表示します。	内部メモリーに保存されている検査ごとの画像データのうち、外部メモリーにすべてコピー済みとなっている検査の画像データを一括して削除します。画像データの削除は1検査単位で行います。
	内部メモリー 初期化	Enter キーを押して実行ウ ィンドウを表示します。	初期化を実行すると、内部メモリー内のデータは消失し、復活させることはできません。初期化を実行するときは、内部メモリーの内容をよくご確認ください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
外部メモリー	画像データ自動コピー	OFF ON	<p>OFF：検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーに自動コピーしません。</p> <p>ON：検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーにも自動コピー（同時記録）します。</p> <p>※「ON」を選択した場合は、外部メモリーを本製品に装着してから検査開始の操作を行ってください。</p> <p>※ 外部メモリーは現在ご使用の本製品専用として使用し、他のプロセッサーと共にしないでください。</p> <p>※ 検査終了後に、内部メモリーの画像を外部メモリーに手動でコピーする方法もあります。</p>
	外部メモリー使用率		外部メモリーの使用率と空き容量を表示します。
	外部メモリー初期化	Enter キーを押して実行ウインドウを表示します。	初期化を実行すると、外部メモリー内のデータは消失し、復活させることはできません。初期化を実行するときは、外部メモリーの内容をよくご確認ください。

【備考】

- ・圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。
- ・使用可能な外部メモリーについては、「8.9.1 外部メモリーについて」をご参照ください。
- ・外部メモリー用の表示がオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。
- ・外部メモリーの初期化とは、インデックス領域(目次データ)の消去のことをいいます。外部メモリー全体の初期化(フォーマット)は、本機では実行できません。外部メモリー全体の初期化を行う場合は、パソコンコンピューターでフォーマットしてください。
- ・同じ外部メモリーを使い続けると外部メモリーの処理が遅くなる場合があります（メモリーの断片化）。その場合も、外部メモリー全体の初期化を行うために、パソコンコンピューターでフォーマットしてください。

参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.4.1 設定の基本操作」

5.4.3 プリンタタブ

本製品に接続されているプリンターの使用、プリント枚数、マルチプリントの設定を行います。あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

機器を設定する前に、プリンターの電源を入れてください。電源を切ったままでは、本製品の設定がプリンターに反映されません。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
プリンター設定	使用	使用しない プリンター機種名	接続されているプリンターオンまたは「使用しない」を選択します。「使用しない」を選択すると、「プリンタタブ」がすべて無効となります。
	プリント枚数	1 ~ 4	プリント枚数を選択します。
	マルチプリント	4in1 1in1 プリンタの設定値	1枚のプリント用紙にプリントする画像数を選択します。設定画面の表示は、接続されているプリンタによって異なります。 4in1 : 1枚に4画像をプリント 1in1 : 1枚に1画像をプリント プリンタの設定値 : 1枚にプリンタ側で設定されている画像数をプリント

【備考】

- ・ 使用するプリンタの機種によっては、設定が固定されている項目があります。
- ・ 「プリントサイズ」は固定です。
- ・ RS-232C 接続のプリンタの電源を OFF で観察する場合、モニター画面に「プリンタを認識できません。プリンタの電源およびケーブルの接続を確認してください。」のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージを消すには、手順を参考に、プリンタ設定の「使用」を「使用しない」に設定してください。

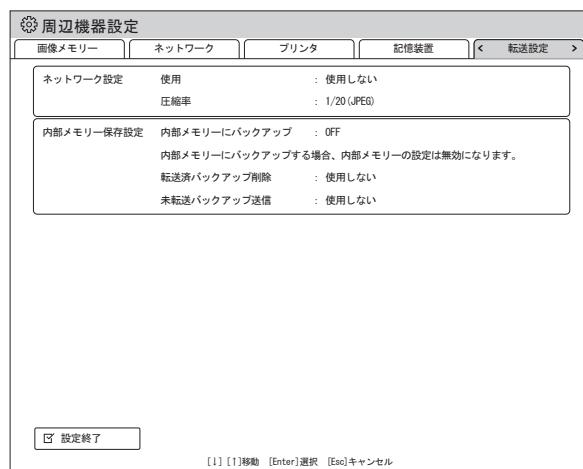
参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.4.1 設定の基本操作」

5.4.4 転送設定タブ

本製品でネットワークを使用して画像をFTPサーバーに保存することができます。ネットワークの設定は、サービスマンが行います。

ここでは、ネットワークを使用して保存する画像の設定を行います。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定	使用	使用する 使用しない	「使用する」を選択するとFTPサーバーに画像を保存することができます。また「内部メモリーにバックアップ」が自動的に「ON」になります。 「使用しない」を選択すると、「転送設定タブ」がすべて無効となります。
	圧縮率	1/1 (TIFF) 1/5 (JPEG) 1/10 (JPEG) 1/20 (JPEG)	保存する画像データの圧縮率を選択します。

【備考】

- ・圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。

設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
内部メモリー保存設定	内部メモリーにバックアップ	ON OFF	「ON」すると画像をネットワークのFTPサーバーに保存する際に、内部メモリーにも画像を保存します。
	転送済バックアップ削除	使用する 使用しない	「使用する」を選択すると、検査終了時に、その検査で内部メモリーに保存した画像データがすべてFTPサーバーに転送済みの場合に、1検査分の画像データを一括して削除します。未転送の画像データがある場合は削除しません。
	未転送バックアップ送信	使用する 使用しない	「使用する」を選択すると、次の検査開始時に、内部メモリーにFTPサーバーに未転送の画像データを含む前回検査時のデータが残っている場合、前回検査1検査分の画像データを一括して転送します。 再送された前回検査時の画像データは「転送済バックアップ削除」を「使用する」に設定していても、内部メモリーから削除はされません。

【備考】

- 内部メモリーの空き容量がなくなった場合、バックアップ済みの画像（ネットワーク転送済み画像および外部メモリーコピー済み画像）を古い順に削除し、空き容量を確保します。ただし、内部メモリーがネットワーク未転送画像および外部メモリー未コピー画像で一杯となり、空き容量が確保出来ない場合は、バックアップせずにFTPサーバーに保存します。バックアップを再開させるために、未転送画像の再送を行うか、外部メモリーへコピーを行い、バックアップのための容量を確保してください。

参考 メニューの操作の仕方は基本操作を参照ください。

→ 「5.4.1 設定の基本操作」

5.5 その他の設定

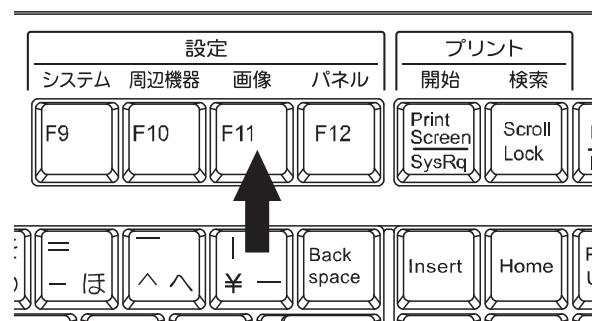
5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除

観察画面の色調調整をスコープ種別ごとに調整でき、その組み合わせを5パターンまでプリセットしておくことができます。

プリセットした組み合わせは、わかりやすい名称をつけることができます。画像設定ページでプリセットを呼び出せば、設定した色調で画像を表示することができます。

<画像設定ページの登録>

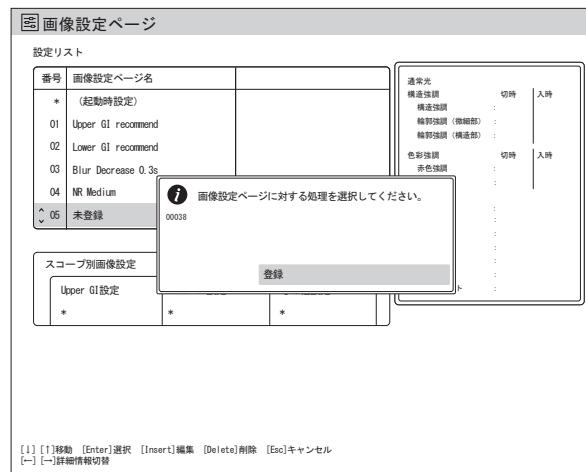
- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。



- (2) [↑]、[↓] キーで画像設定ページ名が「未登録」のリスト番号を選び、[Enter] キーを押します。



(3) 確認メッセージが表示されますので、「登録」を選択し、[Enter] キーを押します。



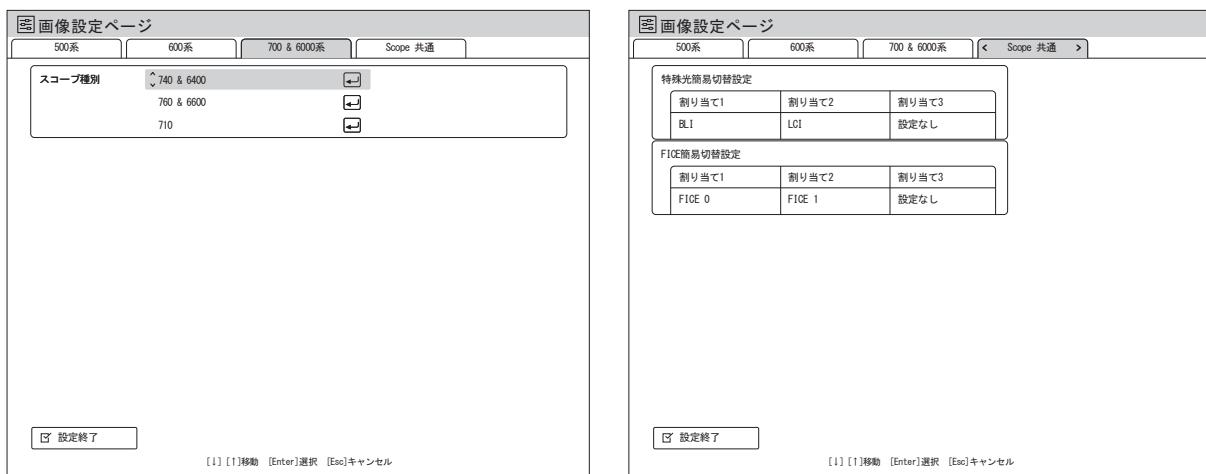
参考

- ・画像設定ページ名から「起動時設定」または、登録済みの「画像設定ページ名」を選択した場合は、「登録」「呼び出し」の選択ができます。
- ・同じ名前の画像設定ページ名、または空欄を登録することはできません。

(4) 画像設定ページ名を 20 文字以内で入力し、[Insert] キーを押します。



(5) タブを選択して [←]、[→] キーで、スコープ系列、Scope 共通の切り替えができます。スコープ種別を選び、[Enter] キーを押します。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
500 系 600 系 700 & 6000 系			通常光 /FICE、特殊光①②、モード共通の設定をスコープごとに行えます。
Scope 共通	特殊光簡易切替設定	設定なし 特殊光観察プリセット番号 1 ~ 3 FICE0 ~ 9	→「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」 ※ 特殊光プリセット設定が未登録状態の項目はポップアップに表示されません。
	FICE 簡易切替設定	設定なし FICE0 ~ 9	FICE セット番号を割り当てておくと、「FICE」を割り当てたスコープスイッチを押したときに「FICE 入および“割り当て 1” のセット番号呼び出し → “割り当て 2” 呼び出し → “割り当て 3” 呼び出し → FICE 切」と機能を切り替えます。 →「4.2.7 スコープタブ」 →「5.3.3 FICE 設定」
【備考】 各割り当ての設定を解除する場合は、同じ手順でポップアップメニューから「設定なし」を選択し、[Enter] キーを押して設定を確定させてください。			

(6) 通常光 /FICE、 BLI/BLI-brt、 LCIなどの、観察モード別に色調調整できます。



設定カテゴリー	設定項目	設定値	説明
通常光 /FICE	構造強調		→「5.3.2 構造強調設定」
	色彩強調		→「5.3.4 色彩強調設定」
	カラー調整		→「5.3.5 カラー調整」
	明るさ基準値		観察時の明るさの基準を設定します。明るさ調節機能と同じです。
モード共通	ノイズリダクション	なし 弱 中 強	ノイズリダクションを行うことで、ノイズの目立たない画像にすることができます。ノイズリダクションを強くすると、細かな構造が弱く見える等、不自然に見えることがあります。 ノイズリダクションが設定されている場合、画面には次のように表示されます (() 内は設定値)。 NR : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
	ハイパートーン	なし 弱 中 強	ハイパートーンを行うことで、被写体暗部の画像の明るさを補うことができます。ハイパートーンを強くすると、被写体暗部のノイズが強く見えることがあります。 ハイパートーンが設定されている場合、画面には次のように表示されます (() 内は設定値)。 HT : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)
	明るさ補助	補助なし 弱 強	観察画面で明かりの届きにくい距離を明るめにする機能です。ただし、観察画面が荒く見えることがあります。
	ブレ軽減モード	OFF 0.1~0.5 1.0	設定した秒数の中から、もっともコントラストの高い画像を得ることができます。

(7) 「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考 複数のスコープ種別に対して設定する場合は、手順 (5) ~ (6) を繰り返します。



(8) 画像設定ページに戻りますので、登録した「画像設定ページ名」を選択したまま [Enter] キーを押します。設定を読み込んで、観察画面に戻ります。



<画像設定ページの詳細情報について>

スコープを接続し検査中に画像設定ページを表示すると、設定内容が詳細情報に表示されます。

(1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで登録した画像設定ページ名を選びます。

(2) [←]、[→] キーで詳細情報を切替え、設定内容を確認できます。

参考 ・検査中ではないときは、詳細情報に設定値は表示されません。

・特殊光観察プリセット設定の順番に切替わります。

→ 「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」

● 通常光

■ 画像設定ページ	
設定リスト	
番号	画像設定ページ名
*	(起動時設定)
01	Upper GI recommend
02	Lower GI recommend
03	Blur Decrease 0.3s
04	NR Medium
05	未登録

スコープ別画像設定		
Upper GI設定	Lower GI設定	その他設定
*	*	*

↓ 詳細情報

● BLI

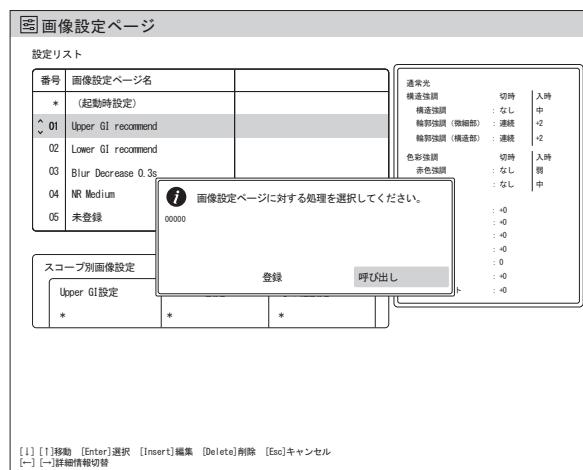
■ 画像設定ページ	
設定リスト	
番号	画像設定ページ名
*	(起動時設定)
01	Upper GI recommend
02	Lower GI recommend
03	Blur Decrease 0.3s
04	NR Medium
05	未登録

スコープ別画像設定		
Upper GI設定	Lower GI設定	その他設定
*	*	*

→ ↓ 詳細情報

<画像設定ページの呼び出し>

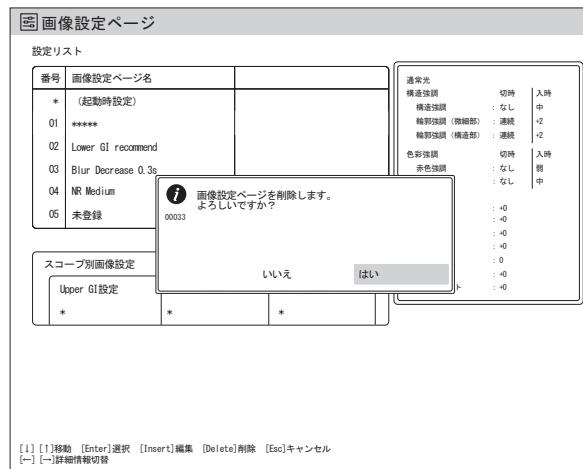
- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで登録した画像設定ページ名を選びます。
- (2) [Enter] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「呼び出し」を選択し、[Enter] キーを押します。選択した設定を呼び出して、観察画面に戻ります。



参考 設定リストから「起動時設定」を選択した場合は、「呼び出し」のみ選択可能となります。

<画像設定ページの削除>

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーで削除する画像設定ページ名を選びます。
- (2) [Delete] キーを押すと、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択し [Enter] キーを押すと、画像設定ページが削除されます。



<スコープ別画像設定>

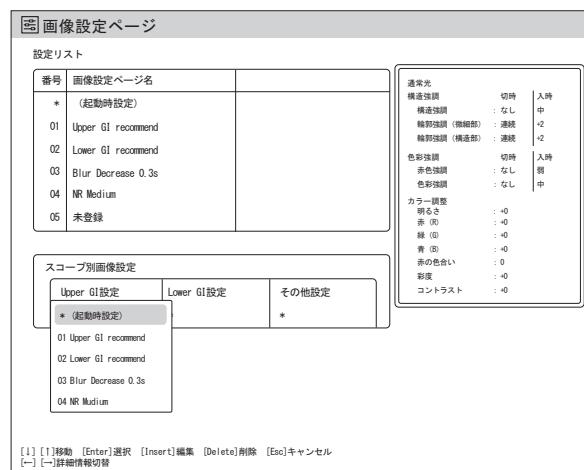
内視鏡を接続して検査を開始したときに、観察部位に合わせ「Upper GI、Lower GI、その他」に設定した画像設定ページの色調調整が自動的に読み込まれます。

Upper GI 設定 (Upper GI) : スコープ名が EG で始まる内視鏡

Lower GI 設定 (Lower GI) : スコープ名が EC で始まる内視鏡

その他設定 (Others) : その他の内視鏡

- (1) [画像] キーを押して、画像設定ページを表示します。[↑]、[↓] キーでスコープ別画像設定を選びます。
- (2) [←]、[→] キーでスコープのカテゴリーを選びます。
- (3) [Enter] キーを押すと画像設定ページ名がポップアップメニューに表示されます。
- (4) 割り当てる画像設定ページ名を選び [Enter] キーで設定します。

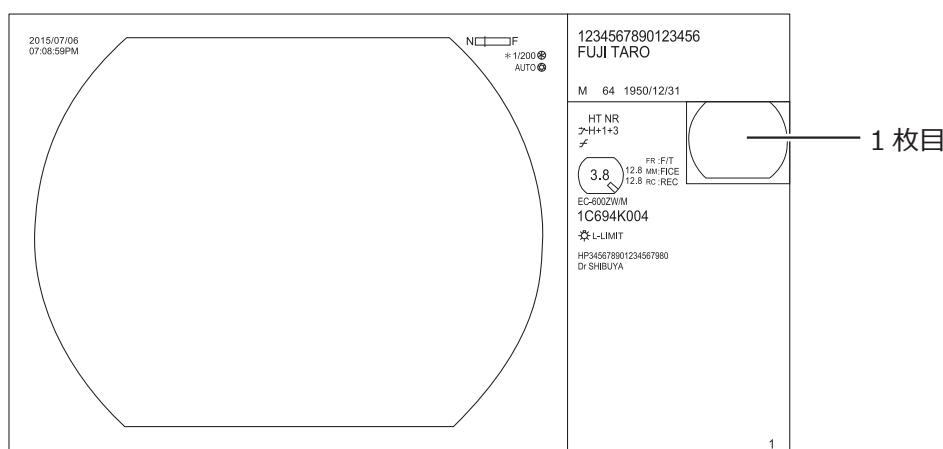


5.5.2 インデックス画像の表示

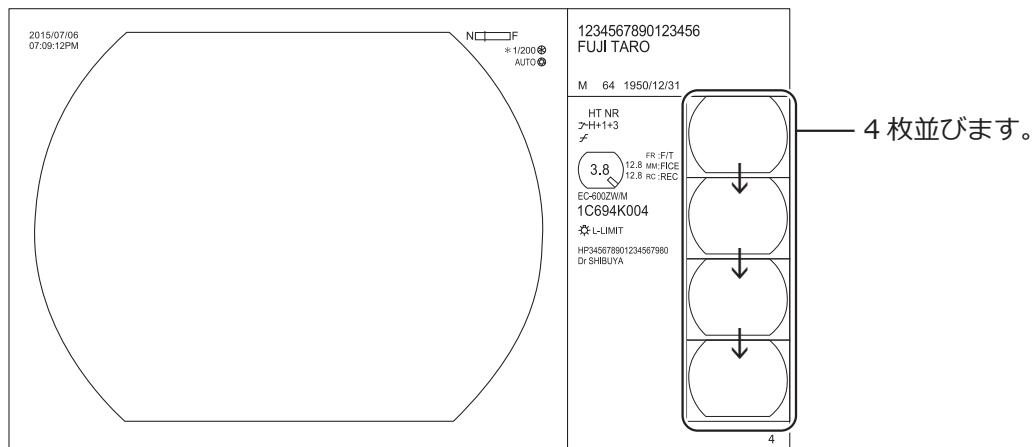
FullHD モニターを接続し、出力解像度を FullHD モードで使用している場合に直近に内部メモリーに記録されたインデックス画像を 4 枚表示します。SXGA モードでは表示できません。4 枚のうち、一番上に表示されたインデックス画像が最新の記録画像になります。撮影する度に 1 コマづつ下に下がります。

出力解像度の設定 → 「4.2.5 基本設定タブ」

インデックス表示の設定 → 「4.2.3 切替設定タブ」



1枚目

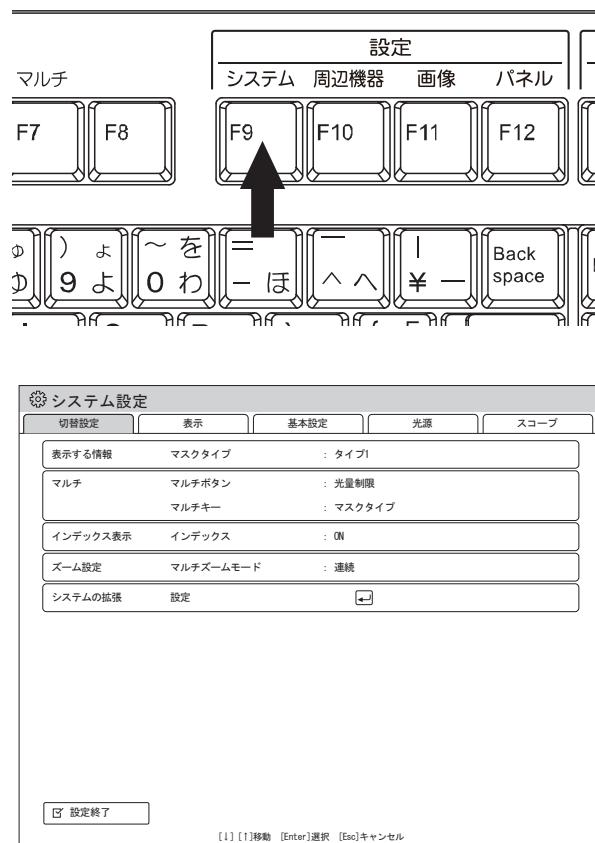


4枚並びます。

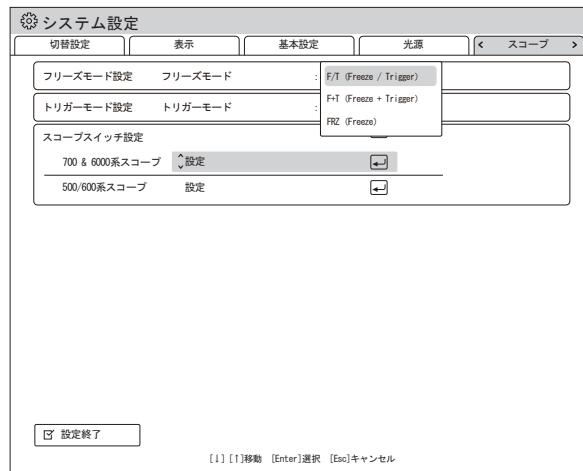
5.5.3 フリーズモードの設定

フリーズ機能を割り当てているボタンの機能を切り替えられます。

- (1) キーボードの【システム】キーを押します。システム設定の画面が表示されます。



- (2) 「スコープ」タブから、「フリーズモード設定」の「フリーズモード」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、使用する機能を選択します。

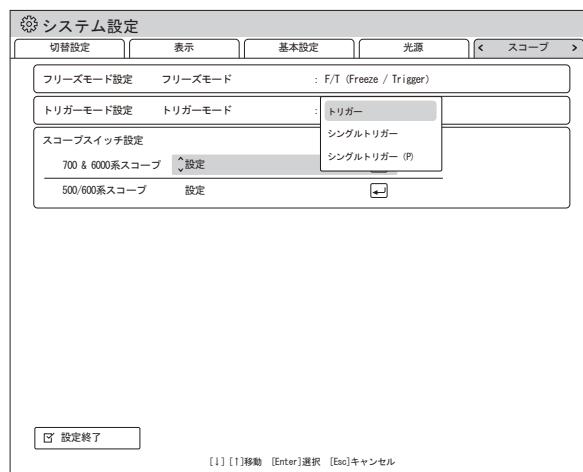


参考

- ・フリーズモードで「フリーズ」を設定している場合
超音波スコープを除く、600 システムスコープまたは 500 システムスコープを接続したときに、トリガーもしくはレコードの機能が RC スイッチまたは 4 スイッチに割り当てられていない場合、自動的に RC スイッチまたは 4 スイッチに、トリガーの機能が割り当てられます。
- ・700/6000 システムスコープは、「フリーズ／トリガー」、「フリーズ+トリガー」または「トリガー」「シングルトリガー」、「レコード」の割り当てをしないと、画像の取り込みができません。

→ 「4.2.7 スコープタブ」

- (3) 「スコープ」タブから、「トリガーモード設定」の「トリガーモード」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、使用する機能を選択します。



→ 「4.2.7 スコープタブ」

5.5.4 マルチズームモードの設定

光学ズーム機能を持つスコープを組み合わせて使用するときのズーム操作を設定できます。

マルチズームモードに対応した内視鏡のみ、本設定が有効となります。各動作モードの詳細説明については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

マルチズームモードに対応していない内視鏡の場合は、本設定に関係なく連続モードで動作します。

選択したマルチズームモードに応じて、光学ズーム動作と観察画面右上のフォーカスマーティーの表示が変わります。

動作モード	光学ズーム動作	フォーカスマーティー表示
連続	ピント位置が無段階に停止します。	N  F
5ステップ	ピント位置が5段階に停止します。	N  F
3ステップ	ピント位置が3段階に停止します。	N  F
2ステップ	ピント位置が2段階に停止します。	N  F

ズームの設定 → 「4.2.3 切替設定タブ」

5.5.5 ラップタイム表示

観察画面でラップタイムを表示できます。

FullHDモニターを接続し、出力解像度をFullHDモードで使用している場合にラップタイムを表示できます。

また、マルチボタンまたは、マルチキー、スコープスイッチにラップタイムを設定する必要があります。

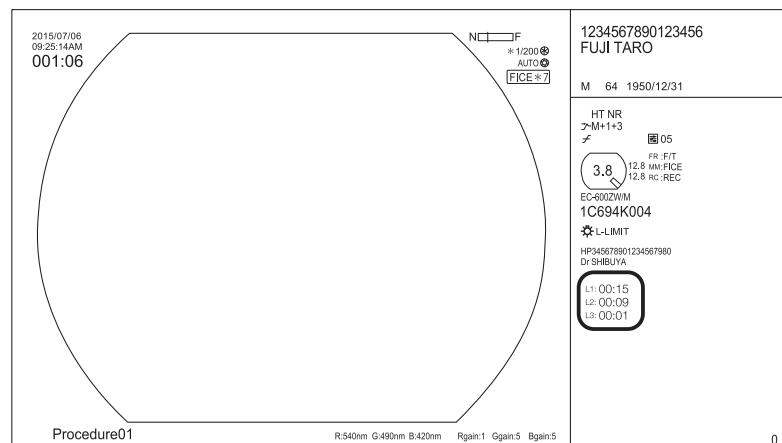
ラップタイムの設定 → 「4.2.4 表示タブ」

マルチボタンの設定 → 「4.2.3 切替設定タブ」

マルチキーの設定 → 「4.2.3 切替設定タブ」

スコープスイッチの設定 → 「4.2.7 スコープタブ」

ラップタイム機能の使い方 → 「7.17.3 ラップタイム機能」



第6章 システムの準備と点検

6.1 機材の設置と接続

「第4章 システムの設置と初期設定」に従って、システムを設置します。

参考

- ・プロセッサーの内蔵電池が放電すると、モニターに表示する時計の機能が維持できない（時間が遅れる）おそれがあります。プロセッサーを使用しないまま1ヶ月以上放置した場合は、3時間を目安にプロセッサーの電源を入にして、内蔵電池の充電を行ってください。（内視鏡接続やライト点灯の必要はありません）
- ・モニターに表示する時計の時刻が正しい時刻と一致していない場合は、日付、時刻を設定し直してください。

6.2 関連機器の準備

次に示す関連機器を、それぞれの『添付文書』や『取扱説明書』に従って点検してください。

- ・内視鏡
- ・モニター
- ・送水タンク
- ・吸引器
- ・処置台
- ・マウスピース
- ・送水装置
- ・炭酸ガス送気装置
- ・電気焼灼器
- ・防塵フィルター

参考

関連機器は、富士フィルムまたは機器製造元から出荷する前にリプロセスが行われていないものがあります。初めて症例に使用する前に、それぞれの『添付文書』および『取扱説明書』に従ってリプロセスを行ってください。

6.3 プロセッサーの動作確認

警告

- ・ライト点灯中は、内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

参考 通気口から漏れ出る光については、安全上の問題はありません。

- (1) 使用前に防塵フィルターが目詰まりしていないか点検します。機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。

参考 防塵フィルターの清掃方法は9章を参照してください。

→「9.3 防塵フィルターの清掃」

- (2) 電気コネクターソケット、スコープコネクターソケットとメモリースロットに、水が掛かっていたり錆が発生していないことを確認します。

- (3) 内視鏡を確認します。

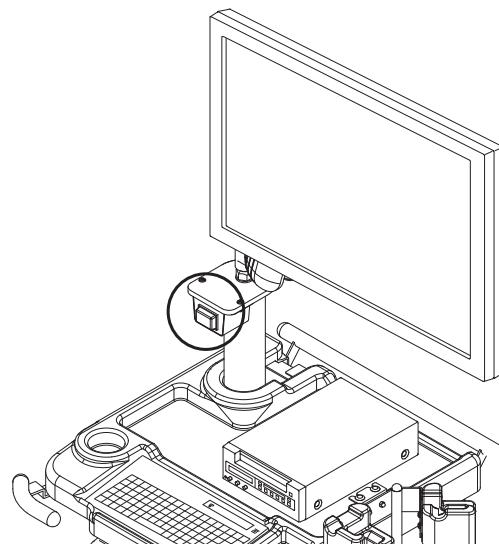
参考 内視鏡先端の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着していないことを確認してください。異物が付着している場合は、内視鏡の取扱説明書に従い、洗浄・消毒・滅菌してください。

- (4) 内視鏡を接続します。

参考 内視鏡の接続方法は、7章を参照してください。

→「7.2 内視鏡と機器の接続」

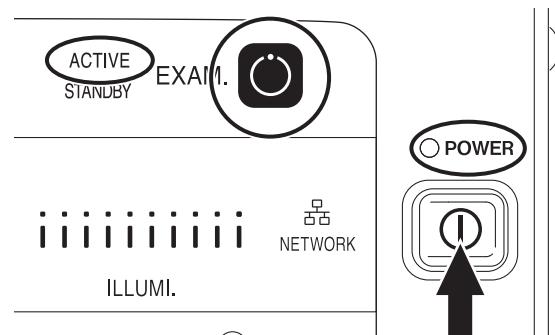
- (5) カートの電源を入れます。



(6) 本製品の電源を入れます。

電源表示灯が点灯します。検査ボタンと「ACTIVE」が青色に点灯します。モニターに観察画面が表示されます。

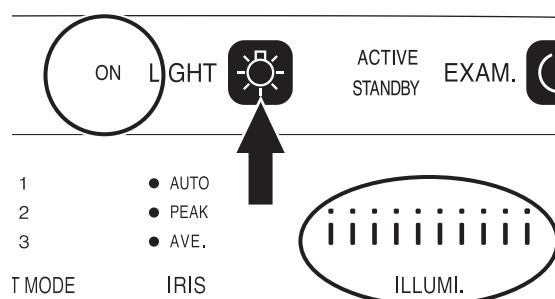
参考 スコープが接続されていないときは、検査ボタンと「STANBY」がオレンジ色に点灯します。スコープを接続して、検査ボタンを押してください。



(7) ライトボタンを押します。

ライトボタンと「ON」が青色に点灯し、ライトが点灯します。また「ILLUMI.」のインジケーターが青色に点灯します。

参考 スコープが接続されていないときはライトが点灯せず、ライトボタンがオレンジ色に点灯します。スコープを接続して、ライトボタンを押してください。

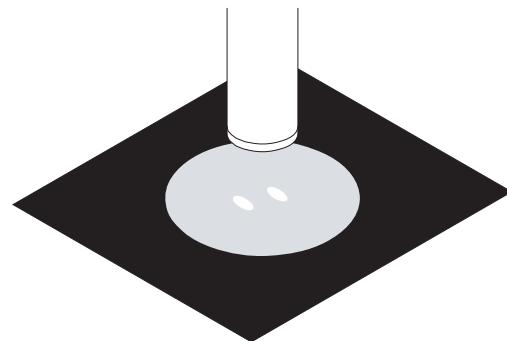


(8) 発光の確認は内視鏡先端を黒い紙等に近づけて反射光で確認します。

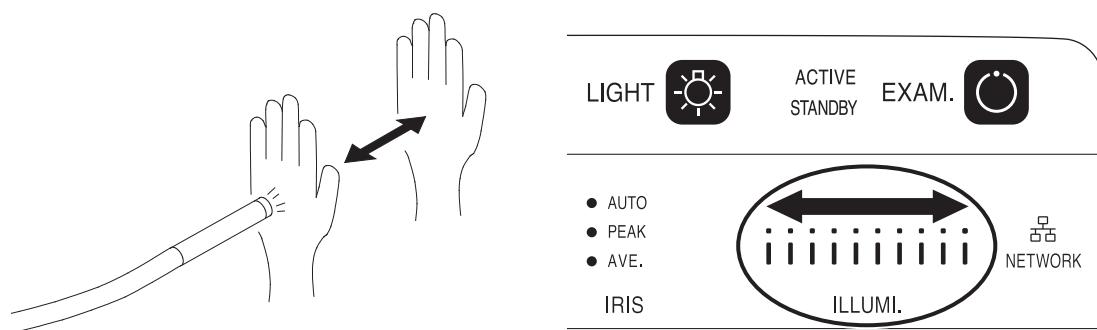
2つの光る点が見えれば正常です。

光る点が1つしか見えない場合、または光らない場合は直ちに使用を中止し、電源を切り、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

参考 内視鏡先端からの光を直視すると目の障害を起こすことがあります。



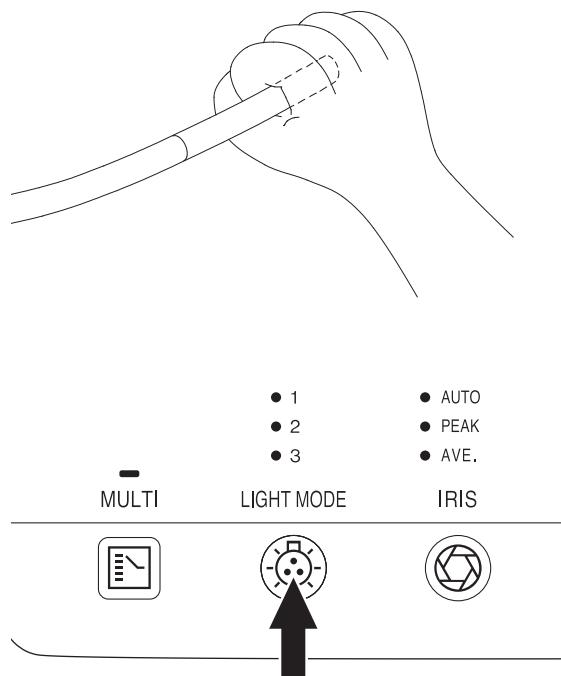
(9) 内視鏡の先端部に手のひらをあて、近づけたり遠ざけたりすることで、インジケーターのレベルが変化することを確認します。



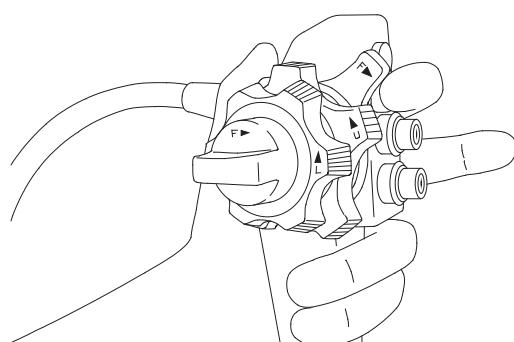
(10) 内視鏡の先端部に手のひらをあて、手の画像が見えることを確認します。

照明モードボタンを押すたびに、照明モード表示灯とモニターの画像が切り替わることを確認します。

必要に応じて「5.3.5 カラー調整」を実施してください。

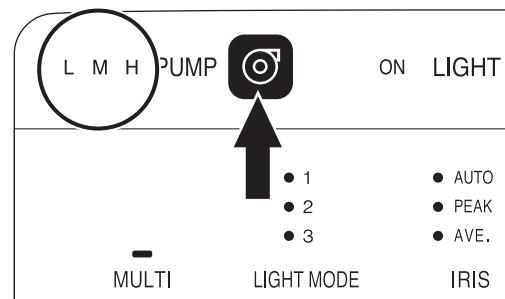


(11) 各スコープスイッチを押して動作を確認し、正しく機能が割り当てられているか確認します。



(12) フットスイッチを使用している場合は、フリーズが設定されているボタンを踏み、画像が静止する事を確認します。

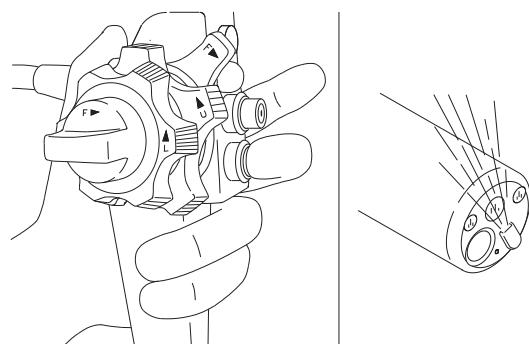
(13) 送気ボタンを押して、送気ポンプの作動が「H」→「M」→「L」→OFF→「H」の順に切り替わることを確認します



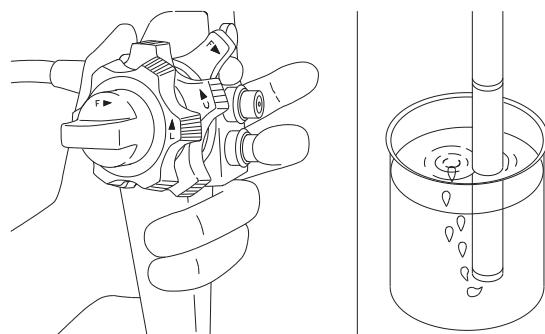
(14) 送気ボタンを押して、送気ポンプの作動を「H」に設定します。

内視鏡先端を空中におき、内視鏡の送気送水ボタンを押し込み、送気送水ノズルから水が出ることを確認します。

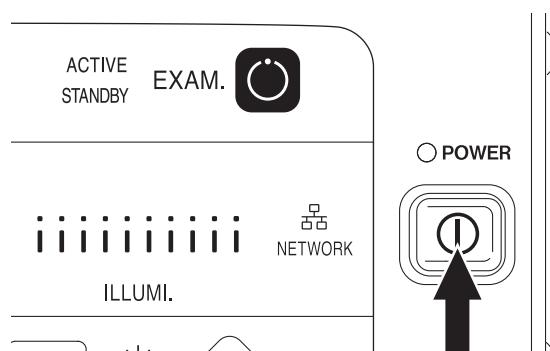
参考 水の出る方向にご注意ください。



- (15) 内視鏡先端を水中に入れ、内視鏡の送気送水ボタンの中央の穴を指で塞ぎ、送気送水ノズルから空気が出ることを確認します。
また、その指を穴から離したときに送気送水ノズルから空気が出ていないことを確認します。



- (16) 本製品の電源を切ります。これで、テストは終了です。



6.4 調整値の登録・呼び出し

「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除」で設定した調整値は、画像設定ページとして5パターンまで登録することができます。登録した画像設定ページは、後から呼び出すことができます。

→ 「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除」

6.5 患者情報の登録

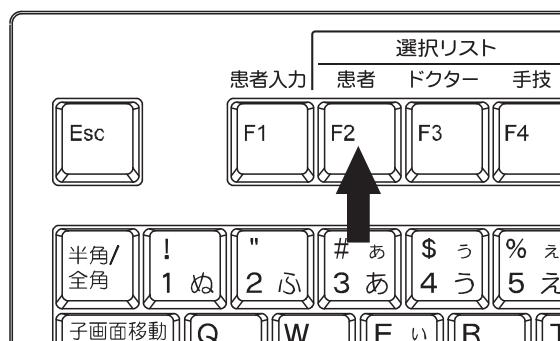
キーボードの【患者入力】キーを押します。患者情報を登録します。

→「5.2 患者情報登録・編集」



6.6 患者情報の呼び出し

(1) キーボードの【患者】キーを押します。患者リスト画面が表示されます。



(2) [↑]、[↓] キーで患者データにカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
選択した患者情報を読み込んで観察画面に表示します。

→「5.2.2 患者情報の呼び出し」

第7章 使用方法

本製品に異物が付着しないようにしてください。

異物がある場合は、機器の誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

→「第9章 保管とメンテナンス」

はじめに

本製品を使用する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

1 使用前の点検をする。

→「第6章 システムの準備と点検」



参考 スコープスイッチ設定^{※1}、インデックス表示^{※1}などシステムの設定変更は「4.2 設置時のシステムの初期設定」を参照。

2 内視鏡を接続する。

→「7.2 内視鏡と機器の接続」



参考 電気コネクターソケットの位置は「3.1 前面パネル」を参照。

3 本製品の電源を入れる。

→「7.4 機器の電源投入」

↓
4 2回目以降の検査

→「7.6 ライトの点灯」

→「7.18 検査開始」

→「7.19.2 2回目以降の検査開始の場合」

参考 電源ボタン、検査ボタンの位置は「3.1 前面パネル」を参照。

5 ユーザー設定を呼び出す。^{※1}

→「4.2.10 ドクター名の設定」



→「5.5.1 画像設定ページ名の登録・呼び出し・削除」

6 患者データを入力する。^{※1}

→「5.2 患者情報登録・編集」



7 モニター上の情報表示を確認する。

→「3.9 観察画面のデータ表示について」



内視鏡画像を確認する。観察の設定を変更する。^{※1}

→「5.5.2 インデックス画像の表示」

→「7.10 観察モードの切り替え」～「7.17 データ表示の操作」



観察画像を記録する。^{※1}

→「第8章 画像の記録」

8 検査を終了する。

- 「7.19.1 1回目の検査終了の場合」
- 「7.19.3 すべての検査終了の場合」

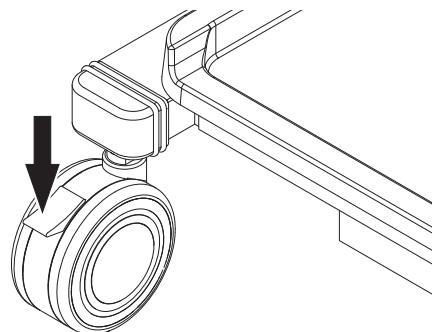
参考 電源ボタン、検査ボタンの位置は「3.1 前面パネル」を参照。

※ 1 検査方法によっては、使用しない場合もあります。

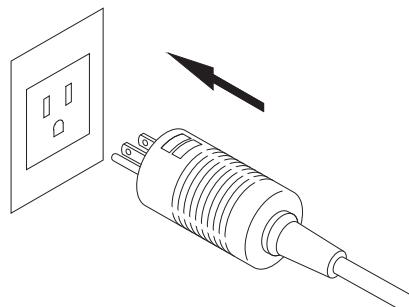
参考 スタンバイ中は、環境負荷を低減するため、EXAM. ボタンで検査を終了してください。

7.1 機材の準備

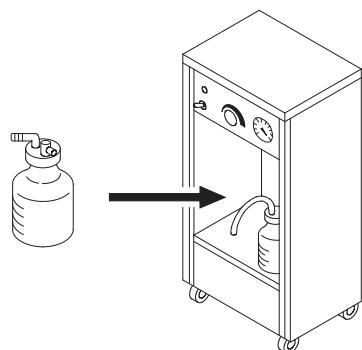
- (1) 本製品とカートの電源を切ります。
- (2) システムが搭載されたカートを使用する場所に移動します。
カートのキャスターをロックします。



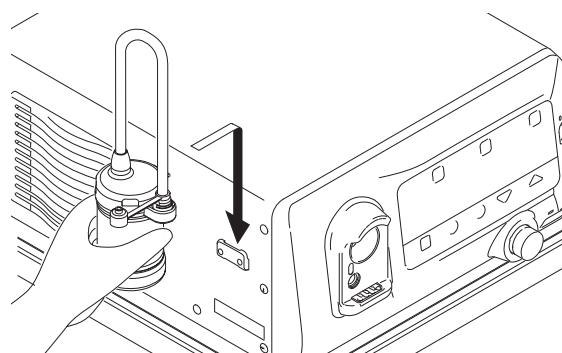
- (3) カートの電源プラグを保護接地付コンセントに直接差し込みます。



(4) 吸引器に吸引ビンをセットします。



(5) 8分目位まで滅菌水を入れた送水タンクを左側面のフックに掛けます。



7.2 内視鏡と機器の接続

注意

- ・ライト点灯中は、内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。
- ・スコープコネクタ部に異物がないことを確認して接続してください。給電部に異物が挟まると機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。また、異物が発熱して危険です。異物を挟んでしまった場合は、直接手では異物を触らず、内視鏡を引き抜いてから指定された方法で清掃を行ってください。
→「9.1 プロセッサー使用後のお手入れ」
- ・受信窓、通信窓に異物、汚れがないことを確認して接続してください。受信窓、通信窓に異物、汚れがある場合は、機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- ・スコープコネクターは受電部を含めて十分に乾燥した状態で本製品に接続してください。また、受電部に水分や異物（金属片、薬液残渣、水あか、皮脂の汚れ、ほこり、ガーゼの繊維など）がないことを確認してから接続してください。ボール受けが濡れていれば異物が付着したまま接続すると、機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- ・内視鏡接続時は、隙間を作らないよう奥までしっかりと差し込んでください。内視鏡接続部を覗き込まないでください。光源の光により目の障害を起こすことがあります。
- ・給電部に内視鏡以外の金属は近づけないでください。発熱することがあります。
- ・光源からスコープコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5分）手を触れないでください。
- ・吸引圧は、40～53kPaに設定してください。吸引圧が高すぎると、内視鏡が吸着して、粘膜が損傷するおそれがあります。
- ・電気コネクターソケットに600システムスコープまたは500システムスコープを挿入した状態で、700/6000システムスコープをスコープコネクタに装着しないでください。
- ・感染および静電気防止のため、内視鏡に触れるときは、保護具を着用してください。

参考

- ・電源を切ってから、内視鏡を着脱してください。電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。接点には、直接手を触れないでください。接点には、キシリカインスプレー等の液体がかからないようにしてください。電気接点が濡れた内視鏡は、接点を乾燥してから接続してください。故障や誤動作の原因になります。
- ・日時や患者情報の表示に誤りが無いことを確認の上、ご使用ください。
- ・故障や誤動作を防止するために、検査ボタンを押してオレンジ色の準備が連続点灯してから内視鏡を着脱してください。
- ・接点に液体が付着した状態で内視鏡を接続すると、故障や誤動作（画像不良など）の原因となることがあります。内視鏡を接続しない電気コネクターソケットには、同梱のソケット保護キャップ（CC-203）を装着して接点を保護してください。

本製品の電源を切るか、検査ボタンを押して「STANDBY」がオレンジ色に連続点灯している状態で、内視鏡を取り付けます。まず、スコープコネクターソケットに内視鏡を接続します。

参考 電源投入後、画面左上に表示される起動バー■■■■■が表示された状態では、内視鏡を装着しないでください。

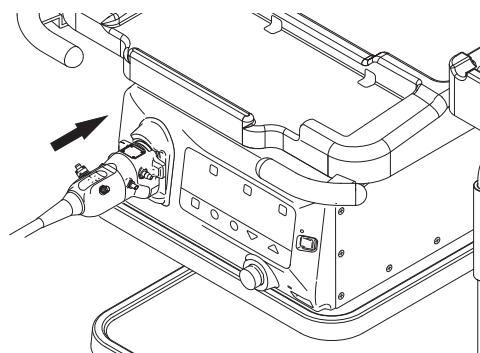
<700/6000システムスコープ>

注意

- 受信窓、通信窓に異物、汚れがないことを確認して接続してください。受信窓、通信窓に異物、汚れがある場合は、機器の誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- 内視鏡接続時は、隙間を作らないよう奥までしっかりと差し込んでください。内視鏡接続部を覗き込まないでください。光源の光により目の障害を起こすことがあります。

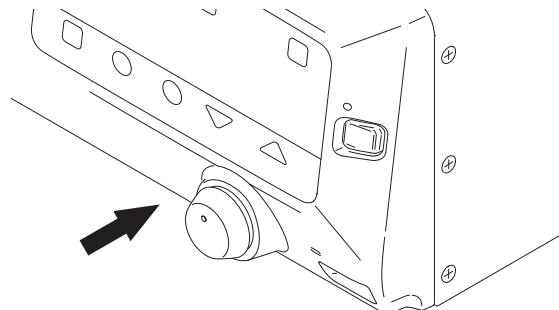
- (1) 内視鏡のスコープコネクターをスコープコネクターソケットの止まるところまで差し込みます。

参考 スコープコネクターをまっすぐに差し込んでください。

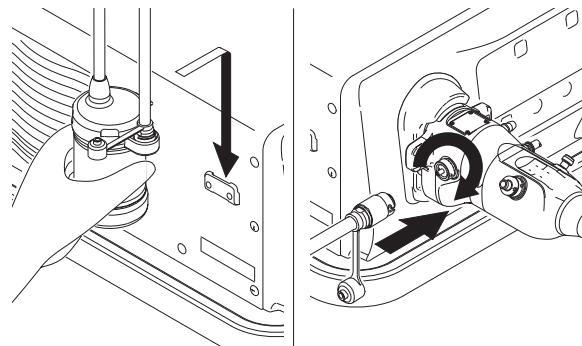


- (2) 700/6000システムスコープを接続する時、電気コネクターソケットにソケット保護キャップを取り付けてください。

参考 電気コネクターソケットに500/600システムスコープを接続しないでください。



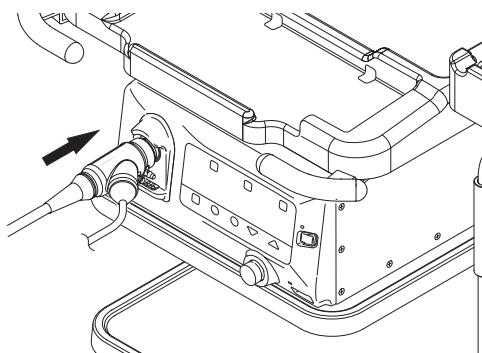
- (3) 滅菌水を入れた送水タンクを左側面のフックに掛け、送水タンクのコネクターを内視鏡に接続します。



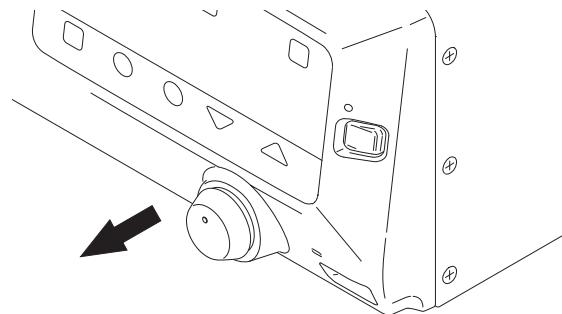
< 600 システムスコープおよび 500 システムスコープ >

- (1) 内視鏡の LG コネクターを両手で持ち、スコープコネクターソケットの止まるところで、まっすぐ差し込みます。

参考 LG コネクターをまっすぐに差し込んでください。

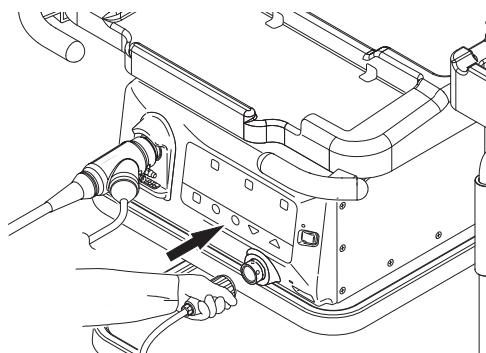


- (2) 内視鏡を接続する電気コネクターソケットのソケット保護キャップを外し、電気コネクターを装着します。

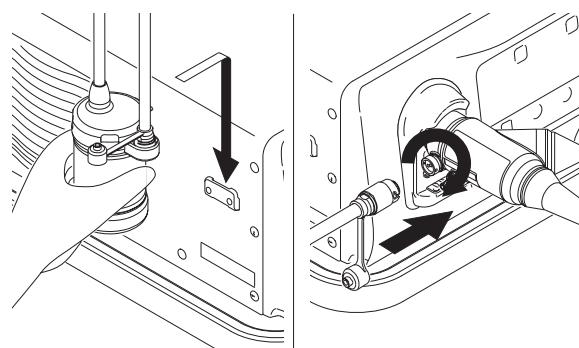


(3) 電気コネクターの指標を合わせ、少し押しながら時計回りに回転させます。

- 参考**
- ・電気コネクターの指標を時計回りに 90° しっかりと回転させてください。
 - ・内視鏡を 2 本接続しないでください。



(4) 減菌水を入れた送水タンクを左側面のフックに掛け、送水タンクのコネクターを内視鏡に接続します。



7.3 内視鏡、関連機器の使用方法

電子内視鏡、関連機器の『添付文書』や『取扱説明書』に従ってください。

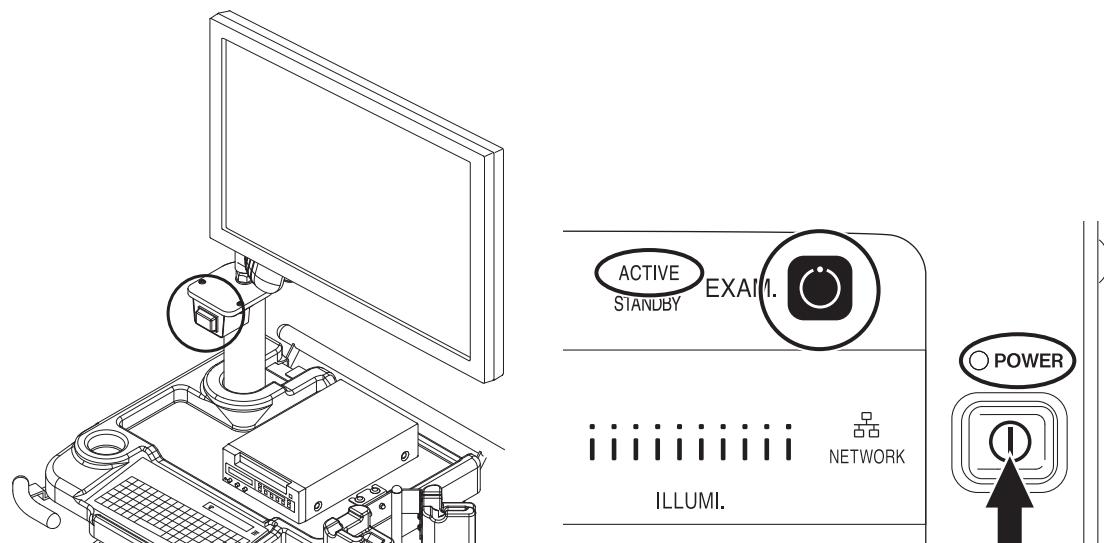
7.4 機器の電源投入

カート、本製品の順に電源を入れます。

本製品の電源を入れると、検査ボタンと「ACTIVE」が青色に点灯します。

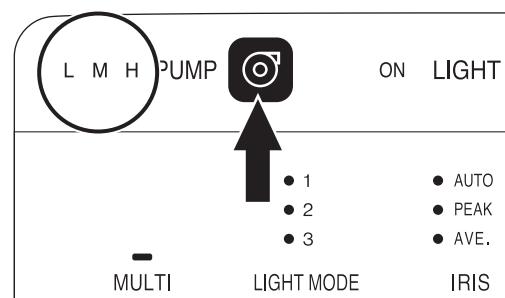
参考

- スコープが接続されていないときは、検査ボタンと「STANDBY」がオレンジ色に点灯します。スコープを接続して、検査ボタンを押してください。
- 電源投入後、画面表示までに約 15 秒、検査可能になるまで約 60 秒かかります。「ACTIVE」が青色に点灯するまでに表示されている画像には、画像処理が施されていません。
- 電源投入後、画面左上に表示される起動バー ■■■■■ が表示された状態では、内視鏡を装着しないでください。
- 「ACTIVE」が青色に点灯するまではスコープスイッチを操作しないでください。
- 内視鏡が装着されていない状態で電源を投入すると、送気ポンプは、自動的に停止します。



7.5 送気ポンプの作動

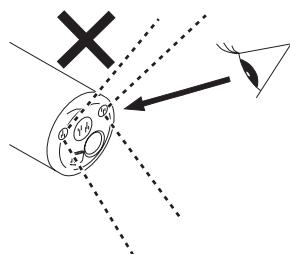
送気ボタンを押して、送気ポンプの作動が「H」→「M」→「L」→OFF→「H」の順に切り替わることを確認します。



7.6 ライトの点灯

注意

- ライト点灯中は、内視鏡の先端部にあるライトガイドの光を直視しないでください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

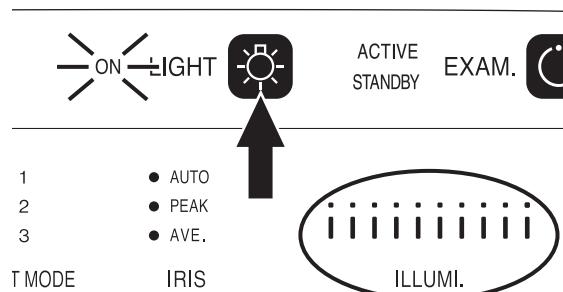


ライトボタンを押します。(ライトは検査開始直前に点灯してください。)

参考 すぐに検査を行わない場合は、いったん消灯してください

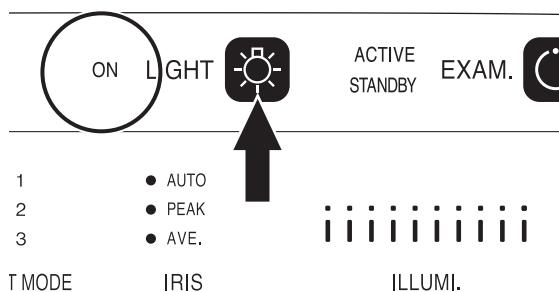
ライトボタンと「ON」が青色に点灯し、ライトが点灯します。また「ILLUMI.」のインジケーターが青色に点灯します。

参考 本製品はスコープソケットに内視鏡のスコープコネクターまたはLGコネクターを接続しない状態ではライトが点灯しません。



7.7 ライトの消灯

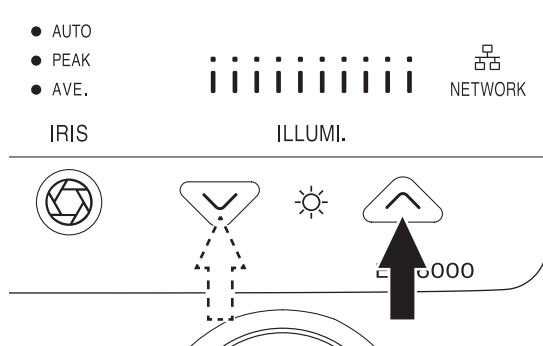
ライトボタンを押します。
ライトボタンと「ON」が消灯し、光源の発光が停止します。



7.8 光量の調節

被写体の明るさが適切になるように、明るさ調節ボタンを押して調整します。

を押すと明るくなり、 を押すと暗くなります。



明るさレベルは、-4～+5 の 10 段階で調整でき、インジケーターには以下のように表示されます。

明るさレベル 0 (標準) :

明るさレベル -4 :

明るさレベル +5 :

明るさレベルは、モニターで確認することもできます。

明るさレベルは、-4 から +5 の数字で測光モード表示の横に、下記のように表示されます。

明るさレベル 0 (標準) は数字を表示しません。

Lv+1 AUTO

→ 「7.15 測光モードの切り替え」

7.9 光量制限

出血している患者の血液が照明光で凝固することを防止するため、ライトの最大光量を制限したいときに使用します。最大光量を制限します。

吐血・下血など出血が予想される患者へ検査または処置する場合は、内視鏡を挿入する前に光量制限機能を「入」してください。内視鏡挿入後に出血が認められた場合は、速やかに光量制限機能を「入」してください。

光量制限機能を使用しない場合、ライトガイドに付着した血液が急激に固まり、観察画像が暗くなることがあります。

→「4.2.6 光源タブ」

マルチボタンに割り当てたとき、光量制限を「入」にすると ■ 表示灯が点灯します。

→「4.2.3 切替設定タブ」

参考 光量制限機能を使用しても血液の凝固が起きる場合があります。

検査開始時に光量制限機能を有効にすることができます。

→「4.2.6 光源タブ」

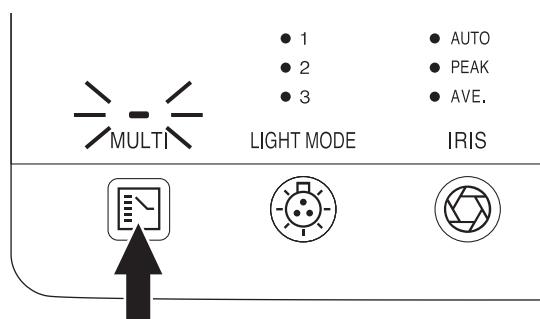
設定を有効にすると、マルチボタンの割り当ては「光量制限」となります。

→「4.2.3 切替設定タブ」

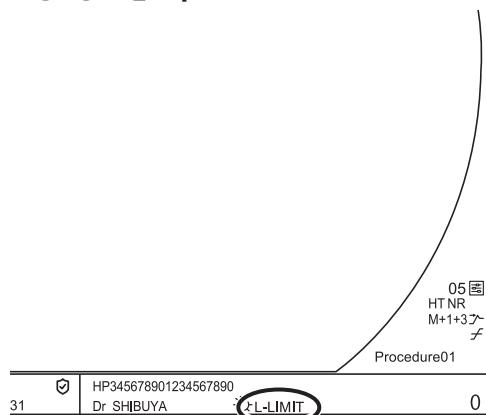
(1) 光量制限を割り当てたマルチボタンを押します。

ライトの最大光量が制限され、マルチボタン上側の ■ 表示灯が点灯します。

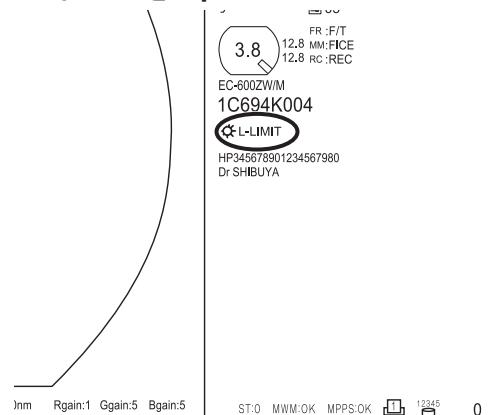
また、FullHD と SXGA のモニター画面に光量制限中を示す「L-LIMIT」が表示されます。



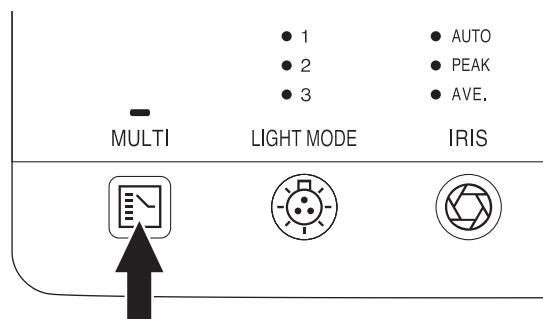
● SXGA モード



● FullHD モード



- (2) 元の光量に戻す場合は、再度、マルチボタンを押します。
ライトの光量が元に戻り、マルチボタン上側の ■ 表示灯が消灯します。



参考 検査を終了すると、光量制限は解除されます。

7.10 観察モードの切り替え

照明モードに応じて得られる画像を画像処理し、観察したい被写体の構造や領域を見やすくする機能です。照明モードボタンを押すたびに、特殊光観察プリセット設定で設定した順に観察モード（BLI・BLI-bright・LCI）が切り替わります。照明モード「切」で通常モードになります。

参考

- ・観察モード切替時に、モニター上の観察画像が一瞬ちらつくことがありますが異常ではありません。
 - ・FICE が「入」の場合、観察モードの切り替えはできません。あらかじめ FICE を「切」にしてから観察モードを切り替えてください。
- 「7.12 FICE の切り替え」

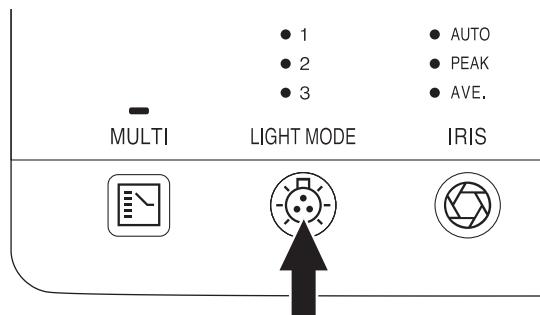
<特殊光観察モード（BLI・BLI-bright・LCI）を使用可能な内視鏡>

機種名
700 システムスコープ、6000 システムスコープ、EB-580S

<特殊光観察プリセットの設定>

特殊光観察プリセットの設定をする場合は照明モードボタンを約 2 秒間押し続けます。機能設定画面が表示されます。

→「5.3.8 特殊光観察プリセット設定」



7.11 構造強調の切り替え

構造強調を割り当てたボタンを押すたびに、構造強調機能の入 / 切が切り替わります。

電源投入時または検査開始時は、「切」に設定されています。

マルチボタンに割り当てたとき、構造強調を「入」にすると **■** 表示灯が点灯します。

<通常モードの場合>

構造強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

♪-L-4+4

設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

SE (構造強調): L／白 (弱)、M／緑 (中)、H／黄 (強) 設定文字の右隣の数値は、それぞれ、
輪郭強調の DH (微細部)
輪郭強調の DL (構造部)
の設定レベルを表します。

<BLI、BLI-bright または LCI の場合>

構造強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

設定値の文字色は常に白で表示されます。

A モード : **♪- n/** (n は A モードの設定レベルを表します。)

B モード : **♪- /m** (m は B モードの設定レベルを表します。)

参考 設定が「なし」の場合や、他の機能との組み合わせで使われない場合は、対応する機能の文字は表示されません。

<詳細設定>

詳細設定する場合は、構造強調を割り当てたマルチボタンを約 2 秒間押し続けます。

■ 表示灯が点滅し、機能設定画面が表示されます。

もしくはキーボードの [パネル] キーを押します。

→ 「5.3.2 構造強調設定」

7.12 FICE の切り替え

FICE とは、分光画像処理機能のひとつです。

通常の内視鏡画像から、特定の波長成分によって得られる画像（分光画像）を画像処理によって抽出し、R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめて、擬似カラー表示することができます。

観察したい被写体の構造や領域を選択的に色調強調し、構造や領域の視認性を向上させることができます。

参考

- ・BLI、BLI-bright および LCI では FICE は使用できません。照明モードを通常モードにしてください。
→「7.10 観察モードの切り替え」
- ・FICE が「入」の場合、観察モードの切り替えはできません。あらかじめ FICE を「切」にしてから観察モードを切り替えてください。

< FICE を使用可能な内視鏡 >

機種名
700 システムスコープ、6000 システムスコープ、600 システムスコープ、 500 システムスコープ ^{※1} 、EB-580S
※ 1 590 シリーズスコープ、EG-530UT2、EG-530UT、EG-530UR2、EG-530UR、 ED-530XT8、EG-530NP、EG-530N、EG-530N2、EG-530NH、EC-530XP、 EI-530B、EG-530UL2 を除く

< FICE の切り替え >

キーボードの「FICE」キーを押すたびに、FICE の入 / 切が切り替わります。

参考

色彩強調機能が「入」のときに FICE を「入」にすると、自動的に色彩強調機能が「切」になります。

< FICE セットの呼び出し >

FICE セットを呼び出す方法について説明します。

- (1) FICE を「入」にします。
- (2) キーボードのテンキーで 0 ~ 9 までの数字を入力します。
キーボードのテンキーであらかじめ設定した FICE セット番号の数字を入力します。

FICE セットの呼び出し、FICE の設定 → 「5.3.3 FICE 設定」

7.13 色彩強調の切り替え

色彩強調を割り当てたボタンを押すたびに、色彩強調機能の入 / 切が切り替わります。マルチボタンに割り当てたとき、色彩強調を「入」にすると **■** 表示灯が点灯します。

参考 色彩強調機能が「入」のときに FICE を「入」にすると、自動的に色彩強調機能が「切」になります。

<通常モードの場合>

色彩強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

✓ RE CE

設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

RE (赤色強調) : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

CE (色彩強調) : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

<BLI、BLI-bright または LCI の場合>

色彩強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

✓ C1

設定値の文字および文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

CE (色彩強調) : C1／白 (色調 1)、C2／緑 (色調 2)、C3／黄 (色調 3)

<詳細設定>

詳細設定する場合は、色彩強調を割り当てたマルチボタンを約 2 秒間押し続けます。

■ 表示灯が点滅し、機能設定画面が表示されます。

もしくはキーボードの [パネル] キーを押します。

→ 「7.19 検査終了」

7.14 シャッタースピードの切り替え

<シャッタースピードの手動切り替え>

シャッタースピードを割り当てたボタンを押すたびにシャッタースピードの設定が「高速」と「標準」に切り替わります。

マルチボタンに割り当てたとき、シャッタースピードの設定を「高速」にすると **■** 表示灯が点灯します。シャッタースピードの設定を「標準」にすると **■** 表示灯が消灯します。

画面には次のように表示されます。

「標準」: 1/60 \oplus (設定値は白色で表示されます。)

「高速」: 1/200 \oplus (設定値は緑色で表示されます。)

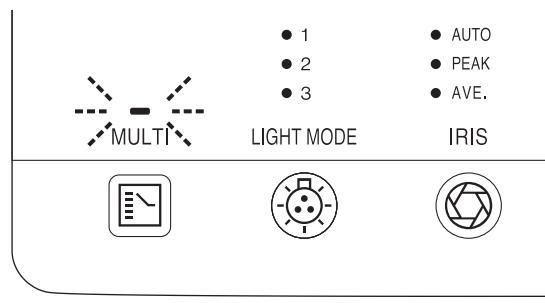
優先モード有効時: *1/200 \oplus (設定値は黄色で表示されます。)

参考 表示される数値はシャッタースピードの設定値（単位：秒）です。

<光学ズームスコープ使用時の自動切り替え>

光学ズームスコープ使用時に、光学ズームの倍率によってシャッタースピードを自動的に切り替えることができます。設定はサービスマンが行います。

マルチボタンにシャッタースピードを割り当てたとき、シャッタースピードが自動で「高速」に切り替わると **■** 表示灯が点滅します。



画面には次のように表示されます。

1/200 **⊗** (設定値は白地に黒文字で表示されます。)

<詳細設定>

詳細設定する場合は、シャッタースピードを割り当てたマルチボタンを約2秒間押し続けます。

■ 表示灯が点滅し、機能設定画面が表示されます。
もしくはキーボードの [パネル] キーを押します。

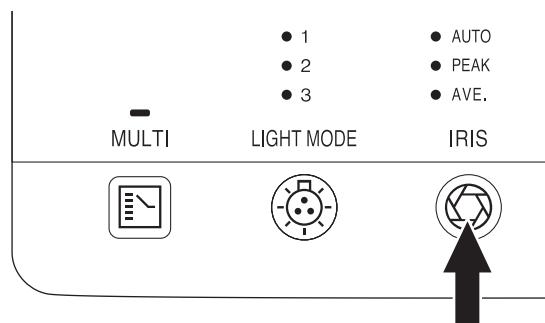
→ 「5.3.6 シャッタースピード」

7.15 測光モードの切り替え

測光モードボタンを押して、画面の明るさを制御する ALC（自動調光）のモードを選択します。

画面全体の明るさを基準に制御する「AVE.」と、ハイライト部の明るさで制御する「PEAK」、平均測光とピーク測光を自動で最適調整する「AUTO」の3つのモードがあります。電源投入時はオート測光になっています。

測光モードボタンを押すたびに、この3つのモードが切り替わります。



画面には次のように表示されます。

「AUTO」: Lv+1 AUTO ⊙ (設定値は白色で表示されます。)

「PEAK」: Lv+1 PEAK ⊙ (設定値は緑色で表示されます。)

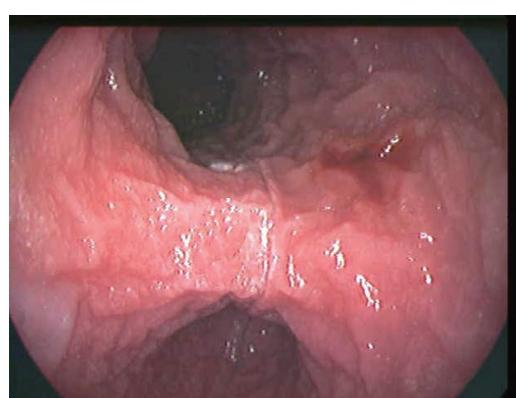
「AVE.」: Lv+1 AVE ⊙ (設定値は緑色で表示されます。)

参考 ライト点灯時 AUTO、PEAK、AVE の横に表示される数字は明るさレベルです。

→ 「7.8 光量の調節」



明るさにあまり差がない画面は、平均測光が適している



画面の一部に高輝度部分がある場合は、ピーク測光が適している

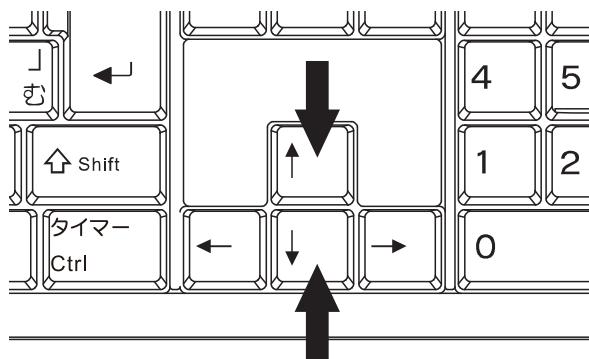
<詳細設定>

測光モードボタンを約2秒間押し続けると、設定画面が表示されます。

→ 「5.3.7 測光モード設定」

7.16 電子ズームの操作

観察画面を表示して、キーボードの [↑] 、[↓] キーを押します。



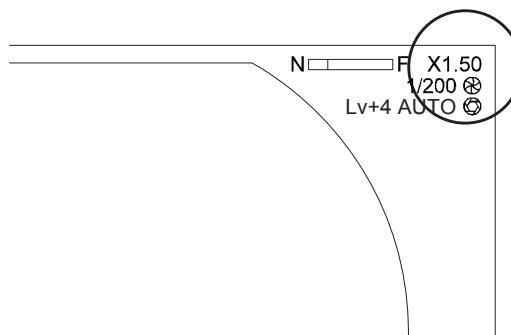
電子ズームが切り替わります。

倍率は、X1.00 ~ X2.00 の範囲で 0.05 ステップで設定できます。

参考

- 一部の 530 シリーズスコープの倍率は、X1.00 ~ X1.95 の範囲です。
- 光学ズームスコープを接続している場合、光学ズームが最大の状態でさらに拡大スイッチを押すと、電子ズームに自動的に切り替わります。

→ 「4.2.9 拡大時シャッタースピード切替の設定」



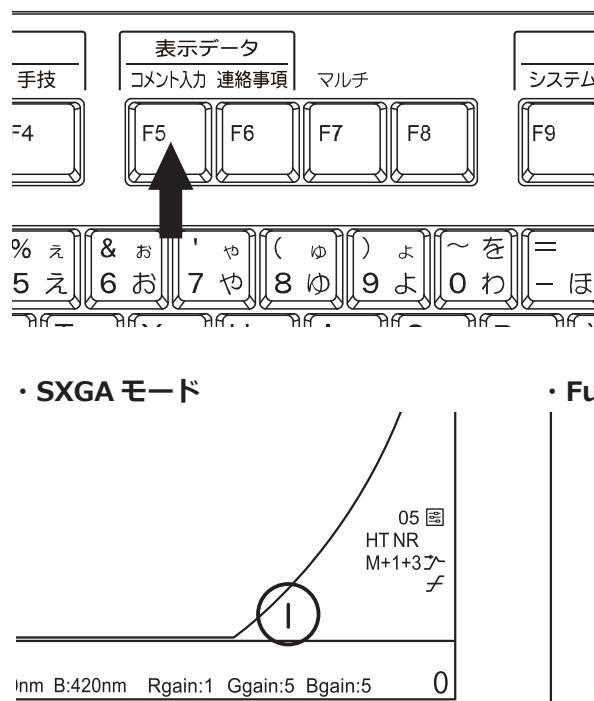
7.17 データ表示の操作

7.17.1 コメントの入力

観察画面上にコメントを入力することができます。

- (1) [コメント入力] キーを押します。

観察画面上の手技名に、文字カーソルが表示されます。



- (1) コメントを入力し、[Enter] キーを押します。
コメントが確定されます。

参考 確定前に [Esc] キーを押すと、入力がキャンセルされ、元の手技名が表示されます。

7.17.2 タイマーのスタート / ストップ

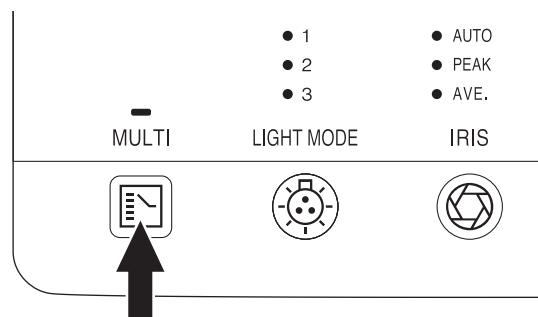
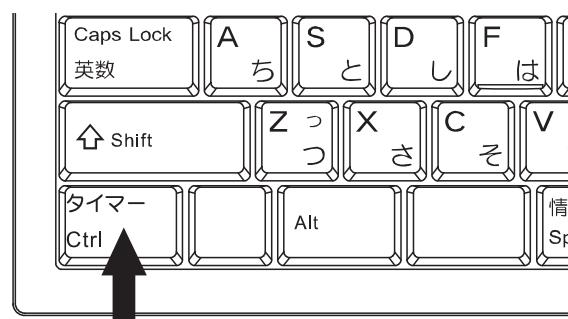
観察画面でタイマーをスタート / ストップさせることができます。

参考 マルチボタンに「タイマー」機能を割り当てている場合に、前面パネルのマルチボタンで操作が可能です。

スタート

観察画面にタイマーが表示され、タイマーがスタートします。

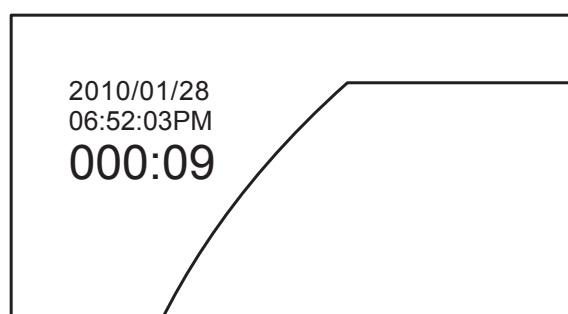
キーボードの場合	[タイマー] キーを押します。
前面パネルの場合	タイマー機能を割り当てたマルチボタンを押します。



ストップ

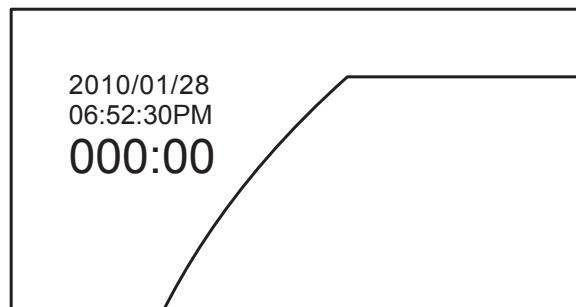
タイマーがストップします。

キーボードの場合	[タイマー] キーを押します。
前面パネルの場合	タイマー機能を割り当てたマルチボタンを押します。



リセット

キーボードの場合	[SHIFT] キーを押しながら、[タイマー] キーを押します。
前面パネルの場合	タイマー機能を割り当てたマルチボタンを約 2 秒間押し続けます。



タイマーの表示を消すには

タイマーをストップした後に、リセット操作を 2 回繰り返します。

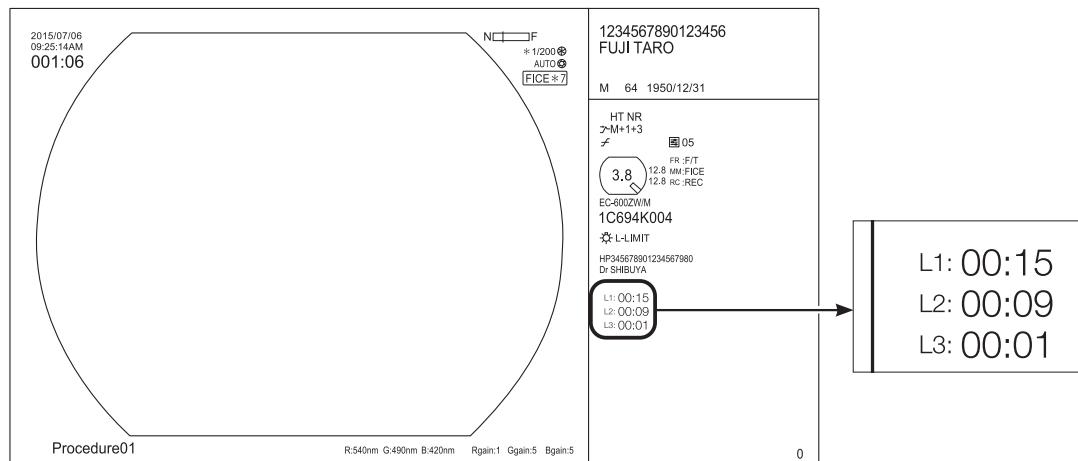
7.17.3 ラップタイム機能

観察画面でラップタイムを表示できます。

→ 設定方法は「5.5.5 ラップタイム表示」

参考 画面設定が FullHD 時のみ、ラップタイムを表示できます。

- (1) ラップタイムを割り当てたボタンを押すことでラップタイムがスタートし、観察画面に表示されます。最初にボタンを押すと、「L1」のタイムラップがスタートします。



(2) ラップタイムを割り当てたボタンを押すことで以下のように表示されます。

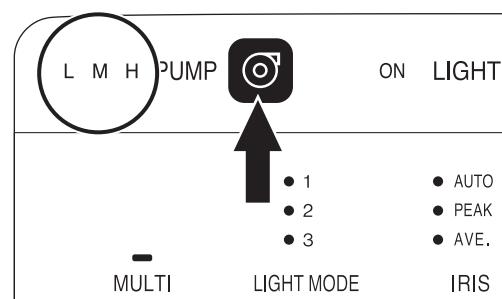
- 1回目：「L1」がスタート。
- 2回目：「L1」がストップし、「L2」がスタート。
- 3回目：「L2」がストップし、「L3」がスタート。
- 4回目：「L3」がストップ。
- 5回目：初期状態に戻ります。

タイムラップ表示例

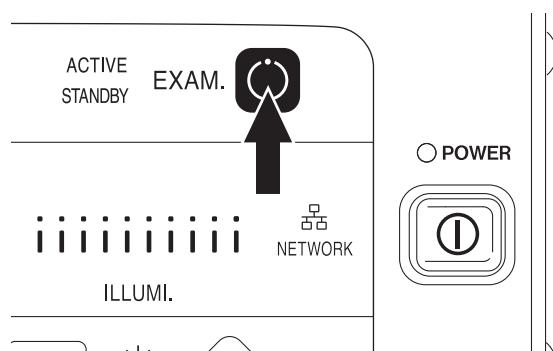
初期状態	ボタン1回目	ボタン2回目	ボタン3回目	ボタン4回目
L1 : 00 : 00	00 : 01	→ 05 : 21	05 : 21	05 : 21
L2 : 00 : 00	00 : 00	00 : 01	→ 03 : 20	03 : 20
L3 : 00 : 00	00 : 00	00 : 00	00 : 01	→ 05 : 01
↑			ボタン5回目	

7.18 検査開始

(1) 必要に応じて送気ボタンを押し、「H」「M」「L」OFFを選択します。



(2) 検査ボタンを押します。



(3) 患者の体内に内視鏡を挿入します。

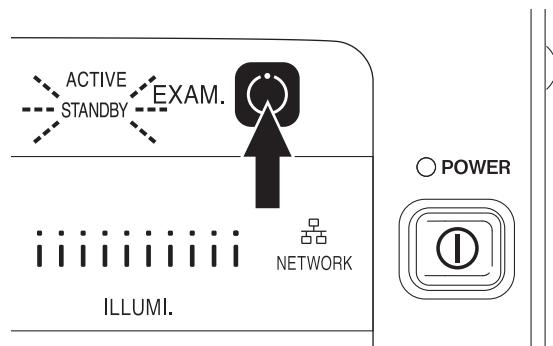
7.19 検査終了

注意

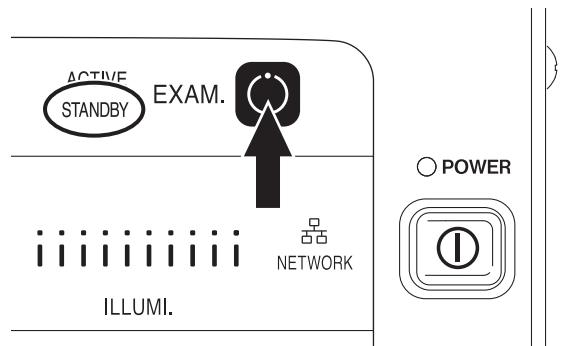
- 光源からスコープコネクターを取り外した直後は、ライトガイド棒が非常に熱い場合があるので触らないでください。熱傷するおそれがあります。ライトガイド棒の先端が冷えるまで（5分）手を触れないでください。

7.19.1 1回目の検査終了の場合

- (1) 患者から内視鏡を抜去します。
- (2) 検査ボタンを約2秒間押し続けます。「STANDBY」がオレンジ色に点滅しライトが消灯します。



- (3) 「STANDBY」がオレンジ色に連続点灯します。内視鏡を取り外します。

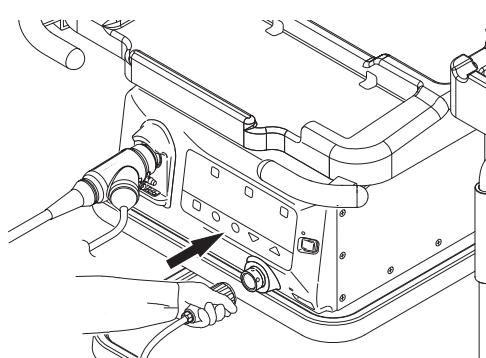
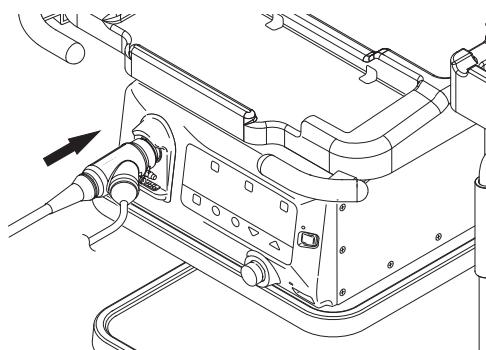


- (4) 内視鏡を洗浄します。

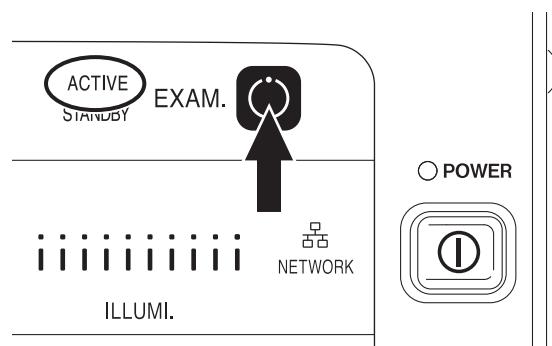
参考 洗浄方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

7.19.2 2回目以降の検査開始の場合

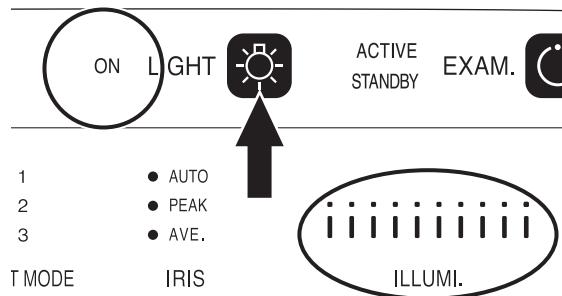
(1) 本製品に内視鏡を取り付けます。



(2) 検査ボタンを押します。「ACTIVE」が青色に点滅したのち、連続点灯します。



(3) ライトボタンを押し、ライトを点灯します。



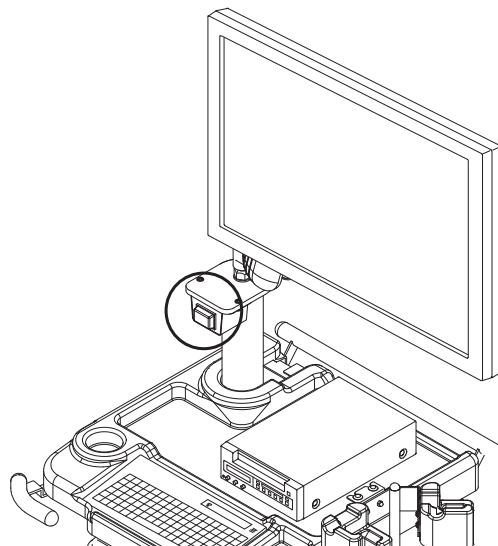
(4) 1回目と同様に検査を行います。

7.19.3 すべての検査終了の場合

すべての検査が終了したら、内視鏡を抜去し、本製品、カートの電源を切ります。内視鏡を取り外し洗浄します。

参考

- ・検査終了直後は、プロセッサーがネットワークにアクセスしている場合があります。ネットワークアクセスランプの点滅が終了するのを確認してから、電源を切ってください。
- ・周辺機器の電源は、通常「入」にしておき、カートのスイッチで入／切します。



7.20 EW1 システムソフトウェアの使用方法

EW1 システムソフトウェアの添付文書や取扱説明書に従ってください。

注意

- ・EW1 システムソフトウェアを搭載した装置（EX-WS）に接続したモニターの画像には、EW1 システムソフトウェアを経由した画像とわかる表示がされます。
- ・表示の詳細については、EW1 システムソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

第8章 画像の記録

本製品では、カラープリンター（リモート式・RS-232C方式）、デジタルプリンターで画像をプリントすることや、静止画記録装置、動画記録装置に画像を記録することができます。正常にプリント／記録できることをご確認の上ご使用ください。

参考 カラープリンターとモニターでは表示特性が異なるため、カラープリンターから出力した画像は、モニターに表示されている画像とは色が異なることがあります。

8.1 カラープリンターの制御方式

カラープリンターの制御には、2つの方法があります。プリンターをリモート端子から制御するリモート式と、RS-232C端子から制御するRS-232C方式です。

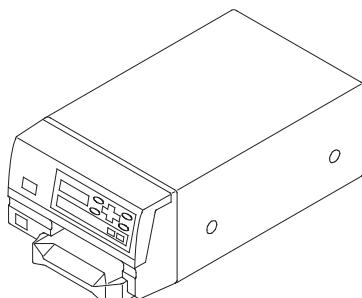
リモート式は、本製品から直接制御するために、めんどうな設定がなく、データの転送も不要です。一方、RS-232C方式は本製品でプリンターの設定を行う必要がありますが、プリント用紙の余白に患者情報を印刷することができます。

- カラープリンター（リモート式）で画像をプリントするには「8.2 カラープリンター（リモート式）で画像をプリントするには」
- カラープリンター（RS-232C方式）で画像をプリントするには「8.3 カラープリンター（RS-232C方式）で画像をプリントするには」

8.2 カラープリンター（リモート式）で画像をプリントするには

本製品にカラープリンターを接続すると、モニターで観察した画像をプリント用紙にプリントすることができます。

参考 プロセッサーには2つのリモート端子（リモート端子1、リモート端子2）があります。各リモート端子の接続割り当ての設定は、サービスマンが行います。



8.2.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって画像が取り込まれます。

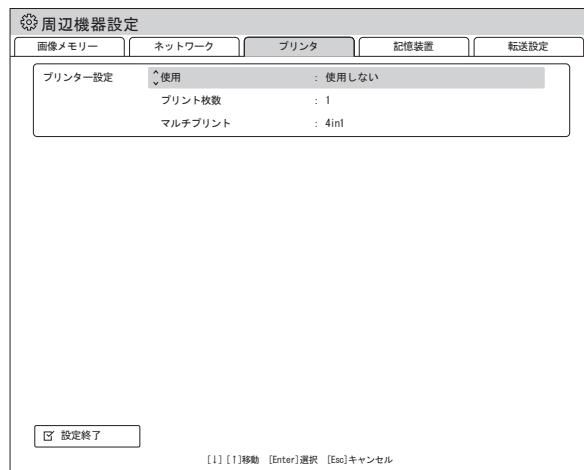
参考 プロセッサーのフットスイッチを、画像取り込みスイッチとして設定することもできます。

→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.2.2 プリンターの設定

カラープリンター(リモート式)の取り込みの場合は「周辺機器設定」の「プリンター設定」を「使用しない」に設定します。

→ 「5.4.3 プリンタタブ」

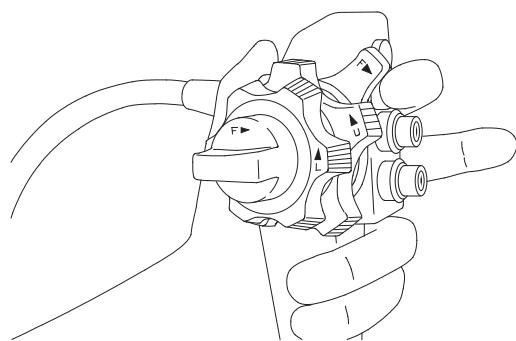


8.2.3 画像の取り込み

画像をプリンター本体に取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

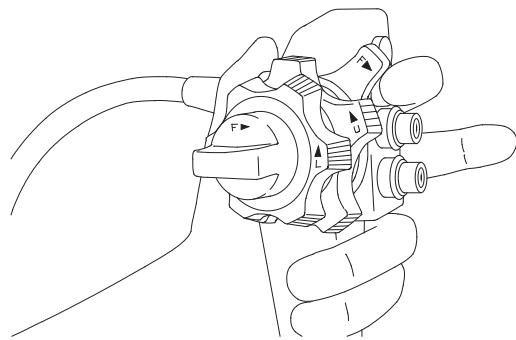
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考 フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ：タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→「4.2.7 スコープタブ」

<フットスイッチで取り込む場合>

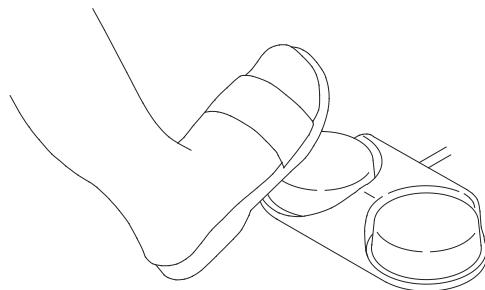
参考 プリンターに直接接続されるフットスイッチの設定は、機器により異なります。詳しくは各プリンターの取扱説明書を参照してください。

- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。

参考 フリーズを割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ: タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間にフットスイッチを足で押すと画像が取り込まれます。



<リモコンで取り込む場合>

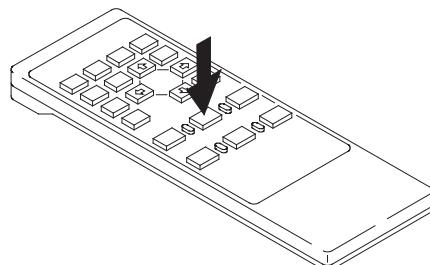
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てているスコープスイッチを押して画像を静止させます。

参考 フリーズを割り当てるスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ：タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間にリモコンの CAPTURE ボタンを押すと画像が取り込まれます。

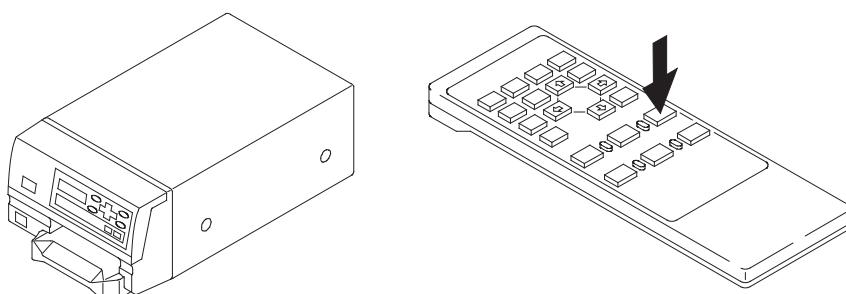
参考 リモコンのボタン名称は機器により異なります。詳しくは各プリンターの取扱説明書を参照してください。



8.2.4 画像のプリント

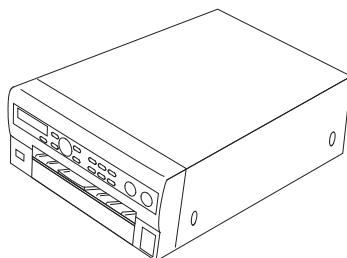
取り込んだ画像をプリントします。

プリンター本体またはリモコンのプリントボタンを押すと、プリントされます。



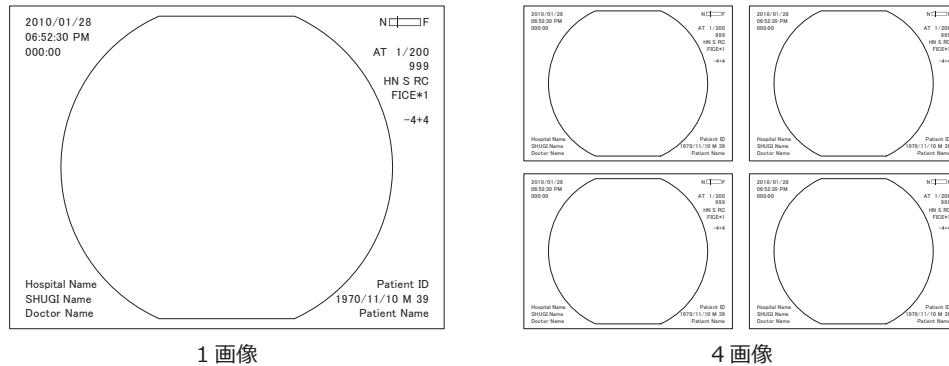
8.3 カラープリンター (RS-232C 方式) で画像をプリントするには

本製品にカラープリンターを接続すると、モニターで観察した画像をプリント用紙にプリントすることができます。



1枚のプリント用紙に1画像または複数画像（4画像など）をプリントすることができます。

→ 「5.4.3 プリントタブ」



プリント用紙の余白に、患者名、日時を印刷することができます。リモート式では、患者名、日付は印刷されません。

→ 「5.2.1 患者情報の登録」

参考

- カタカナは印刷されません。

- 患者情報を登録したり、新しい患者情報に切り替えたとき、患者情報をプリンターに送信します。患者情報をプリンターに送信している間（約30秒間）は、画像は取り込めません。また、患者情報を送信すると、それまでプリンターに取り込まれていた画像は強制的にプリントされます。
- 画像の取り込みの際に「プリント準備中」のメッセージが出た場合、その画像はプリンターへ取り込まれません。メッセージが消えるのを待って再度画像の取り込みを行ってください。

8.3.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって画像が取り込まれます。

- 参考**
- スイッチやプロセッサーのフットスイッチを、画像取り込みスイッチとして設定することができます。
 - 画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。

→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.3.2 プリンターの設定

- 参考** あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

プリンターの機種名を選択し、プリント枚数、1枚のプリント用紙にプリントする画像枚数を設定します。使用するプリンターの機種によっては、設定が固定されている項目があります。

→ 「5.4.3 プリンタタブ」



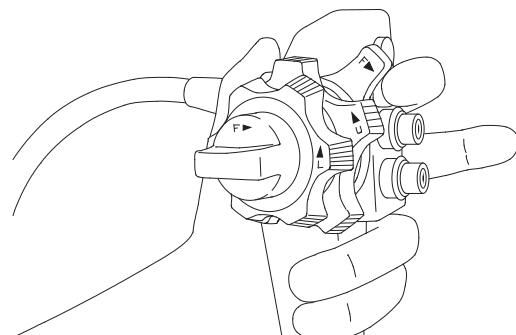
8.3.3 画像の取り込み

画像をプリンター本体に取り込みます。

- 参考** 画像の取り込みの際に「プリント準備中」のメッセージが出た場合、その画像はプリンターへ取り込まれません。メッセージが消えるのを待って再度画像の取り込みを行ってください。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

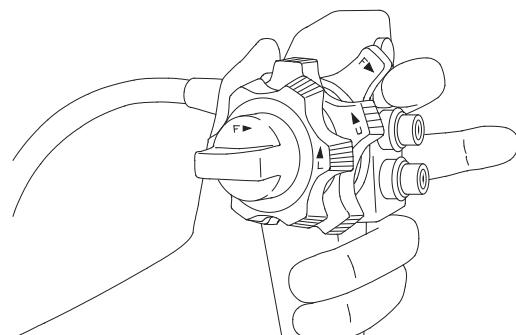
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てているスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考 フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ：タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



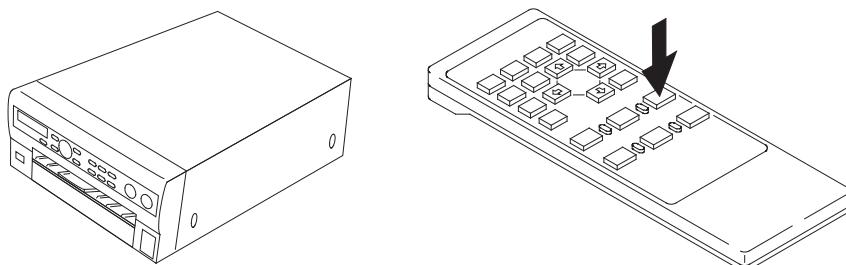
→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.3.4 画像のプリント

取り込んだ画像をプリントします。

設定したプリントモードによって、プリントの実行方法が異なります。

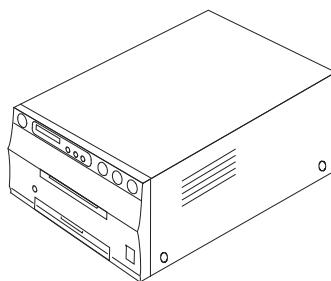
自動モードの場合、設定した枚数の画像を取り込むと自動的にプリントされます。手動モードの場合は、プリンター本体またはリモコンのプリントボタンを押すとプリントされます。



8.4 デジタルプリンターで画像をプリントするには

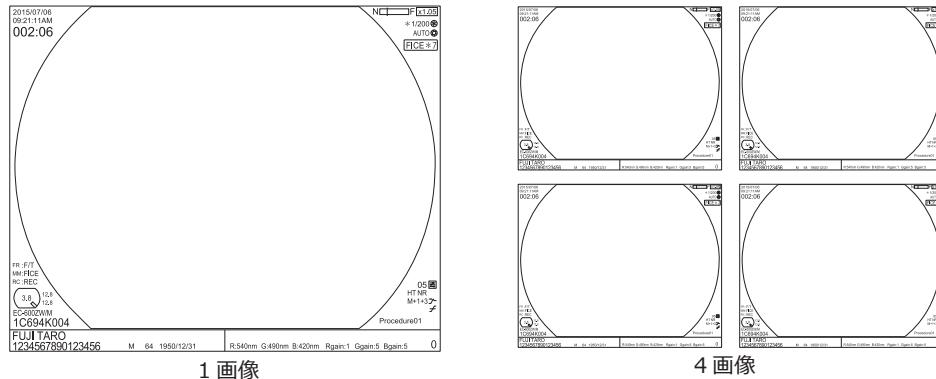
本製品にデジタルプリンターを接続すると、モニターで観察した画像をプリント用紙にプリントすることができます。

参考 プリント時は「L サイズ」の用紙を使用してください。「S サイズ」の用紙を使用すると、正常にプリントできません。



1枚のプリント用紙に1画像または複数画像（4画像など）をプリントすることができます。

→ 「5.4.3 プリンタタブ」



プリント用紙の余白に、患者名、患者 ID、日時を印刷することができます。

→ 「5.2.1 患者情報の登録」

参考 患者情報を登録したり、新しい患者情報に切り替えたとき、患者情報をプリンターに送信します。患者情報をプリンターに送信している間（約30秒間）は、画像は取り込めません。また、患者情報を送信すると、それまでプリンターに取り込まれていた画像は強制的にプリントされます。

8.4.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって画像が取り込まれます。

- 参考**
- ・プロセッサーのフットスイッチを、画像取り込みスイッチとして設定することもできます。
 - ・画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。

→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.4.2 プリンターの設定

- 参考** あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

プリンターの機種名を選択し、プリント枚数、1枚のプリント用紙にプリントする画像枚数を設定します。使用するプリンターの機種によっては、設定が固定されている項目があります。

→ 「5.4.3 プリンタタブ」

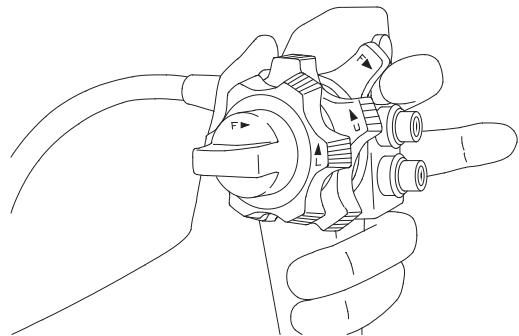


8.4.3 画像の取り込み

画像をプリンター本体に取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

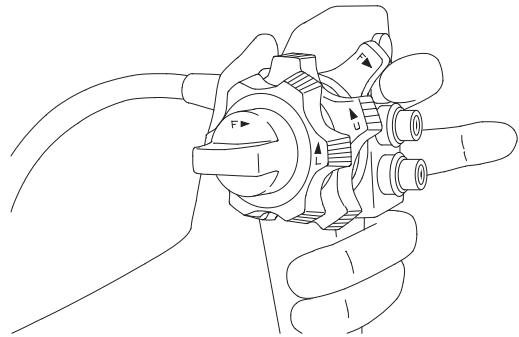
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考 フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ: タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→「4.2.7 スコープタブ」

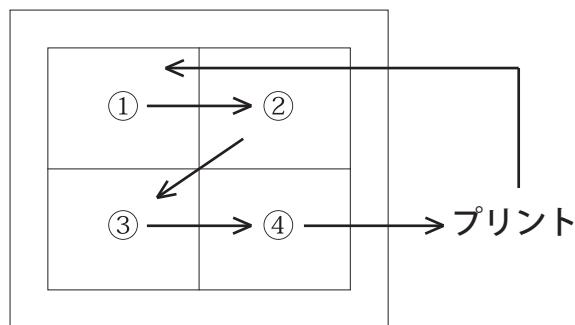
8.4.4 プリントモードの設定

デジタルプリンターの場合、プリントモードによってプリントの実行方法を設定します。「自動」、「手動」の2種類から選択します。ここでは、プリント用紙に4画像をプリントする際の画像の取り込まれ方を例に、それぞれのモードについて説明します。

参考 プリントモードの設定は設置時にサービスマンが行います。

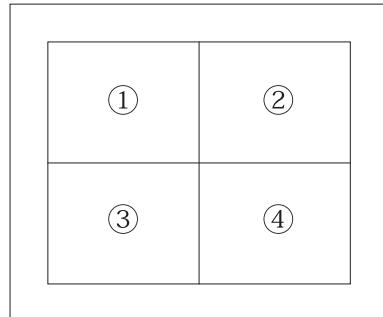
<自動モード>

①から順に画像を取り込み、④まで取り込むと自動的にプリントします。プリントが終了すると再び①に戻り、前の画像を消して、その上から取り込んでいきます。



<手動モード>

プリントしたい画像をサムネイル表示画面から選択してプリントします。



プリント前に、取り込み画像をプレビュー画面で確認できます。

プリントするには、下記を参照してください。

→ 「8.10.4 検索した画像のプリント（デジタルプリンターのみ）」

8.5 静止画記録装置で画像を記録するには

8.5.1 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって画像が取り込まれます。

- 参考**
- ・プロセッサーのフットスイッチを、画像取り込みスイッチとして設定することもできます。
 - ・画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。

→「4.2.7 スコープタブ」

8.5.2 静止画記録装置の設定

- 参考** あらかじめ使用する静止画記録装置を登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

【周辺機器】キーを押して、周辺機器設定画面を表示し、静止画記録装置の欄に接続されている静止画像記録装置の機種名が表示されていることを確認します。

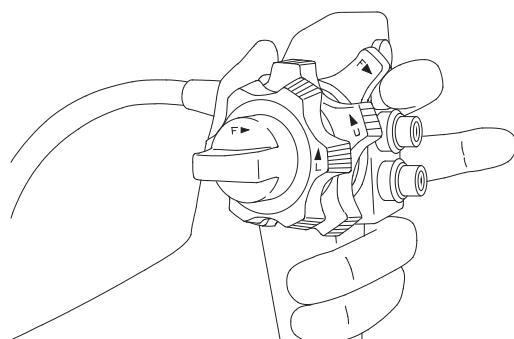
- 参考** 動画記録装置および静止画記録装置の使用「する / しない」の設定は設置時にサービスマンが行います。

8.5.3 画像の取り込み

画像を静止画記録装置本体に取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

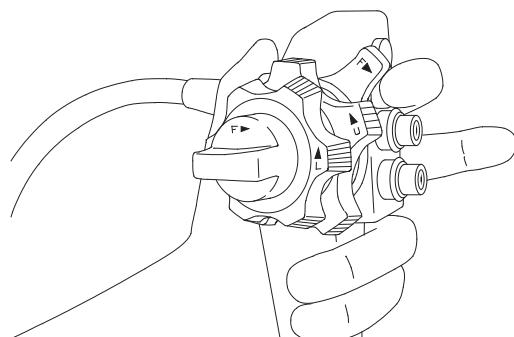
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てるスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考 フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ：タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てるスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→「4.2.7 スコープタブ」

8.6 動画記録装置（動画記録装置のボタン）で動画記録するには

動画記録装置 HVO-3300MT (SONY) /HVO-1000MD (SONY) /HVO-550MD (SONY) /EJ-RA02N (Panasonic) を接続することによって、内視鏡画像の動画記録が行えます。

→「4.1.7 システムを拡張するための設置」

参考 HVO-3300MT、HVO-1000MD は、RGB TV 端子との接続はしないでください。

→『HVO-3300MT の取扱説明書』

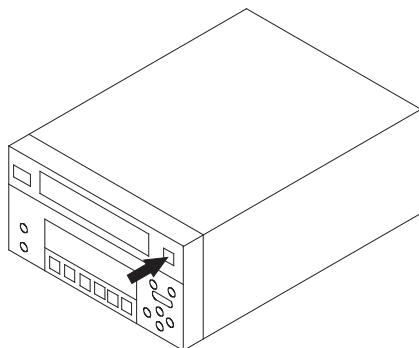
→『HVO-1000MD の取扱説明書』

8.6.1 動画記録装置のボタンで動画記録をする

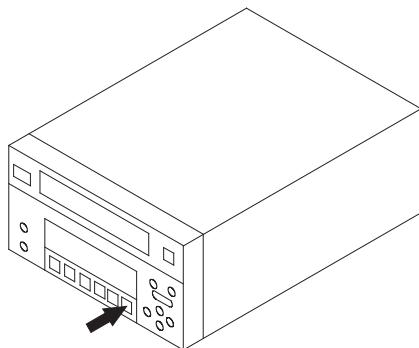
(1) OPEN/CLOSE △ ボタンを押します。トレイが開きます。

(2) DVD をトレイにのせます。

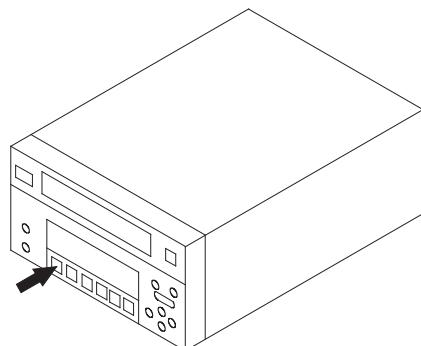
(3) OPEN/CLOSE △ ボタンを押します。トレイが閉まります。



(4) 動画記録を開始するときは、動画記録装置の REC ボタンを押します。



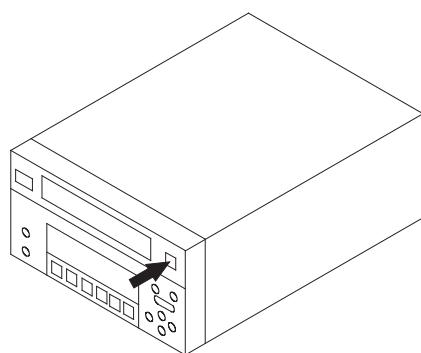
(5) 動画記録を終了したいときは、STOP ボタンを押します。



(6) 再度、動画記録したいときは、手順 (4)、(5) を繰り返します。

(7) DVD を取り出す場合は、OPEN/CLOSE △ ボタンを押します。

参考 動画記録装置の種類によって操作方法が異なります。詳しくは各動画記録装置の取扱説明書を参照してください。



8.7 動画記録装置（スコープスイッチ）で動画記録するには

8.7.1 動画記録スイッチの割り当て

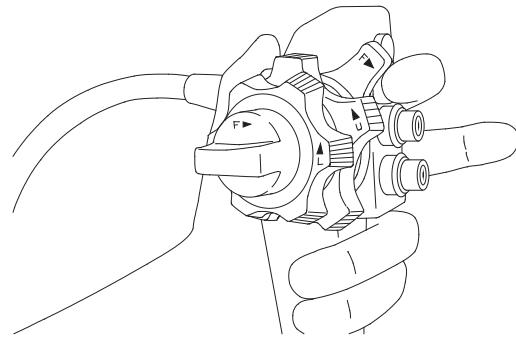
内視鏡の「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって動画が取り込まれます。

参考 リモート設定を「トリガー」に設定する必要があります。リモート設定はサービスマシンが行います。

→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.7.2 動画記録の開始

「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押すと、動画を記録開始します。もう一度操作することで一時停止します。



→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.8 内部メモリーへ画像の取り込み

本製品の内部メモリーに画像を保存することができます。内部メモリーに保存した画像は、外部メモリーにコピーすることができます。

初めて内部メモリーを使用する場合は「内部メモリーの設定」を行います。

→ 「5.4.2 画像メモリータブ」

8.8.1 内部メモリーについて

本製品は画像記録用の内部メモリーを内蔵しており、システムは内部メモリーに対して検査中の画像記録、および検査画像のネットワーク転送時のバックアップを行います。内部メモリーの画像は、検査終了後に、外部メモリーへコピー、画像サーバーへ再転送、デジタルプリンタへ再転送等を行うことが出来ます。

内部メモリーに記録可能な画像枚数、および検査数の目安は以下となります。

	最大画像記録数 (全検査合計)	最大画像記録数 (1検査あたり)	標準記録検査数 (1検査あたり 100画像記録時)	最小記録検査数 (各検査を最大画像 記録数で記録時)
表示 圧縮率	枚	枚	件	件
JPEG (1/20)	21,690	800	216	27
JPEG (1/10)	16,270	750	165	21
JPEG (1/5)	5,910	500	59	11
TIFF	840	130	8	6

参考

- 撮影対象の画像によって記録できる枚数は変わります。
- FullHD 対応のモニターを接続し、FullHD 表示を行っている場合も、記録画像は SXGA モードの画面イメージで記録されます。

システムは検査開始時および検査終了時に内部メモリーの空き容量を確認します。内部メモリーに次の検査のための空きがなくなると、システムは外部メモリーにコピー済みの画像データ、またはネットワーク転送済みのバックアップ画像データから古い順に検査単位で画像データを削除し空き容量を確保します。

内部メモリーが外部メモリーへ未コピーの画像やバックアップ未転送画像で一杯になり、次の検査用に十分な空き容量が確保できない場合、システムは空き容量を確保するようメッセージを表示します。

外部メモリーへ画像をコピーするか、未転送バックアップ画像の再転送を行い、システムの空き容量を確保してください。

→ 「8.9 外部メモリーへ画像のコピー」

→ 「8.10.2 検索した画像の転送」

参考

- ・未転送画像が残っている場合、原因の一つとしてネットワークの異常、もしくは画像サーバーの異常が考えられます。異常があるまま再転送を行っても、再度転送失敗となります。あらかじめネットワークが正しく接続されているか、ハブやルーターがある場合はそれらが正常に動作しているか、画像サーバーが正常に起動しているか等を確認してください。ネットワークやサーバーに異常がないことを確認した上で再転送を行い、サーバーに画像が正常に記録されていることを確認して下さい。
- ・未コピー画像やバックアップ未転送画像がある場合でも、それらの画像が不要な場合、画像を検索して削除、もしくは内部メモリーの初期化で全画像を削除することも可能です。削除の際は必要な画像がないか十分確認の上、削除を行ってください。

- 「8.10.3 検索した画像の削除」
 →「5.4.2 画像メモリータブ」

検査開始時に内部メモリーに必要な空き容量がない場合、システムは検査を継続するか確認するメッセージを表示します。

- 「しない」を選択した場合： 検査終了状態に戻ります。
 「する」を選択した場合： 内部メモリーに画像記録を行わず検査を行います。ネットワーク使用時は画像バックアップを行わず画像転送のみを行います。

参考

プリンタや外部ファイリング装置等、画像保存機能を代替する手段がない場合は、「しない」を選んで一旦検査終了状態にし、画像記憶容量を確保の上、再度検査開始操作を行っていただくようお願いいたします。

8.8.2 画像取り込みスイッチの割り当て

内視鏡の「フリーズ」「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチによって画像が取り込まれます。

参考

- ・プロセッサーのフットスイッチを、画像取り込みスイッチとして設定することができます。
- ・画像取り込みスイッチの割り当ての設定は設置時にサービスマンが行います。

- 「4.2.7 スコープタブ」

8.8.3 内部メモリーへ画像の取り込み

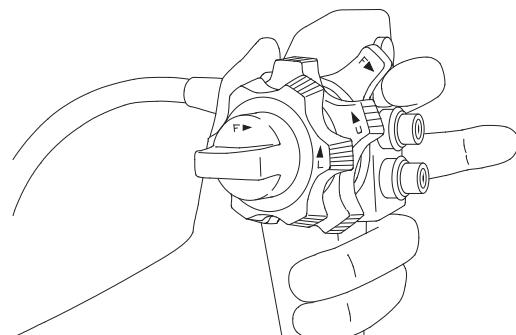
画像を内部メモリーに取り込みます。

参考

FICE を「入」にして画像の取り込みを行うと、1回の取り込み操作で FICE 画像と通常画像の2枚の画像を内部メモリーに取り込みます。

<内視鏡のスコープスイッチで取り込む場合>

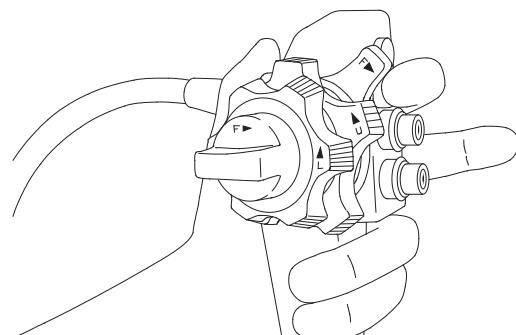
- (1) 記録したい部位を視野に入れ、「フリーズ」を割り当てているスコープスイッチを押して画像を静止させます。



参考 フリーズを割り当てたスコープスイッチを押している間、観察画面は静止し続けます。その間、動画は子画面で表示されます。SXGA モード、マスクタイプ：タイプ 1 では、[Tab] キーを押すと、子画面の表示位置が左上→右上→右下→左下と順に切り替わります。

→ 「3.9 観察画面のデータ表示について」

- (2) 画像が静止している間に「トリガー」「シングルトリガー」を割り当てているスコープスイッチを押すと、画像が取り込まれます。



→ 「4.2.7 スコープタブ」

8.9 外部メモリーへ画像のコピー

内部メモリーに保存した画像は、外部メモリーにコピーすることができます。

8.9.1 外部メモリーについて

以下の使用可能な外部メモリーをご使用ください。

メーカー	型番	容量
Swissbit	SFU22048E1BP2TO-I-MS-111-STD	2GB
	SFU22048E3BP2TO-I-MS-121-STD	
	SFU32048E1AE1TO-I-QT-1A1-STD	
	SFU24096E3BP2TO-I-DT-121-STD	4GB
	SFU34096E1AE1TO-I-MS-1A1-STD	
	SFU3008GE1AE2TO-I-GS-1AP-STD	8GB
	SFU3016GE1AE2TO-I-GS-1A1-STD	16GB

外部メモリーの容量に空きがあるのに外部メモリーに画像が保存できない場合は、新しい外部メモリーを用意するか、使用中の外部メモリーをパソコンコンピュータ（Windows）でFAT形式（FAT32形式）にフォーマットしてください。

FATとはハードディスクに保存するデータを管理するためのシステムです。FAT16は2GBまで管理でき、FAT32は2048GB（2TB）まで管理できます。

外部メモリーはFAT32形式でフォーマットしてください。

→「5.4.2 画像メモリータブ」

参考 外部メモリーに書き込み中は、外部メモリーを抜かないでください。プロセッサーが正常に動作しなくなるおそれがあります。もし、抜いてしまった場合は、再度プロセッサーの電源を入れ直してください。

8.9.2 外部メモリーへ画像のコピー

検査終了の状態で、本製品に外部メモリーを装着し、内部メモリー内の画像を外部メモリーにコピーすることができます。当日の検査データを簡易的にコピーする方法と、画像検索機能によりコピーする方法があります。

また、検査中に内部メモリーへ記録された画像を、外部メモリーに自動コピー（同時記録）することもできます。

〈当日の検査データを簡易的にコピーする方法〉

当日の検査データは画像検索を行わず、キーボード操作のみで外部メモリーにコピーすることができます。

参考 検査開始操作後、最初に画像を取得した時間で、当日かどうかを判定します。検査終了が画像コピーの日と同じでも最初の画像記録が前日の場合、コピーの対象になりませんので、その場合は後述の画像検索によるコピーを用いてください。

(1) 外部メモリーを用意します。

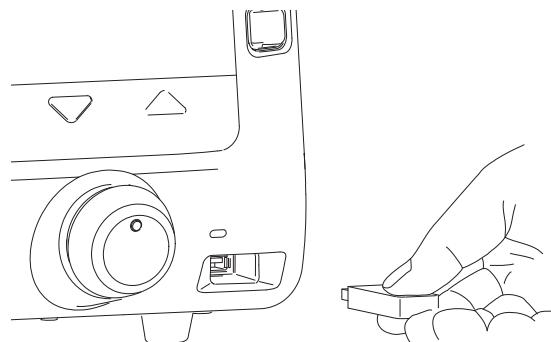
参考

- ・外部メモリーはあらかじめ必要なバックアップを取った上で本機もしくは外部 PC 等で初期化し、コピーに必要な空きを確保してください。
- ・不要なデータの削除でも、空き容量を確保は可能ですが、空き容量が不十分だとコピーが完了しない可能性があります。十分余裕を持った空き容量の確保をしてください。
- ・当日 2 度コピーを行った場合等、既に同じファイル名のデータが外部メモリーに残っている場合、データは上書きされます。外部 PC 等で編集した画像が残っていないかなど、十分ご確認をお願いします。

(2) 検査終了の状態で、外部メモリーを装着します。メモリーアクセスランプが緑色に点灯します。

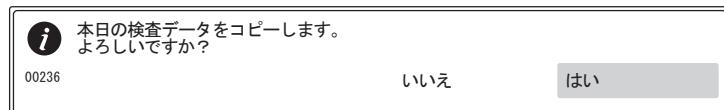
参考

検査状態ではコピーは出来ません。



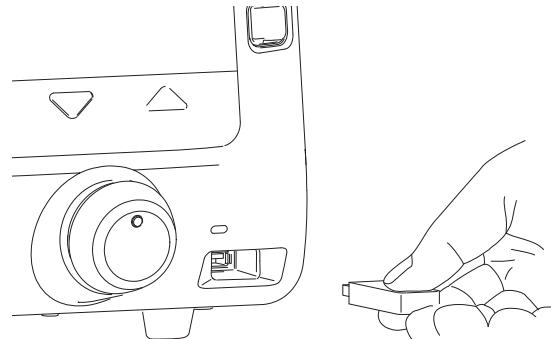
(3) キーボードの [Alt] キーと [C] キーを同時に押します。

(4) 本日の検査データをコピーします。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーを開始します。書き込み中はメモリーアクセスランプがオレンジの点滅になります。「いいえ」を選択するとコピーはしません。



- (5) コピーが完了し、メモリーアクセスランプが緑点灯になったら外部メモリーは取り外し可能です。外部メモリーを取り外し、バックアップ先の外部 PC 等で必要なデータがコピーされているか確認してください。

参考 メモリーアクセスランプがオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。



<画像検索機能によりコピーする方法>

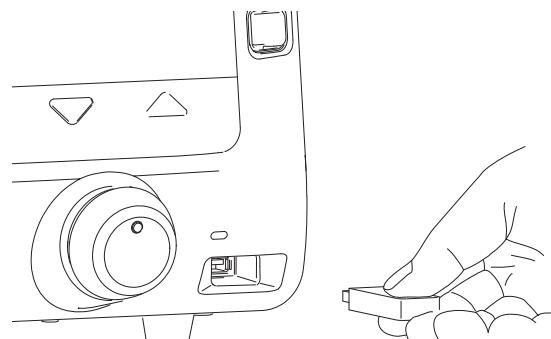
- (1) 外部メモリーを用意します。

参考

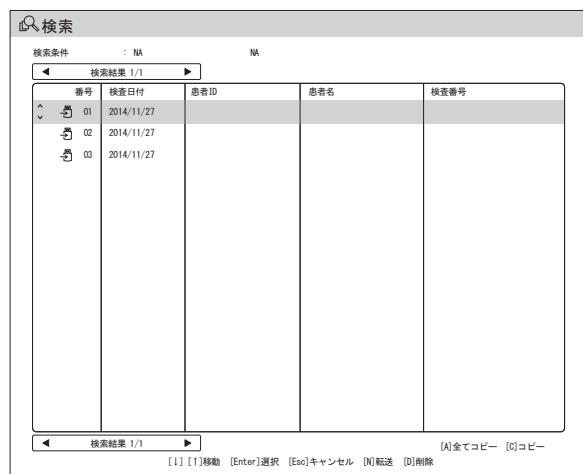
- 外部メモリーはあらかじめ必要なバックアップを取った上で本機もしくは外部 PC 等で初期化し、コピーに必要な空きを確保してください。
- 不要なデータの削除でも、空き容量を確保は可能ですが、空き容量が不十分だとコピーが完了しない可能性があります。十分余裕を持った空き容量の確保をしてください。
- 当日 2 度コピーを行った場合等、既に同じファイル名のデータが外部メモリーに残っている場合、データは上書きされます。外部 PC 等で編集した画像が残っていないなど、十分ご確認をお願いします。

- (2) 検査終了の状態で、外部メモリーを装着します。メモリーアクセスランプが緑色に点灯します。

参考 検査状態ではコピーは出来ません。

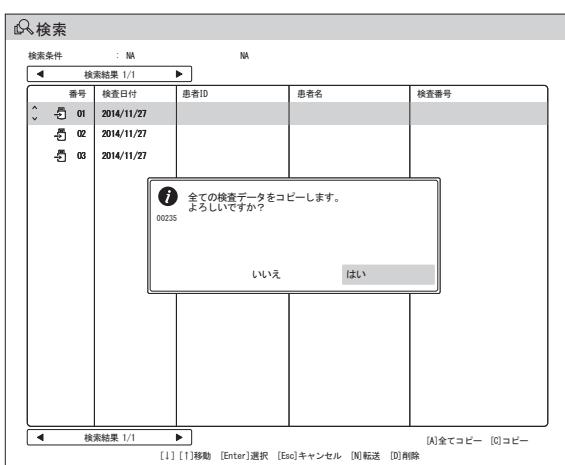


- (3) 「5.3.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (～ 4/4)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。
- (4) 検索結果のリスト内容を全て外部メモリーにコピーする場合は [A] キーを押します。検索結果のリストのうち特定の検査データをコピーする場合は、コピーしたい検査データにカーソルを合わせた状態で [C] キーを押します。

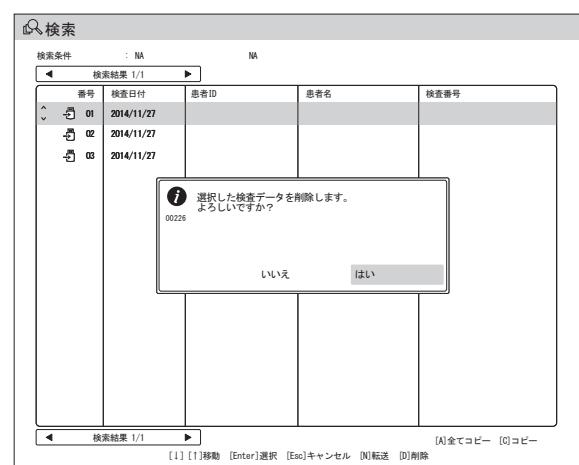


- (5) 検査データをコピーするか、確認のメッセージが表示されます。
「はい」を選択するとコピーを開始します。書き込み中は外部メモリー用の表示がオレンジの点滅になります。

[A] キーを押した場合 :

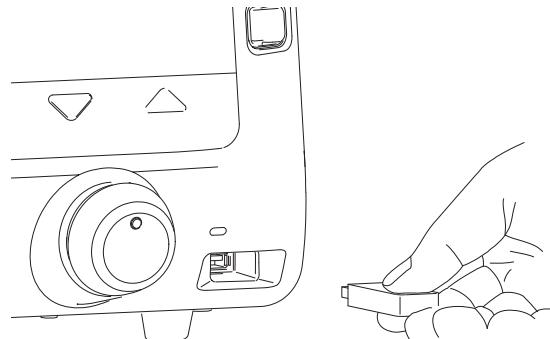


[C] キーを押した場合 :



- (6) コピーが完了し、外部メモリー用の表示が緑点灯になったら外部メモリーは取り外し可能です。外部メモリーを取り外し、バックアップ先の外部 PC 等で必要なデータがコピーされているか確認してください。

参考 メモリーアクセスランプがオレンジの点滅をしている場合は外部メモリーを取り外さないでください。その状態で外部メモリーを取り外すとコピー中のデータや外部メモリー自身が破損する可能性があります。



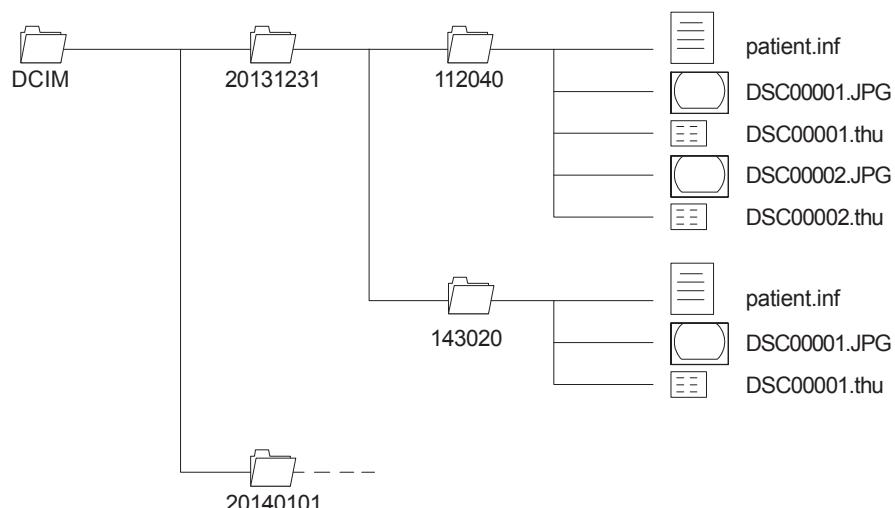
8.9.3 外部メモリーに記録された画像の確認

<内部メモリー保存時>

外部メモリーに保存した画像データは、外部メモリーの読み込みができるパソコンで確認することができます。

画像を取り込むと、外部メモリー内に名称が「日付」のフォルダが生成され、さらにその中に名称が「時刻」のフォルダが生成されます。撮影した画像データはそのフォルダ内に保存されていきます。

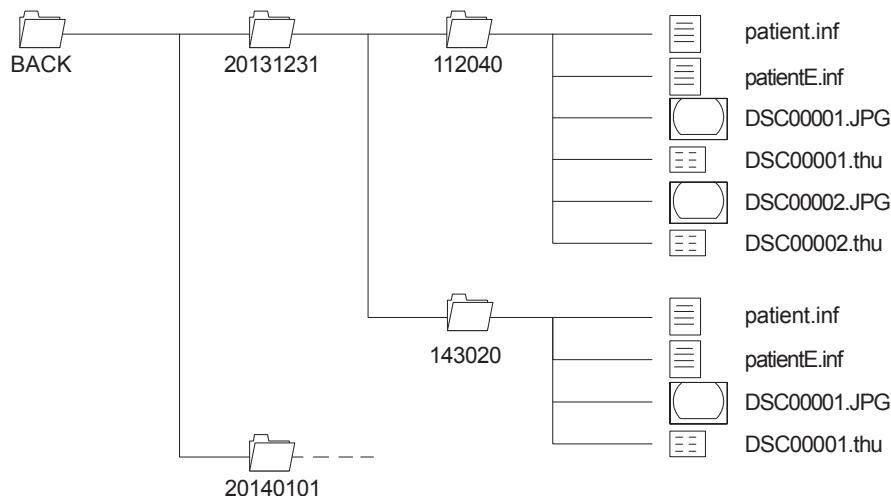
(例：2013年12月31日11時20分40秒から撮影開始されたデータは、外部メモリー内の「¥DCIM ¥20131231 ¥112040」フォルダに保存されています)



<FTP サーバー転送時>

周辺機器設定の画像メモリーで、外部メモリーへ「画像データ自動コピー」をONにすると「BACK」フォルダが生成され、その中に名称が「日付」と「時刻」のフォルダが生成されます。撮影した画像データはそのフォルダ内に保存されていきます。

(例：2013年12月31日11時20分40秒から撮影開始されたデータは、外部メモリー内の「¥ BACK ¥ 20131231 ¥ 112040」フォルダに保存されていきます)



参考

- ・ファイル名の拡張子が「.thu」のファイルは、サムネイル表示用の画像です。
(例：DSC0001.thu)
- ・ファイル名の拡張子が「.inf」のファイルは、患者情報ファイルです。検索や装置の設定で使用しますので、直接編集・上書きしないでください。
- ・外部メモリーに記録した画像データは、直接編集しないでください。編集する場合は、一旦別の場所（パーソナルコンピュータのハードディスクなど）にコピーした画像を編集してください。外部メモリーに記録した画像データを直接編集・上書きすると、プロセッサーで再生できなくなります。

8.10 内部・外部メモリー内の画像を検索、プリントするには

8.10.1 内部・外部メモリー内の検索

内部メモリーまたは外部メモリーに記録した画像は、検索画面で患者 ID や検査日付によって絞り込み、リスト表示やサムネイル表示をすることができます。サムネイル表示画面では、画像を選択して拡大表示したり、プリントしたりすることもできます。

参考

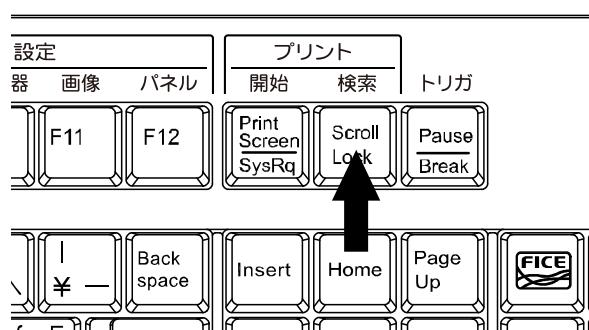
- ・内視鏡の動作中には、検索画面は表示されません。
- ・検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターの画面にも表示されます。
- ・ネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーにバックアップした画像データは、FTP サーバーに未転送の画像データであればマーク (勾) が、FTP サーバーに転送済みの画像データであればマーク (斜) が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- ・外部メモリーの画像データには  が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- ・コピー済みの画像データには  が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。



- (1) 「ACTIVE」が青色に点燈している場合、検査ボタンを約 2 秒間押し続けて、「STANDBY」がオレンジ色に点灯している状態で、[検索] キーを押します。検索画面が表示されます。

参考

内部・外部メモリー内の検索は、検査ボタンを押して「STANDBY」がオレンジ色に点灯しているときに行なうことができます。



- (2) 検索の条件を設定します。検査番号または患者IDで検索する場合は「検査番号 or 患者ID」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。文字入力が可能となるので、検査番号または患者IDを入力します。

参考 患者IDは前方一致検索です。



- (3) 検査日付で検索する場合は、「検査日付」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。日付を入力し、[Enter]キーを押すたびに次の入力が可能となります。



- (4) 検索の対象とする画像を選択します。「内部メモリー画像」にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。popupアップメニューが表示されますので、内部メモリーに保存されている画像データを含めるか含めないかを選択し、[Enter]キーを押します。
同様に「外部メモリー画像」「FTP未転送バックアップ画像」「FTP転送済みバックアップ画像」についても含めるか含めないかを選択し、[Enter]キーを押します。



内部メモリー画像 :

内部メモリーに保存された画像データ

→ 「5.4.2 画像メモリータブ」

外部メモリー画像 :

内部メモリーから外部メモリーにコピーされた画像

→ 「8.9.2 外部メモリーへ画像のコピー」

FTP未転送バックアップ画像 :

ネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーに転送されず内部メモリーのみに保存された画像データ

FTP転送済みバックアップ画像 :

ネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーへ転送が完了している画像データ

→ 「5.4.4 転送設定タブ」

- (5) 「検索開始」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
「患者 ID」または「検査日付」のみ、「患者 ID」「検査日付」両方の一致する条件で検索できます。



参考 内部メモリーおよび外部メモリー内のすべての画像をリスト表示する場合は、「全検索開始」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。



- (6) 検索が完了すると、検索結果をリスト表示します。
リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (~ 4/4)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

参考

- ・検索結果は新しいものから表示されます。
- ・リスト化できる件数は1,000件までです。
- ・ネットワーク設定の「使用」を「使用する」にして内部メモリーにバックアップした画像データは、FTPサーバーに未転送の画像データであればマーク（☑）が、FTPサーバーに転送済みの画像データであればマーク（☒）が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- ・外部メモリの画像データには☒が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。
- ・コピー済みの画像データには☑が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。

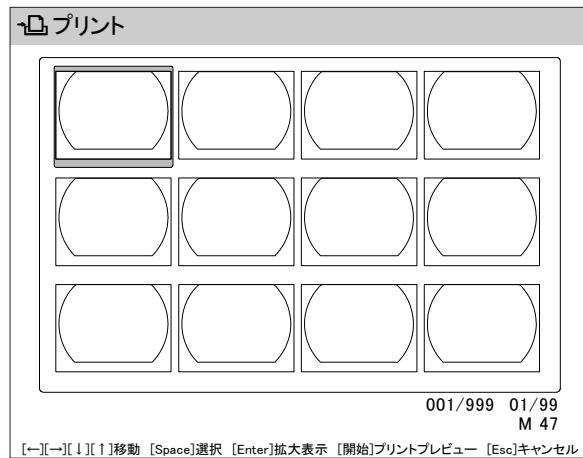
検索結果 1/1				
番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
☒ 01	2014/11/27			
☒ 02	2014/11/27			
☒ 03	2014/11/27			

(7) 表示する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

検索結果 1/1				
番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
☒ 01	2014/11/27			
☒ 02	2014/11/27			
☒ 03	2014/11/27			

選択したリストの画像がサムネイルで表示されます。

参考 検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターにも表示されます。



8.10.2 検索した画像の転送

内部・外部メモリーから検索した画像の転送方法について説明します。

- (1) 「8.10.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (~ 4/4)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。

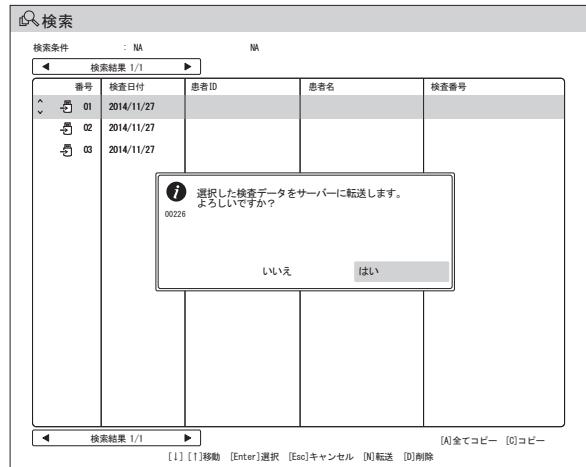
検索結果				
検索条件 : NA NA				
検索結果 1/1				
番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2014/11/27			
02	2014/11/27			
03	2014/11/27			

- (2) [↑]、[↓] キーで、転送する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[N] キーを押します。「選択した検査データをサーバーに転送します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると画像を転送します。

「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

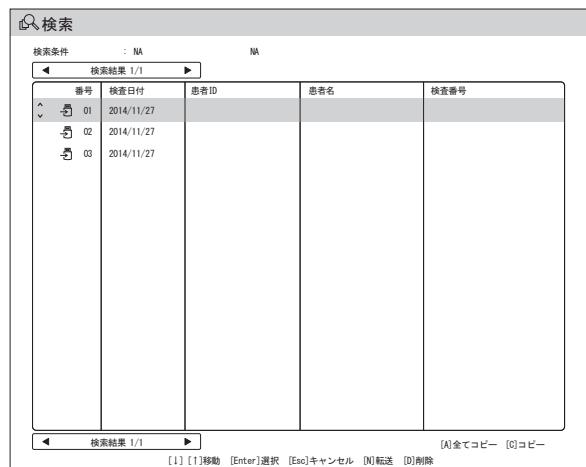
参考 ネットワーク設定画面の「使用」で「使用しない」を設定している場合、[N] キーを押しても、画像の転送はされません。



8.10.3 検索した画像の削除

内部メモリー、および外部メモリーから検索した画像の削除方法について説明します。

- (1) 「8.10.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。リストのページを変更する場合は「検査結果 1/4 (~ 4/4)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



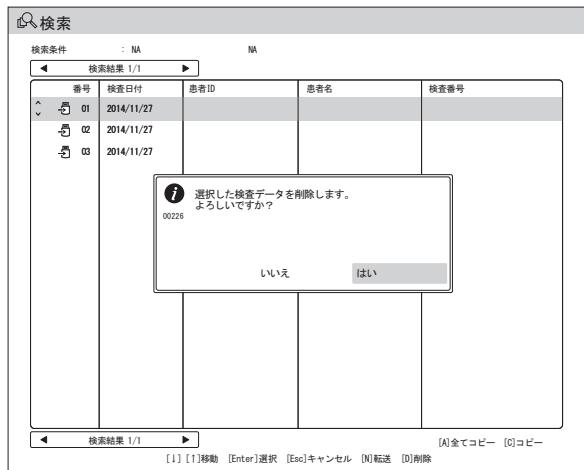
- (2) [↑]、[↓] キーで、転送する画像リスト番号にカーソルを合わせ、[D] キーを押します。「選択した検査データを削除します。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると画像を削除します。

「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

参考

- 削除した検査情報は、グレーアウトされます。グレーアウトされた検査情報は、[↑]、[↓]キーを押した場合、スキップされ選択することができなくなります。
- この操作をすると検査データは消去されますが、リスト番号は検索結果のリストに残ります。リストから消去するには、[Esc]キーを押して観察画面に戻り、再度検索してください。



8.10.4 検索した画像のプリント（デジタルプリンターのみ）

内部メモリー、および外部メモリーから検索して表示した画像のプリント方法について説明します。

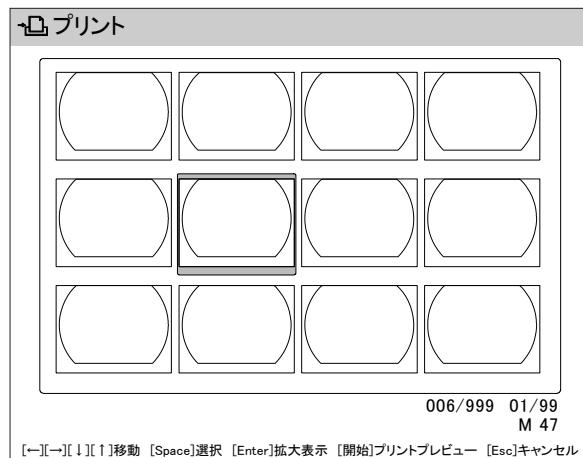
内部メモリー、および外部メモリーから検索して表示した画像は、デジタルプリンターでプリントすることができます。画像のプリント方法については、取扱説明書をご参照ください。

→「第8章 画像の記録」

プリンターの設定については「5.4.3 プリンタタブ」を参照してください。

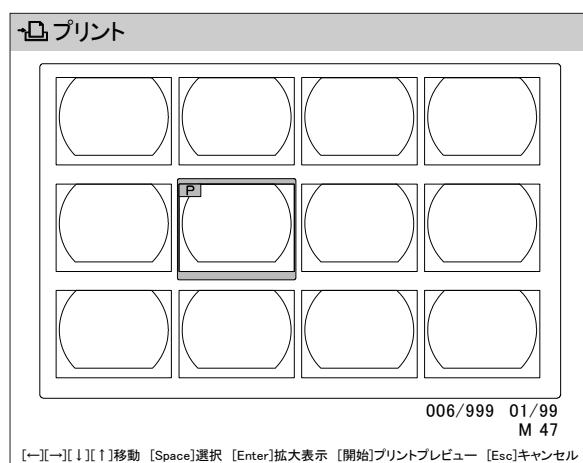
(1) 「8.10.1 内部・外部メモリー内の検索」の手順に従って、画像をサムネイル表示します。

- (2) [←] [→] [↑] [↓] キーで画像を選択します。選択されている画像はボックスカーソルで囲まれます。
最下段でさらに [↓] キーを押すと、次のページに移動します。

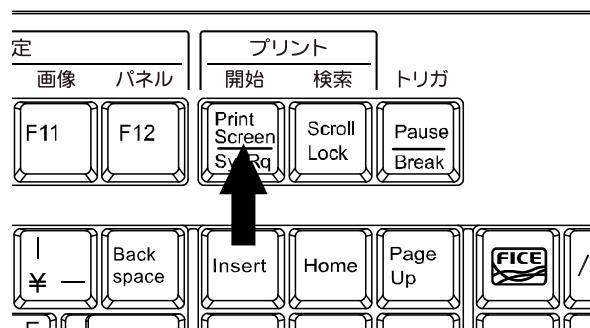


- (3) プリントする画像にボックスカーソルを合わせ、[Space] キーを押します。
選択した画像に、「P」マークがつきます。もう一度 [Space] キーを押すと「P」マークが解除します。
画像を選択した状態で [Enter] キーを押すと、選択した画像を拡大表示します。

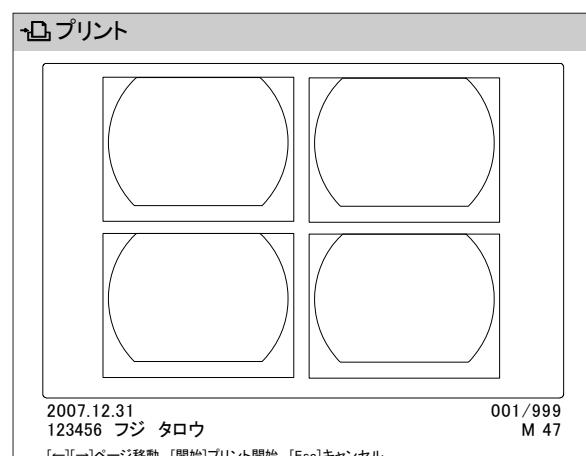
参考 検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターにも表示されます。



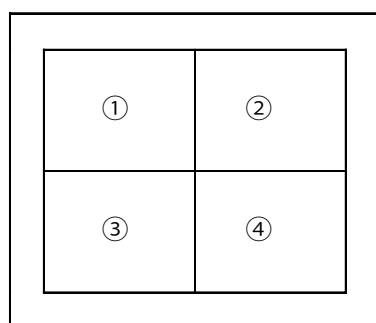
- (4) (2)～(3)を繰り返し、プリントする画像すべてに「P」マークをつけます。
[開始]キーを押します。
プリントプレビューを表示します。



- (5) [←], [→]キーでプレビュー画面のページを変更し、すべてのプレビュー画像を確認します。
プレビュー表示の状態は、プリンターの設定によって異なります。

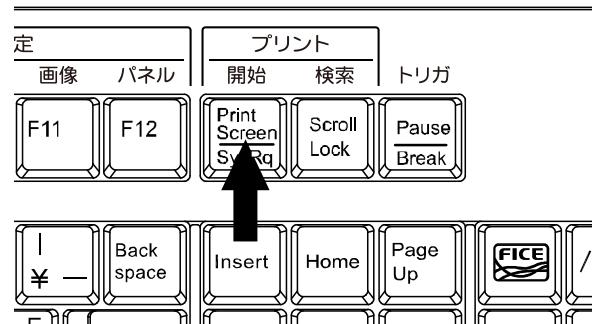


参考 「P」マークには「P1」「P2」等の番号が選択した順に振られます。プレビュー画面では、「P1」から順番に選択された画像が配置されます。



(6) [開始] キーを押します。

プリントプレビュー画面に表示されているすべての画像をプリントします。



第9章 保管とメンテナンス

本製品のメンテナンスは、保護具（ゴーグル、フェイスマスク、耐薬品性のある防水性手袋、防汚性の防護服、帽子、靴用カバーなど）を着用して行ってください。

9.1 プロセッサー使用後のお手入れ

使用後や、非動作時に、異物の付着等がある場合、除去してください。

注意

- ・本製品の分解や改造はしないでください。クラスIを超える放射強度になる場合があります。
- ・指定された方法で清掃を行ってください。指定外の清掃を行った場合、機器が故障するおそれがあります。
- ・流水洗浄や浸漬消毒をしないでください。消毒、殺菌、滅菌は行わないでください。故障の原因となります。
- ・接点には直接手を触れないでください。接点をアルコール以外の液体で拭かないでください。腐食、故障の原因となります。
- ・スコープコネクタソケット内と受信窓は清掃しないでください。ほこりがたまつたときや汚れた場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。内視鏡の清掃、保守、消毒に関しては内視鏡の取扱説明書をお読みください。

- (1) プロセッサーの電源を切ります。
- (2) 毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどでほこりや汚れを軽く拭きます。
- (3) 汚れが落ちない場合、中性の医療グレードの洗剤で湿らせた毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどで異物を拭き取って除去します。

参考 洗剤の使用方法については、洗剤製造業者の指示に従ってください。

- (4) 70%エタノールで湿らせた毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどで表面を拭きます。
- (5) 表面が不均一な場合は、清潔な綿棒などで70%エタノールで湿らせて拭きます。

9.2 キーボードの清掃

警告

- ・異物などが付着したキーボードのカバーは、交換してください。感染のおそれがあります。

参考 キーボード全体を流水洗浄や浸漬消毒しないでください。キーボードのカバーに破れや傷がある場合は、消毒液等で清拭しないでください。故障や誤動作の原因になります。

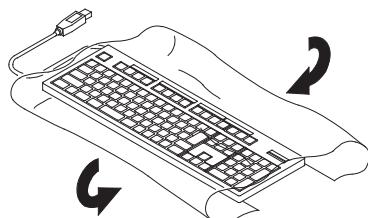
9.2.1 キーボードの清掃

- (1) プロセッサーの電源を切ります。
- (2) 毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどではこりや汚れを軽く拭きます。

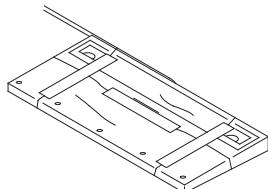
9.2.2 キーボードのカバーと交換

異物や薬液の付着、浸水を防止するために、通常はキーボードを防水シートでカバーをしておきます。このカバーは、異物の付着や汚れ、破れ、傷等がある場合は、交換してください。

- (1) プロセッサーの電源を切ります。
- (2) プロセッサーからキーボードを外します。
- (3) キーボードの防水シートを外します。
- (4) キーボードの表面を新しい防水シートで包みます。

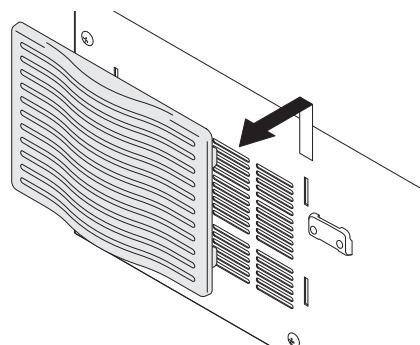


- (5) キーボードの裏面で防水シートを粘着テープで固定します。

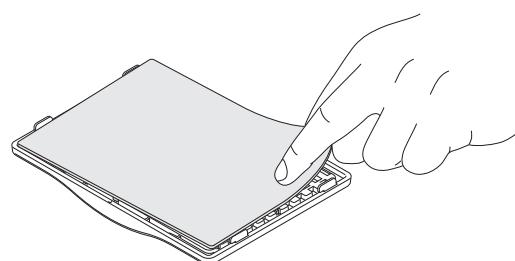


9.3 防塵フィルターの清掃

(1) 本製品からルーバーを取り外します。



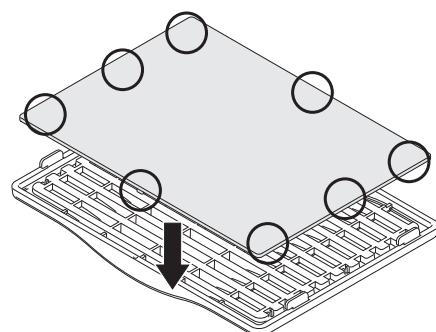
(2) ルーバーから防塵フィルターを取り外します。



(3) 防塵フィルターからほこりを除去します。

(4) ルーバーに防塵フィルターを取り付けます。防塵フィルターの中央の突起部をルーバーに合わせます。

ルーバーの突起部に防塵フィルターを合わせて、防塵フィルターの中央の突起部をルーバーに押し込み取り付けます。

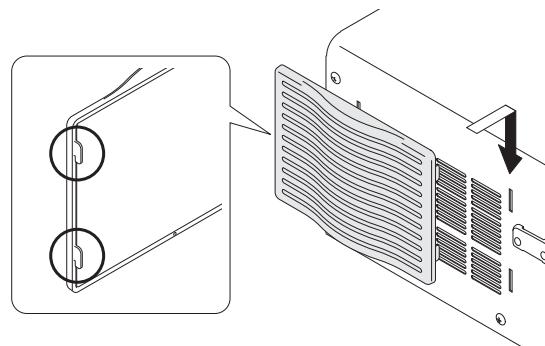


(5) 本製品にルーバーを取り付けます。

ルーバーのツメを上から下に押し下げるよう取り付けてください。

ルーバーが奥まで取り付けられてれいることを確認します。

奥まで取り付けられていない場合は、故障の原因となります。



9.4 保管するには

9.4.1 プロセッサーの保管

参考 保管条件を満たさない場所には保管しないでください。ケーブルに力の加わらない状態で、保管してください。故障の原因となります。

本システムは、下記の条件を満たす所で保管してください。

<保管条件>

温度 : -20 ~ +60°C

湿度 : 10 ~ 90% RH (結露状態を除く)

気圧 : 70 ~ 106kPa

<参考 > <使用条件> 非動作時

温度 : -10 ~ +45°C

湿度 : 30 ~ 95% RH (結露状態を除く)

気圧 : 70 ~ 106kPa

長期間ご使用にならなかつた場合は、設置時に行つた動作確認をもう一度行ってください。

→ 「第6章 システムの準備と点検」

本製品は時計、データの記憶のために2次電池を使用しております。長期間、本製品の電源を入れないでおくと、時計の機能が維持できない（日時が実際と異なる）場合があります。この場合は、もう一度システムの初期設定を行つてください。

→ 「4.2 設置時のシステムの初期設定」

9.4.2 送水タンクの保管

本送水タンクの保管方法については、送水タンクの取扱説明書を参照してください。

9.5 移動するには

警告

- ・プロセッサーの重量は、運搬の際に物理的な傷害を引き起こすおそれがあります。運搬するときは、二人で行ってください。
- ・使用するカートのキャスターのロックが完全に効かない場合があるので、傾斜面には設置しないでください。カートが転倒しけがをするおそれがあります。
- ・カートを段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるよう対角方向へ動かしてください（必要なら持ち上げながら動かしてください）。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください（段差の乗り越えは3人以上で行います）。カートが転倒したり、積載機器が落下してけがをするおそれがあります。積載機器が落下した場合、機器が故障するおそれがあります。

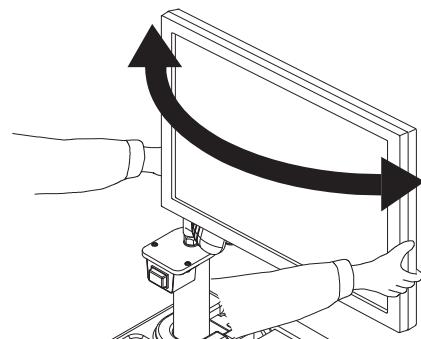
注意

- ・カートの移動は2人以上で行ってください。カートが転倒してけがをするおそれがあります。
- ・モニターの向きを正面にして移動させてください。転倒してけがをするおそれがあります。
- ・移動させる際は搭載機器を押さないでください。機器が落下して故障するおそれがあります。
- ・移動は送水タンクを取り外して行ってください。水がこぼれて転倒し、けがをするおそれがあります。
- ・移動は内視鏡を取り外して行ってください。内視鏡を壊すおそれがあります。

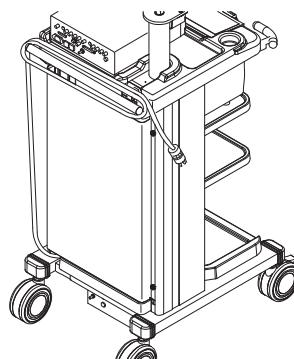
参考

電気コネクターソケットに接続した内視鏡の電気コネクターにぶつかったり、強い衝撃を与えたましくないでください。スコープコネクターソケットに接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LGコネクターが周囲の物とぶつかったり、強い衝撃を受けたりすることのないように、プロセッサーを設置してください。電動ベッド等の操作時には、スコープコネクターソケットに接続した内視鏡のスコープコネクターまたは、LGコネクターに電動ベッド等が衝突しないように注意してください。内視鏡およびプロセッサーが破損するおそれがあります。

- (1) 本製品とカートの電源を切っておきます。
モニターがカートに固定されていることを確認します。

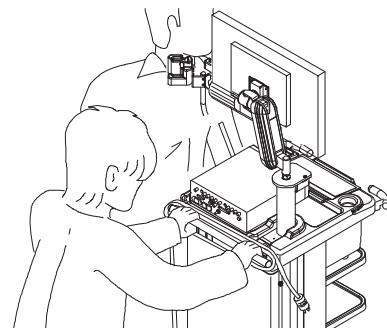


- (2) キャスターがロックしている場合は解除します。

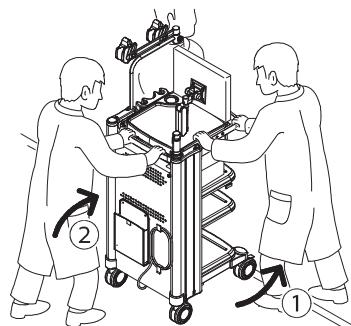


- (3) 段差、傾斜に注意して、振動、衝撃を与えないように搬送します。

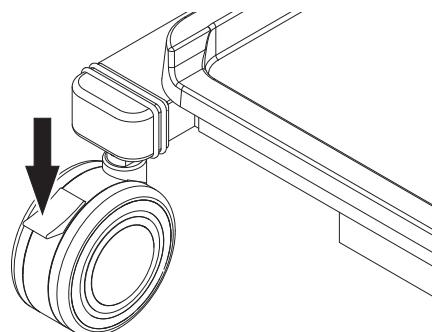
- 参考**
- ・搬送は2人以上で行ってください。
 - ・搬送する際は、モニターとスコープハンガーがぶつからないよう十分に注意してください。



- ・段差をまたいで移動させる場合は、段差に対してカートを前向きにして、前側の左右に1人ずつ配置しキャスターが1つずつ段差をこえるよう対角方向へ動かしてください(必要なら持ち上げながら動かしてください)。また、この時機器の落下、カートの転倒を防ぐため、カート後側に1人配置してください(段差の乗り越えは3人以上で行います)。



(4) 設置の際には、カートのキャスターをロックします。



9.6 送水タンクの洗浄と消毒（または滅菌）

送水タンクの洗浄・消毒・滅菌方法については、送水タンクの取扱説明書を参照してください。

第10章 トラブルシューティング

10.1 トラブルシューティング

症 状	考えられる要因	対処方法
電源ボタンを「入」にしても、本製品が作動しない（電源表示灯が点灯しない）	1) カートのメインスイッチが“切”になっている 2) 電源コードの接続が不完全 3) 電源コードの不良 4) コンセントの不良 5) ヒューズが切れている	1) カートのメインスイッチを「入」にします。 2) 電源コードの接続をし直します。 3) 電源コードを点検してください。 4) 定格電圧が供給されているか確認してください。 5) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
ライトボタンを押しても光が出ない	1) 内視鏡が接続されていない 2) スコープソケット部安全スイッチの故障 3) 光源の故障	1) 内視鏡をロック位置までしっかりと装着してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 3) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
映像が出ない	1) 内視鏡の接続が不完全 2) モニターの電源が「切」になっている 3) モニターの入力選択があつっていない 4) モニターが接続されていない 5) モニターがFullHD出力に対応していない	1) 内視鏡を接続し直します。 →「7.2 内視鏡と機器の接続」 2) モニターの電源を「入」にします。 3) INPUTを接続したラインにあわせます。 4) モニターをケーブルで接続します。 5) モニターの出力解像度をSXGAに変更します。[Ctrl]、[Alt]、[S]キーを同時に押してください。 →「4.2 設置時のシステムの初期設定」

※ プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。

※ 内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

症 状	考えられる要因	対処方法
映像が暗い	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 内視鏡の接続が不完全 3) 明るさレベルが -4 近くになっている 4) 測光モードがピークになっている 5) 静電気などによりシステムが誤動作している 6) 光源の故障 7) 内視鏡の対物レンズ、ライトガイドに異物が付着している	1) 5) 6) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 2) 内視鏡を接続し直します。 → 「7.2 内視鏡と機器の接続」 3) 明るさレベルを 0 付近に設定します。 → 「7.8 光量の調節」 4) 測光モードを平均に設定します。 → 「7.15 測光モードの切り替え」 7) 内視鏡の取扱説明書に従い、内視鏡を洗浄・消毒・滅菌してください。
映像のハイライト部が明るすぎる	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 測光モードが平均になっている 3) 明るさレベルが +5 近くになっている 4) 静電気などによりシステムが誤動作している 5) 光源の故障	1) 4) 5) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 2) 測光モードをピークに設定します。 → 「7.15 測光モードの切り替え」 3) 明るさレベルを 0 付近に設定します。 → 「7.8 光量の調節」

※ プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。

※ 内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

症 状	考えられる要因	対処方法
検査中または処置中に映像が消える	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 内視鏡の接続が不完全 3) 静電気などによりシステムが誤動作している 4) 光源の故障 5) 電源環境の影響（電圧降下等）によりシステムが誤動作している	1) 3) 4) 5) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 2) 内視鏡を接続し直します。 → 「7.2 内視鏡と機器の接続」
検査中または処置中にフリーズが解除しない	静電気などによりシステムが誤動作している	エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
検査中または処置中に突然映像が変色する	1) 内視鏡の撮像部が損傷している 2) 静電気などによりシステムが誤動作している 3) 映像信号ケーブルが断線または、短絡している 4) 内視鏡の接続が不完全	1) 2) 3) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。 4) 内視鏡を正しく接続してください。 → 「7.2 内視鏡と機器の接続」
映像が乱れる	1) 高周波によるノイズの影響 2) 内視鏡の接続が不完全	1) 電気焼灼器の通電を止めれば映像は元に戻ります。内視鏡に問題はありません。 2) 内視鏡を接続し直します。 → 「7.2 内視鏡と機器の接続」

※ プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。

※ 内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

症 状	考えられる要因	対処方法
キーボード操作ができない	キーボードのコネクターが接続されていない	キーボードのコネクターを接続します。
周辺機器が動作しない	1) 周辺機器の電源が“切”になっている 2) 周辺機器が接続されていない	1) 周辺機器の電源を“入”にします。 2) 周辺機器をケーブルで接続します。
プロセッサーから異常な音が出る	ファンの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
検査中または処置中にライトが消える	1) スコープソケット部安全スイッチの故障 2) 光源の故障	1) 2) エラーメッセージが表示されている場合はそれに従い、表示されていない場合は、使用中の内視鏡の取扱説明書に従って、内視鏡をゆっくりと抜去します。直ちに使用を中止し、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。
内視鏡のスイッチ機能が動作しない	1) スコープスイッチ設定が間違っている 2) 周辺機器が接続されていない	1) スコープスイッチの設定を変更します。 →「4.2.7 スコープタブ」 2) 周辺機器をケーブルで接続します。

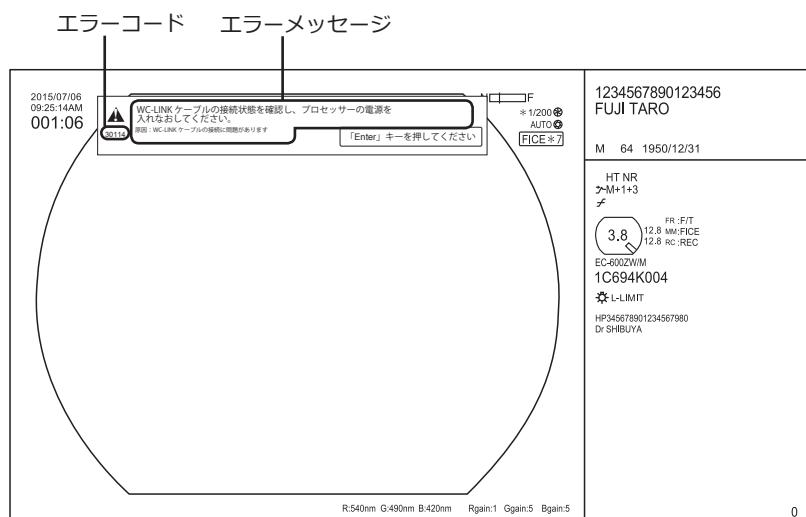
※ プロセッサーの電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。

※ 内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

10.2 エラーメッセージ

異常が起こるとモニターにエラーメッセージを表示します。

*ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。



エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
WC-LINK ケーブルの接続状態を確認し、プロセッサーの電源を入れなおしてください。 原因： WC-LINK ケーブルの接続に問題があります。	WC-LINK の接続に問題がある	WC-LINK ケーブルを確実に接続してください。
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： 光源の異常です。	光源の故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。 再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： 光源の異常です。	ファンの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： プロセッサーの異常です。	プロセッサーの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： スコープの異常です。	内視鏡の故障。	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※
指定された方法で清掃を行ってください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： 光源、またはスコープとの接続に問題があります。	ほこりがたまつた、または、汚れがついて、700/6000 システムスコープ給電ができない。	指定された方法で清掃を行ってください。 ほこりがたまつたときや汚れがついた場合は、毛羽立ちの無い清潔なガーゼなどで軽く拭いてください。 再度表示された場合、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。※

※ ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
スコープの脱着は、検査ボタンがオレンジ色の時か、電源がOFFの時に行ってください。	検査ボタンが青色に点灯している状態で内視鏡を取り外そうとした	内視鏡の取付け・取り外しは、電源「切」時または検査ボタンを約2秒間押し続けてオレンジ色に連続点灯してから行ってください。
検査を終了する場合は内視鏡画像のフリーズを解除してください。	内視鏡画像がフリーズ状態で検査ボタンを押した。	内視鏡画像のフリーズを解除してから検査を終了してください。
装着中のスコープは使用できません。	適応内視鏡以外の内視鏡を接続して起動、または検査開始した	適用内視鏡をご使用ください。 →「第11章 主な仕様」
FTPサーバーに接続できません。 原因：FTPサーバーがネットワークに繋がっていないか、ネットワーク設定に問題があります。	1) FTPサーバーがネットワークに繋がっていない 2) ネットワーク設定に問題がある 3) プロセッサーのネットワーク設定の異常	1) FTPサーバーの電源を入れてください。 2) ケーブル等の接続を確認して「再接続を試行」を選択してください。 3) システム管理者に確認、もしくは営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
FTPサーバーへのログインが拒否されました。 ネットワークの設定を確認してください。 原因：ログインネームとパスワードの設定が正しくありません。	プロセッサーのネットワーク設定の異常	システム管理者に確認、もしくは営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
ネットワークに接続できませんでした。 原因：ネットワーク設定が原因か、ネットワークに異常があります。	ネットワークを使用する設定になっていない状態で、手動転送を行おうとした	ネットワークを使用する設定になっているか確認してください。
サーバーへの検査データの転送に失敗しました。ネットワークの設定が正しいか確認してください。 原因：サーバーとのネットワーク接続に失敗したか、ネットワーク設定に問題があります。	FTPサーバーがネットワークに繋がっていないか、ネットワーク設定に問題がある	ケーブル等の接続を確認して、FTPサーバーと通信できることを確認してください。

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
外部メモリーの初期化に失敗しました。 外部メモリーを確認してください。	外部メモリーの初期化に失敗した	メモリースロットからメモリーを一回、抜き挿しを行い、初期化をやり直してください。
外部メモリーを装着してください。 装着されているにもかかわらず本メッセージが表示される場合は、サービスセンターにご相談ください。	1) 外部メモリーが挿入されていない 2) メモリースロットが壊れている	1) 外部メモリーを挿入してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
内部メモリーに問題があり使用できません。 内部メモリーを初期化してください。 原因： 内部メモリーが未初期化か、ファイルシステムが壊れています。	1) 内部メモリーが初期化されていない 2) 内部メモリーのファイルシステムが壊れている	内部メモリーの初期化を行ってください。 →「5.4.2 画像メモリータブ」
内部メモリーがいっぱいです。 原因： 内部メモリーが容量不足で書き込めません。	内部メモリーの空き容量がなくなった	外部メモリーへ画像をコピーするか、未転送バックアップ画像の再転送を行い、システムの空き容量を確保してください。
外部メモリーがいっぱいです。 原因： 外部メモリーが容量不足で書き込めません。	外部メモリーの空き容量がなくなった	新しい外部メモリーを準備してください。
プリンターの電源を入れ直してください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： プリンター装置に異常が発生しています。	プリンターの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プリンターを認識できません。 プリンターの電源、およびケーブルの接続を確認してください。 検査終了後にプリントする場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	1) プリンターの電源が入っていない 2) プリンターが正しく接続されていない	1) プリンターの電源を入れてください。 2) プリンターの接続を確認してください。
プリント中です。 プリント終了まで画像を取り込むのをお待ちください。	プリンターがプリント中の時にトリガー指示を出した	プリント終了までお待ちください。

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プリンターのドアが開いています。 プリンターを確認してください。	プリンターのドアが開いている状態で、プリントを実行しました	プリンターのドアを閉めてください。
プリンターの用紙がありません。 用紙を補給してください。	プリンターに紙がない状態でプリントを実行しました	プリンターに紙を入れてください。
プリンターにインクシートがセットされていません。 インクシートをセットしてください。	プリンターインクシートがない状態でプリントを実行しました	プリンターにインクシートを入れてください。
プリンターのインクシートがなくなりました。 インクシートを交換してください。	プリンターインクシートが終了しました	プリンターにインクシートを入れてください。
プリンターで用紙が詰りました。 用紙を取り除いてください。	プリンターの紙詰まり	つまった紙を取り除いてください。
プリンターの用紙とインクシートのサイズが合っていません。 用紙とインクシートのサイズを合わせてください。	インクシートと用紙の組み合わせの誤り	プリンターの用紙とインクシートのサイズを合わせて入れてください。
静止画像記録装置との接続が確認できません。 静止画記録装置を確認してください。	1) 静止画記録装置の電源が入っていない 2) 静止画記録装置にRS-232Cケーブルが接続されていない 3) 静止画記録装置の設定に異常がある(RS-232Cの設定など)	静止画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。
静止画像記録装置のソフトウェアエラーが発生しました。	1) 静止画記録装置の接続・設定が正しく行われていない 2) 静止画記録装置の故障	1) 静止画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
静止画記録装置で静止画が記録できません。	静止画記録装置がビジー状態の時にトリガー指示を出した	メッセージが消えるまでお待ちください。

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
静止画記録装置に入力信号がありません。 入力ケーブルまたは、機器側の設定値を確認してください。	静止画記録装置の接続・設定が正しく行われていない	静止画記録装置のケーブル接続、設定を確認してください。
録画に失敗しました。	静止画記録装置の接続・設定が正しく行われていない	静止画記録装置のケーブル接続、設定を確認してください。
動画記録装置との接続が確認できません。 動画記録装置を確認してください。 原因： 動画記録装置の電源が入っていないか、動画記録装置とプロセッサーとの接続に異常が発生しています。	動画記録装置の電源が入っていない	動画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。
動画記録装置のソフトウェアエラーが発生しました。	1) 動画記録装置の接続・設定が正しく行われていない 2) 動画記録装置の故障	1) 動画記録装置の電源、ケーブル接続、通信速度等の設定を確認してください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
動画記録装置にディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	動画記録装置にディスクが入っていない	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクの容量がいっぱいです。 新しいディスクと交換してください。	装置に挿入されているディスクがいっぱいになった	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクはサポートしていません。 「DVD-RAM」か、「DVD-R」ディスクを入れてください。	装置でサポートされていないディスクが入っている	ディスクを取り出し、サポートされているディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクに書き込みできません。 書き込み可能なディスクを入れてください。 原因： ディスクが書き込み禁止状態または、最大記録件数に達しています。	ディスクにライトプロテクトがかかっている	ディスクを取り出し、ライトプロテクトを解除してください。

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
動画記録装置に入っているディスクが記録不可能状態です。 ディスクを確認してください。機器に対して、ディスクのステータスの確認をして記録不可のステータスが返ってきました。	1) ディスクが壊れている 2) 書き込み済みのディスクを入れた	ディスクを取り出し、新しいディスクを入れてください。
動画記録装置に入っているディスクは初期化されています。 初期化済みのディスクを入れてください。 原因： DVD-RAM ディスクが初期化されていません。	初期化されていないディスクが入っている	ディスクを取り出し、初期化してください。
動画記録装置が処理中です。	動画記録装置がビジー状態の時にトリガー指示をした	メッセージが消えるまでお待ちください。
ディスクトレイが開いています。確認してください。	ディスクのトレイが開いている状態で、動画記録を実行した	動画記録装置のエラーを取り除いてください。
録画中に患者が切り替えられました。録画は継続します。	動画記録中に患者が切り替えられた	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリント準備中です。 少々お待ちください。	プリント開始直後に新しい画像のトリガー指示をした	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンターに入力信号がありません。入力ケーブルまたは、機器側の設定値を確認してください。	プリンターの接続・設定が正しく行われていない	プリンターのケーブル接続、設定を確認してください。
プリンターに画像が取り込まれていません。	画像が取り込まれていない状態で、プリントをしようとしました	画像を取り込んで再度プリントをしてください。
ヘッド温度の調整中です。	プリンターのヘッドの温度が上昇してしまった場合	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンターの排紙口に用紙が貯まっています。 用紙を取り除いてください。	プリンターの用紙が貯まっています。	貯まった用紙を取り除いてください。

※ ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プリンターを認識できません。 プリンターの電源、およびケーブルの接続を確認してください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	1) デジタルプリンタの電源が入っていない 2) デジタルプリンタにUSBケーブルが接続されていない 3) デジタルプリンタの設定に異常がある	デジタルプリンタの電源、ケーブル接続、設定を確認してください。
プリンターの用紙が詰まりました。用紙を取り除いてください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	デジタルプリンターの紙づまり	つまった紙を取り除いてください。
プリンターのインクシートが不正です。 正しいインクシートに交換してください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	インクシート情報が検出できない	プリンターのインクシートを入れ直してください。
プリンターの用紙とインクシートのサイズが合っていません。 用紙とインクシートのサイズを合わせてください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	インクシートと用紙の組み合わせが合っていない	指定のプリンターの用紙とインクシートをセットしてください。
プリンターの用紙がありません。 用紙を補給してください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	デジタルプリンターに紙がない状態でプリントを実行した	プリンターに紙を入れてください。
プリンターのドアが開いています。 確認してください。	デジタルプリンターのドアが開いている状態で、プリントを実行した	プリンターのエラーを取り除いてください。
プリンターの電源を入れ直してください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因： プリンター装置に異常が発生しています。	デジタルプリンターの故障	営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
プリント準備中です。 しばらくお待ちください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	デジタルプリンター設定の初期化の最中に、プリント画像を送った	メッセージが消えるまでお待ちください。
プリンタヘッドの温度調整中です。 しばらくお待ちください。 プリントをやめる場合は「キャンセル」ボタンを選択してください。	1) プリンタ内部で高温異常が発生している 2) プリンタの故障	1) メッセージが消えるまでお待ちください。 2) 営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
プロセッサーの電源を切り、スコープを抜き挿しし、電源を入れてください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。 原因：パネルボタン、およびフットスイッチの初期化に失敗しました。	パネルボタン、フットスイッチの認識に失敗した	プロセッサーの電源を切り、5秒以上後に再度プロセッサーの電源を入れてください。
DICOM GW 機器との通信異常です。 接続を確認してください。	DG 機器とのシリアル通信が失敗した	ケーブルが接続されているか確認してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*
超音波装置との通信異常です。 接続を確認してください。	超音波内視鏡とのシリアル通信が失敗した	ケーブルが接続されているか確認してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。*

* ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

第11章 主な仕様

11.1 仕様

注意

- 動作時の使用環境について、本製品を含め、組み合わせて使用する機器すべての動作環境を満たす環境で使用してください。

◆ 医用電気機器の分類

1. 電撃に対する保護形式	クラス I 機器（電源：保護接地付プラグ）
2. 電撃に対する保護程度	BF 形装着部
3. 防爆の程度	高酸素濃度環境、可燃性ガス雰囲気中の使用禁止
4. 水の有害な侵入に対する保護の程度による分類	IPX0
5. 動作モードによる分類	連続運転

◆ 装着部

適用内視鏡の挿入部

◆ EP-6000 本体諸元

電源	100-240V ~ 50/60Hz
消費電流（定格）	2.0-1.1A
ヒューズ	T3.15AH 250V × 2 (定格 3.15A/250V)
カラー方式	NTSC/PAL
映像出力	DVI (解像度 : 1280 × 1024 画素、 1920 × 1080 画素)
調光	制御信号による自動調光
ライト冷却方式	強制空冷
送気ポンプ	強 / 中 / 弱 / 切
最大送気圧	65kPa
最大送水圧	65kPa
照明光源	LED
最大光出力	750lm 以下 (当社測定治具において)
光放射安全性 (赤外線通信用 LED)	クラス I LED 製品※ ¹ (JIS C 6802 : 2011)
電力送信周波数	110 ~ 205KHz
有効放射電力	15W 以下

シリアル制御	UP-55MD、MV-3CH
撮像方式	同時方式 ^{※2}
測光方式	AUTO/PEAK/AVE.
画面拡大 ^{※3}	電子ズーム×1.00～×2.00 (0.05ステップ)
メモリー	患者データ : 45人 手技名 : 20種 ドクター名 : 20人 画像設定ページ : 5ページ
内蔵時計	日付、時計 (2次電池によるバックアップ)
カウンター	順算式ディスプレイ表示
適用内視鏡	6000 システムスコープ 700 システムスコープ 600 システムスコープ 500 システムスコープ ^{※4 ※5}
寸法 (W×H×D)	395×210×485mm (突起物を含む)
質量	15kg

※1:「第3章 各部の名称と機能 3.1 前面パネル 20. 通信窓 (LED)」が相当します。

※2: 内視鏡先端に、異なる色フィルター（赤・緑・青）が付いている撮像素子を使用する撮像方式で、照明には白色光を用いています。

※3: 一部の530シリーズスコープの倍率は、X1.00～X1.95の範囲です。

※4: 機種によっては、ソフトウェアのバージョンにより、動画の滑らかさに差が出ることがあります。

※5: 590シリーズスコープ、EG-530UT2、EG-530UT、EG-530UR2、EG-530UR、ED-530XT8、EG-530NP、EG-530N、EG-530N2、EG-530NH、EC-530XP、EI-530B、EG-530UL2を除く。

◆ 使用環境

動作時

温 度	+10～+40℃
湿 度	30～85%RH (結露状態を除く)
気 圧	70～106kPa

非動作時

温 度	-10～+45℃
湿 度	30～95% RH (結露状態を除く)
気 圧	70～106kPa

◆ 輸送、保管環境

温 度	-20～+60℃
湿 度	10～90% RH (結露状態を除く)
気 圧	70～106kPa

◆ 有効期間・使用期限（耐用期間）

有効期間（耐用期間）は適切な保守点検を行った場合、使用開始から6年間です。
「自己認証（当社データ）による」

◆ 入出力端子

(1) 映像出力端子

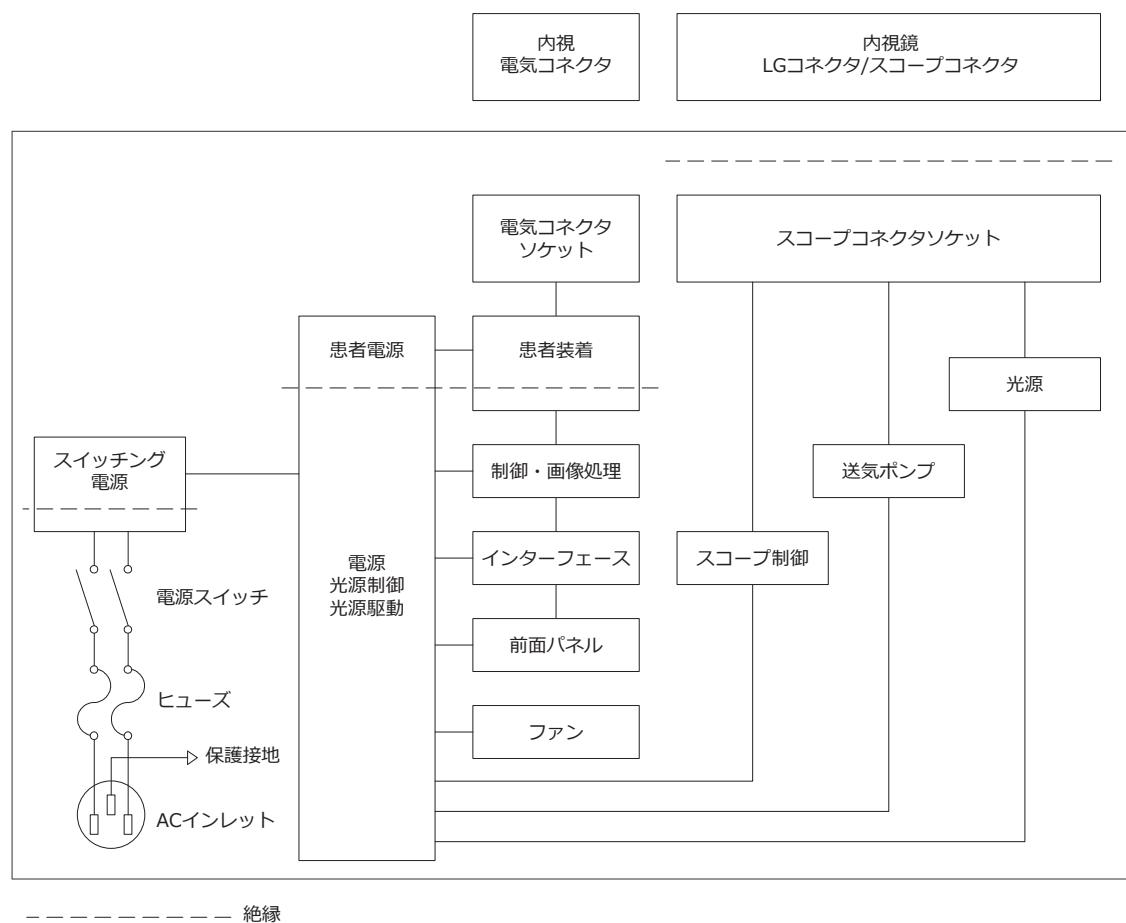
ビデオ端子	1.0Vp-p/75 Ω (NTSC/PAL)	1 系統
S ビデオ端子	Y : 1.0Vp-p/75 Ω (NTSC/PAL) C : 0.3Vp-p/75 Ω	1 系統
RGB TV 端子 (D-sub 15pin)	RGB: 0.7Vp-p/75 Ω (NTSC/PAL) Sync : TTL, 2.0Vp-p/75 Ω	1 系統
DVI-D 端子 (24pin)	デジタル	2 系統

(2) 制御用端子

WC-LINK 端子 (37pin)	1 系統	
リモート端子 (BNC)	2 系統	
周辺機器端子 (D-sub 9pin)	※ RS-232C	2 系統
キーボード端子	※ USB1.1	1 系統
リーダー端子	※ USB1.1	1 系統
デジタルプリンター端子	※ USB2.0	1 系統
フットスイッチ端子 (Din 5pin)		1 系統
ネットワーク端子 (RJ-45)	※ 10/100 BASE	1 系統

◆ ブロック図

本装置には電源部、制御部、画像処理部、前面パネル、インターフェース、患者装着部、光源制御部、光源駆動部、スコープ制御部から構成されます。患者装着部とスコープ制御部はポートティングされています。接続される内視鏡に電源、制御信号、照明光、空気を供給します。内視鏡から受信した画像信号を処理し、画像情報を変換します。画像情報をモニタ表示、印刷、記録、送信する機能を搭載しています。



11.2 電磁両立性（EMC）情報

医用電気機器は EMC に関する特別な注意を必要とし、組み合わせて使用する、本製品^{*1} と内視鏡^{*2} が共に IEC 60601-1-2:2014 に適合している場合は、表 1～表 4 において提供される EMC の情報に従って設置して使用し、組み合わせて使用する、本製品^{*1} と内視鏡^{*2} のいずれかが IEC 60601-1-2:2007 のみに適合している場合は、表 5～表 8 において提供される EMC の情報に従って設置して使用してください。

※ 1 本製品のシリアル番号の左端の英数字が 4 以上または J から Z のいずれかの場合、IEC 60601-1-2 : 2014 の要件に適合しています。シリアル番号が上記以外の場合、この製品は IEC 60601-1-2 : 2007 の要件に適合しています。

※ 2 内視鏡の取扱説明書を参照してください。

・電磁工ミッショの指針および適合情報

表 1

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁工ミッショ —

本製品は、次に指定した電磁環境での使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。

エミッショ試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF エミッショ CISPR 11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがって、その RF エミッショは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッショ CISPR 11	クラス B (700 ^{*1} /6000 システムスコープまたは EB-580S、EB-580T との組み合わせ)	[RF エミッショ] クラス B の組み合わせにおいては、家庭用施設および家庭環境の建物に供給する商用の低電圧配線系に直接接続したものを含む、すべての施設での使用に適しております。
	クラス A (上記機器以外の組合せ)	クラス A の組み合わせにおいては、医療施設や商業用施設での使用を意図しております。そのため家庭用施設で使用した場合、他の機器に有害な電磁干渉を引き起こす可能性があります。また、本製品では無線周波数通信サービスを十分に保護できない場合があります。このような場合は、機器の移動や向きの変更などの緩和策を講じる必要がある場合があります。「第 1 章 安全にご使用いただくために」に従い電磁波障害を是正することを推奨します。
高調波エミッショ IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動／フリッカ エミッショ IEC 61000-3-3	適合	

※ 1 EG-740UT を除く

・電磁イミュニティの指針および適合情報

表2

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ —			
本製品は、次に指定した電磁環境内の使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触 : $\pm 8 \text{ kV}$ 気中 : $\pm 2 \text{ kV}$ 、 $\pm 4 \text{ kV}$ 、 $\pm 8 \text{ kV}$ 、 $\pm 15 \text{ kV}$	接触 : $\pm 8 \text{ kV}$ 気中 : $\pm 2 \text{ kV}$ 、 $\pm 4 \text{ kV}$ 、 $\pm 8 \text{ kV}$ 、 $\pm 15 \text{ kV}$	床は木材、コンクリート 又はセラミックタイルで あることが望ましい。床 が合成材料で覆われてい る場合、相対湿度は少な くとも 30 % であること が望ましい。
電気的ファースト トランジエント/ バースト IEC 61000-4-4	電源線 : $\pm 2 \text{ kV}$ 入出力線 : $\pm 1 \text{ kV}$	電源線 : $\pm 2 \text{ kV}$ 入出力線 : $\pm 1 \text{ kV}$	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同 じであることが望まし い。
サージ IEC 61000-4-5	ライン - ライン間 : $\pm 0.5 \text{ kV}$ 、 $\pm 1.0 \text{ kV}$ ライン - アース間 : $\pm 0.5 \text{ kV}$ 、 $\pm 1.0 \text{ kV}$ 、 \pm 2.0 kV	ライン - ライン間 : $\pm 0.5 \text{ kV}$ 、 $\pm 1.0 \text{ kV}$ ライン - アース間 : $\pm 0.5 \text{ kV}$ 、 $\pm 1.0 \text{ kV}$ 、 \pm 2.0 kV	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同 じであることが望まし い。
電源入力ラインに おける電圧ディッ ブ、短時間停電及 び電圧変化 IEC 61000-4-11	0% U_T 0.5 サイクル間 1 サイクル間 70% U_T 0.5 秒間 0% U_T 5 秒間	0% U_T 0.5 サイクル間 1 サイクル間 70% U_T 0.5 秒間 0% U_T 5 秒間	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同 じであることが望まし い。 本製品の使用者が、電源 の停電中にも連続した 稼働を要求する場合に は、本製品を無停電電源 又は電池から電力供給 することを推奨する。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、標準 的な商用又は病院環境 における一般的な場所 と同レベルの特性をも つことが望ましい。

備考 U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

・携帯電話や RF 通信機器などの指針および適合情報

表 3

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ —			
本製品は、次に指定した電磁環境内の使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz 6 Vrms ISM 周波数帯域 ^c	3 Vrms 6 Vrms ISM 周波数帯域 ^c	携帯形及び移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	3 V/m	$d = 1.2 \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.7 \text{ GHz}$ ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の定格最大出力であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^a によって決定される固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^b における適合レベルよりも低いことが望ましい。 次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。 

イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
RF 無線通信機器 からの近接フィールドに対するイミュニティ IEC 61000-4-3	380 - 390 MHz、 27 V/m 430 - 470 MHz、 28 V/m 704 - 787 MHz、 9 V/m 800 - 960 MHz、 28 V/m 1422 - 1512 MHz、 10 V/m 1700 - 1990 MHz、 28 V/m 2400 - 2570 MHz、 28 V/m 3480 - 3600 MHz、 10 V/m 5100 - 5800 MHz、 9 V/m	380 - 390 MHz、 27 V/m 430 - 470 MHz、 28 V/m 704 - 787 MHz、 9 V/m 800 - 960 MHz、 28 V/m 1422 - 1512 MHz、 10 V/m 1700 - 1990 MHz、 28 V/m 2400 - 2570 MHz、 28 V/m 3480 - 3600 MHz、 10 V/m 5100 - 5800 MHz、 9 V/m	携帯形 RF 通信機器を本製品のあらゆる部分から 30 cm 以内で使用すると、本製品の性能が低下する可能性があります。

備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。

備考 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

- a 無線（セルラー / コードレス）電話や陸上移動無線、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送、TV 放送の基地局などの固定送信機からの電界強度は、理論的に正確に予測することはできません。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁サイト調査を検討する必要があります。この製品が使用されている場所で測定された電界強度が上記の該当する RF 適合性レベルを超える場合は、この製品を観察して正常な動作を確認する必要があります。異常な性能が見られる場合は、本製品の向きを変えたり、位置を変えたりするなど、追加の対策が必要になる場合があります。
- b 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲では、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。
- c 6.765 MHz ~ 6.795 MHz、13.553 MHz ~ 13.567 MHz、26.957 MHz ~ 27.283 MHz、または 40.66 MHz ~ 40.70 MHz の周波数帯域

・携帯形および移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離

表4

携帯形及び移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離			
送信機の定格最大出力 P (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.7 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストしていない定格最大出力の送信機に関しては、メートル(m)で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、P は、送信機製造業者によるワット(W)で表した送信機の定格最大出力である。

備考1 80 MHz 及び 800 MHzにおいては、分離距離は高い周波数範囲を適用する。

備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は、建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

・使用ケーブル

名称	最大ケーブル長	仕様
S ビデオケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル
ビデオケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル
RGB ケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル (R, G, B, Sync)
DVI-D ケーブル	5 m	特性インピーダンス 100 Ωのシールドケーブル DVI 規格に準拠したケーブル
LAN ケーブル	–	CAT5e 以上の UTP タイプのストレートケーブル
WC-LINK ケーブル	0.18 m	本製品に付属

デジタルプリンターとの接続は、プリンターに付属しているケーブルを接続してください。

DVI ケーブルはモニター付属品を使用してください。

・電磁干渉の指針および適合情報

表5

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁干渉 —		
エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション CISPR 11	グループ1	本製品は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。したがって、そのRF干渉は非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR 11	クラスB (700 ^{※1} /6000システムスコープまたはEB-580S、EB-580Tとの組み合わせ) クラスA (上記機器以外の組合せ)	[RFエミッション] クラスBの組み合わせにおいては、家庭用施設および家庭環境の建物に供給する商用の低電圧配線系に直接接続したものを含む、すべての施設での使用に適しております。 クラスAの組み合わせにおいては、医療施設や商業用施設での使用を意図しております。そのため家庭用施設で使用した場合、他の機器に有害な電磁干渉を引き起こす可能性があります。また、本製品では無線周波数通信サービスを十分に保護できない場合があります。このような場合は、機器の移動や向きの変更などの緩和策を講じる必要がある場合があります。「第1章 安全にご使用いただくために」に従い電磁波障害を是正することを推奨します。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動／フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合	

※1 EG-740UT を除く

・電磁イミュニティの指針および適合情報

表6

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ —			
本製品は、次に指定した電磁環境内の使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 1 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触 : ± 6 kV 気中 : ± 8 kV	接触 : ± 2 kV、± 4 kV、 ± 6 kV 気中 : ± 2 kV、± 4 kV、 ± 8 kV	床は木材、コンクリート 又はセラミックタイルで あることが望ましい。床 が合成材料で覆われてい る場合、相対湿度は少な くとも 30 % であること が望ましい。
電気的ファースト トランジエント／ バースト IEC 61000-4-4	電源線 : ± 2 kV 入出力線 : ± 1 kV	電源線 : ± 2 kV 入出力線 : ± 1 kV	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同じ であることが望ましい。
サージ IEC 61000-4-5	ライン - ライン間 : ± 0.5 kV、± 1.0 kV ライン - アース間 : ± 0.5 kV、± 1.0 kV、 ± 2.0 kV	ライン - ライン間 : ± 0.5 kV、± 1.0 kV ライン - アース間 : ± 0.5 kV、± 1.0 kV、 ± 2.0 kV	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同じ であることが望ましい。
電源入力ラインに おける電圧ディップ、 短時間停電及び電圧変化 IEC 61000-4-11	< 5% U_T (> 95% U_T のディップ) 0.5 サイクル間 40% U_T (60% U_T のディップ) 5 サイクル間 70% U_T (30% U_T のディップ) 25 サイクル間 < 5% U_T (> 95% U_T のディップ) 5 秒間	< 5% U_T (> 95% U_T のディップ) 0.5 サイクル間 40% U_T (60% U_T のディップ) 5 サイクル間 70% U_T (30% U_T のディップ) 25 サイクル間 < 5% U_T (> 95% U_T のディップ) 5 秒間	電源の品質は、標準的な 商用又は病院環境と同じ であることが望ましい。 本製品の使用者が、電源 の停電中にも連続した稼 働を要求する場合には、 本製品を無停電電源又は 電池から電力供給するこ とを推奨する。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、標準 的な商用又は病院環境に おける一般的な場所と同 レベルの特性をもつこと が望ましい。

備考 U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

- ・携帯電話や RF 通信機器などの指針および適合情報

表 7

ガイダンス及び製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ —			
本製品は、次に指定した電磁環境内の使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz	3 Vrms	<p>携帯形及び移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。</p> <p>推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$</p> <p>$d = 1.2 \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.5 \text{ GHz}$</p> <p>ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の定格最大出力であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。</p> <p>電磁界の現地調査^aによって決定される固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲^bにおける適合レベルよりも低いことが望ましい。</p> <p>次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。</p> 
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.5 GHz	3 V/m	

備考 1 80 MHz 及び 800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。

備考 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

- a たとえば無線（携帯／コードレス）電話基地局及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM、FM ラジオ放送及び TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。
固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるために、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。本製品が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は、本製品が正常動作をするかを検証するために監視することが望ましい。異常動作が確認された場合には、本製品の、再配置又は再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。
- b 周波数範囲 150 kHz ~ 80 MHz を通して、電界強度は、3 V/m 未満であることが望ましい。

・携帯形および移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離

表 8

携帯形及び移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離			
送信機の定格最大出力 P (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストしていない定格最大出力の送信機に関しては、メートル(m)で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、P は、送信機製造業者によるワット(W)で表した送信機の定格最大出力である。

備考 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は高い周波数範囲を適用する。

備考 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。電磁伝搬は、建築物、物、人からの吸収及び反射に影響される。

・使用ケーブル

名称	最大ケーブル長	仕様
S ビデオケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル
ビデオケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル
RGB ケーブル	3 m	特性インピーダンス 75 Ωのシールドケーブル (R, G, B, Sync)
DVI-D ケーブル	5 m	特性インピーダンス 100 Ωのシールドケーブル DVI 規格に準拠したケーブル
LAN ケーブル	–	CAT5e 以上の UTP タイプのストレートケーブル
WC-LINK ケーブル	0.18 m	本製品に付属

デジタルプリンターとの接続は、プリンターに付属しているケーブルを接続してください。

DVI ケーブルはモニター付属品を使用してください。

11.3 本製品に使用されているソフトウェア

(1) GPL

本製品は、GNU General Public License（以下、GPL）に基づいたソフトウェアを使用しています。

※ GPL とは GNU プロジェクトが提唱するフリーソフトウェアのライセンスです。GPL 対象のソフトウェアは、その使用・複製・変更・再配布の自由が認められています。また、配布・複製に当たってソースプログラムの提供が義務付けられています。

これらのソフトウェアのソースプログラムにつきまして、ご希望のお客さまは、弊社営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。実費にてご提供させていただきます。

なお、本製品を構成しているソフトウェアのうち、本製品向けに当社が独自に開発・作成したソフトウェア部分を除く、GPLに基づいたフリーソフトウェアのみ、ご提供となります。

<本製品で使用しているソフトウェアライセンス表示>

Free-Type2

This software is based in part of the work of FreeType Team.

HarfBuzz

This software is based in part of the work of FreeType Team.

libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

libtiff

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

```

DCMTK
COPYRIGHT
Unless otherwise specified, the DCMTK software package has the following
copyright:
/*
 * Copyright (C) 1994-2011, OFFIS e.V.
 * All rights reserved.
 *
 * This software and supporting documentation were developed by
 *
 * OFFIS e.V.
 * R&D Division Health
 * Escherweg 2
 * 26121 Oldenburg, Germany
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * - Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * - Neither the name of OFFIS nor the names of its contributors may be
 *   used to endorse or promote products derived from this software
 *   without specific prior written permission.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
 * "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
 * LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
 * A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT
 * HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
 * LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE
 * OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/

```

Please note that some DCMTK modules, especially those that are not part of the free toolkit, are covered by a separate license which can be found in the *COPYRIGHT* file in the corresponding module directory.

Some portions of the DCMTK software package are derived from earlier versions of this software with the following copyright, and can be identified by the following copyright notice located in each source file:

```

/*
 * Copyright (C) 1993/1994, OFFIS, Oldenburg University and CERIUM
 *
 * This software and supporting documentation were
 * developed by
 *
 * Institut OFFIS
 * Bereich Kommunikationssysteme
 * Westerstr. 10-12
 * 26121 Oldenburg, Germany
 *
 * Fachbereich Informatik
 * Abteilung Prozessinformatik
 * Carl von Ossietzky Universitaet Oldenburg
 * Ammerlaender Heerstr. 114-118
 * 26111 Oldenburg, Germany
 *
 * CERIUM
 * Laboratoire SIM
 * Faculte de Medecine
 * 2 Avenue du Pr. Leon Bernard
 * 35043 Rennes Cedex, France
 *
 * for CEN/TC251/WG4 as a contribution to the Radiological
 * Society of North America (RSNA) 1993 Digital Imaging and
 * Communications in Medicine (DICOM) Demonstration.
 */

```

```

 * THIS SOFTWARE IS MADE AVAILABLE, AS IS, AND NEITHER OFFIS,
 * OLDENBURG UNIVERSITY NOR CERIUM MAKE ANY WARRANTY REGARDING
 * THE SOFTWARE, ITS PERFORMANCE, ITS MERCHANTABILITY OR
 * FITNESS FOR ANY PARTICULAR USE, FREEDOM FROM ANY COMPUTER
 * DISEASES OR ITS CONFORMITY TO ANY SPECIFICATION. THE
 * ENTIRE RISK AS TO QUALITY AND PERFORMANCE OF THE SOFTWARE
 * IS WITH THE USER.
 *
 *
```

```

 * Copyright of the software and supporting documentation
 * is, unless otherwise stated, jointly owned by OFFIS,
 * Oldenburg University and CERIUM and free access is hereby
 * granted as a license to use this software, copy this
 * software and prepare derivative works based upon this
 * software. However, any distribution of this software
 * source code or supporting documentation or derivative
 * works (source code and supporting documentation) must
 * include the three paragraphs of this copyright notice.
 *
 */
```

Some other parts of this software within the dcmtk/dcmmnet sub-package related to the DICOM Upper Layer Protocol are derived from software developed for the RSNA'93 DICOM demonstration and kindly made available to us by the Mallinckrodt Institute of Radiology. Such software can be identified by the following copyright notice located in each affected source file:

```

/*
 * Copyright (C) 1993, RSNA and Washington University
 *
 * The software and supporting documentation for the Radiological
 * Society of North America (RSNA) 1993 Digital Imaging and
 * Communications in Medicine (DICOM) Demonstration were developed
 * at the
 *   Electronic Radiology Laboratory
 *   Mallinckrodt Institute of Radiology
 *   Washington University School of Medicine
 *   510 S. Kingshighway Blvd.
 *   St. Louis, MO 63110
 * as part of the 1993 DICOM Central Test Node project for, and
 * under contract with, the Radiological Society of North America.
 *
 * THIS SOFTWARE IS MADE AVAILABLE, AS IS, AND NEITHER RSNA NOR
 * WASHINGTON UNIVERSITY MAKE ANY WARRANTY ABOUT THE SOFTWARE, ITS
 * PERFORMANCE, ITS MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR
 * USE, FREEDOM FROM ANY COMPUTER DISEASES OR ITS CONFORMITY TO ANY
 * SPECIFICATION. THE ENTIRE RISK AS TO QUALITY AND PERFORMANCE OF
 * THE SOFTWARE IS WITH THE USER.
 *
 * Copyright of the software and supporting documentation is
 * jointly owned by RSNA and Washington University, and free access
 * is hereby granted as a license to use this software, copy this
 * software and prepare derivative works based upon this software.
 * However, any distribution of this software source code or
 * supporting documentation or derivative works (source code and
 * supporting documentation) must include the three paragraphs of
 * the copyright notice.
 */

```

The code for the OFStandard::strcpy and OFStandard::strcat helper functions in ofstd/libsrc/ofstd.cc has been derived from the BSD implementation of strcpy() and strcat() and which carries the following copyright notice:

```

/*
 * Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller(at)courtesan.com>
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products
 *    derived from this software without specific prior written permission.
 */

```

```
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
* INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
* AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL
* THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
* EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
* OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
* ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
```

```
*/
```

The code for the OFStandard::atof helper function in ofstd/libsrc/ofstd.cc
has been derived from an implementation which carries the following
copyright notice:

```
/*
 * Copyright 1988 Regents of the University of California
 * Permission to use, copy, modify, and distribute this software and
 * its documentation for any purpose and without fee is hereby granted,
 * provided that the above copyright notice appear in all copies. The
 * University of California makes no representations about the
 * suitability of this software for any purpose. It is provided "as
 * is" without express or implied warranty.
 *
 *
 * The code for OFStandard::ftoa has been derived
 * from an implementation which carries the following copyright notice:
 *
 * Copyright (c) 1988 Regents of the University of California.
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms are permitted
 * provided that the above copyright notice and this paragraph are
 * duplicated in all such forms and that any documentation,
 * advertising materials, and other materials related to such
 * distribution and use acknowledge that the software was developed
 * by the University of California, Berkeley. The name of the
 * University may not be used to endorse or promote products derived
 * from this software without specific prior written permission.
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED
 * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
 */
```

The "Base64" encoder/decoder in ofstd/libsrc/ofstd.cc has been derived
from an implementation which carries the following copyright notice:

```
/*
 * Copyright (c) 1999, Bob Withers - bwit(at)pobox.com
 *
 * This code may be freely used for any purpose, either personal or commercial,
 * provided the authors copyright notice remains intact.
 */
```

(2) Eclipse

本製品は、Eclipse Public License 1.0 及び Eclipse Distribution License 1.0 に基づいたソフトウェアを使用しています。

これらのソフトウェアのソースプログラムにつきまして、ご希望のお客さまは、弊社営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。実費にてご提供させていただきます。

なお、本製品を構成しているソフトウェアのうち、本製品向けに当社が独自に開発・作成したソフトウェア部分を除く、オープンソースソフトウェアのみのご提供となります。

<本製品で使用しているソフトウェアライセンス表示>

Eclipse Paho MQTT C client
Copyright IBM Corp. 2009, 2017

Eclipse Distribution License - v 1.0

Copyright (c) 2007, Eclipse Foundation, Inc. and its licensors.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Eclipse Foundation, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(3) msgpack-c

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(4) OpenSSL

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts.

OpenSSL License

```
/* =====
 * Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *    endorse or promote products derived from this software without
 *    prior written permission. For written permission, please contact
 *    openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *    permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *    acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
```

```
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* =====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/
```

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
```

* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

11.4 保証とアフターサービス

<製品保証書>

この製品には、製品保証書が添付されています。

<アフターサービス>

- (1) 調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- (2) それでも具合の悪いときはサービスへ
営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
- (3) 保証期間中の修理は
無料修理規定に基づいて修理させていただきます。
保証期間は、お買い上げ日から1年です。
次の場合は保証の対象となりませんので、ご了承ください。
イ. 火災、風水害などの天災による損傷
ロ. お取り扱い上の不注意または操作の誤りによる機能障害および故障
ハ. 弊社関係外で修理または改造されたもの
- (4) 保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
サービス窓口にご相談になるときは、次のことをお知らせください。
型 名：EP-6000
製造番号[※]：
故障の状況：できるだけ詳しく
購入年月日：

※ 製造番号は本体背面左側に記載されています。

<製品が故障した場合は>

製品が故障した場合は、お買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。工場に戻しての修理または装置の交換を行います。

11.5 索引

数字

- 600 システムスコープおよび 3-4
- 500 システムスコープ 7-6
- 700/6000 システムスコープ 7-5

A

- ALC 7-18
- AUTO 7-18
- AVE 7-18

B

- [BackSpace] キー 3-9
- BLI、BLI-bright または LCI 3-18

C

- [Caps Lock 英数] キー 3-9

D

- [Delete] キー 3-8
- DICOM サーバー接続状態 3-17
- DVI-D 端子 3-5

E

- [Enter] キー 3-9
- EP-6000 4-26
- [Esc] キー 3-9

F

- FICE 3-19, 7-15
- [FICE] キー 3-8
- FICE セット 3-21, 3-22
- FullHD モード 3-13

I

- [Insert] キー 3-8

L

- LG コネクター 7-6

P

- [PageUp] キー 3-8
- PEAK 7-18

R

- RGB TV 端子 3-4
- R,G,B ゲインレベル 3-17, 3-22
- R,G,B 表示成分 3-17, 3-22
- RS-232C 端子 1 3-5
- RS-232C 端子 2 3-5

S

- SXGA モード 3-13
- S ビデオ端子 3-4

W

- WC-LINK ケーブル端子 3-4

あ

- 明るさ調節ボタン 3-2, 7-10
- アフターサービス 11-22

い

- 医師名 3-16, 3-19
- 移動 9-5
- 医用電気機器の分類 11-1
- インジケーター 3-2
- インデックス表示 5-55

え

- 液晶モニター 2-2
- エラーメッセージ 10-4

か

- カート 4-26
- [開始] キー 3-8
- 外部メモリー 5-41, 8-22
- 拡張 2-3, 2-7
- [画像] キー 3-8
- 画像設定ページ 3-16
- 画像設定ページ名 5-47
- カラー調整 5-34
- カラープリンター 8-1, 8-6
- 観察画面 3-12, 6-3
- 観察画面情報表示領域 3-14
- 観察モード 7-13
- 患者 ID または検査番号 3-16, 3-19
- [患者] キー 3-7

患者情報	3-23
患者情報入力	5-8
[患者入力] キー	3-7
患者名	3-16, 3-19

き

キーボード	3-7
キーボード端子	3-5
キーボードの清掃	9-2
給電部	3-3

け

[検索] キー	3-8
検査ボタン	3-2, 6-3

こ

構造強調	3-17, 3-19, 7-14
高速	7-16
[子画面移動 Tab] キー	3-9
コメント	7-20
[コメント入力] キー	3-7

さ

撮影枚数カウンター	3-17, 3-19
-----------	------------

し

色彩強調	3-17, 3-19, 7-16
時刻	3-15, 3-20
[システム] キー	3-8
シャッタースピード	3-16, 3-19, 7-16
[周辺機器] キー	3-8
周辺機器制御キー	3-8
[手技] キー	3-7
手技またはコメント	3-17, 3-20
手技リスト	4-64
受信窓	3-3
仕様	11-1
使用環境	11-2
使用後のお手入れ	9-1
[情報非表示 Space] キー	3-9
照明モード表示灯	6-5
照明モードボタン	3-3, 6-5

す

スイッチ設定	3-16
スコープコネクター	7-5
スコープコネクターソケット	3-1, 7-5, 7-6
スコープ情報	3-17, 3-23

せ

静止画記録装置	2-3, 4-26, 8-14
生年月日	3-16, 3-19
性別	3-16, 3-19
前面パネル	3-1

そ

送気送水ノズル	6-6
送気送水ボタン	6-6
送気表示灯	3-1, 6-6
送気ボタン	3-1, 6-6
送気ポンプ	6-6
送水タンク	2-2, 7-3, 7-6, 7-7, 9-7
装着部	11-1
側面パネル	3-6
ソケット保護キャップ	3-10, 7-6
測光モード	3-15, 3-19, 7-18
測光モードボタン	3-3, 7-18
その他のキー	3-8
ソフトウェア	11-14

た

タイマー	3-15, 3-20, 7-21
[タイマー Ctrl] キー	3-9

ち

超音波観測装置	2-3
---------	-----

つ

通常モード	3-18
通信窓 (LED)	3-3

て

データキーボード	2-2
データ制御キー	3-7
デジタルプリンター	8-10
デジタルプリンター端子	3-5
電気コネクター	7-6
電気コネクターソケット	3-3, 7-6
電磁両立性 (EMC) 情報	11-5
電源接続部	3-4

電源表示灯	3-2, 6-2
電源ボタン	3-2
電子ズーム	7-19
電子ズーム拡大率	3-16

と

動画記録装置	2-3, 4-26, 8-16, 8-18
等電位化端子	3-4
特殊光観察プリセット	7-13
特殊光観察モード	3-16, 3-20
[ドクター] キー	3-7
ドクターリスト	4-58
トラブルシューティング	10-1
[トリガ] キー	3-8

な

内視鏡	2-2
内視鏡先端	6-6
内蔵電池	6-1
内部メモリー	5-41, 8-19

に

入出力端子	11-3
-------------	------

ね

ネットワークアクセスランプ	3-2
ネットワーク端子	3-5
年齢	3-16, 3-19

の

ノイズリダクション	3-17, 3-19
-----------------	------------

は

ハイパートーン	3-17, 3-19
背面パネル	3-4
[パネル] キー	3-8

ひ

日付	3-15, 3-20
ビデオ出力画面の表示	3-18
ビデオ端子	3-4
ヒューズホルダー	3-4
病院名	3-16, 3-20
表示マーク	3-11
標準	7-16
標準システム	2-2
標準システム構成	2-6

ふ

フォーカスメーター	3-16, 3-19
フットスイッチ端子	3-5
フリーズモード	5-56
プリンター	2-3, 4-26
プリンター状態	3-17
プロセッサー	2-2
ロック図	11-4
分光画像処理機能	3-16

ほ

保管	9-4
保護接地付コンセント	4-26, 7-2
保証	11-22
本体諸元	11-1

ま

マスクタイプ：タイプ1	3-12
マスクタイプ：タイプ2	3-12
[マルチ] キー	3-7
マルチズームモード	5-58
マルチボタン	3-3

め

メモリー記録枚数	3-17
メモリースロット /	
メモリーアクセスランプ	3-2

ゆ

有効期間・使用期限（耐用期間）	11-2
輸送環境	11-2

ら

ライト点灯	3-1
ライトボタン	3-2, 6-3, 7-9, 7-10
ラップタイム	7-22
ラップタイム設定	5-59

り

リーダー端子	3-5
リセット	10-1
リモート端子1	3-5
リモート端子2	3-5
輪郭強調	3-19

れ

[連絡事項] キー 3-7
連絡事項リスト 4-67

ろ

ログイン 3-16

11.6 製品のお問い合わせ窓口について

製品のお問い合わせ先

電話番号 : **0570-02-7007** (ナビダイヤル)

富士フィルムメディカル株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目 26 番 30 号
電話番号 : 03-6419-8045

製造販売業者 **富士フィルム株式会社**
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地

販売業者 **富士フィルム メディカル株式会社**
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番30号